

瀬戸内市
市民まちづくり意識調査
報告書

平成26年7月

瀬戸内市

【 目 次 】

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	3
	1. 性別	3
	2. 年齢	3
	3. 居住年数	5
	4. 職業	6
	5. 現住所への居住のきっかけ	7
	6. 家族構成	8
	7. 普段の主な交通手段	11
III	調査結果	13
	【1】瀬戸内市がめざしている姿に対する現在の実感度と重要度について	13
	1. 現在の実感度	13
	(1) 全体的な集計	13
	(2) 設問ごとの個別集計等	19
	2. 現在の重要度	77
	3. 実感度と重要度の相関図による分析	84
	【2】瀬戸内市の住みやすさについて	90
	1. 住みやすさ評価	90
	2. 住みやすいと思う理由	92
	3. 住みにくいと思う理由	96
	【3】行動や考えについて	99
	1. 市役所が行うまちづくりの取組への満足感	99
	2. 人権が守られていることについて	103
	3. 「人権・なやみごと相談」窓口認知状況	105
	4. 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて	107
	5. 芸術文化活動状況	109
	6. 生涯学習講座活動などへの参加状況	111
	7. 地域に貢献する活動状況	113
	8. 運動継続状況	115
	9. 海外文化講座やイベント等への参加希望	117
	10. 健康診断受診状況	119
	11. 「バリアフリー化」進行状況について	121
	12. 日常生活に不自由を感じる事	123
	13. 経済的な理由による日常生活の困難さについて	125
	14. 計画的な土地利用について	127
	15. 道路の快適性について	129
	16. 公共交通機関の利用しやすさについて	131

17. インターネットの活用状況	133
18. ゴミのリサイクル実践状況	135
19. 省エネの実践状況	137
20. 瀬戸内市の景観への満足度	139
21. 災害時の非常持出品準備状況	141
22. 災害時の避難場所認知状況	143
23. 住宅用火災警報器設置状況	145
24. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況	146
25. 農産物購入時の地元産意識	148
26. 水産物購入時の地元産意識	150
27. 日常生活品の買い物のしやすさについて	152
28. 「広報せとうち」購読状況	154
29. 瀬戸内市のホームページ閲覧状況	156
30. 広報紙やホームページによる市の情報入手	158
31. 市政への関心	160
32. 市の財政改善状況について	162
33. 地域コミュニティ活動参加状況	164
34. ボランティア・NPO活動参加経験	166

【4】10周年を迎える瀬戸内市に対する思い…………… 168

1. 10年前との住みやすさの比較	168
2. 瀬戸内市に対する愛着	171
3. 瀬戸内市に住み続けたいか	174

【5】自由意見…………… 177

I 調査の概要

【調査目的】

瀬戸内市がめざす30年後のまちの姿を、現在市民の皆様がどの程度実感し、あわせて、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、平成23年度を初年度とする第2次総合計画の数値目標に対する現状値を把握するために実施しました。

【調査対象】

満18歳以上の市民 2,000人

【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

平成26年5月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 861件

有効回収率 ----- 43.1%

居住地域の内訳（上段：件数、下段：構成比%）

回収数	牛窓地域			長船地域				
	牛窓	鹿忍	長浜	美和	国府	行幸		
861	167	80	63	24	260	26	83	151
100.0	19.4	9.3	7.3	2.8	30.2	3.0	9.6	17.5

回収数	邑久地域								無回答 (注)
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
422	169	51	50	37	38	16	19	42	12
49.0	19.6	5.9	5.8	4.3	4.4	1.9	2.2	4.9	1.4

(注) 無回答には「わからない」を含む

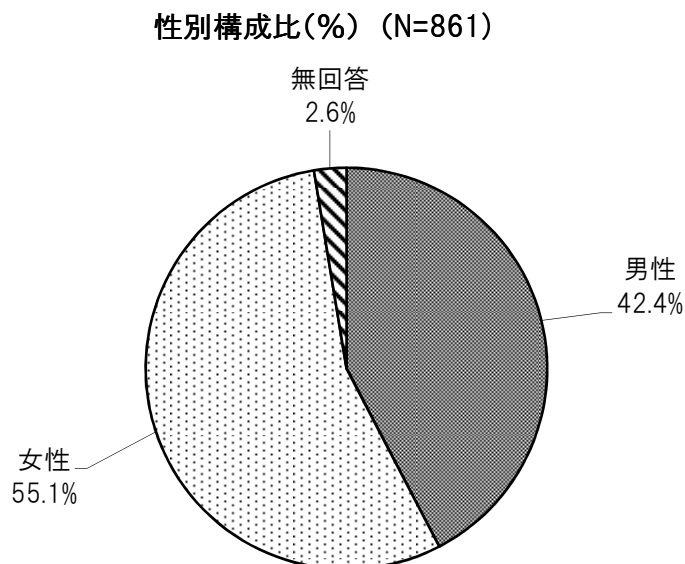
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 2つ以上の回答を可能（複数回答）とした質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記しています。
- (4) 図表中における年齢別などの属性や、他の質問とのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合があります。
- (5) 図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は図中標記から省略している場合があります。
- (6) 複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (7) 各設問について、平成24年度に実施した同調査（「前回調査」と標記）との比較が可能な設問においては、比較を行っています。
- (8) この他、個別の参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しました。

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別

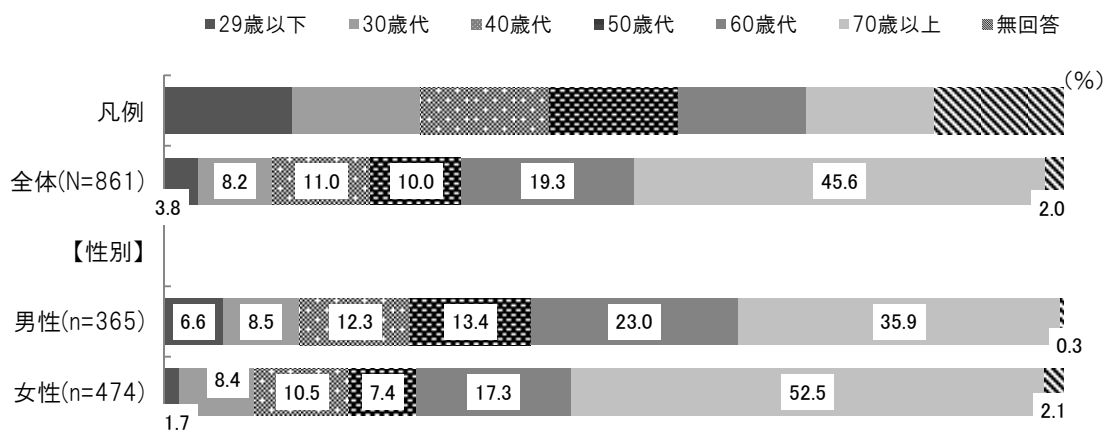
回答者の性別は、「男性」が42.4%、「女性」が55.1%の内訳である。



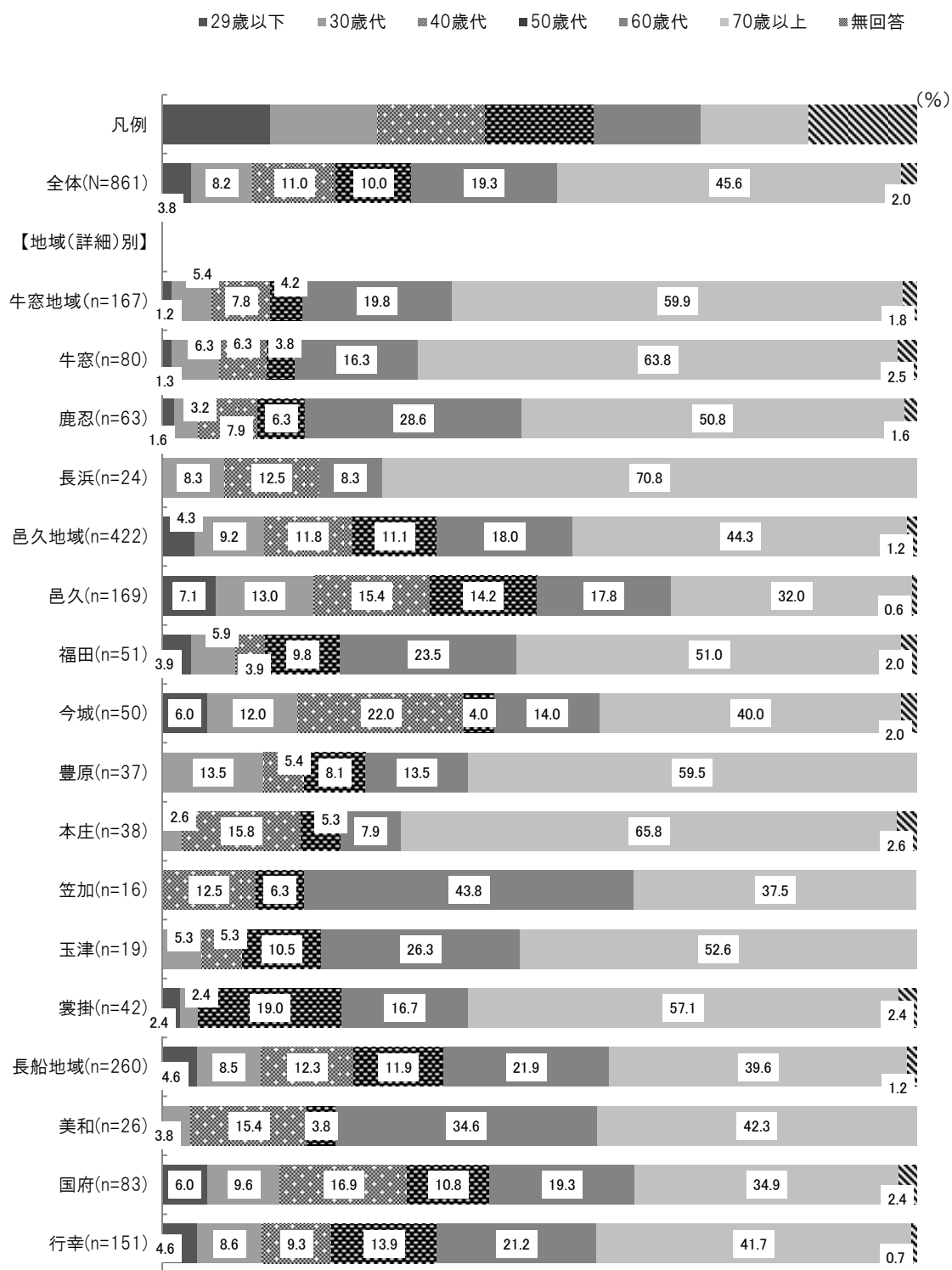
2. 年齢

年齢は「70歳以上」が45.6%と最も多く、次いで「60歳代」(19.3%)が続いている。以下「40歳代」(11.0%)、「50歳代」(10.0%)の順で、「50歳以上(合計)」で全体の7割以上(74.9%)を占めている。

性別別にみると、男性は女性に比べ「29歳以下」、「40～60歳代(合計)」の割合が高く、女性は「70歳以上」の割合が高くなっている。



さらに、年齢別構成を地域（詳細）別でみると「牛窓」、「長浜」及び「本庄」などで70歳以上の方が多く、特に「長浜」では顕著である。一方、「邑久」、「今城」、「国府」及び「行幸」などでは相対的に若い年齢層が多くみられ、地域差が顕著である。

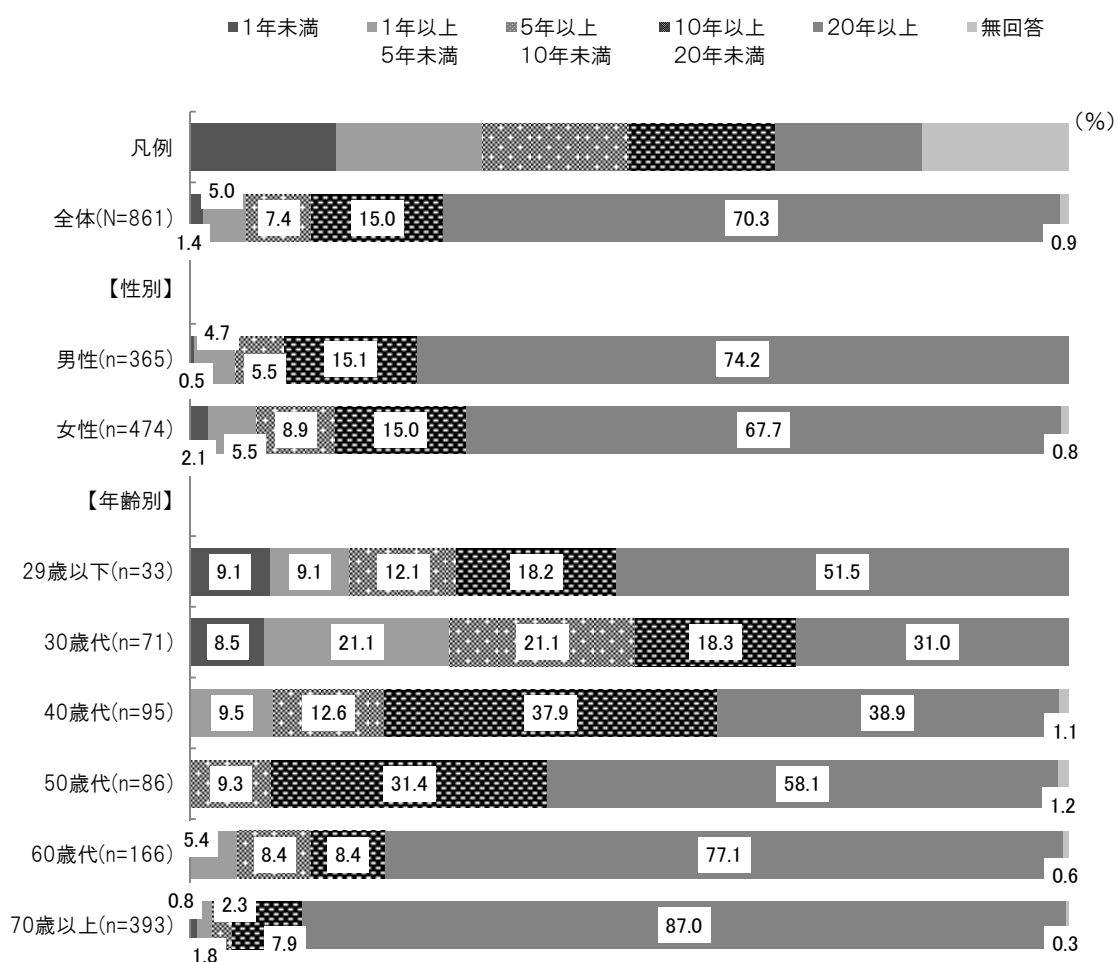


3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が全体のほぼ7割を占め最も多く、次いで「10年以上20年未満」が15.0%となっている。

性別では、女性に比べて男性の居住年数が長くなっている。

年齢別では、30歳代以下では他の年代に比べて「1年未満」が多くなっており、40歳代～50歳代では、「10年以上20年未満」が多くなっており、60歳代以上では、「20年以上」が大多数を占めている。また、29歳以下を除いて、年齢層が高くなるにつれて「20年以上」の占める割合が大きくなっている。

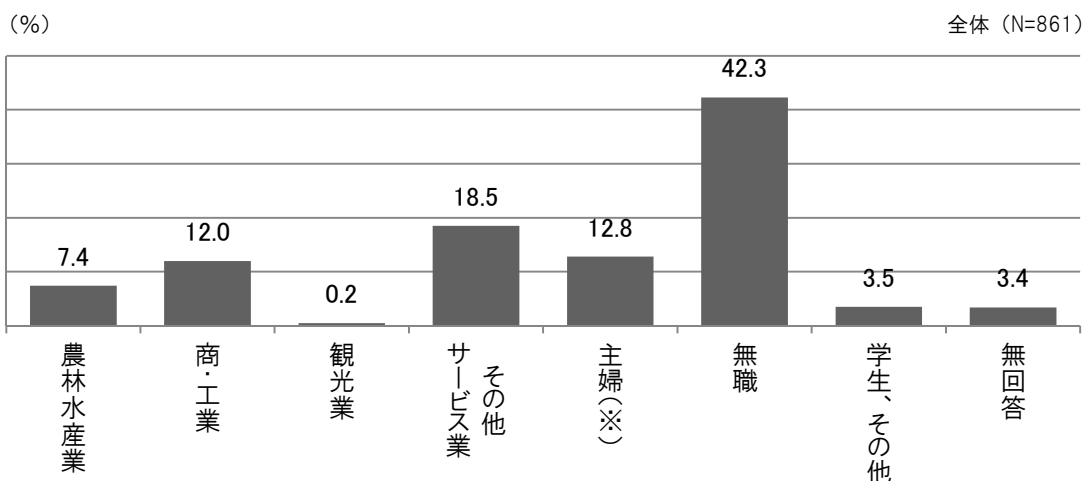


4. 職業

職業は、全体では「無職」が4割(42.3%)を占め最も多く、以下「その他サービス業」(18.5%)、「主婦(パートタイム含む)」(12.8%)、「商・工業」(12.0%)の順となっている。

性別では、共に「無職」が最も多く(男性35.1%、女性47.3%)以下、男性では「その他サービス業」(23.3%)、女性では「主婦(パートタイム含む)」(23.0%)と続いている。

年齢別では、60歳以上では、「無職」が多く、29歳以下では他の年齢層に比べて「学生、その他」が多くなっている。



※パートタイムを含む

単位 (%)		農林水産業	商・工業	観光業	サービス業 その他 (パートタイムを含む)	主婦	無職	学生、その他
全体 (N=861)		7.4	12.0	0.2	18.5	12.8	42.3	3.5
性別	男性(n=365)	12.6	23.0	0.3	23.3	0.0	35.1	4.9
	女性(n=474)	3.8	3.6	0.2	15.2	23.0	47.3	2.5
年齢別	29歳以下 (n=33)	3.0	33.3	0.0	27.3	9.1	0.0	27.3
	30歳代(n=71)	1.4	21.1	1.4	35.2	29.6	7.0	4.2
	40歳代(n=95)	2.1	31.6	0.0	43.2	18.9	1.1	1.1
	50歳代(n=86)	3.5	26.7	0.0	45.3	11.6	4.7	8.1
	60歳代(n=166)	8.4	9.0	0.0	17.5	18.1	41.0	3.0
	70歳以上 (n=393)	10.7	2.0	0.3	3.3	6.9	71.5	1.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計(性別・年齢別など)において最も高い割合を示している。

(例：性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。)

但し、回答率が10%未満の項目、n数が10未満の項目については、網掛けは省略している。

また、「無回答」は標記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

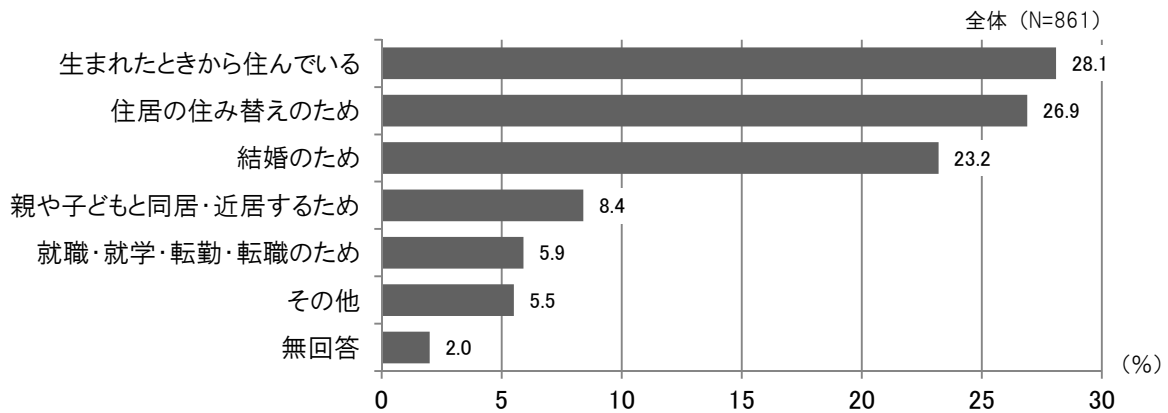
5. 現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「生まれたときから住んでいる」が28.1%と最も多く、次いで「住居の住み替えのため」(26.9%)、「結婚のため」(23.2%)となっている。

性別では、男性は「生まれたときから住んでいる」が最も多く、女性は「結婚のため」が最も多くなっている。

年齢別でみると29歳以下では「生まれたときから住んでいる」が過半数を占めており、年齢が上がるほど「住居の住み替えのため」が多くなっている。

地域別にみると、牛窓地域と邑久地域は全体と同じような傾向にあるが、長船地域では「住居の住み替えのため」が最も多くなっている。



単位 (%)		生まれたときから住んでいる	住居の住み替えのため	結婚のため	同居・近居するため	親や子どもと同居・近居するため	転勤・就学・転職のため	その他
全体 (N=861)		28.1	26.9	23.2	8.4	5.9	5.5	
性別	男性(n=365)	43.6	26.8	11.5	7.1	5.8	4.7	
	女性(n=474)	15.8	27.6	33.1	9.7	5.5	5.9	
年齢別	29歳以下 (n=33)	51.5	15.2	15.2	9.1	9.1	0.0	
	30歳代(n=71)	28.2	23.9	25.4	12.7	8.5	1.4	
	40歳代(n=95)	27.4	29.5	20.0	15.8	2.1	5.3	
	50歳代(n=86)	33.7	32.6	9.3	10.5	8.1	4.7	
	60歳代(n=166)	22.3	34.9	15.1	8.4	9.0	7.2	
	70歳以上 (n=393)	28.0	23.2	31.3	5.6	4.3	6.1	
地域別	牛窓地域 (n=167)	33.5	22.2	22.2	4.8	3.6	3.0	
	邑久地域 (n=422)	31.3	25.4	23.5	8.5	6.2	3.8	
	長船地域 (n=260)	20.8	32.3	24.2	10.4	7.3	4.2	

6. 家族構成

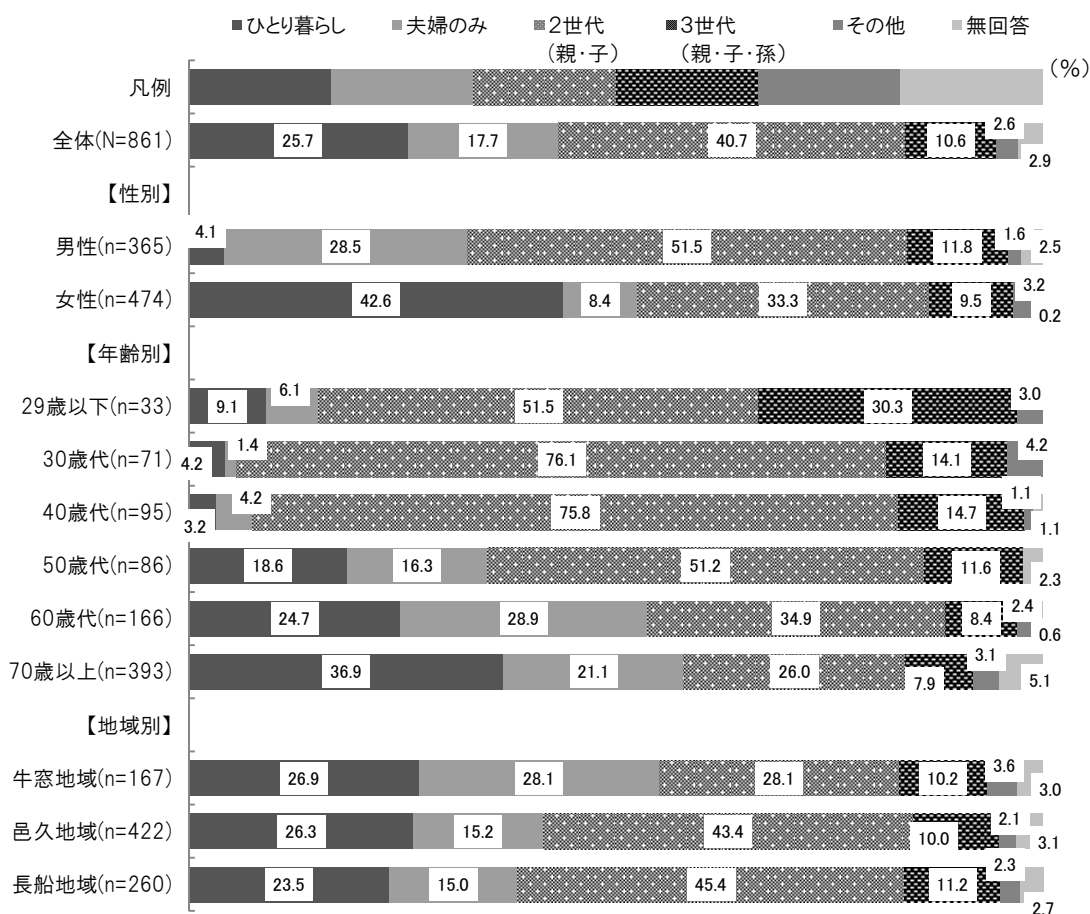
(1) 家族構成

家族構成については、全体では「2世代（親・子）」が40.7%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」（25.7%）が続いている。

性別では、男性は「2世代（親・子）」が最も多く、女性は「ひとり暮らし」が最も多くなっている。

年齢別では、29歳以下で「3世代（親・子・孫）」が最も多く、若い世代の方が「2世代（親・子）」が多い傾向がみられる。また、「ひとり暮らし」は70歳以上が最も多く、年齢が上がるにつれ多くなる傾向にある。

地域別では、牛窓地域において、他の地域に比べて「夫婦のみ」が多く、「2世代（親・子）」が少なくなっている。

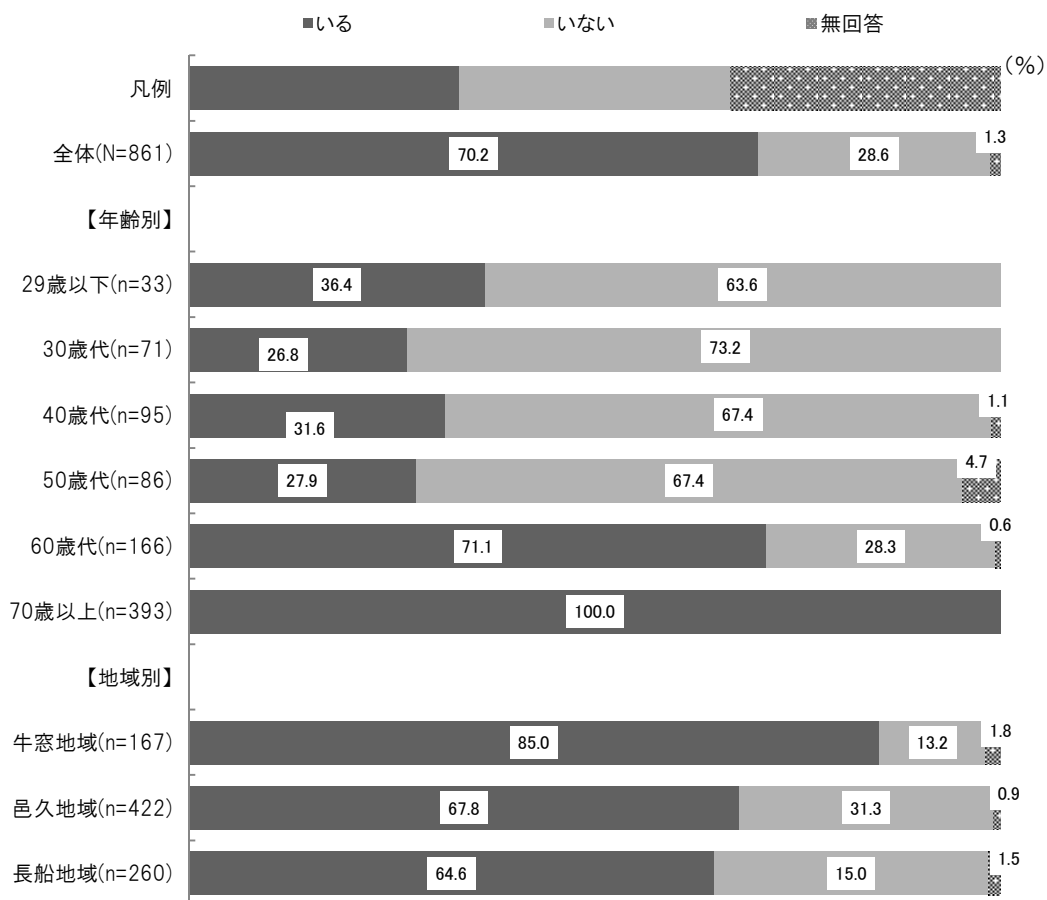


(2) 65歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65歳以上の方の同居有無について、全体では「いる」が70.2%となっている。

年齢別では、自身を含むため、60歳代以上において「いる」が多くなっている。その他の年齢層では約2~3割の方が「いる」と回答している。

地域別では牛窓地域において「いる」が85.0%と他の地域と比べて多くなっている。

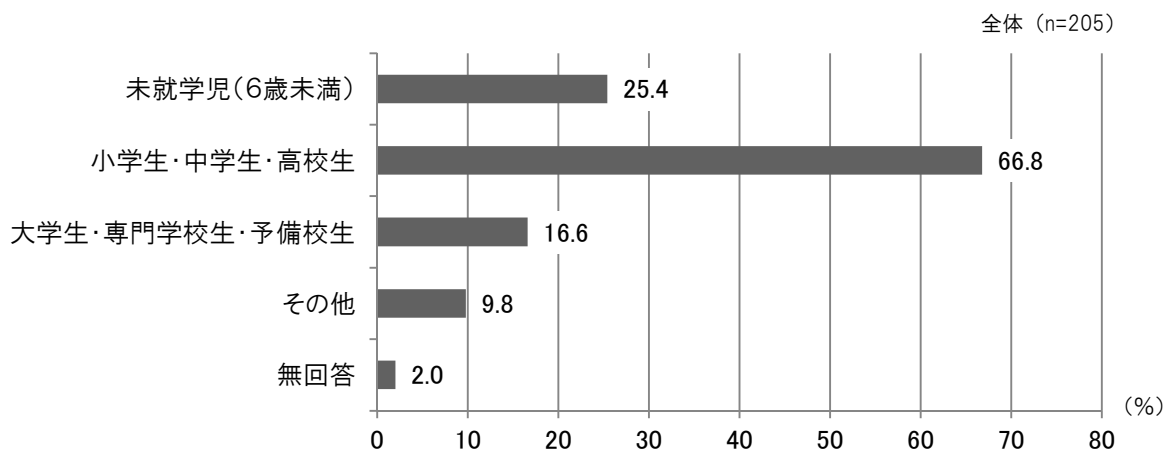
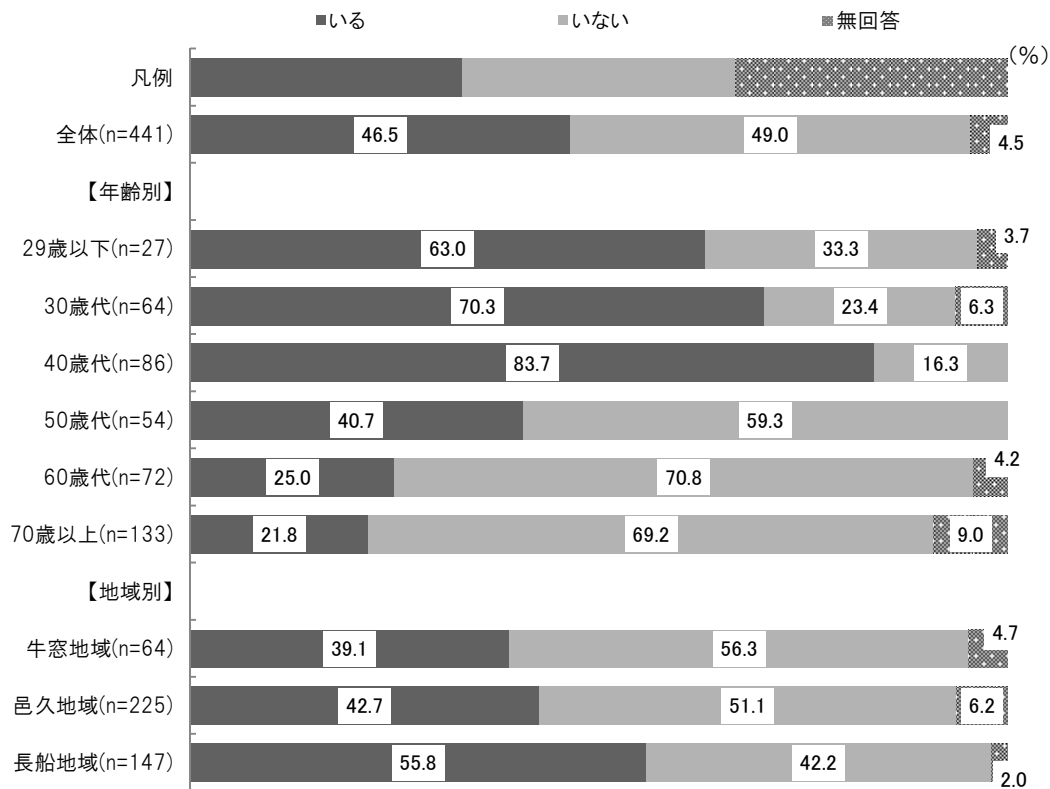


(3) 22歳以下の子どもの同居有無

22歳以下の子どもの同居有無については、「いない」が49.0%となっている。

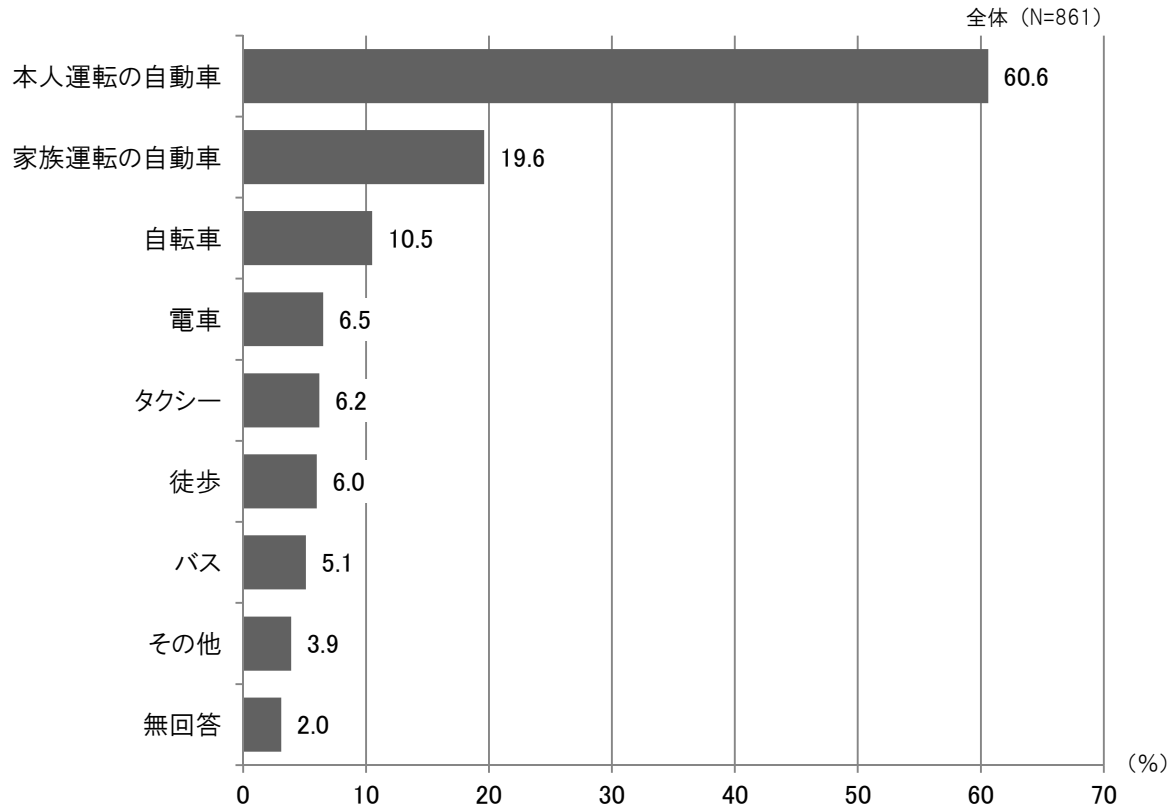
年齢別では40歳代以下の年齢層は「いる」が多くなっているが50歳代以上は年齢が高くなるにつれて「いない」が多くなっている。また、地域別でみると長船地域において、「いる」が多くなっている。

22歳以下の子どもは「小学生・中学生・高校生」が最も多くなっている。



7. 普段の主な交通手段

普段の主な交通手段については、全体では「本人運転の自動車」が60.6%と最も多く、突出している。次いで「家族運転の自動車」(19.6%)、「自転車」(10.5%)と続いている。



普段の主な交通手段について、性別で見ると、男性は「本人運転の自動車」が多くなっている。女性では男性に比べ「家族運転の自動車」が多くなっている。

年齢別で見ると、29歳以下では「電車」、70歳以上では「家族運転の自動車」「タクシー」が多くなっており、70歳以上では「本人運転の自動車」が少なくなっている。

地域別で見ると、笠加では「家族運転の自動車」が多くなっている。邑久、福田などの邑久地域では、「電車」が多くなっており、牛窓、鹿忍などの牛窓地域では「バス」が多くなっている。

単位 (%)		本人運転の 自動車	家族運転の 自動車	自転車	電車	タクシー	徒歩	バス	その他
全体 (N=861)		60.6	19.6	10.5	6.5	6.2	6.0	5.1	3.9
性別	男性(n=365)	77.5	14.0	7.7	5.8	2.5	3.0	2.5	1.4
	女性(n=474)	47.9	24.5	12.7	9.1	7.2	8.6	7.4	5.7
年齢別	29歳以下 (n=33)	75.8	21.2	12.1	21.2	0.0	6.1	3.0	0.0
	30歳代(n=71)	85.9	14.1	5.6	2.8	0.0	4.2	0.0	1.4
	40歳代(n=95)	89.5	10.5	8.4	5.3	0.0	3.2	0.0	2.1
	50歳代(n=86)	81.4	8.1	4.7	4.7	2.3	2.3	2.3	2.3
	60歳代(n=166)	77.1	13.3	9.0	4.8	1.8	3.6	5.4	1.8
	70歳以上 (n=393)	37.2	28.8	13.7	6.9	11.7	9.4	8.1	5.9
地域別	牛窓地域 (n=167)	54.5	22.2	13.8	2.4	6.0	7.8	14.4	3.0
	牛窓 (n=80)	47.5	26.3	15.0	3.8	7.5	12.5	16.3	1.3
	鹿忍 (n=63)	60.3	19.0	14.3	1.6	6.3	4.8	14.3	6.3
	長浜 (n=24)	62.5	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	邑久地域 (n=422)	59.7	19.9	10.4	8.3	6.9	6.9	3.8	4.0
	邑久 (n=169)	61.5	17.2	13.0	13.0	5.9	8.3	4.1	4.1
	福田 (n=51)	49.0	29.4	17.6	9.8	7.8	9.8	2.0	3.9
	今城 (n=50)	68.0	12.0	4.0	8.0	10.0	4.0	4.0	6.0
	豊原 (n=37)	56.8	18.9	13.5	0.0	5.4	2.7	0.0	2.7
	本庄 (n=38)	63.2	15.8	5.3	2.6	15.8	7.9	2.6	7.9
	笠加 (n=16)	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉津 (n=19)	84.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	裳掛 (n=42)	42.9	28.6	9.5	7.1	4.8	9.5	11.9	2.4
	長船地域 (n=260)	66.9	18.8	8.5	6.2	3.8	3.5	1.5	3.5
	美和 (n=26)	80.8	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	国府 (n=83)	66.3	21.7	7.2	8.4	6.0	2.4	1.2	2.4
行幸 (n=151)	64.9	18.5	9.3	6.0	3.3	4.6	2.0	3.3	

Ⅲ 調査結果

【1】瀬戸内市がめざしている姿に対する現在の実感度と重要度について

問1 瀬戸内市がめざしている30年後の姿に対する現在の「実感度」について、それぞれの項目について、右欄の中であなたの考えに一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。

1. 現在の実感度

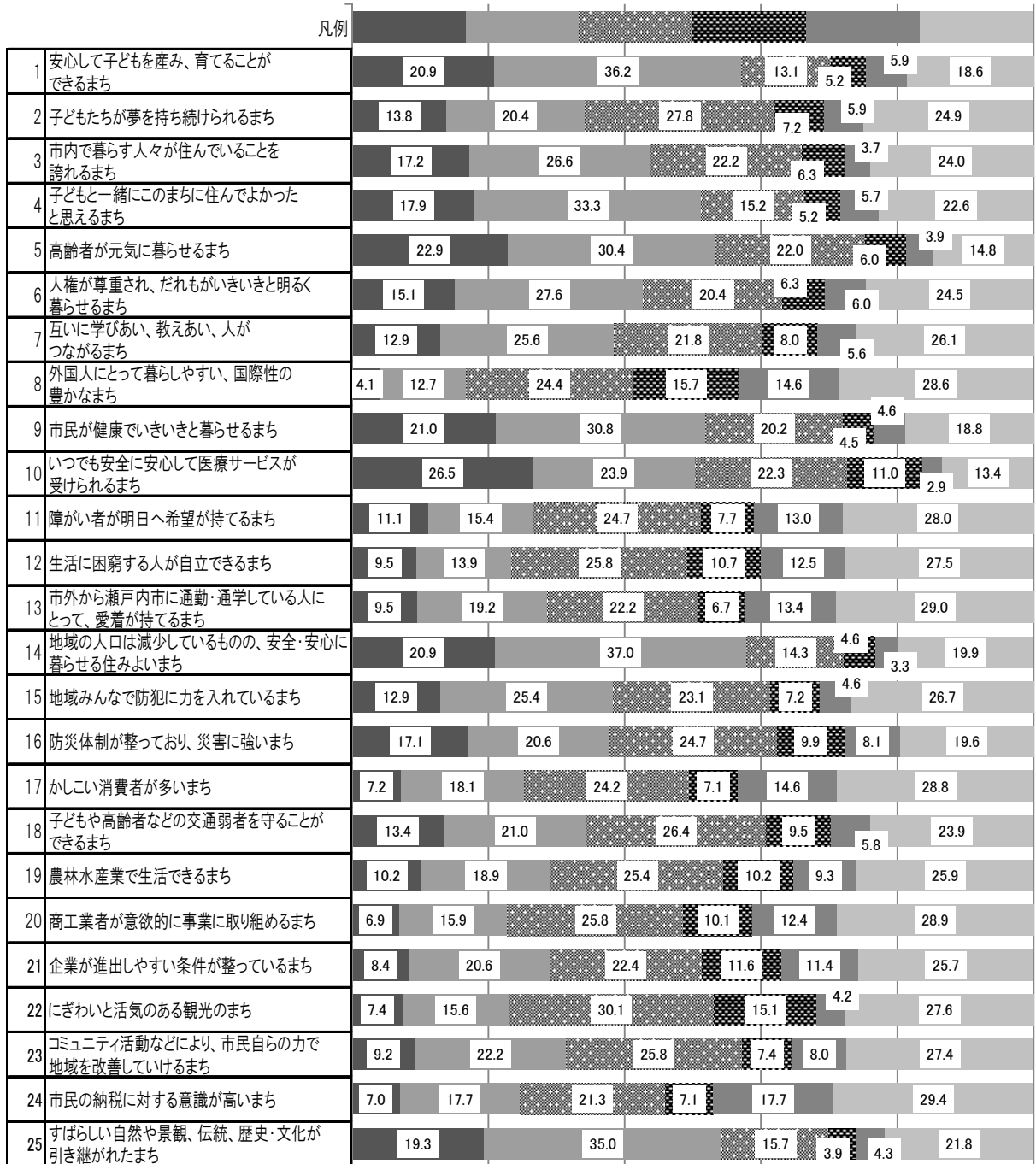
(1) 全体的な集計

25項目について、現在の実感度を5段階評価で尋ねたところ、「そう思う」への回答が最も多かったのは、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」(26.5%)で、以下「5. 高齢者が元気で暮らせるまち」(22.9%)、「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」、「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(同20.9%)となっている。

また、「思わない」への回答が最も多かったのは、「8. 外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(15.7%)、次いで「22. にぎわいと活気のある観光のまち」(15.1%)となっている。

問1①現在の実感度(%)
(N=861)

■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない ■ わからない ■ 無回答



【実感度／ウエイト値による集計】

実感度の選択肢について、

「そう思う」	:	2点
「まあそう思う」	:	1点
「あまり思わない」	:	-1点
「思わない」	:	-2点
「わからない」	:	0点

と設定し、項目ごとの回答結果を

$$\begin{aligned} & (\text{「そう思う」の件数} \times 2 \text{点} \\ & + \text{「まあそう思う」の件数} \times 1 \text{点} \\ & + \text{「あまり思わない」の件数} \times -1 \text{点} \\ & + \text{「思わない」の件数} \times -2 \text{点} \\ & + \text{「わからない」の件数} \times 0 \text{点}) \\ & \div (\text{回答者件数} - \text{無回答件数}) \end{aligned}$$

としてウエイト値を算出し指標とした。

この指標によって、実感度の評価をより明確に分析することが可能となる。

この指標による分析結果でみると、実感度の評価が最も高い施策は「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(0.690)で、以下「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」(0.669)、「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」(0.639)となっている。

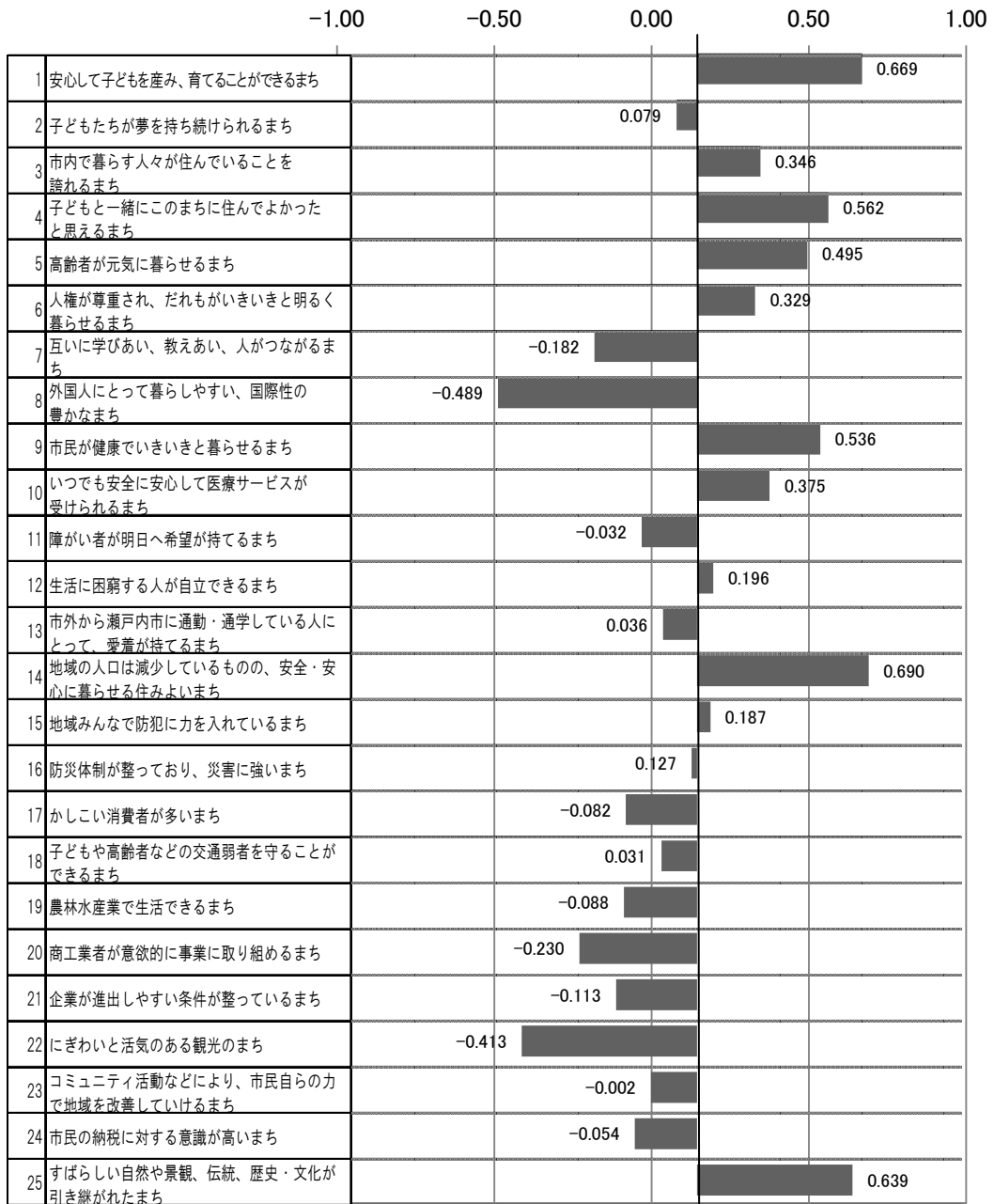
また、評価の特に低い施策は「8. 外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」(-0.489)、「22. にぎわいと活気のある観光のまち」(-0.413)などがあげられている。

全体的な評価の平均は0.158となっており、25項目中、ウエイト値が+評価されている項目は15項目であり、マイナス評価されている項目は10項目となっている。

問1①現在の実感度
(N=861)

低い ← → 高い

↓ 中央=平均(0.144)



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると今回、実感度が高くなった項目としては、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」、「12. 生活に困窮する人が自立できるまち」などがあり、「12. 生活に困窮する人が自立できるまち」においてはマイナス評価からプラス評価に転じている。

一方、実感度が低くなった項目としては「7. 互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」、「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」などがあげられる。

全体的に前回調査と比較すると現在の実感度は、低下している。

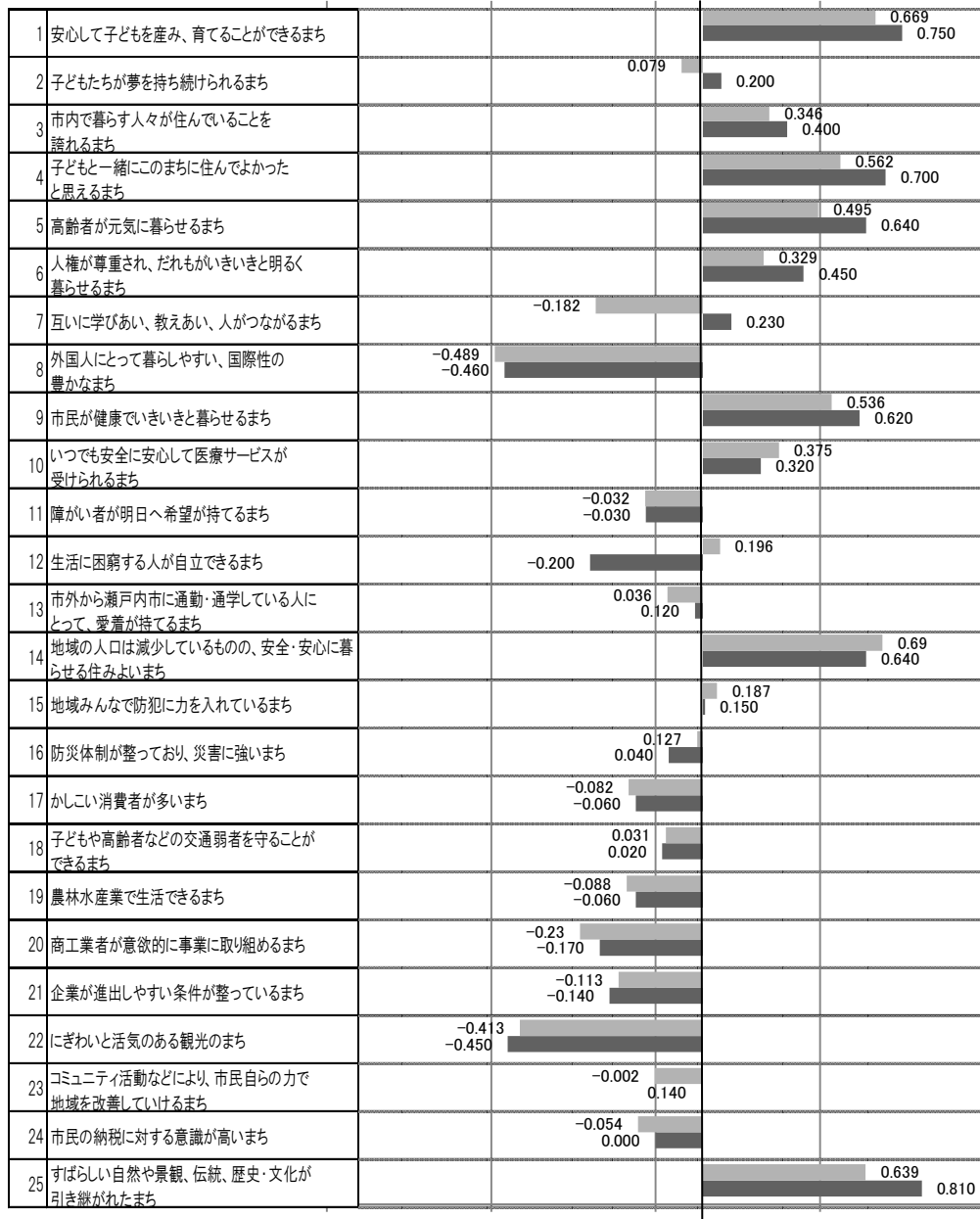
問1①現在の実感度
(N=861)

低い ← → 高い

■ 今回調査(H26年度) ■ 前回調査(H24年度)

↓ 中央=今回平均(0.144)

-1.00 -0.50 0.00 0.50 1.00

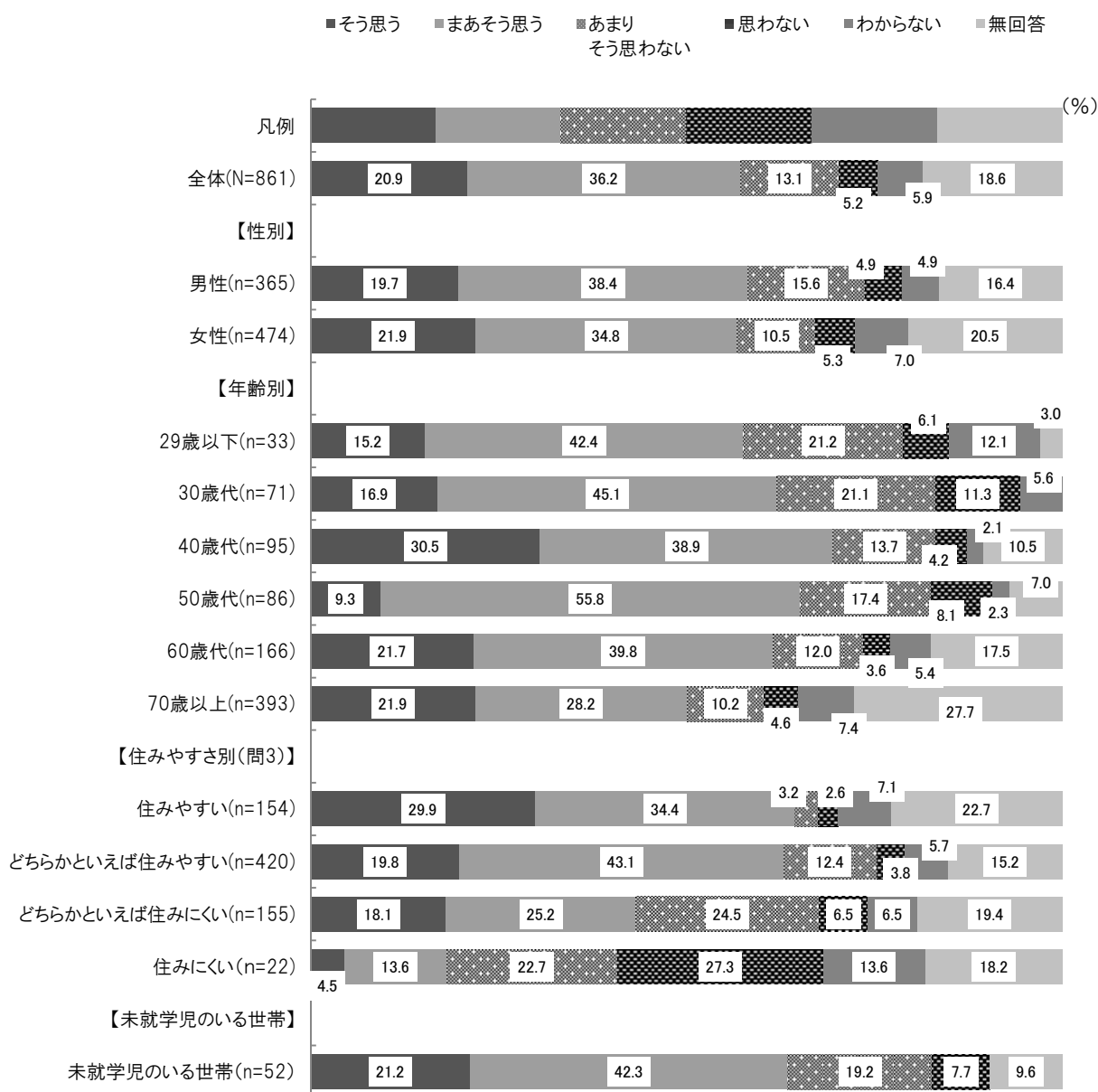


(2) 設問ごとの個別集計等

1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち

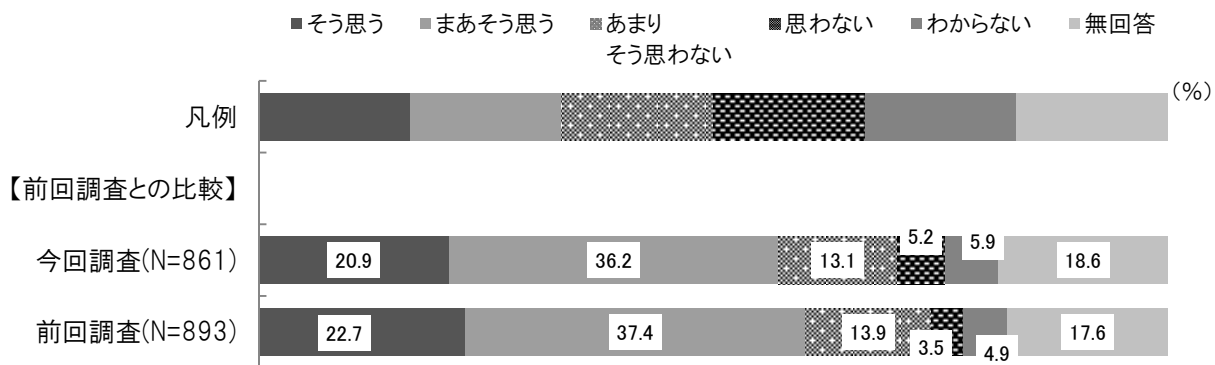
全体で見ると「まあそう思う」が36.2%と最も多くなっている。

性別で見ると大きな男女差はみられない。年齢別で見ると「まあそう思う」が50歳代で最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。未就学児のいる世帯では「まあそう思う」が42.3%と最も多くなっている。



【前回調査との比較】

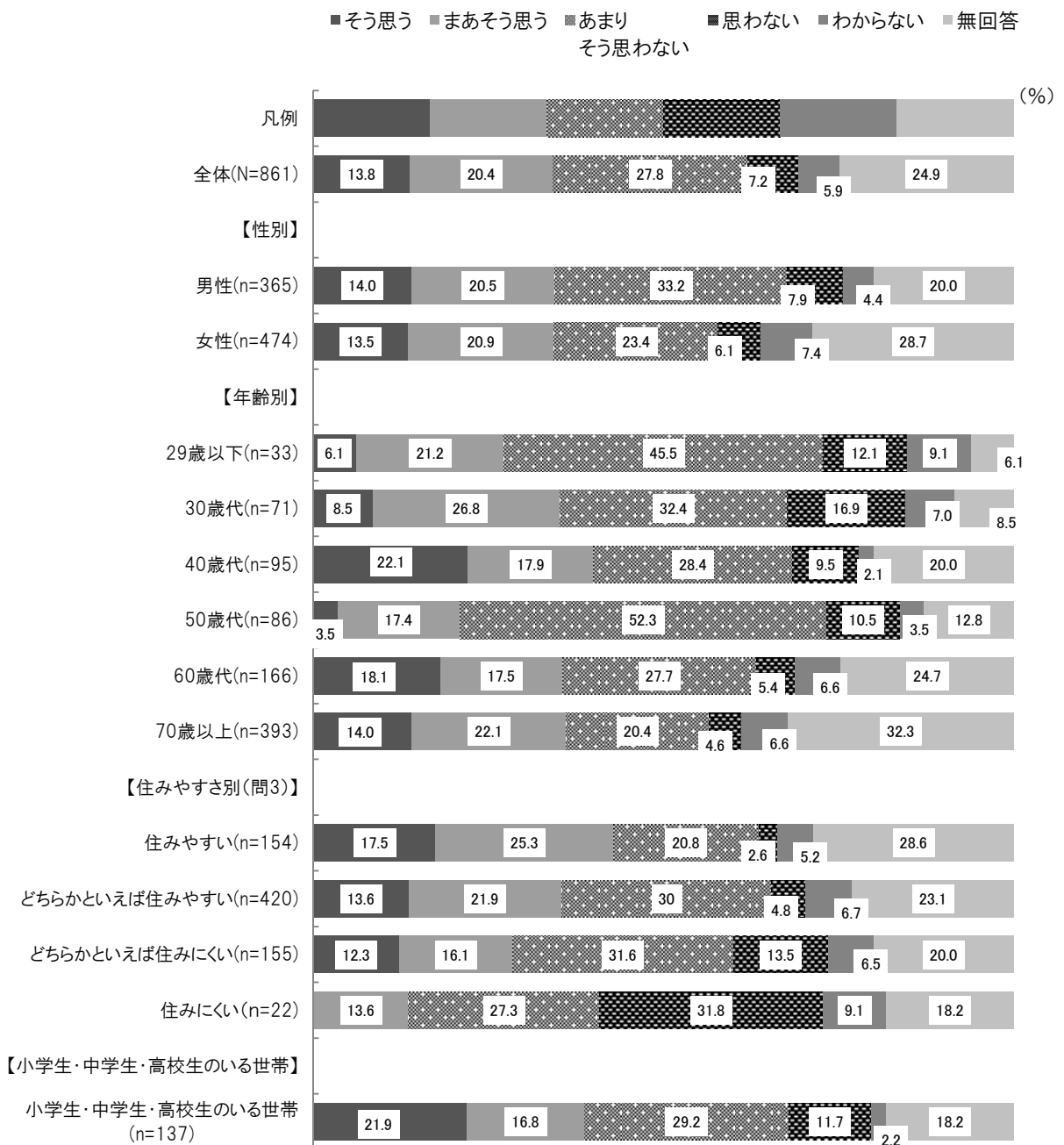
前回調査と比較して、「そう思う」がやや減少している。



2. 子どもたちが夢を持ち続けられるまち

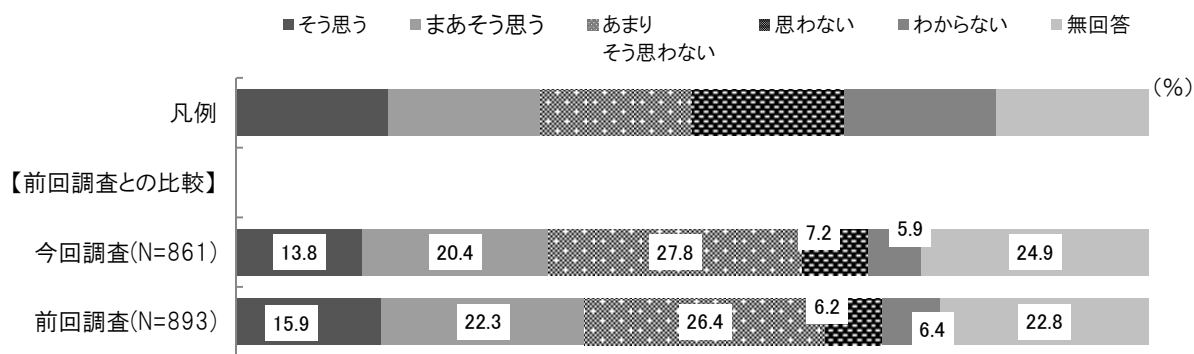
全体でみると、「あまりそう思わない」が27.8%と最も多くなっている。

性別でみると、「あまりそう思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別でみると、50歳代で「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別でみると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。小学校・中学校・高校生のいる世帯では「あまりそう思わない」が29.2%と最も多くなっている。



【前回調査との比較】

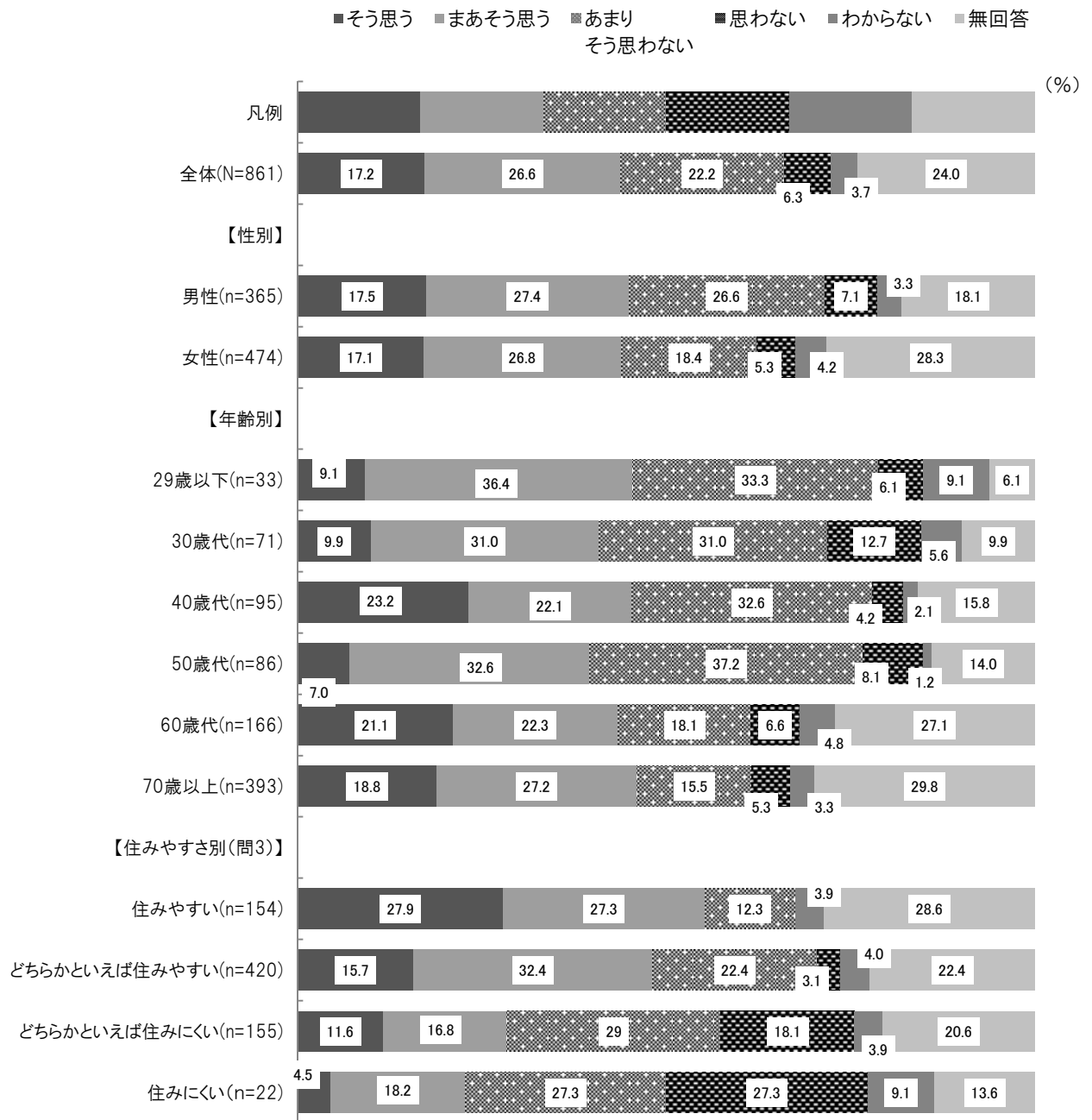
前回調査と比較して、「そう思う」、「まあそう思う」がやや減少している。



3. 市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち

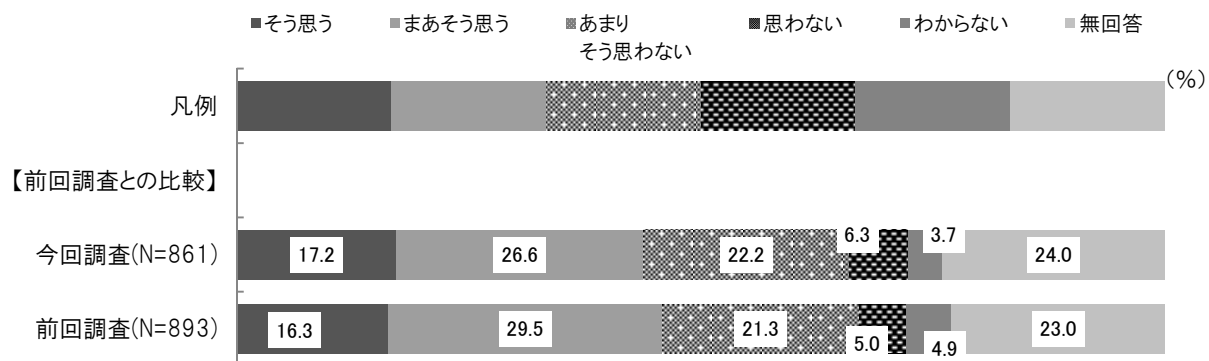
全体でみると、「まあそう思う」が26.6%と最も多くなっている。

性別でみると、「あまりそう思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別でみると、29歳以下で「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別でみると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。



【前回調査との比較】

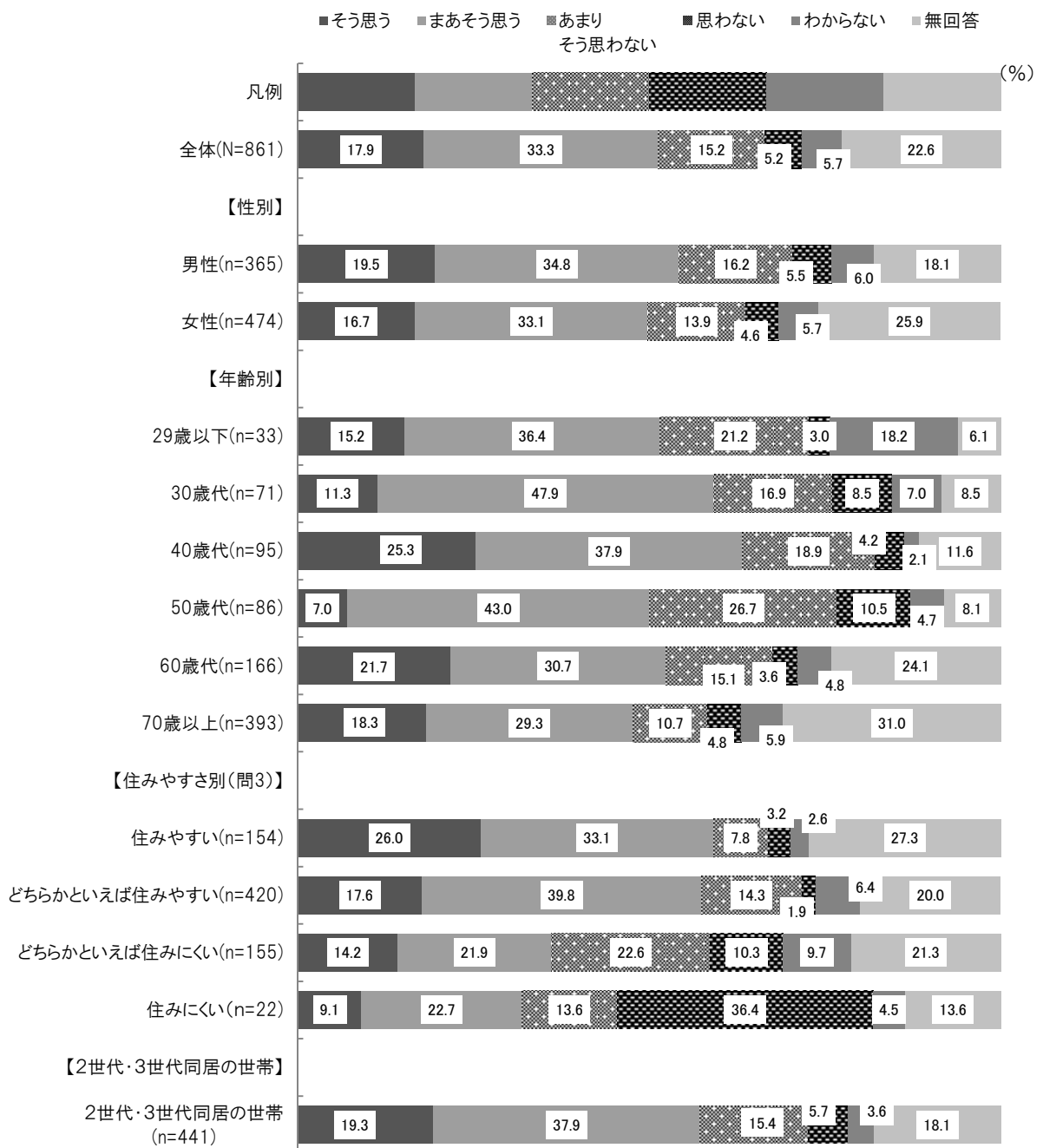
前回調査と比較して「まあそう思う」がやや減少している。



4. 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち

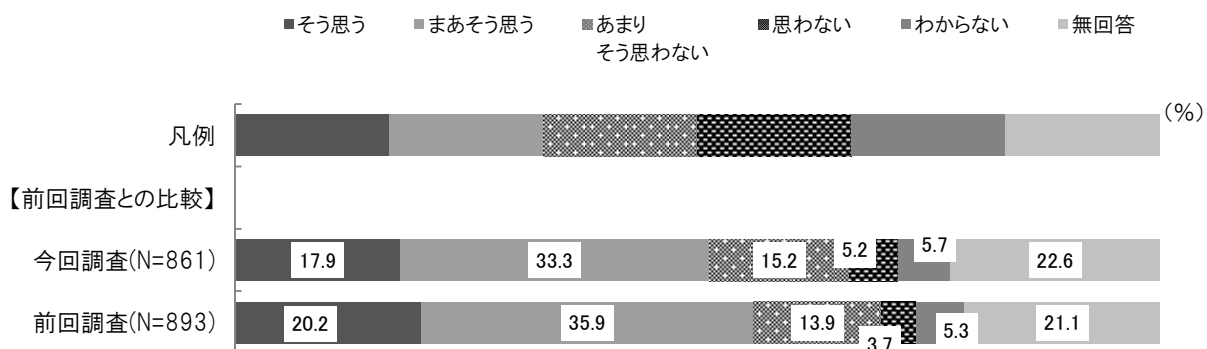
全体で見ると、「まあそう思う」が33.3%と最も多くなっている。

性別で見ると、「そう思う」が男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、30歳代で「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。2世代・3世代同居の世帯で見ると、「まあそう思う」が37.9%と最も多くなっている。



【前回調査との比較】

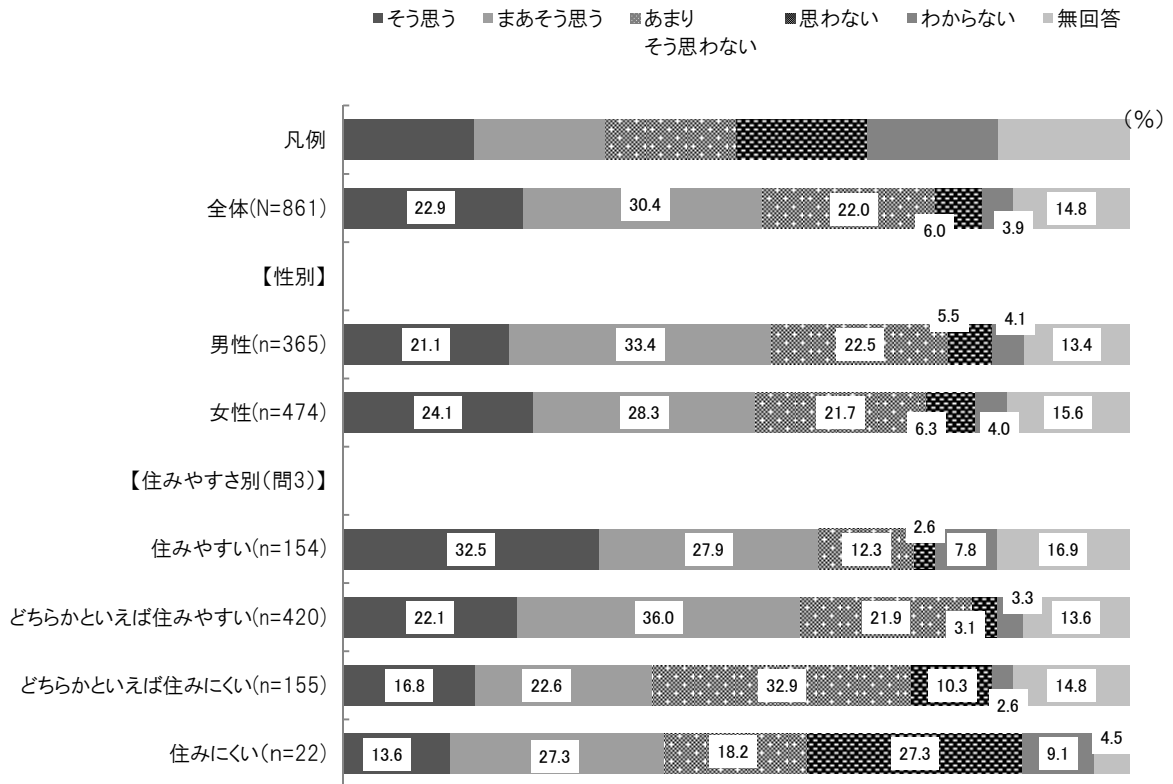
前回調査と比較して、「そう思う」、「まあそう思う」がやや減少している。



5. 高齢者が元気に暮らせるまち

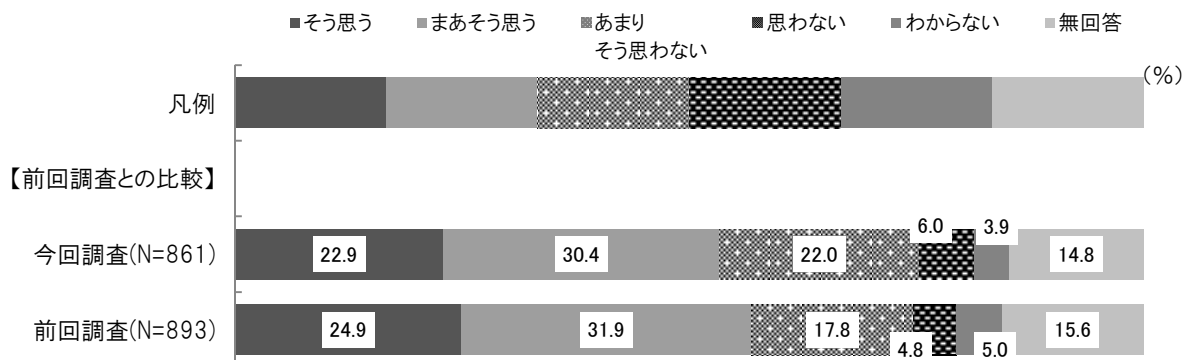
全体で見ると「まあそう思う」が30.4%と最も大きくなっている。

性別で見ると、「まあそう思う」が男性に比較的多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

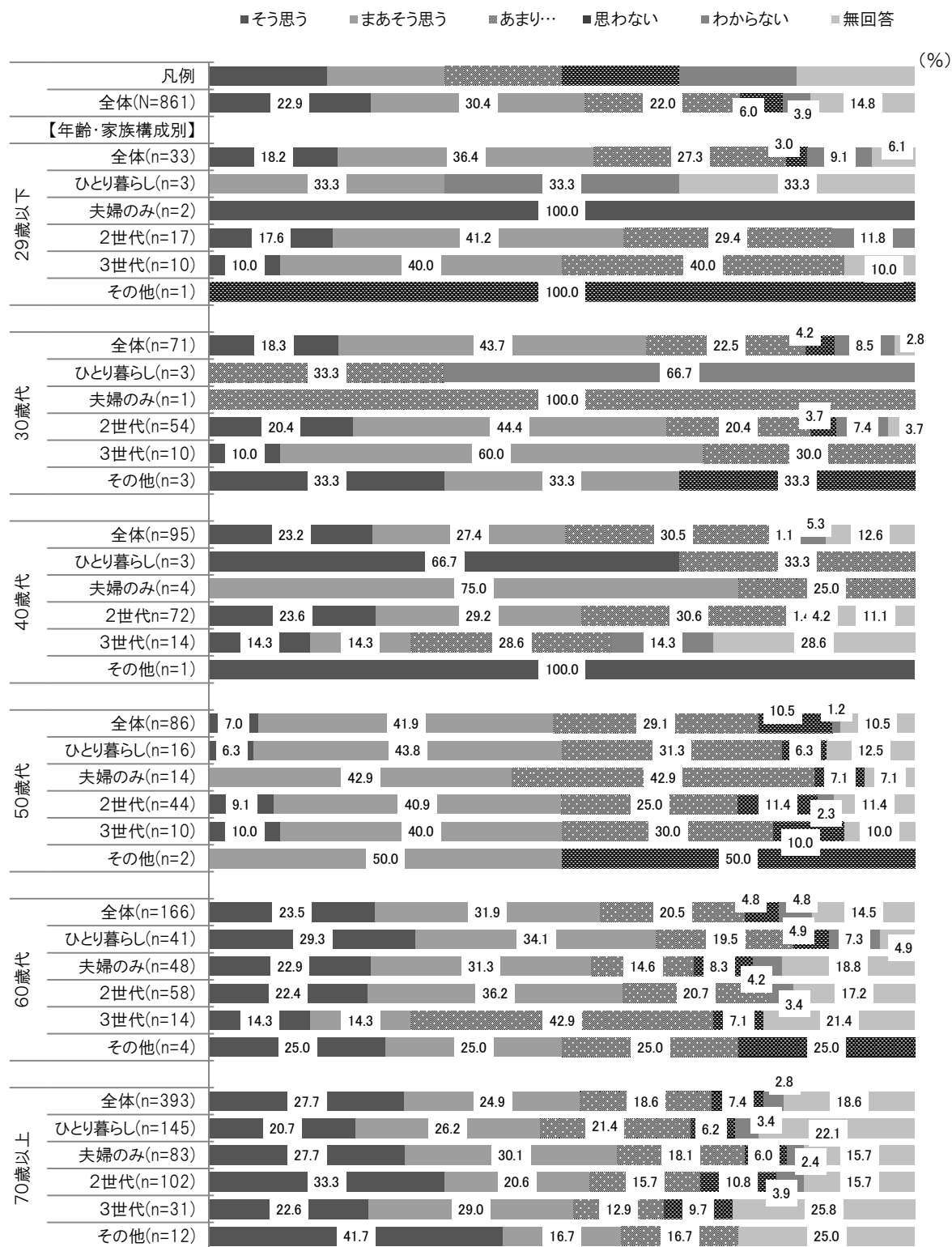


【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「そう思う」、「まあそう思う」がやや減少している。



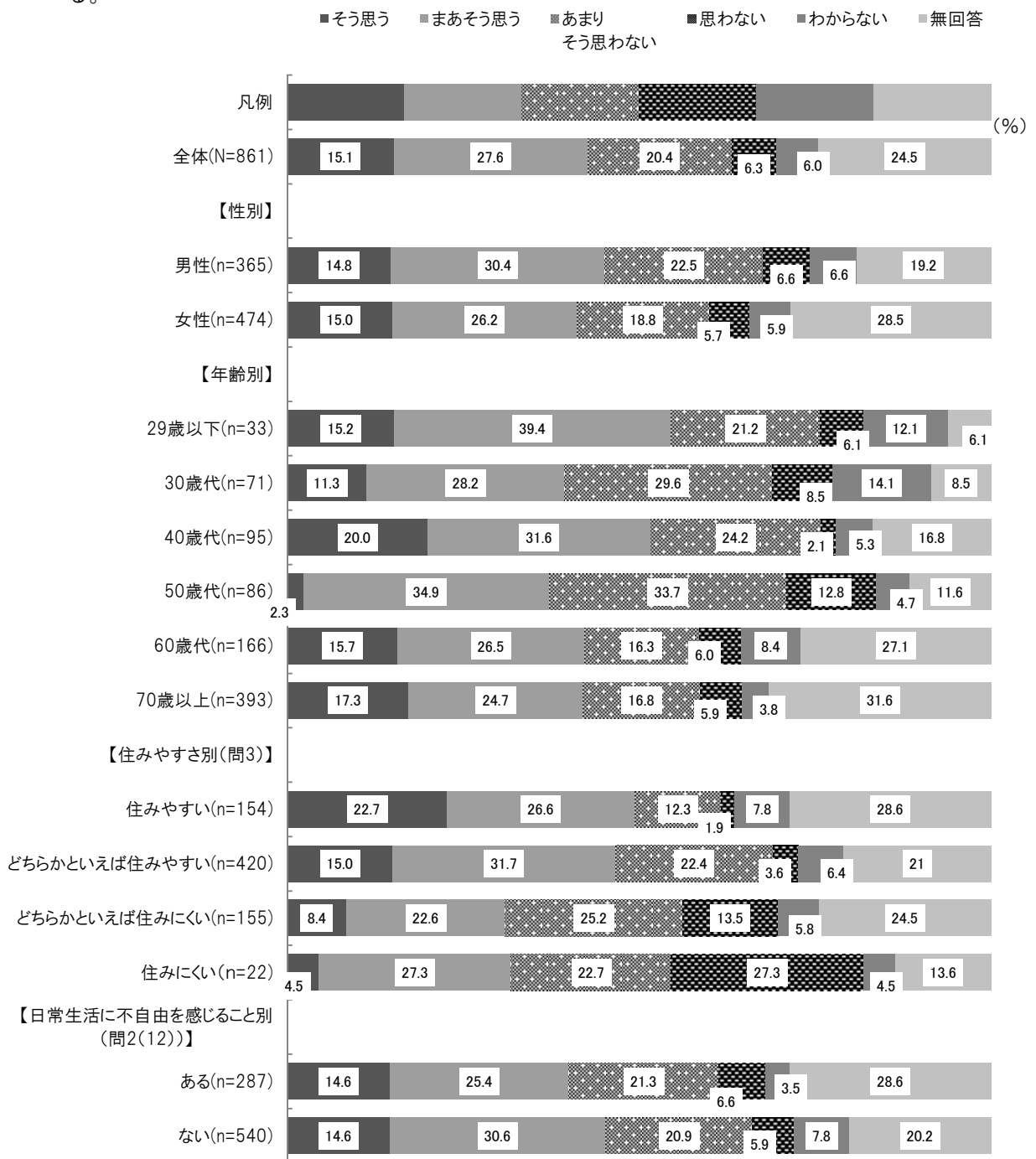
年齢別でみると、30歳代で「まあそう思う」が43.7%と最も多くなっている。また、年齢・家族構成別でみると、nが10以下のものを除くと、30歳代の2世代同居において、「まあそう思う」が44.4%と最も多くなっている。



6. 人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち

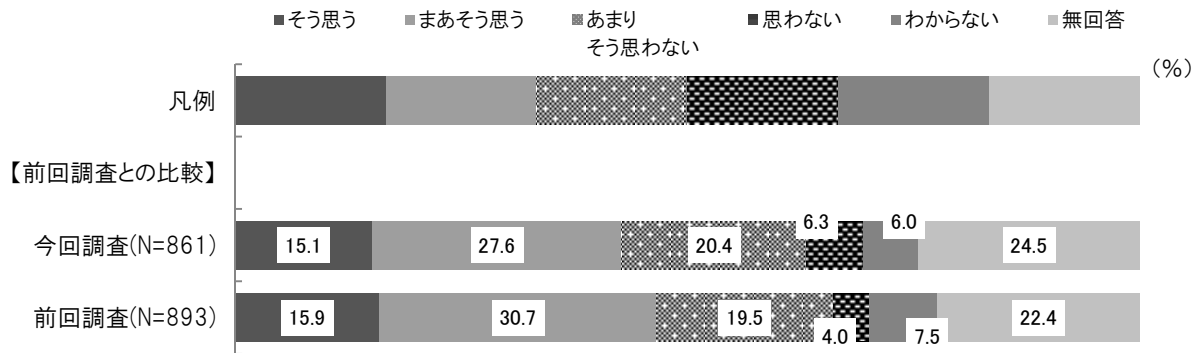
全体で見ると、「まあそう思う」が27.6%と最も多くなっている。

性別で見ると、「まあそう思う」が男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、29歳以下で「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさで見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。日常生活に不自由を感じることで別で見ると「ない」と回答された方のほうが、「まあそう思う」は多くみられる。



【前回調査との比較】

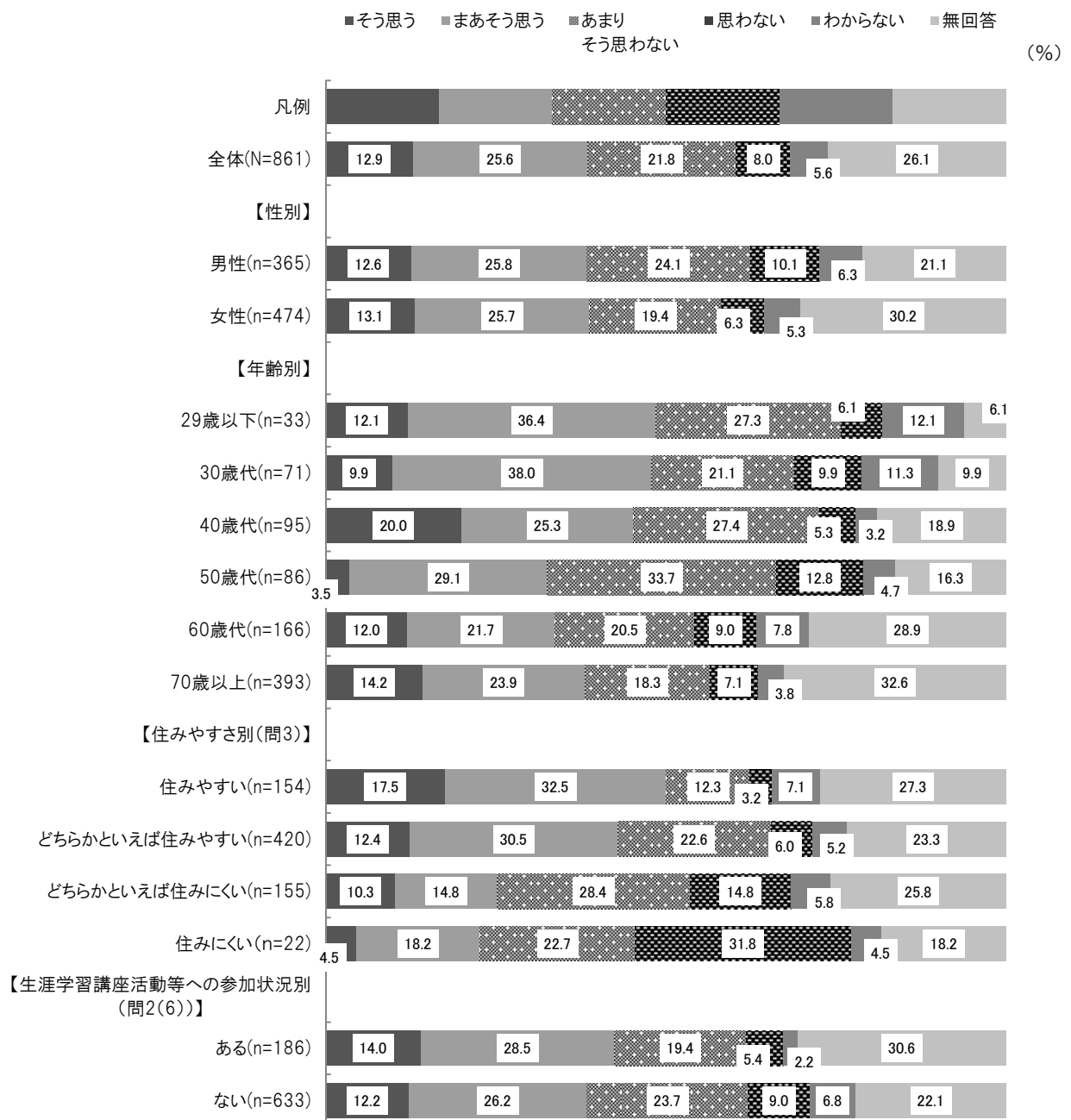
前回調査と比較して「まあそう思う」が減少している。



7. 互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち

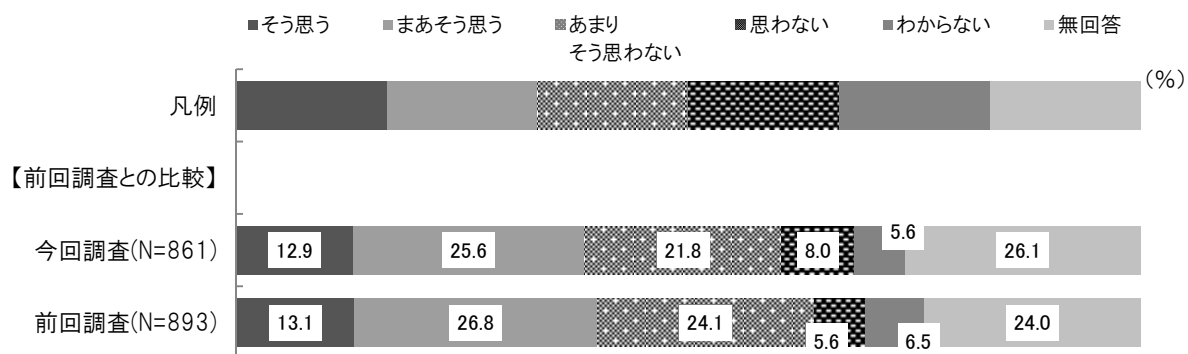
全体で見ると、「まあそう思う」が25.6%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、40歳代において「そう思う」が多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。生涯学習講座活動への参加状況別で見ると、参加したことがある方のほうが「そう思う」、「まあそう思う」がやや多くみられる。



【前回調査との比較】

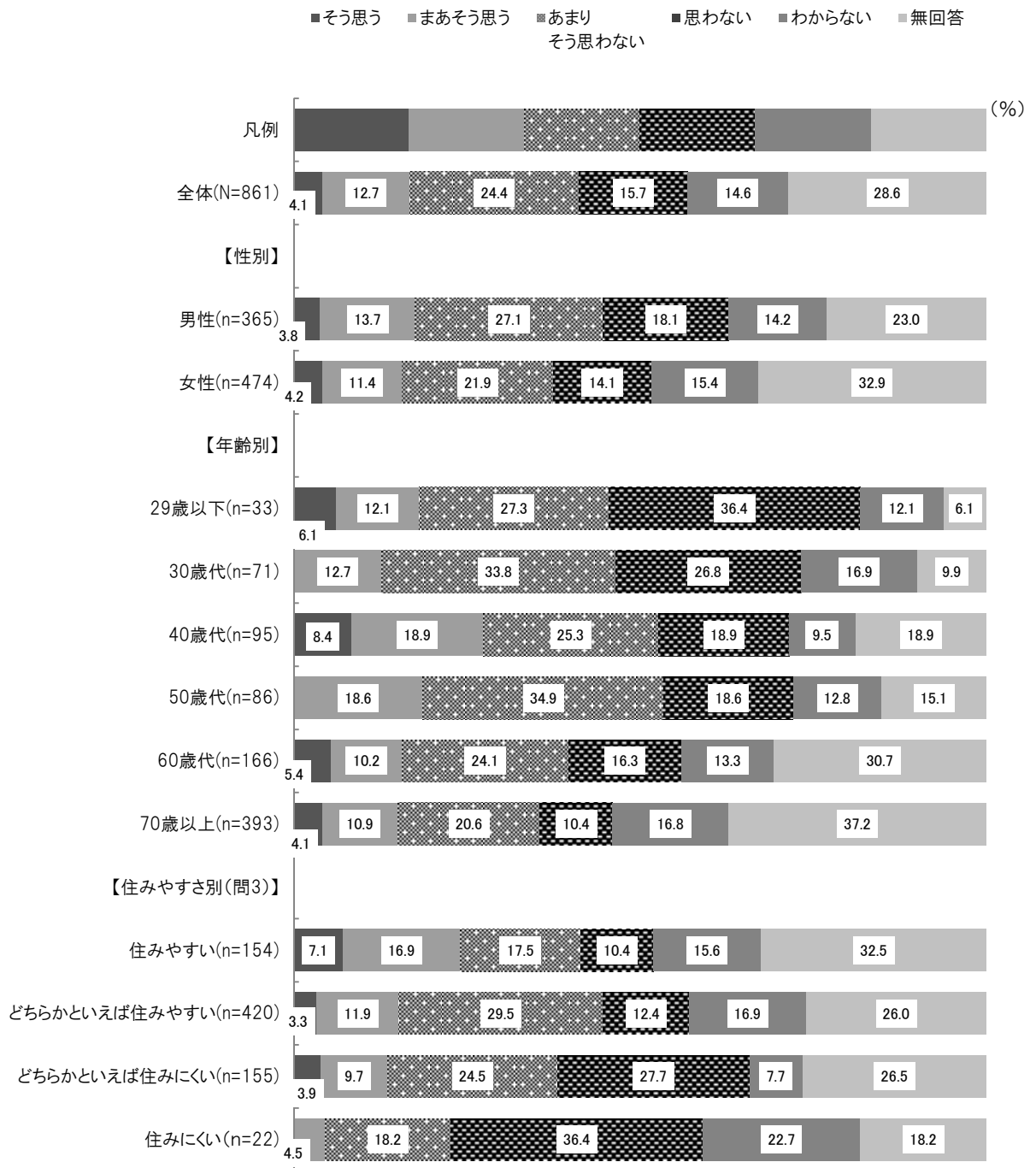
前回調査と比較して、「あまりそう思わない」がやや減少し、「思わない」がやや増加している。



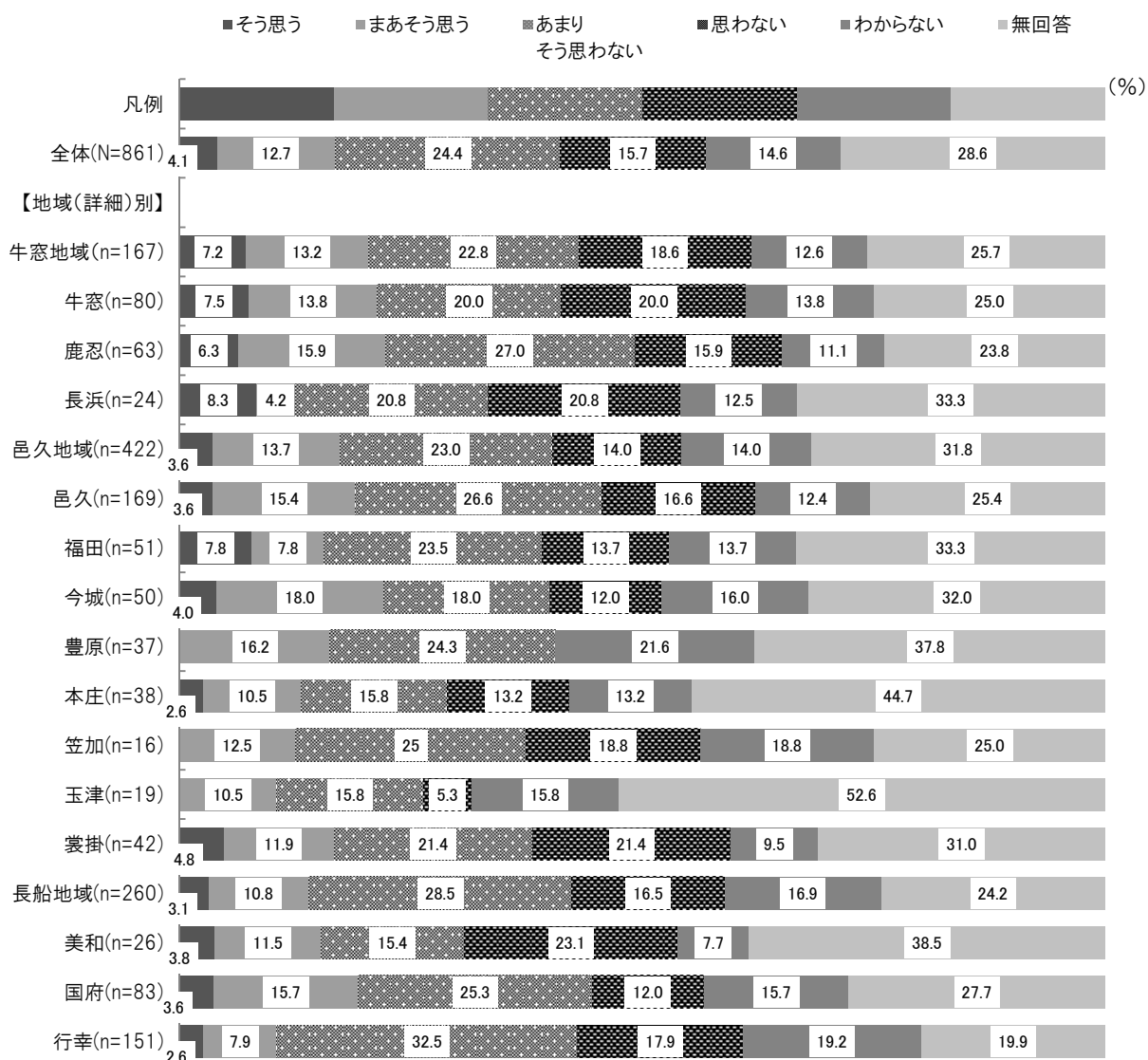
8. 外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が24.4%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別にみると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」「まあそう思う」が多くなる傾向があり、相関関係がみられる。

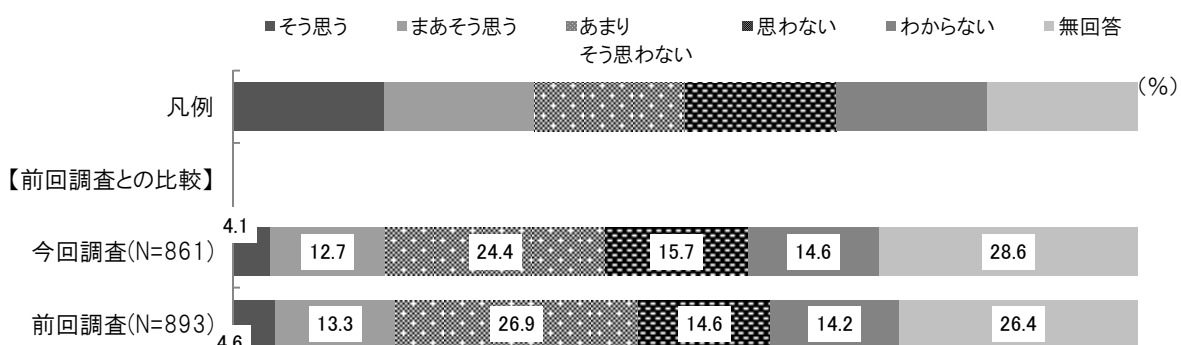


地域別でみると、牛窓地区では「そう思う」が比較的多くみられ、長船地区では「あまりそう思わない」が比較的多くみられる。



【前回調査との比較】

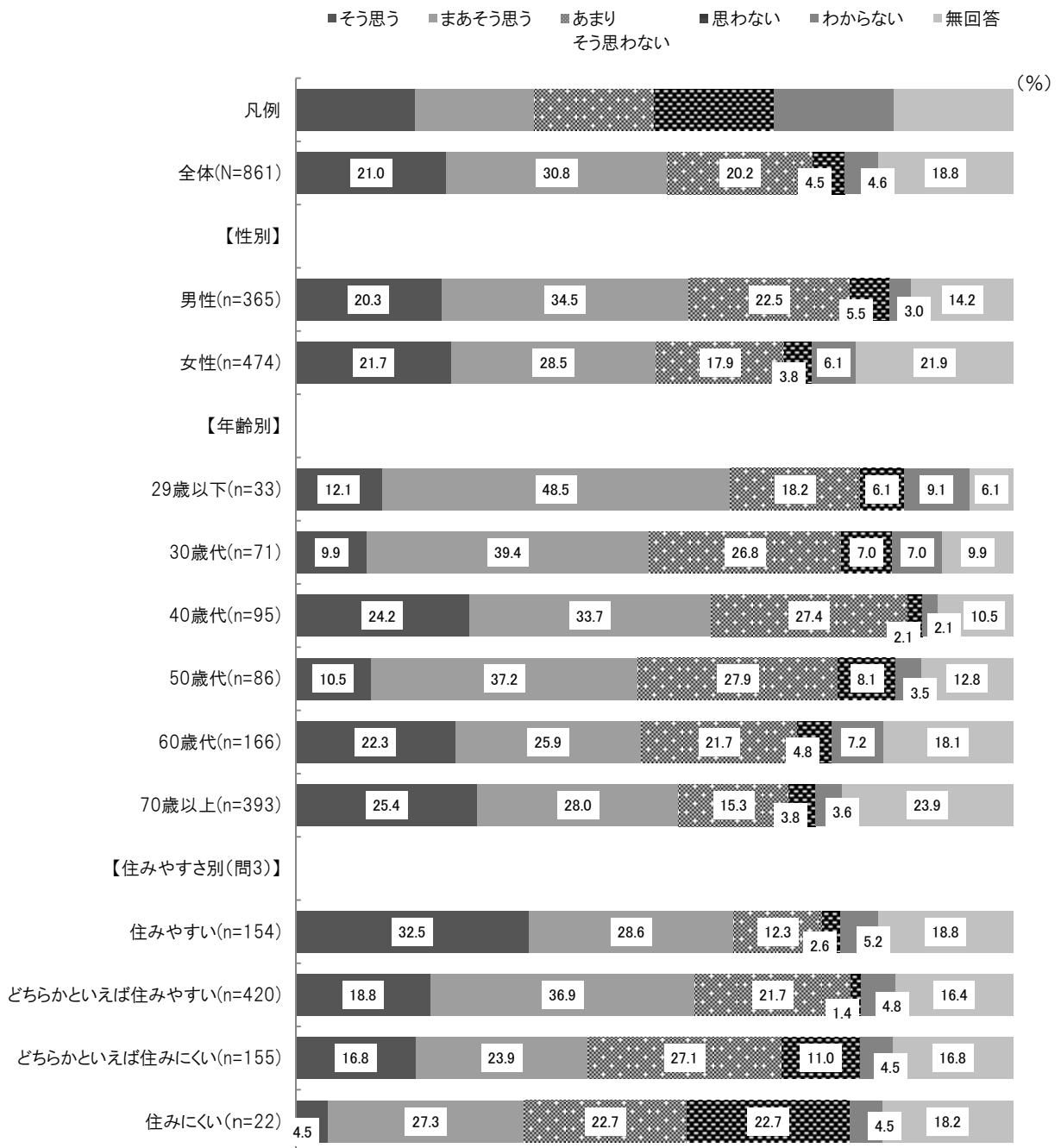
前回調査と比較して、「あまりそう思わない」がやや減少している。



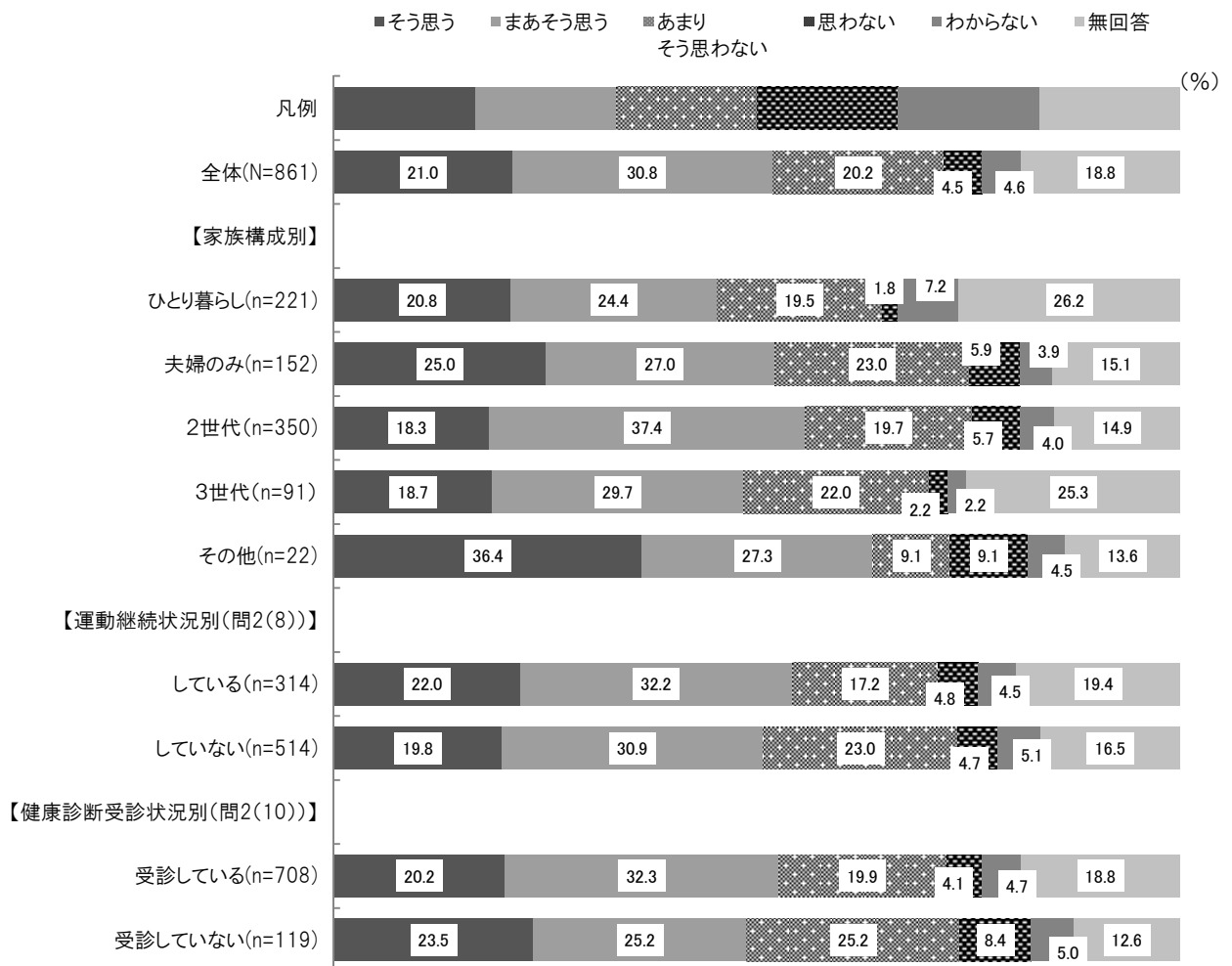
9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち

全体でみると、「まあそう思う」が30.8%と最も多くなっている。

性別でみると、「まあそう思う」が男性において比較的多くみられる。年齢別でみると、29歳以下で「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別でみると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

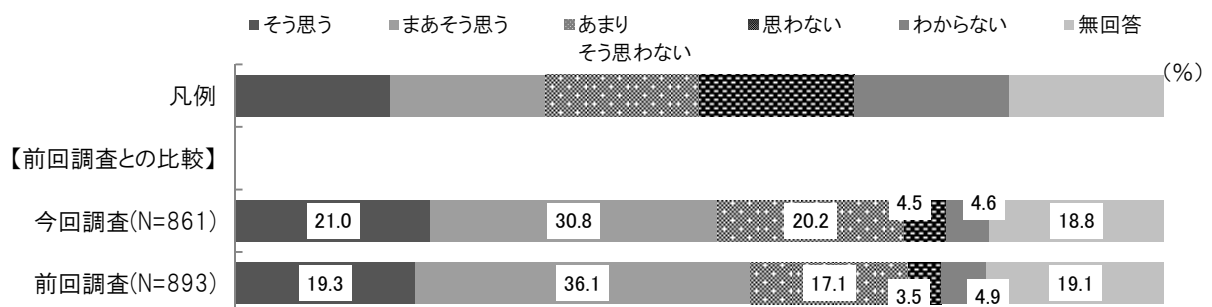


家族構成別でみると、2世代同居世帯において「まあそう思う」が最も多くみられる。
 運動継続状況別にみると、「している」と回答した方が「そう思う」がやや多くなっている。健康診断受診状況別でみると、「受診している」と回答した方において「まあそう思う」が多くなっている。



【前回調査との比較】

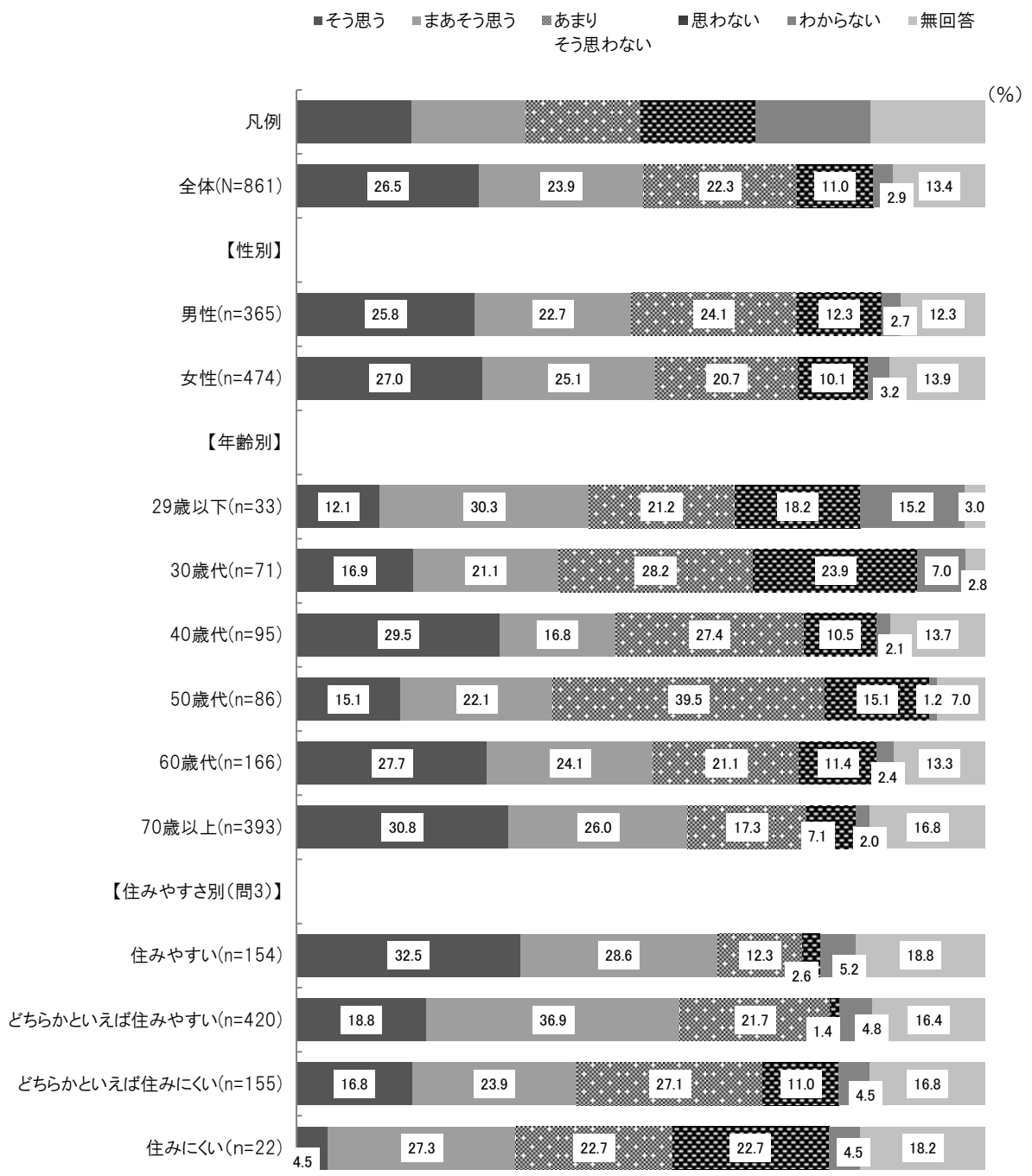
前回調査と比較して、「まあそう思う」が減少している。



10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち

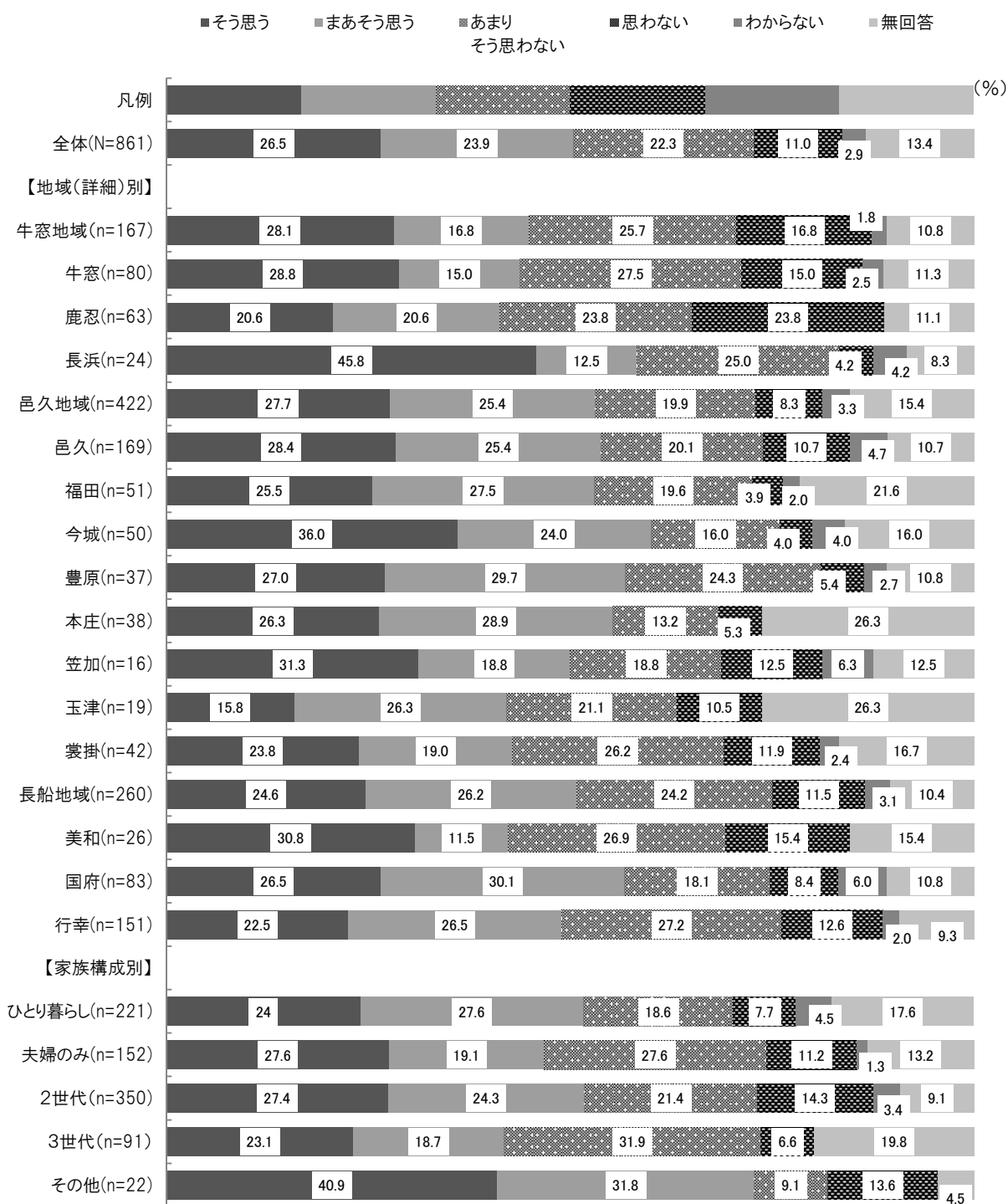
全体で見ると、「そう思う」が26.5%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、70歳以上において「そう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

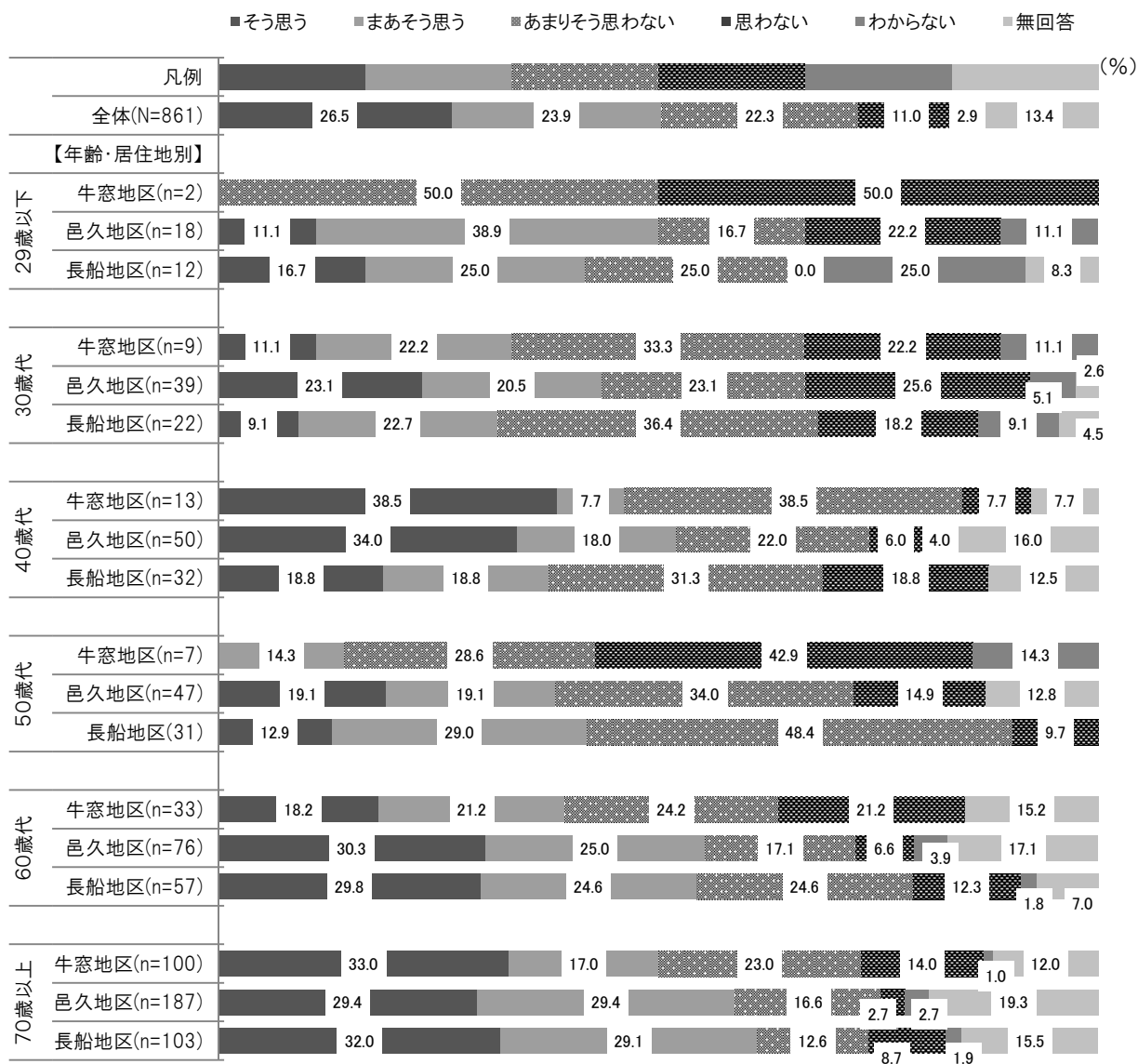


地域別でみると、牛窓地域内の長浜において「そう思う」が最も多くなっている。また、「思わない」が最も多くなっているのは、同牛窓地域内の鹿忍となっている。

家族構成別でみると、その他において「そう思う」、「まあそう思う」が最も多くなっており、3世代同居世帯において、「あまりそう思わない」が比較的多くみられる。

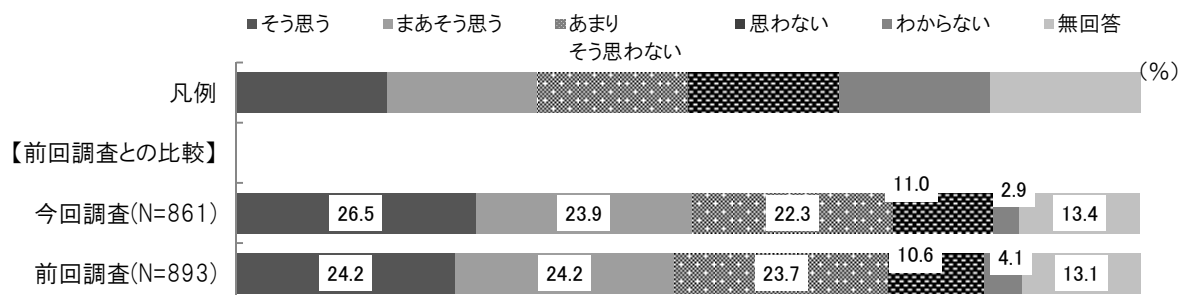


年齢・住居地別でみると、40歳代の牛窓地区において「そう思う」が最も多くなっており、nが10以下を除くと30歳代の邑久地区において「思わない」が最も多くなっている。



【前回調査との比較】

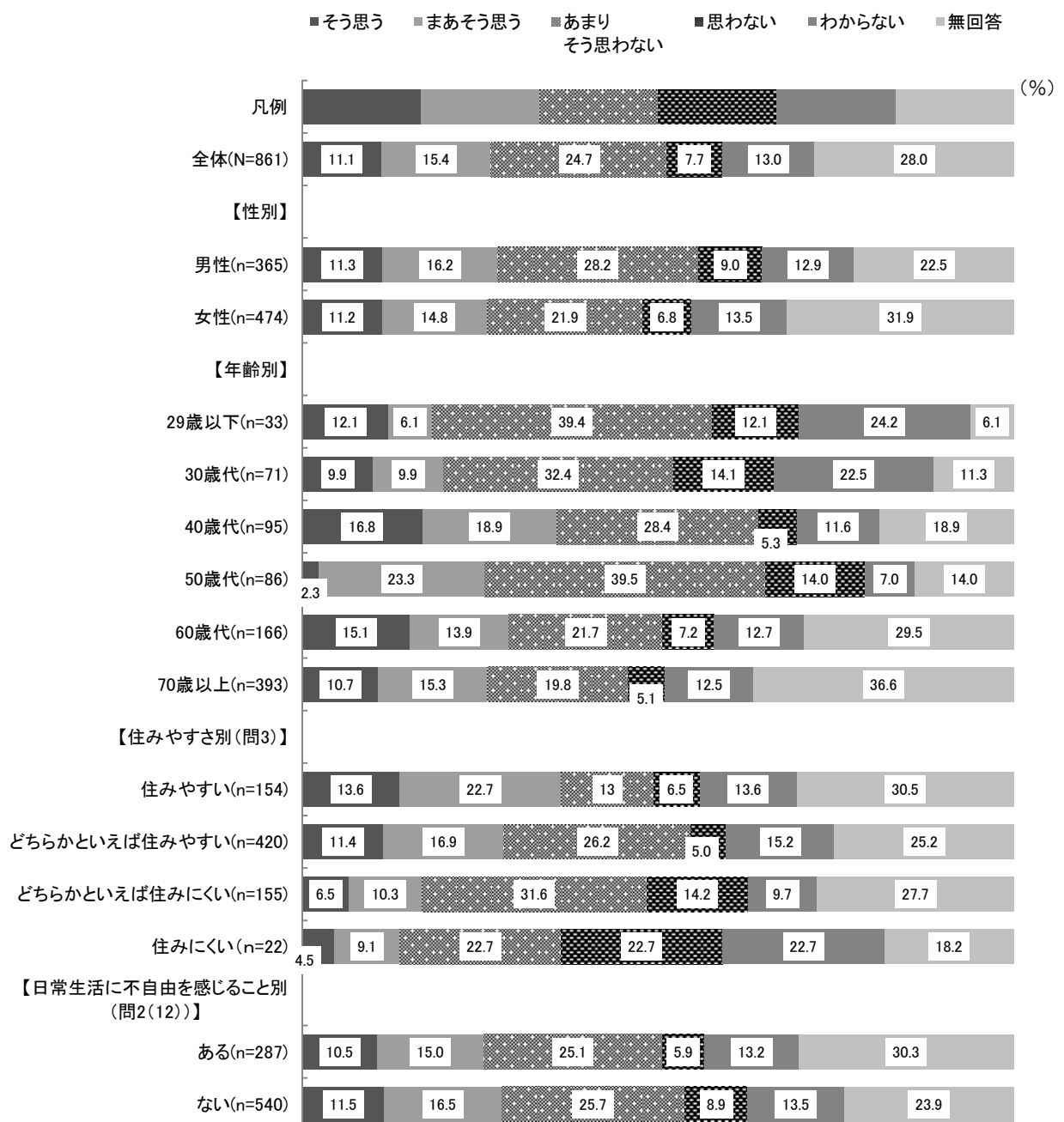
前回調査と比較して、「そう思う」がやや増加している。



11. 障がい者が明日へ希望が持てるまち

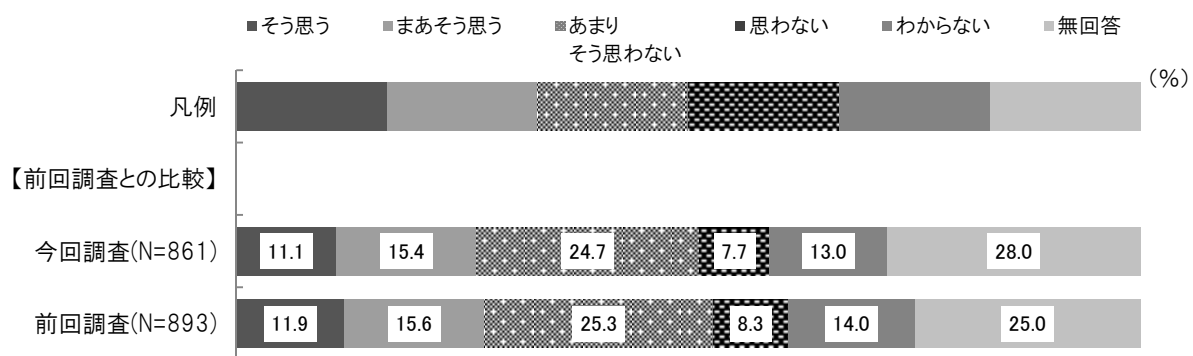
全体でみると、「あまりそう思わない」が24.7%と最も多くなっている。

性別でみると、「あまりそう思わない」については男性に多くみられる。年齢別でみると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別でみると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。日常生活に不自由を感じることもあると回答された方が、「思わない」が少なくなっている。



【前回調査との比較】

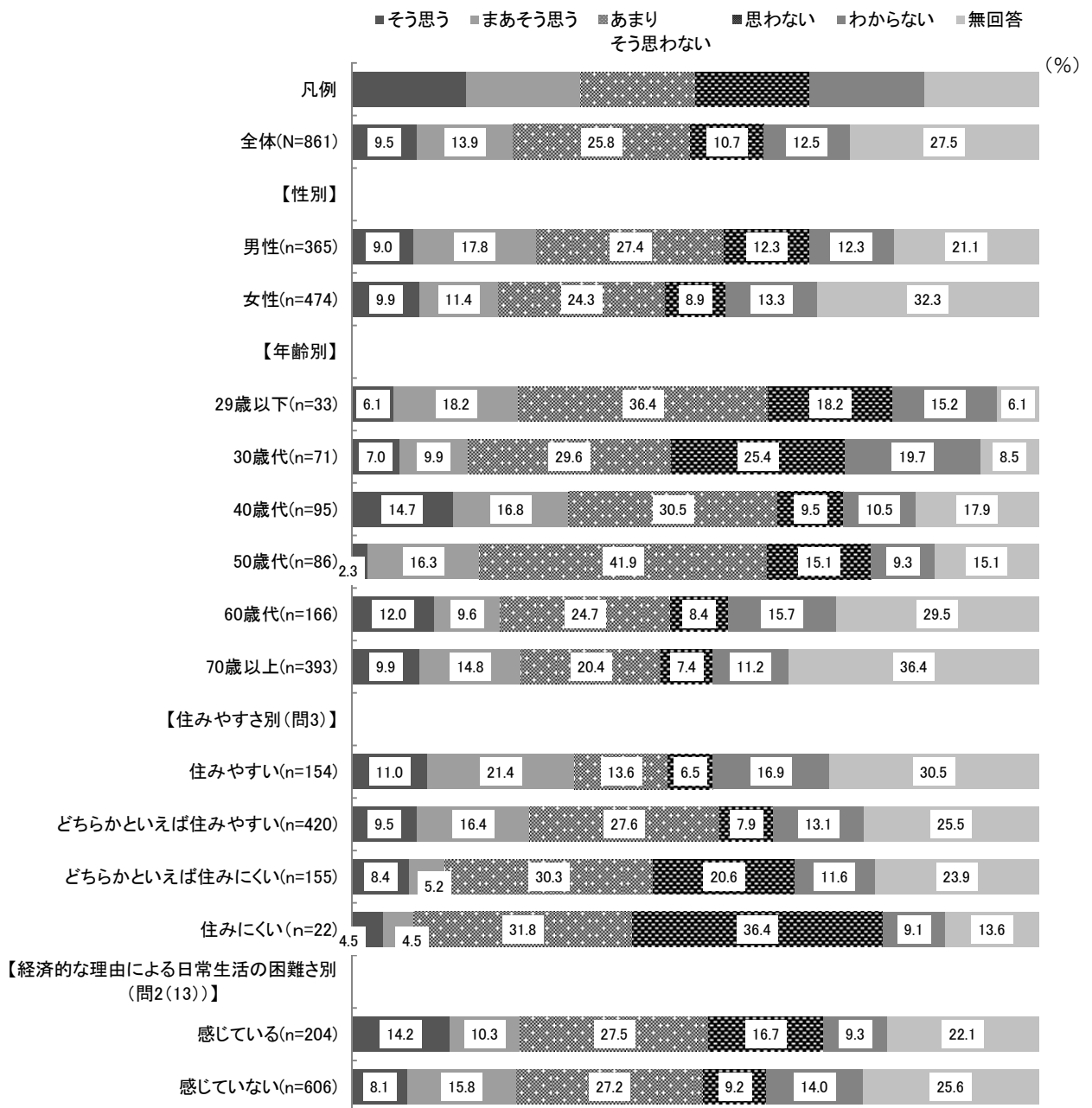
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



12. 生活に困窮する人が自立できるまち

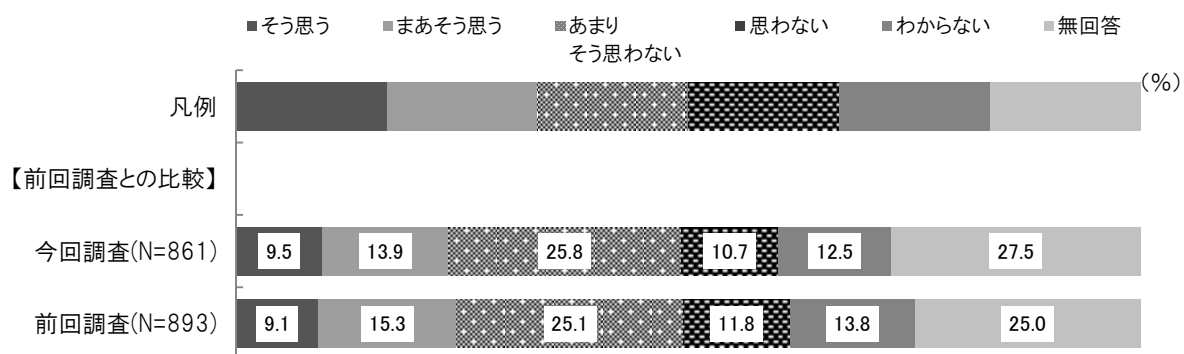
全体で見ると、「あまりそう思わない」が25.8%と最も多くなっている。

性別で見ると、「まあそう思う」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。経済的な理由による日常生活の困難さを感じていると回答された方のほうが「そう思う」が多くみられる。



【前回調査との比較】

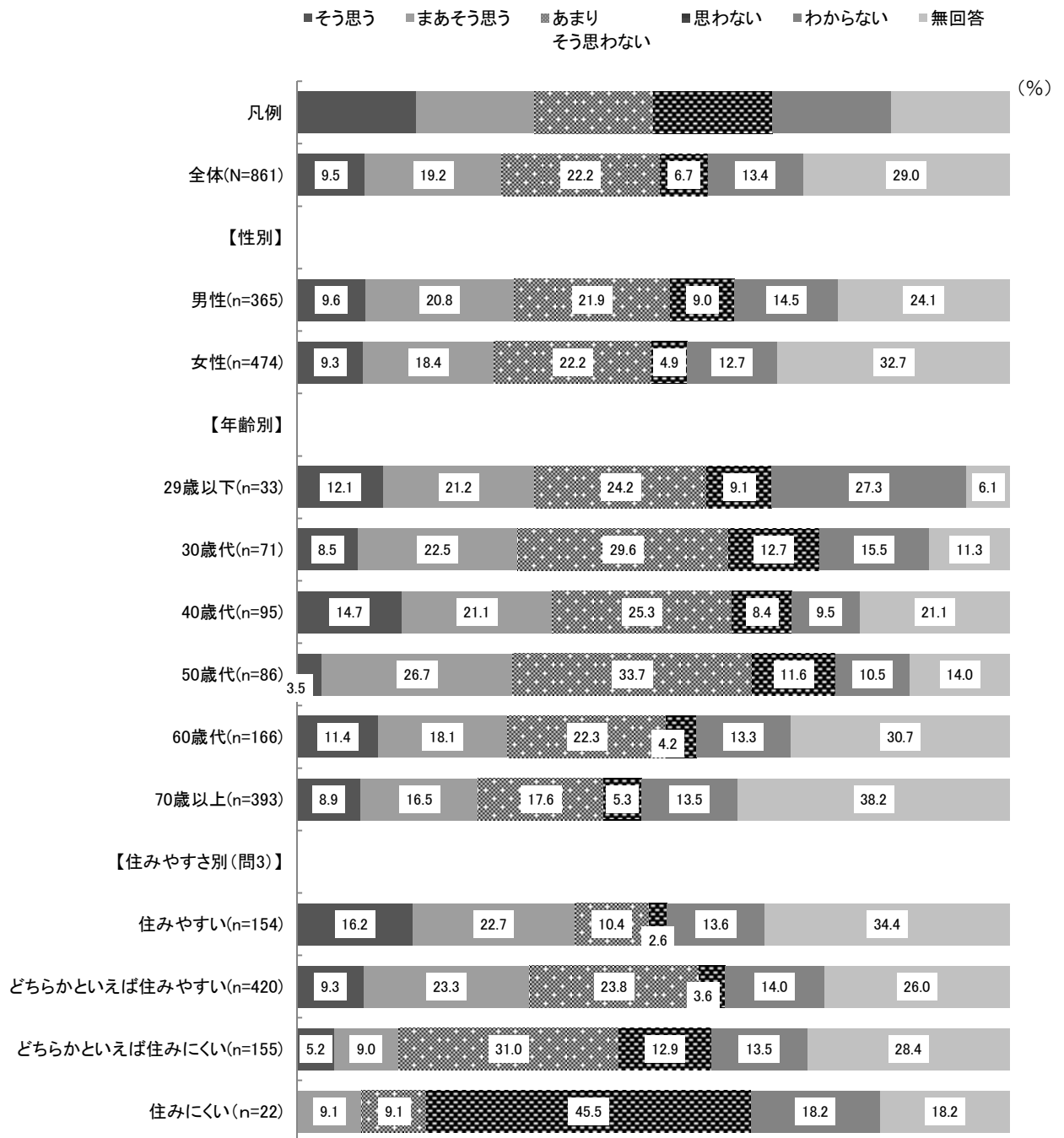
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



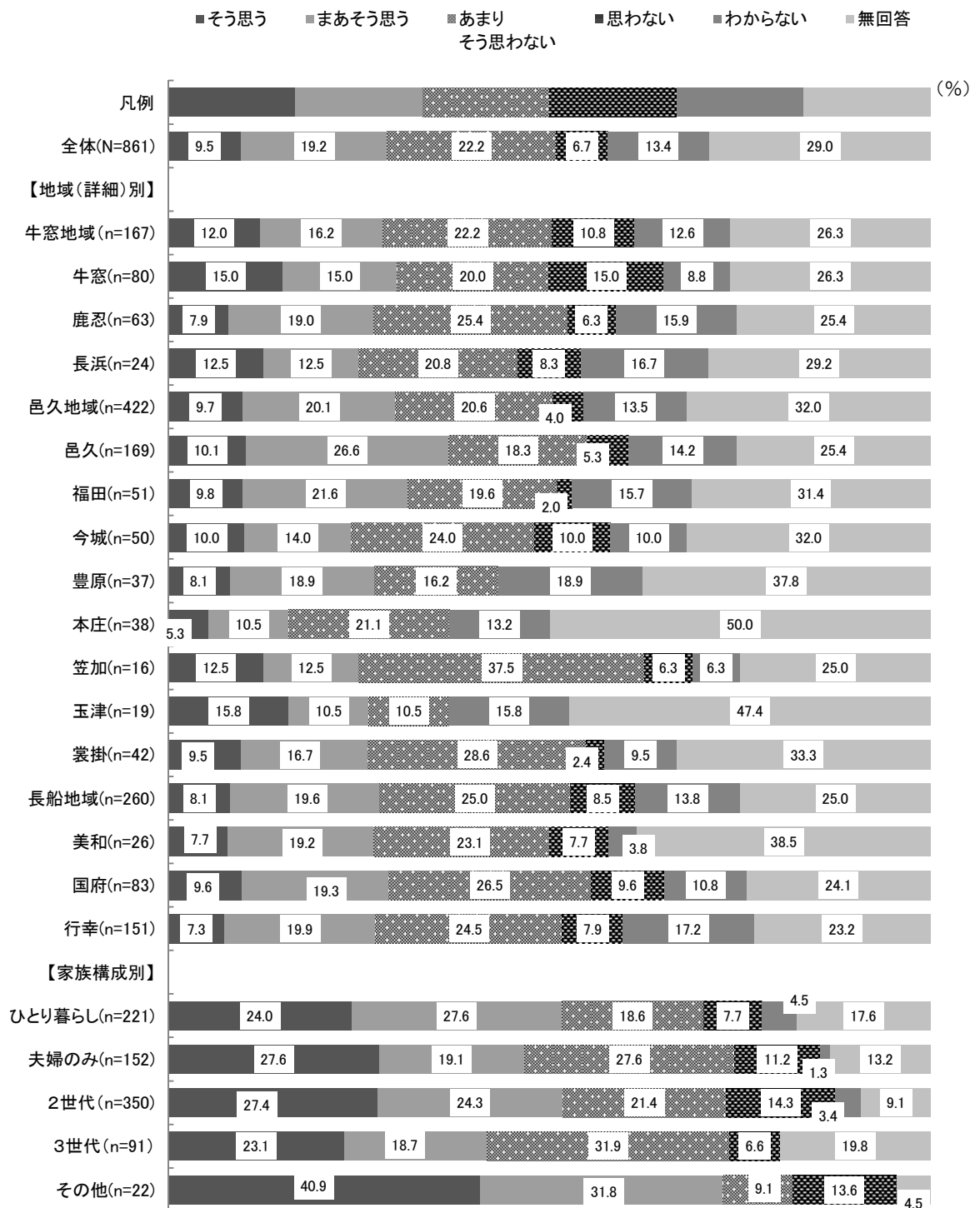
13. 市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が22.2%と最も多くなっている。

性別で見ると、「思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

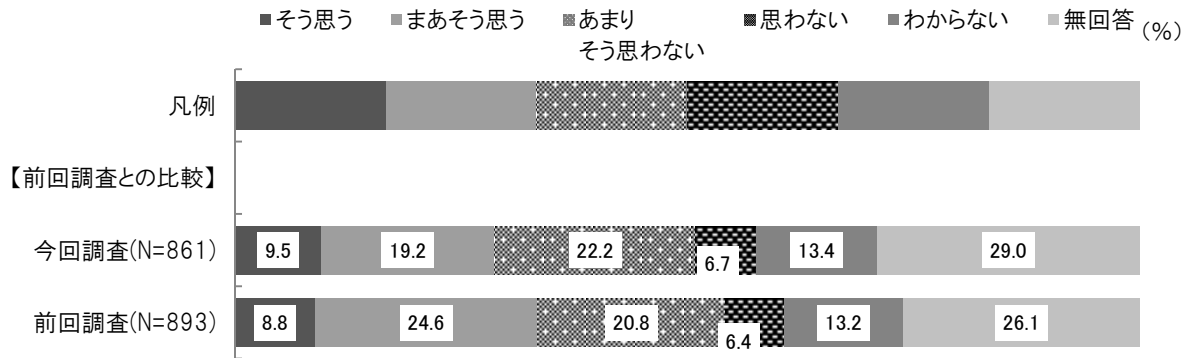


地域別でみると、「そう思う」については牛窓、玉津などが多くなっており、本庄においては「そう思う」、「まあそう思う」とも比較的少なくなっている。家族構成別にみると、その他において、「そう思う」、「まあそう思う」が比較的多くなっている。



【前回調査との比較】

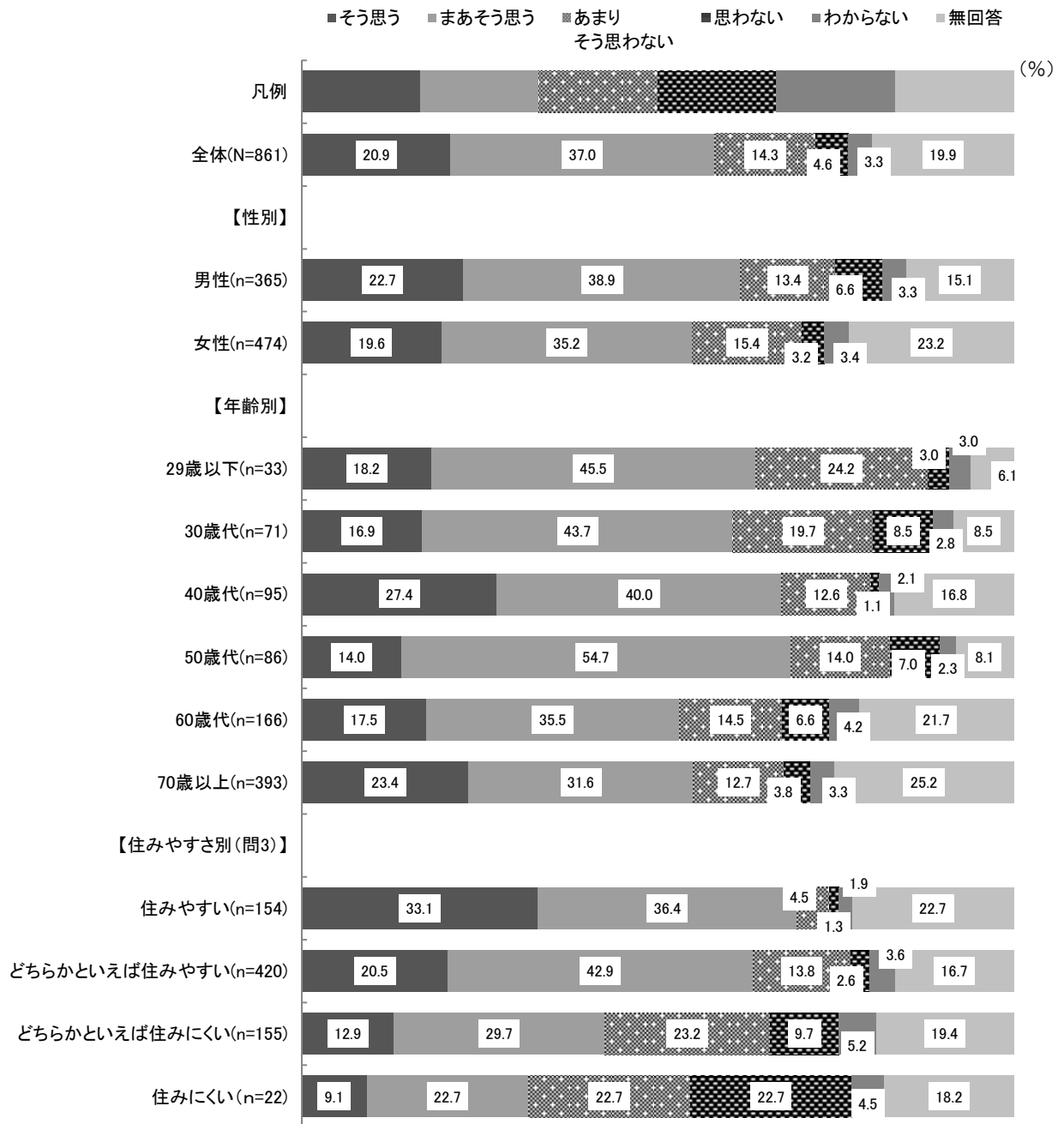
前回調査と比較して、「まあそう思う」が減少している。



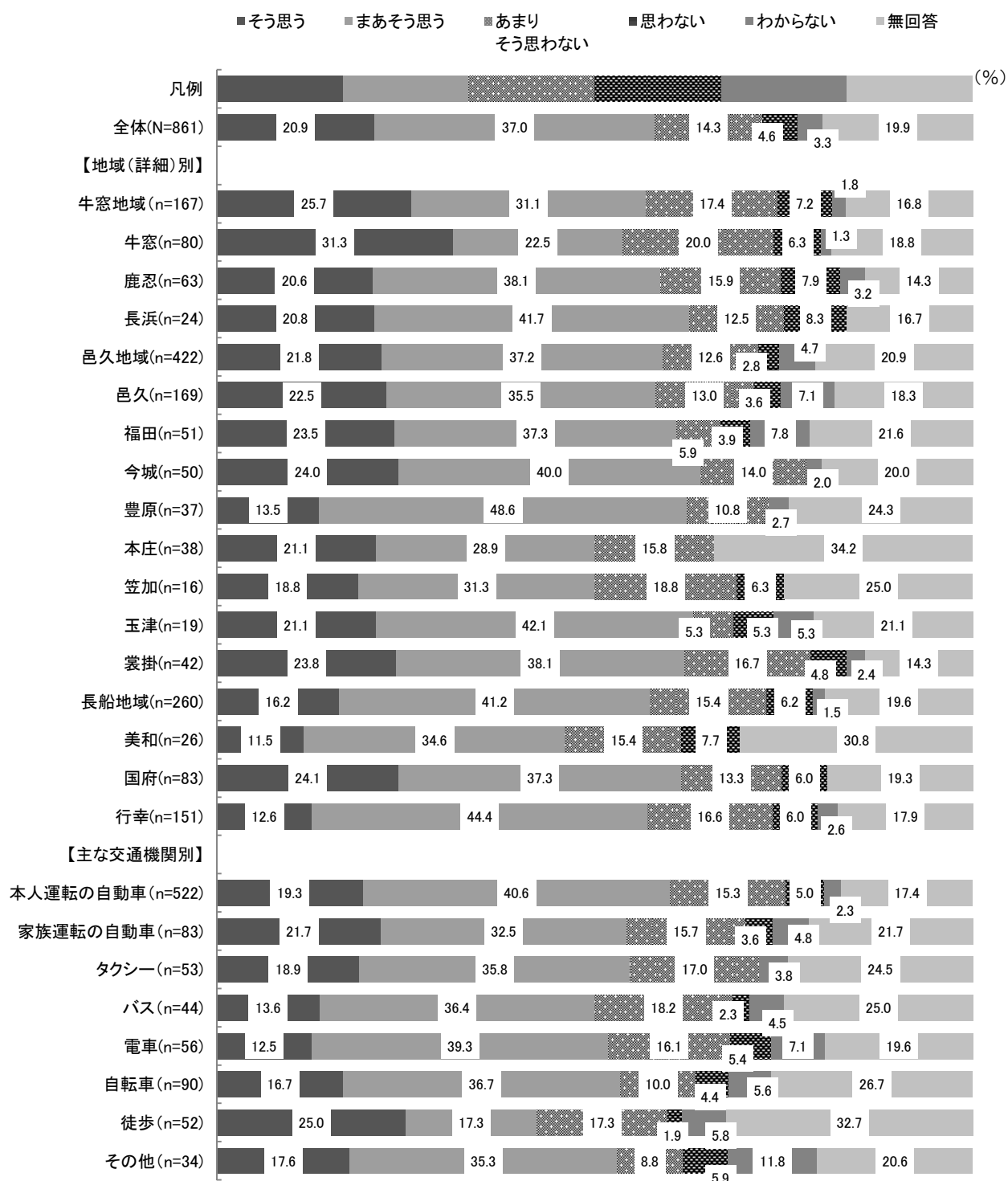
14. 人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち

全体で見ると、「まあそう思う」が37.0%と最も多くなっている。

性別で見ると、「まあそう思う」が男性で比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

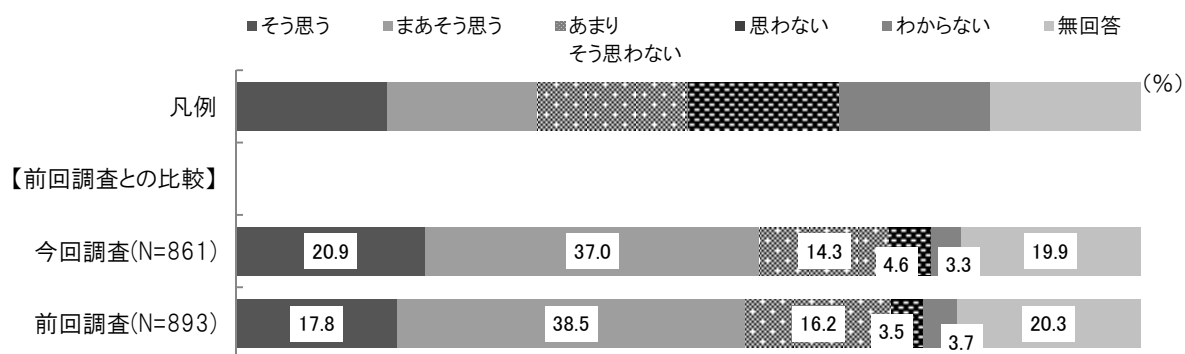


地域別でみると、「そう思う」については牛窓において多くなっており、美和においては「そう思う」が比較的少なくなっている。主な交通機関別にみると、「本人運転の自動車」において「まあそう思う」が比較的が多くなっており、「徒歩」において「そう思う」が多くなっている。



【前回調査との比較】

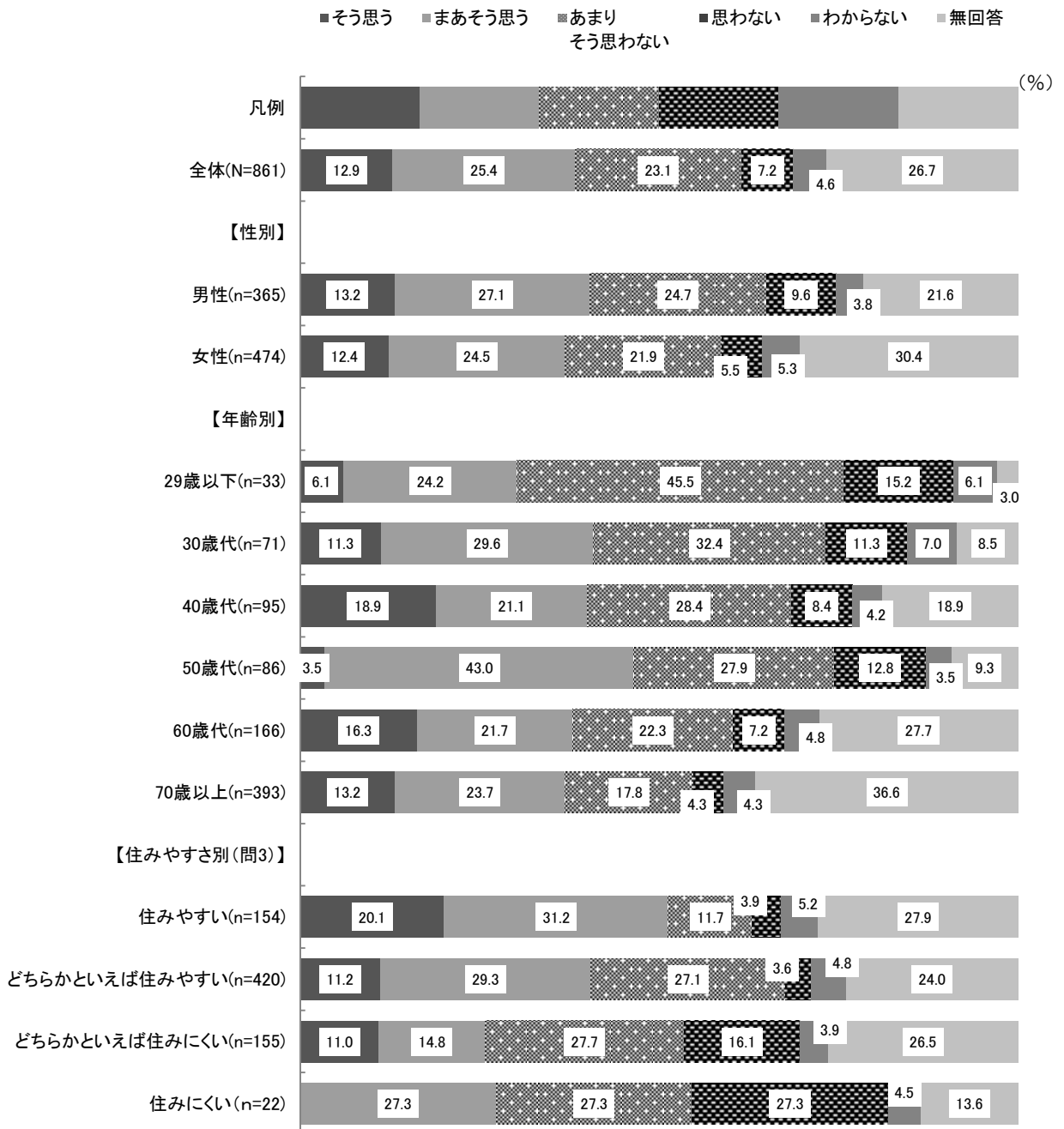
前回調査と比較して、「そう思う」が増加している。



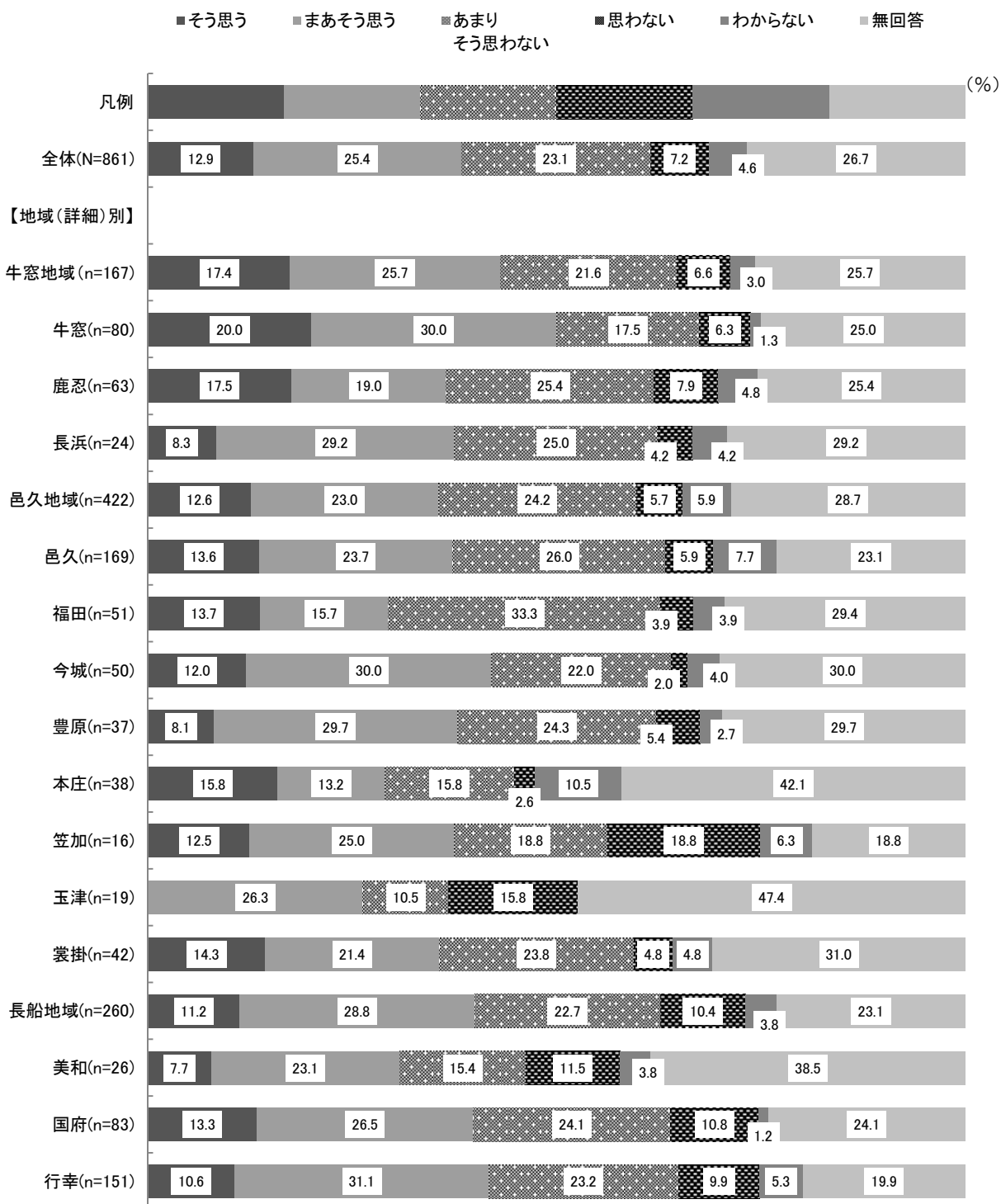
15. 地域みんなで防犯に力を入れているまち

全体でみると、「まあそう思う」が25.4%と最も多くなっている。

性別でみると、大きな男女差はみられない。年齢別でみると、50歳代において「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別でみると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

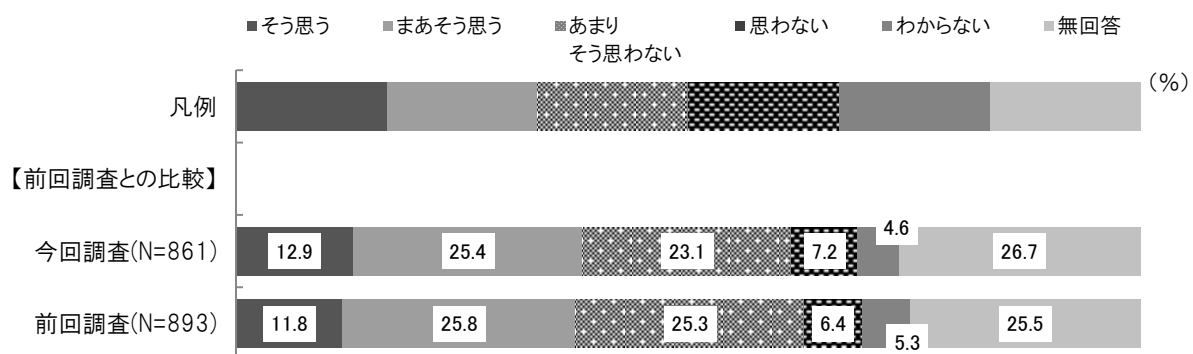


地域別でみると、牛窓地域では「そう思う」が比較的多くっており、笠加、玉津などにおいては「思わない」が比較的多くなっている。



【前回調査との比較】

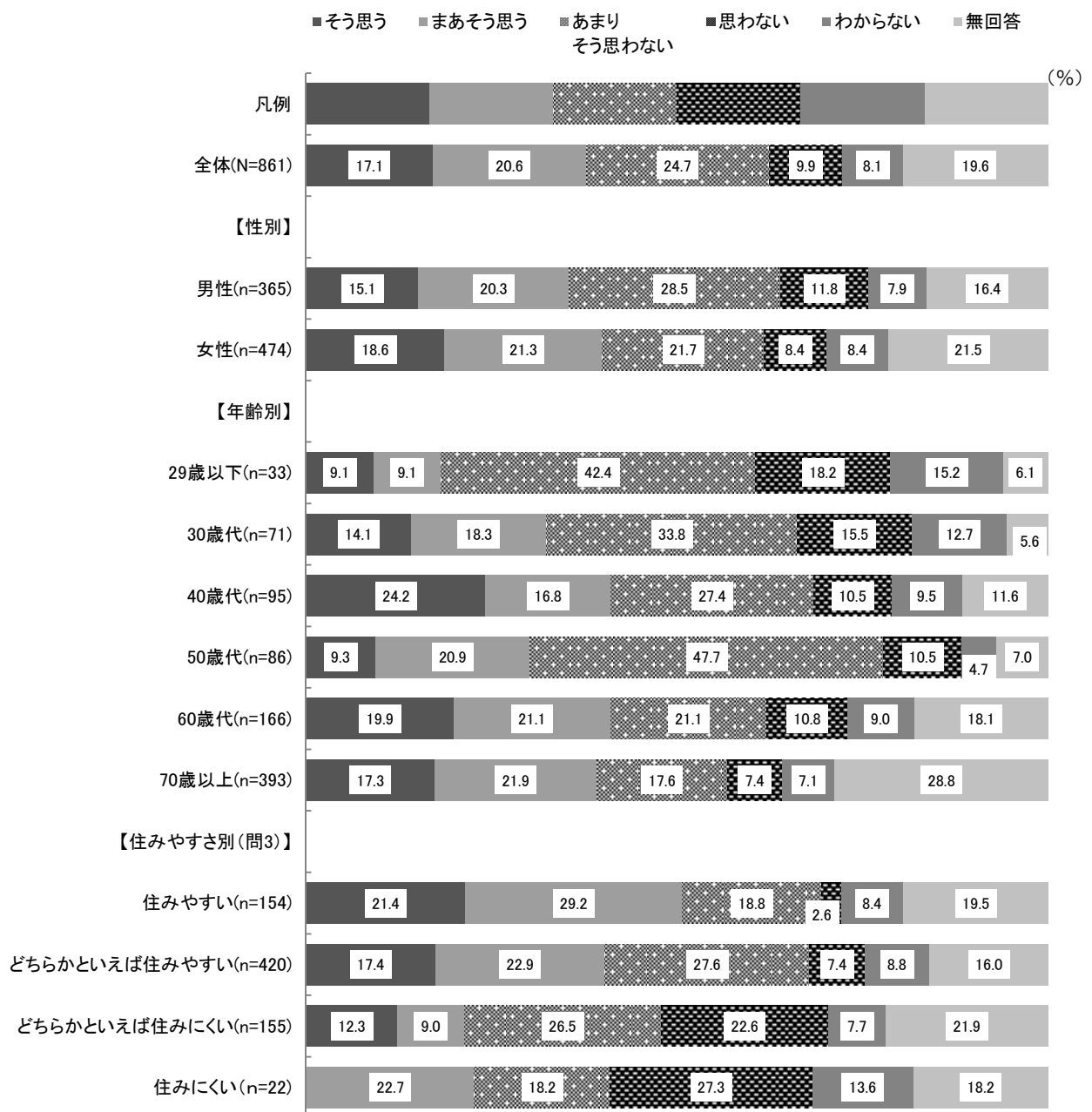
前回調査と比較して、「あまりそう思わない」がやや減少している。



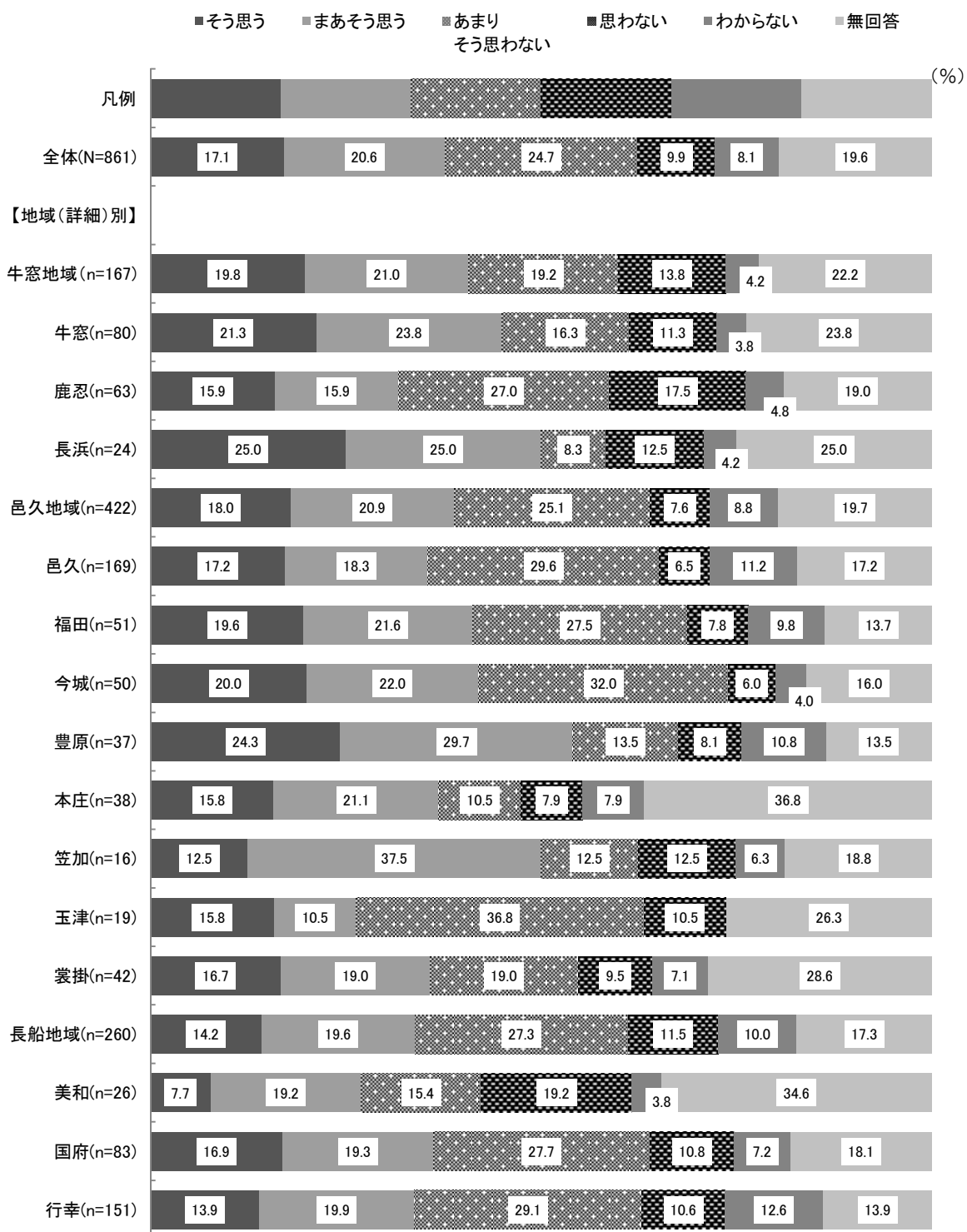
16. 防災体制が整っており、災害に強いまち

全体でみると、「あまりそう思わない」が24.7%と最も多くなっている。

性別でみると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別でみると、40歳代で「そう思う」が最も多くみられ、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別でみると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

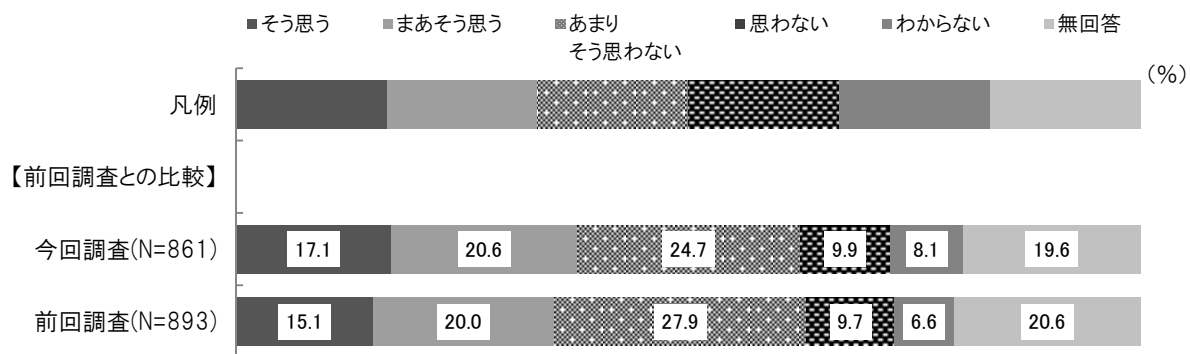


地域別でみると、「そう思う」については長浜、豊原などが多くなっており、美和、鹿忍などでは、「思わない」が比較的が多くなっている。



【前回調査との比較】

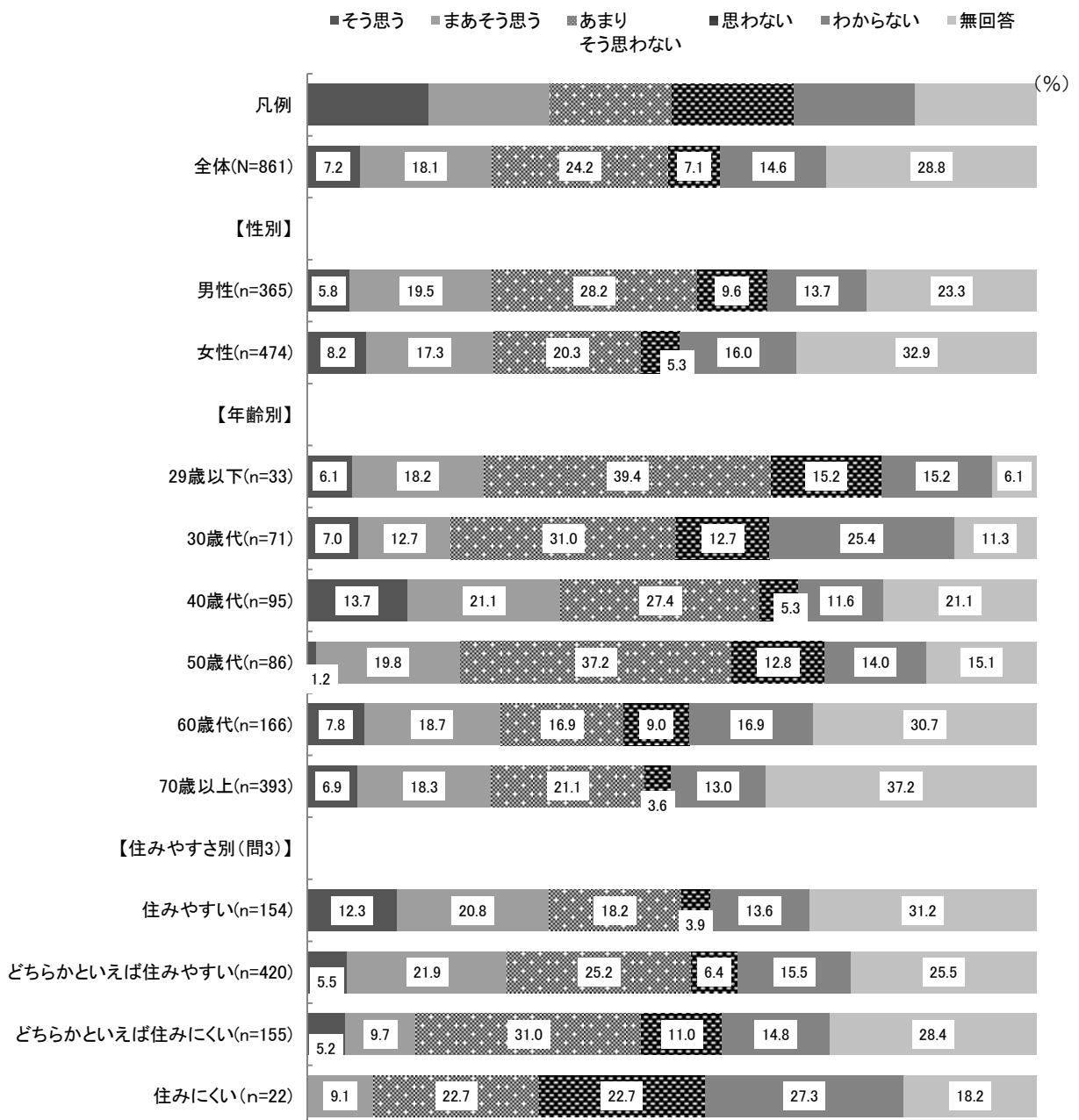
前回調査と比較して、「そう思う」がやや増加している。



17. かしこい消費者が多いまち

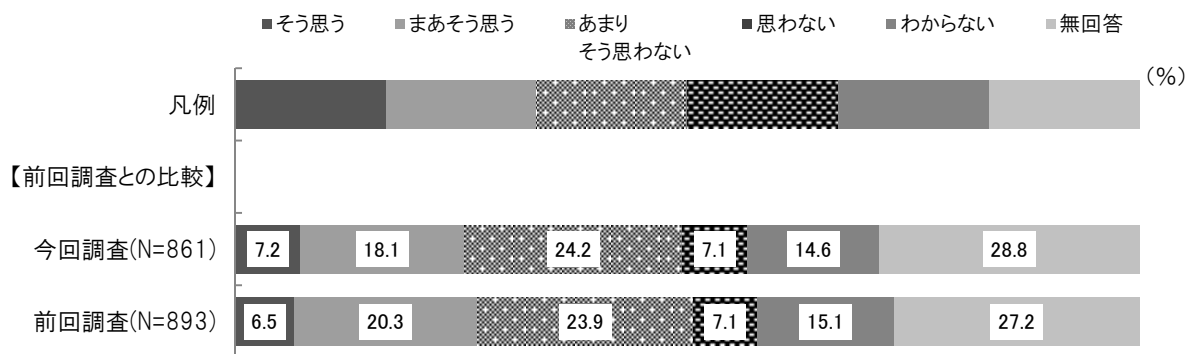
全体で見ると、「あまりそう思わない」が24.2%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、40歳代で「そう思う」が多くみられ、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。



【前回調査との比較】

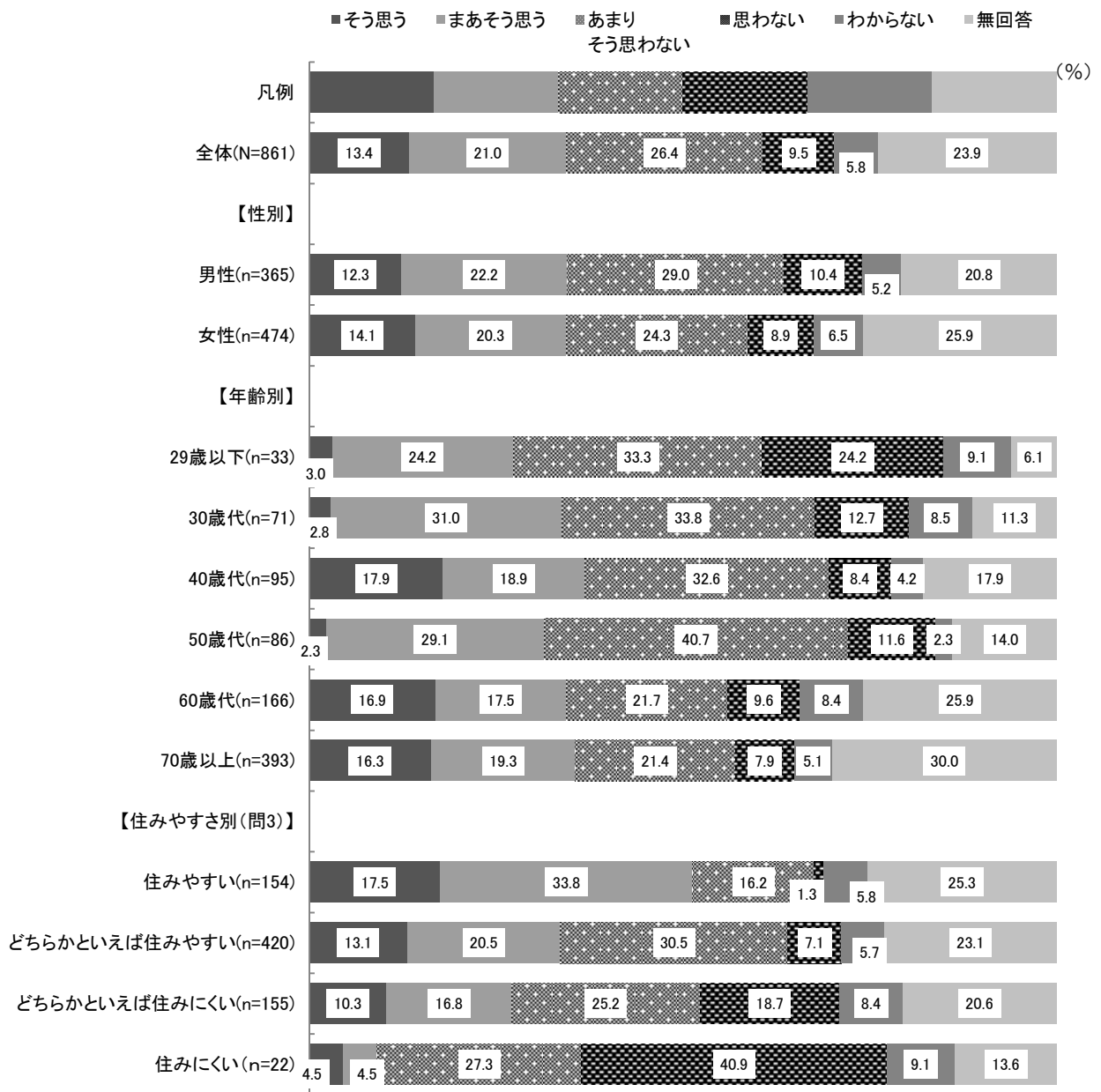
前回調査と比較して、「まあそう思う」がやや減少している。



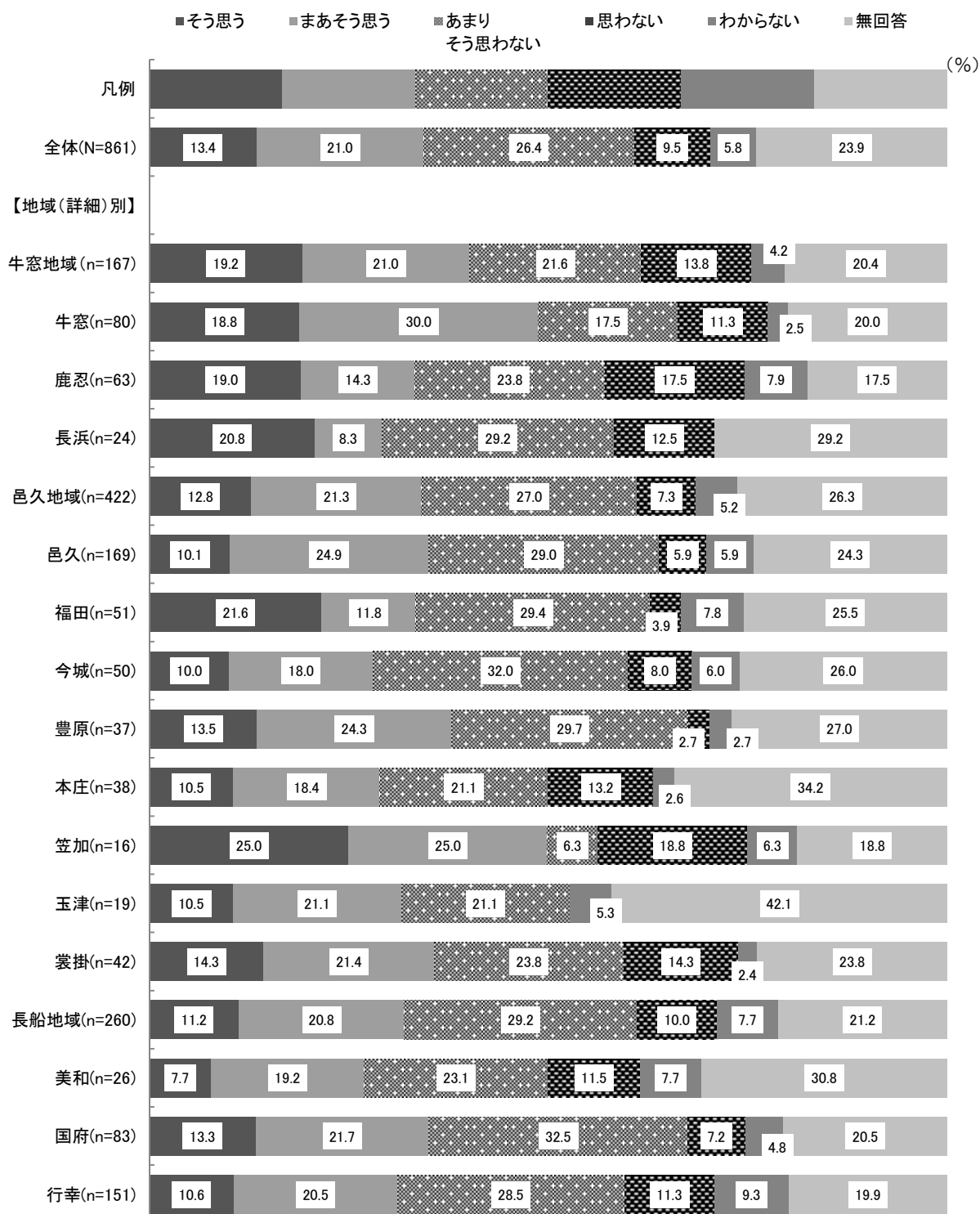
18. 子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が26.4%と最も多くなっている。

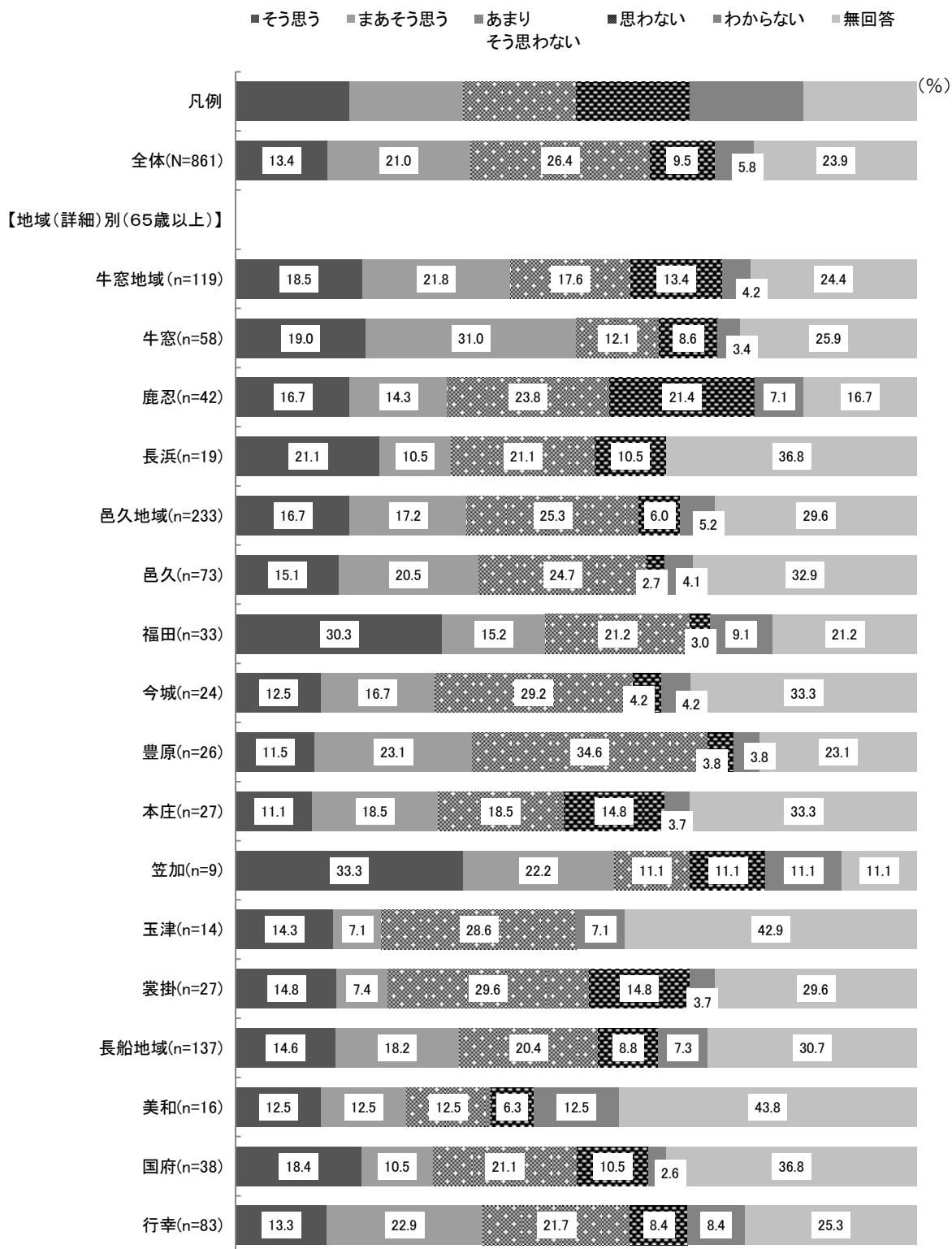
性別で見ると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、30歳代、50歳代において、「まあそう思う」が比較的多くみられ、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。



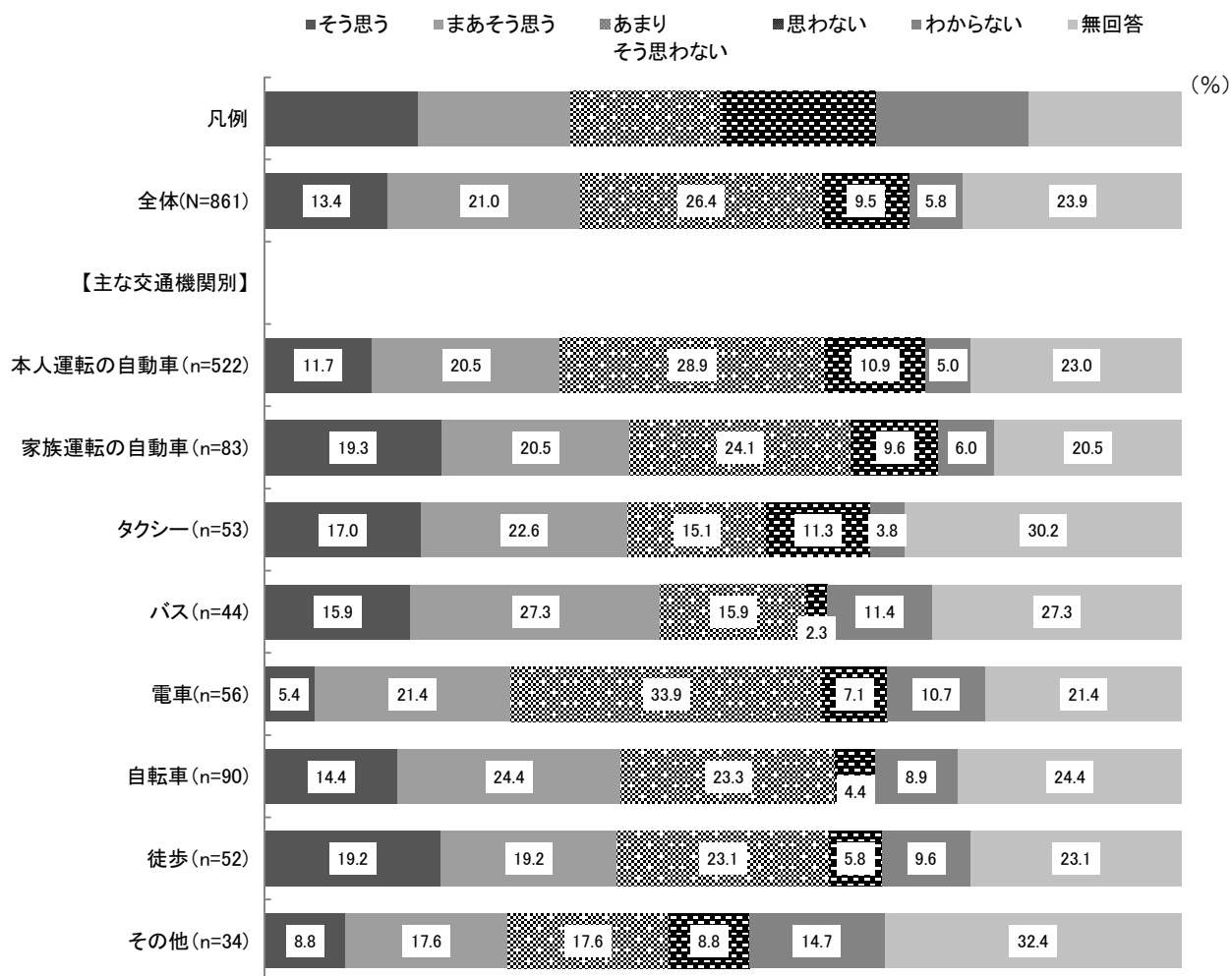
地域別でみると、「そう思う」については笠加、福田などが多くっており、鹿忍、笠加においては「思わない」が比較的多くになっている。



65歳以上の方の回答を地域別で見ると、「そう思う」については笠加、福田などが多くなっており、鹿忍、本庄、裳掛においては「思わない」が比較的多くなっている

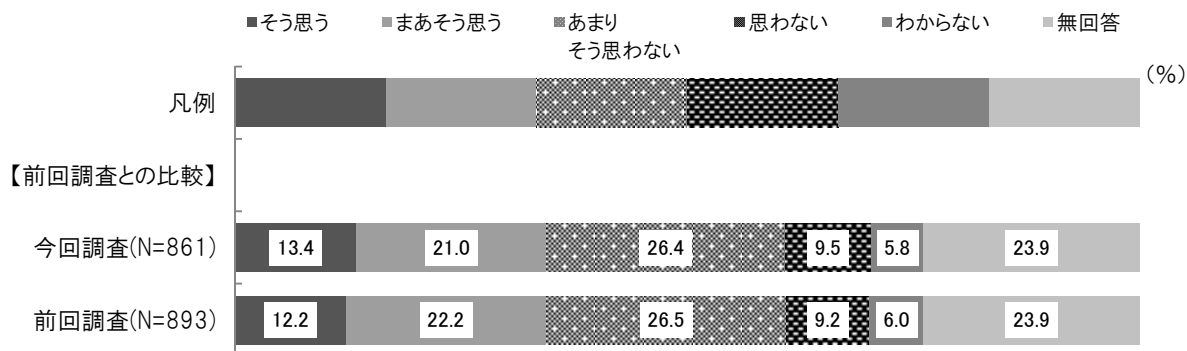


主な交通機関別でみると、「家族運転の自動車」、「徒歩」において「そう思う」が比較的
多くなっており、「あまりそう思わない」については「電車」に比較的多くみられる。



【前回調査との比較】

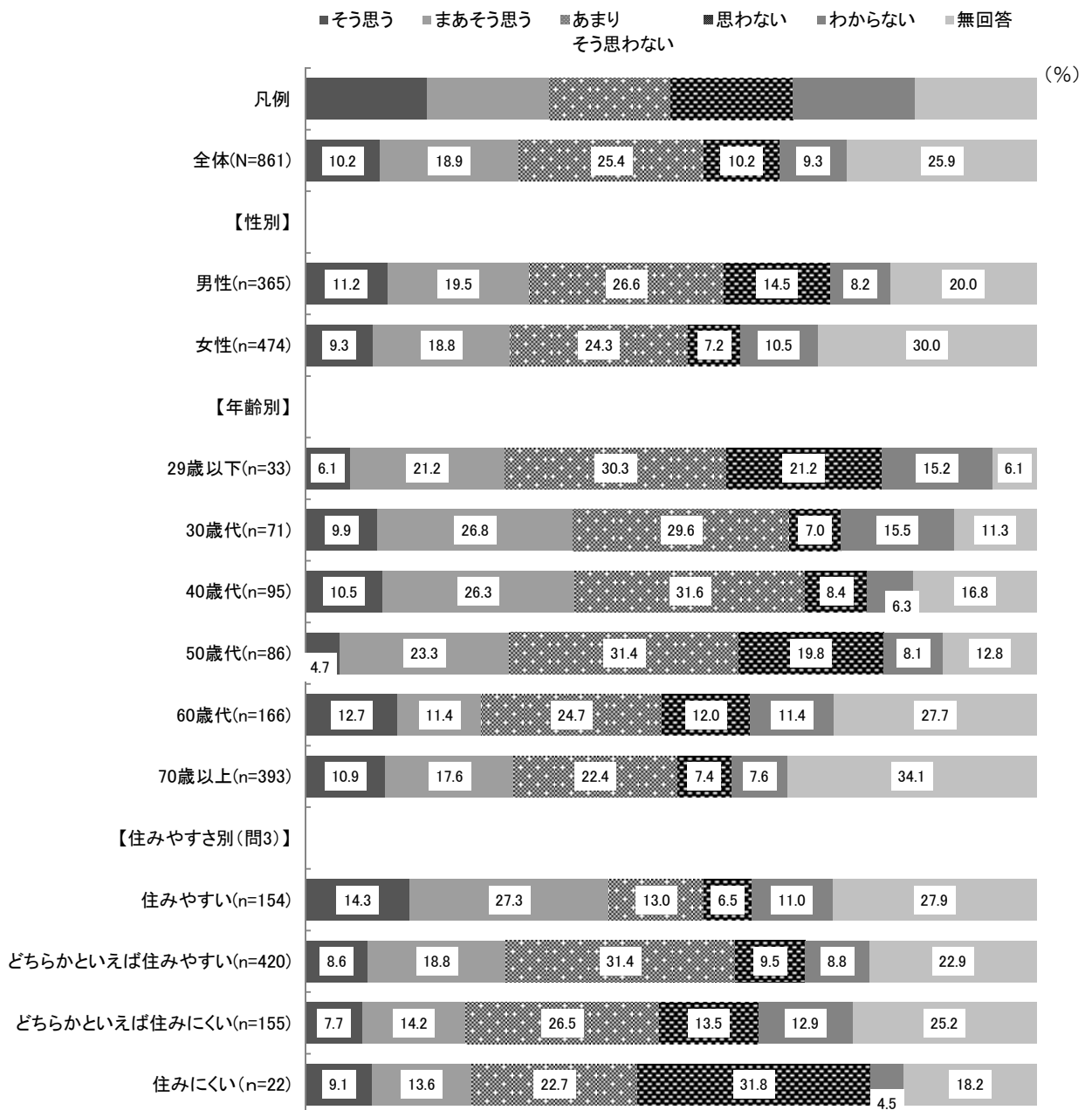
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



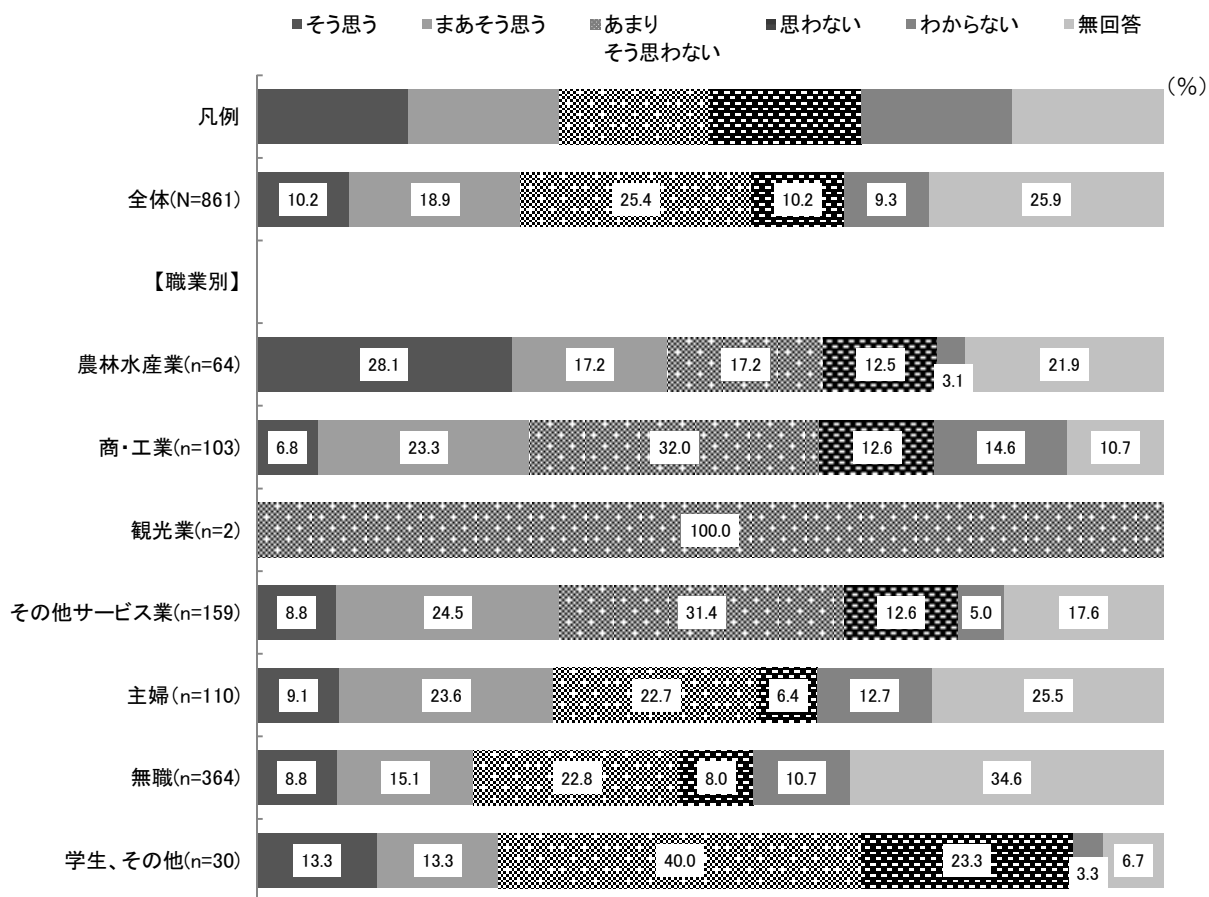
19. 農林水産業で生活できるまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が25.4%と最も多くなっている。

性別で見ると、「思わない」が男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、40歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多い傾向があり、相関関係がみられる。

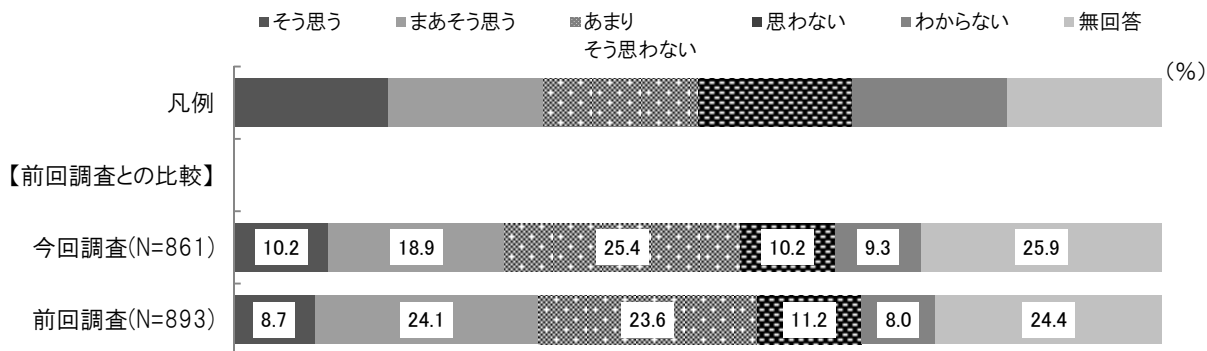


職業別で見ると、「まあそう思う」については「その他サービス業」などで多くなっており、「思わない」については「学生、その他」などで多くみられる。



【前回調査との比較】

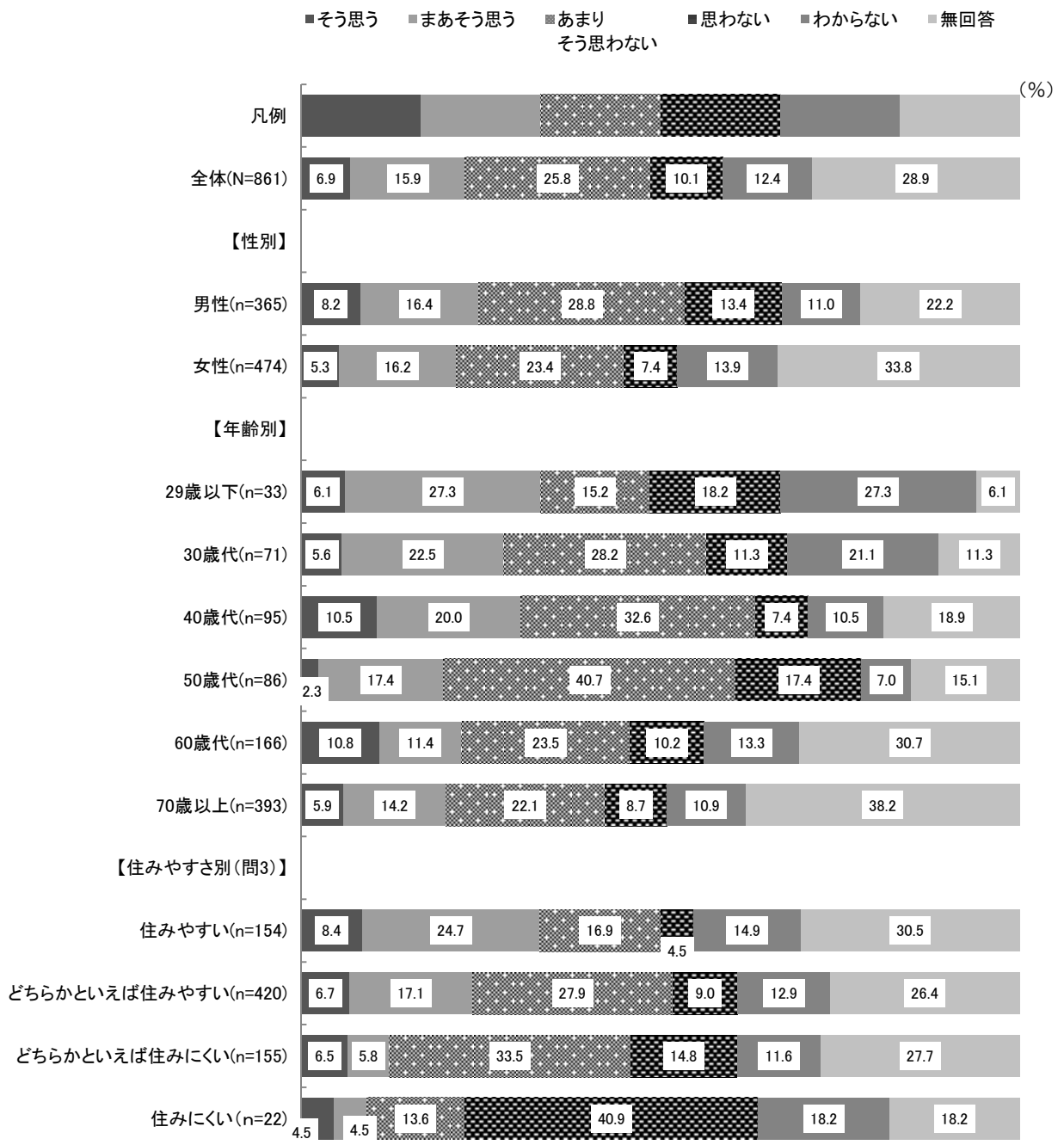
前回調査と比較して、「まあそう思う」が減少している。



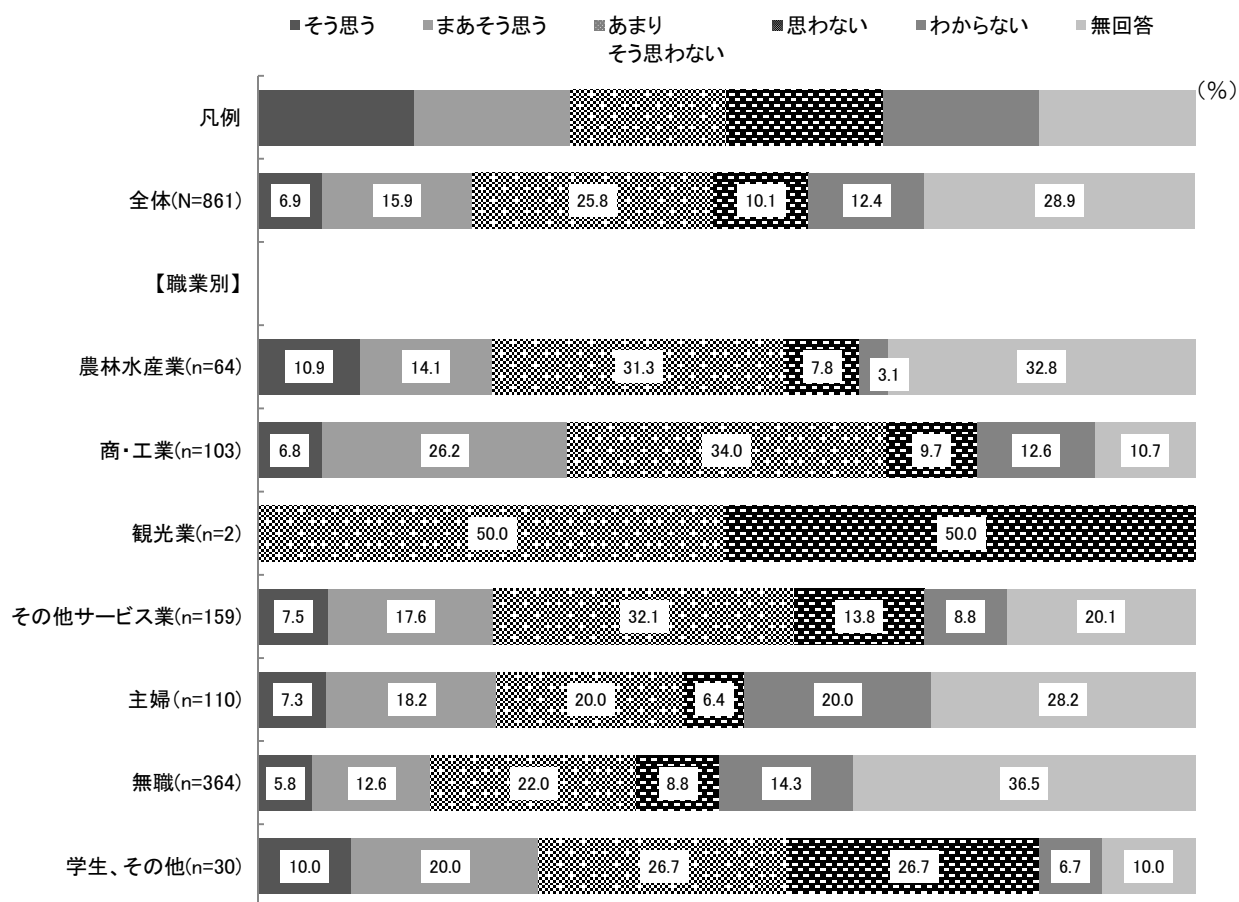
20. 商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が25.8%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

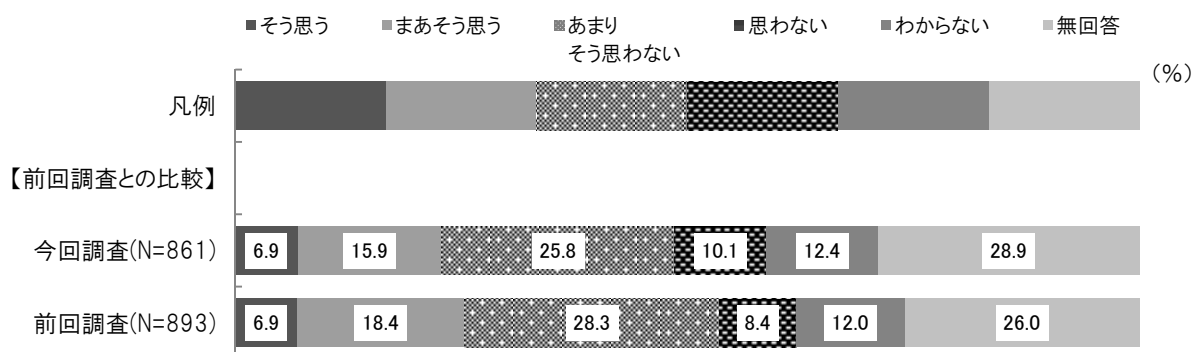


職業別でみると、「まあそう思う」については「商・工業」などで多くなっており、「思わない」については「学生、その他」などで多くみられる



【前回調査との比較】

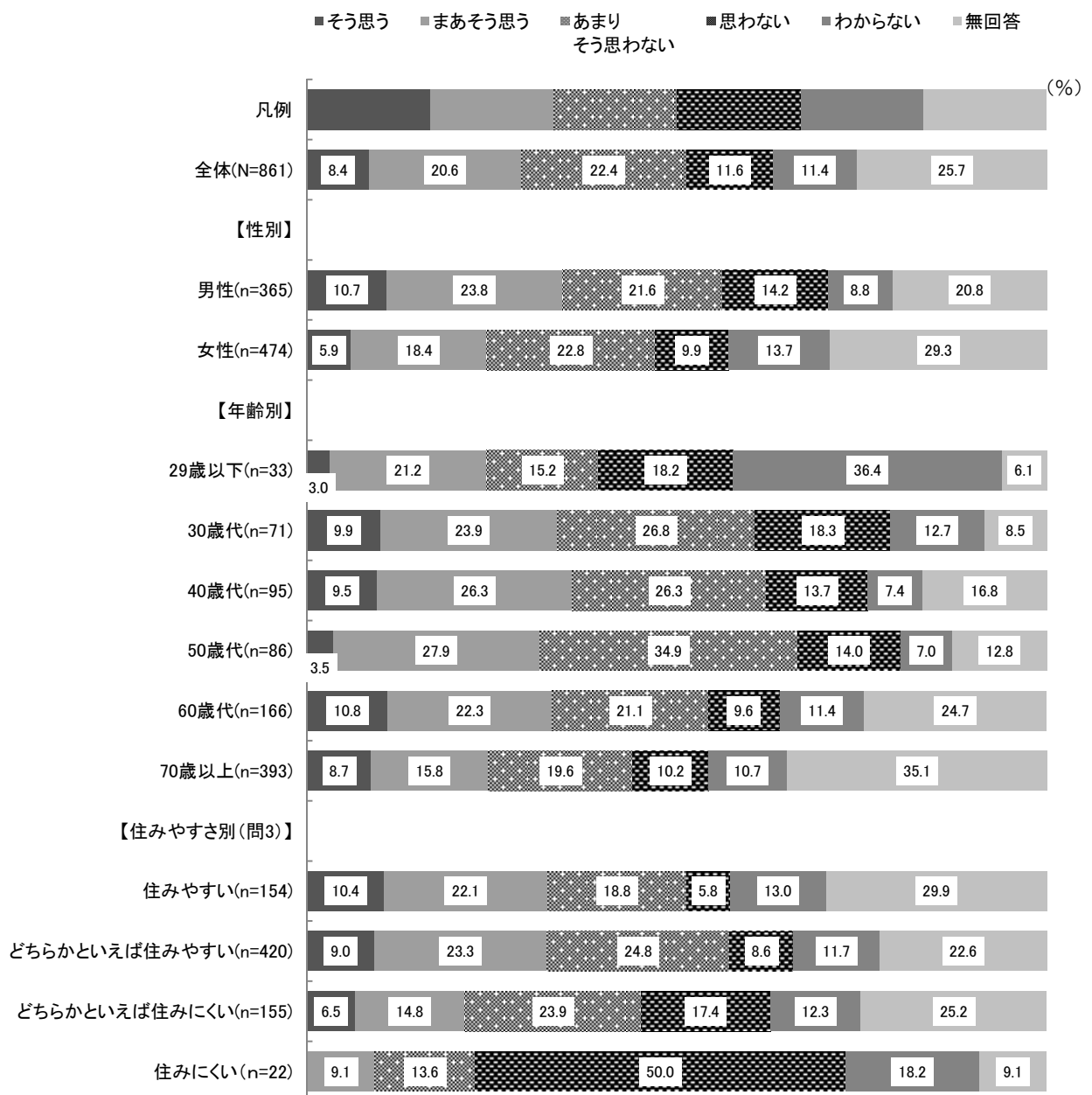
前回調査と比較して、「まあそう思う」がやや減少している。



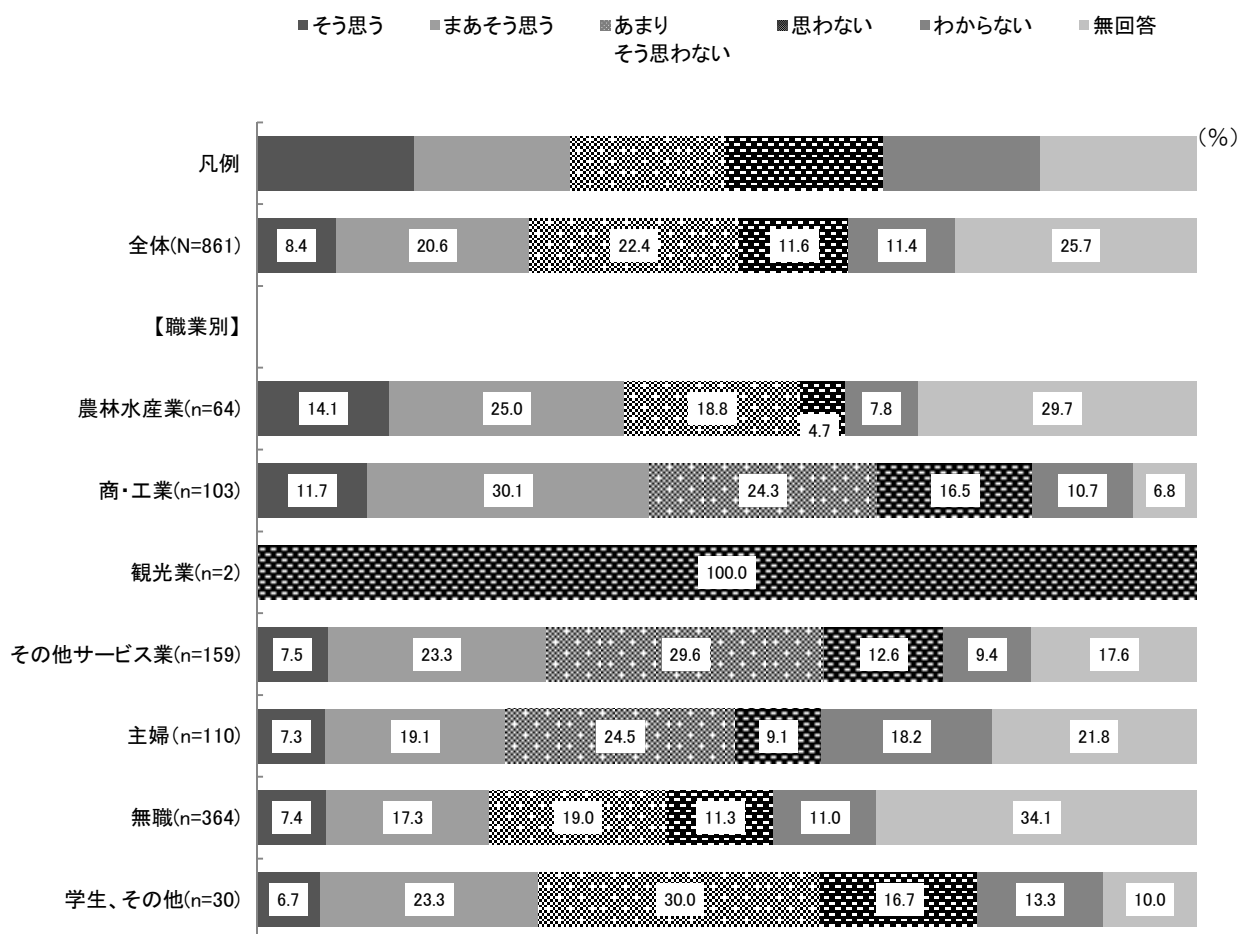
21. 企業が進出しやすい条件が整っているまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が22.4%と最も多くなっている。

性別で見ると、「そう思う」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。30歳代以下において「思わない」が比較的多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

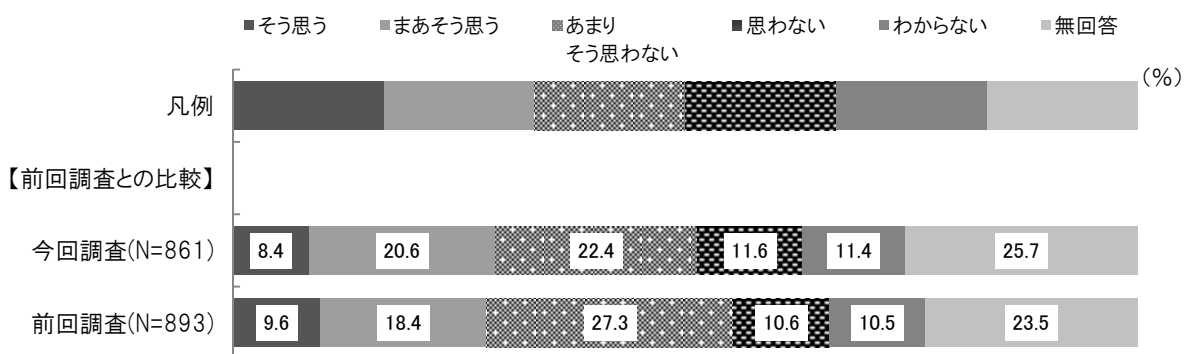


職業別でみると、「まあそう思う」については「商・工業」などで多くなっており、「思わない」については「学生、その他」などで多くみられる。



【前回調査との比較】

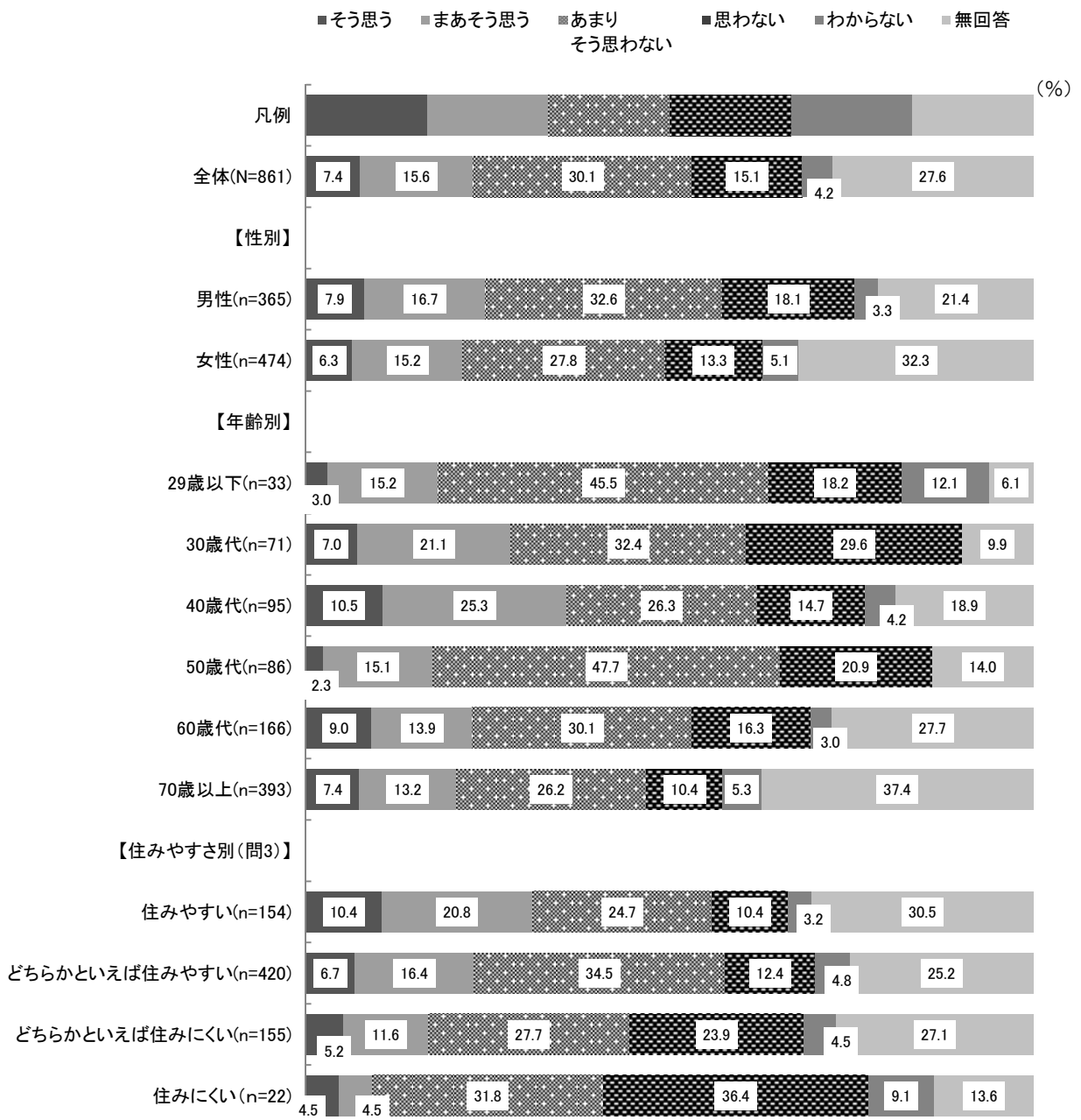
前回調査と比較して、「あまりそう思わない」が減少している。



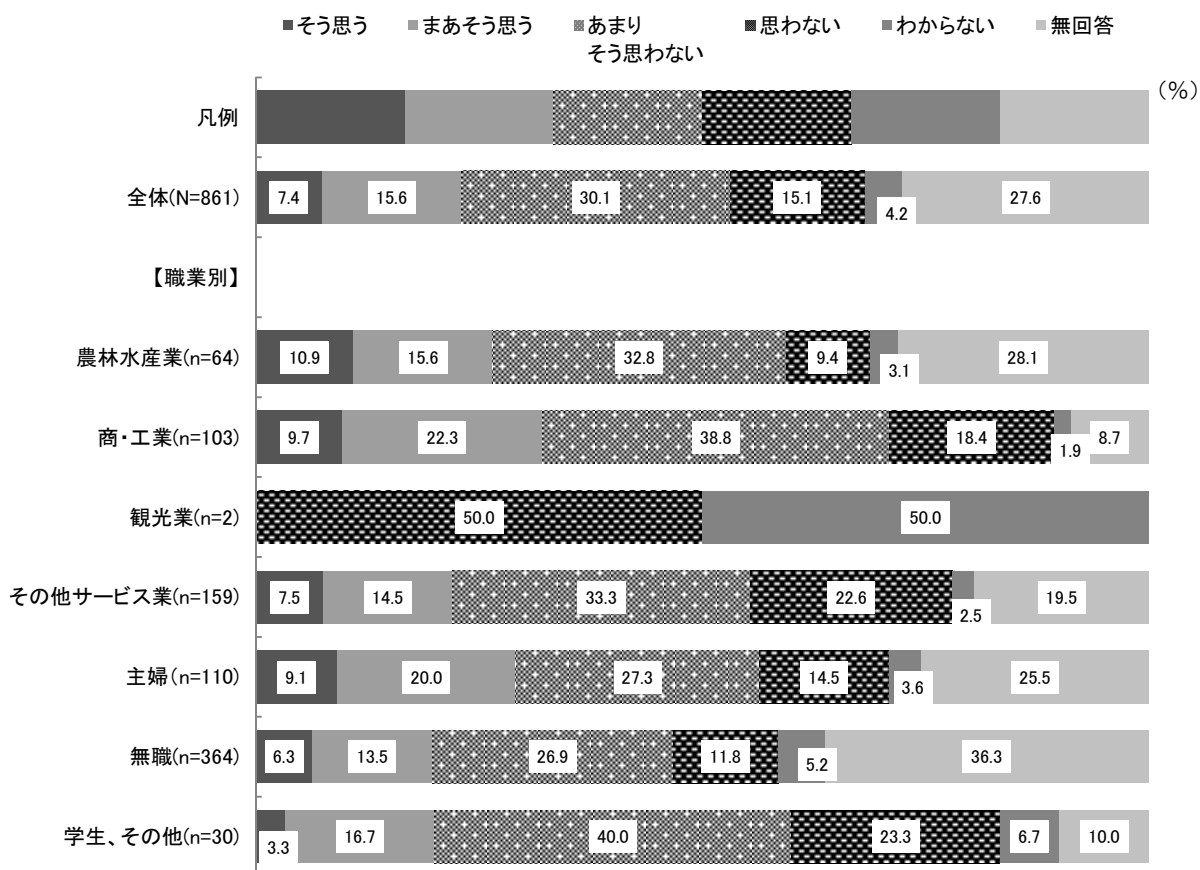
2.2. にぎわいと活気のある観光のまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が30.1%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、29歳以下、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっており、40歳代において「まあそう思う」が比較的多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

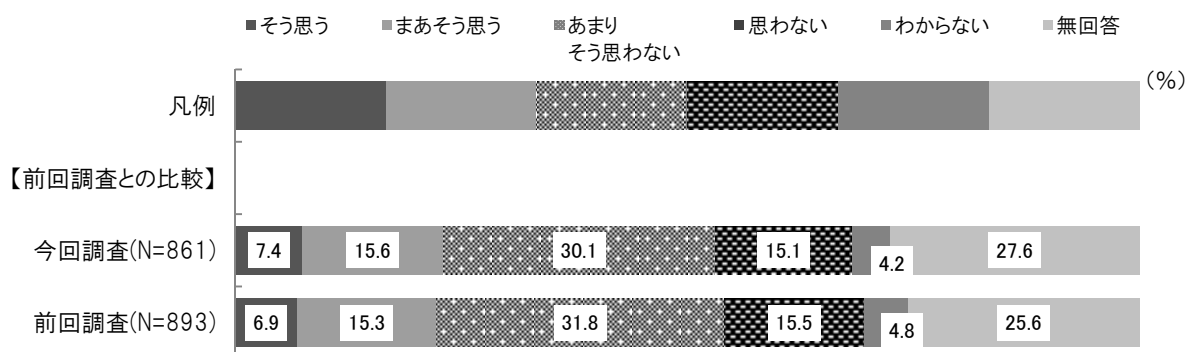


職業別でみると、「まあそう思う」については「商・工業」などで多くなっており、「思わない」については「学生、その他」、「その他サービス業」などで多くみられる。



【前回調査との比較】

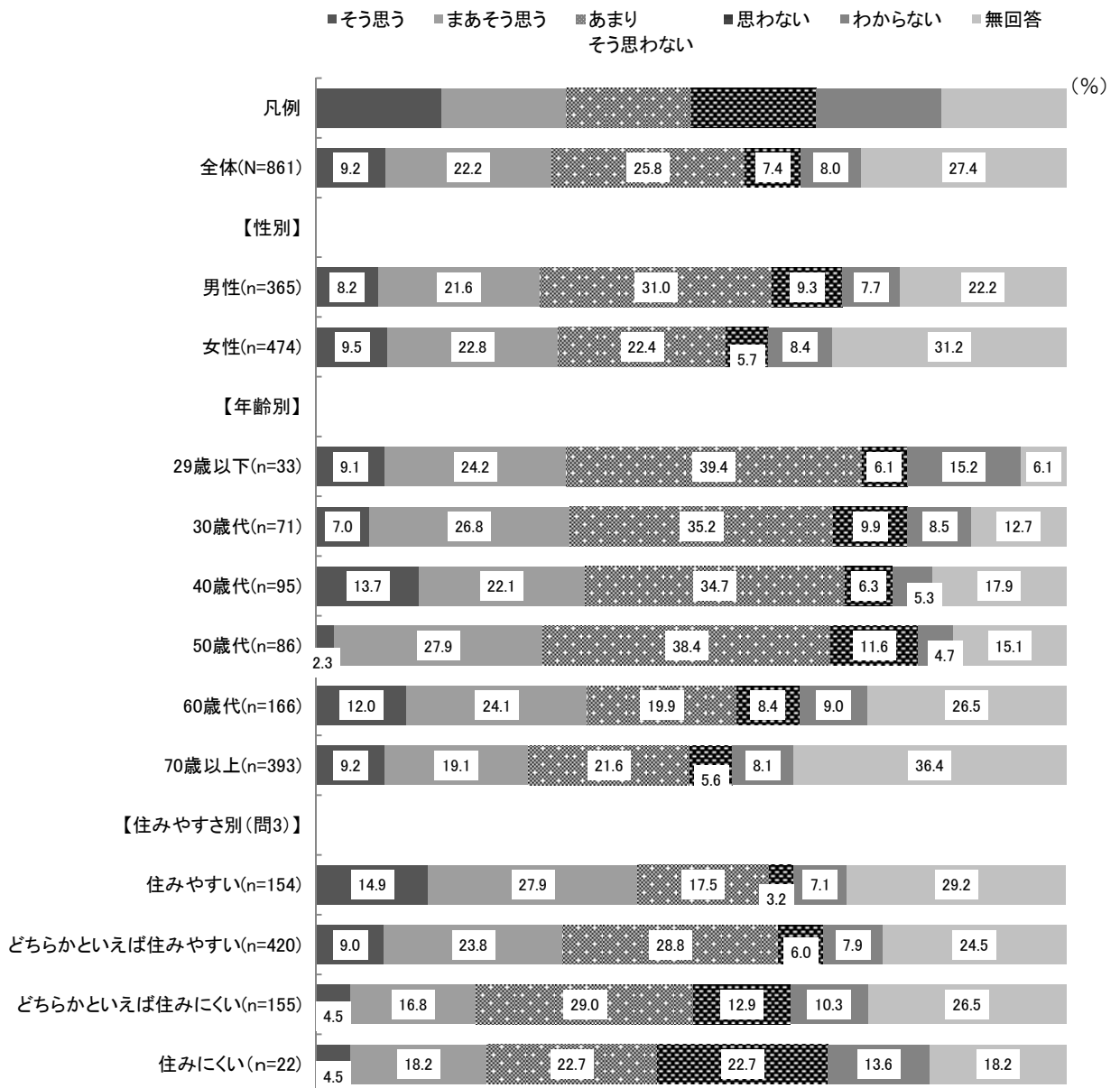
前回調査と比較して、「あまりそう思わない」がやや減少している。



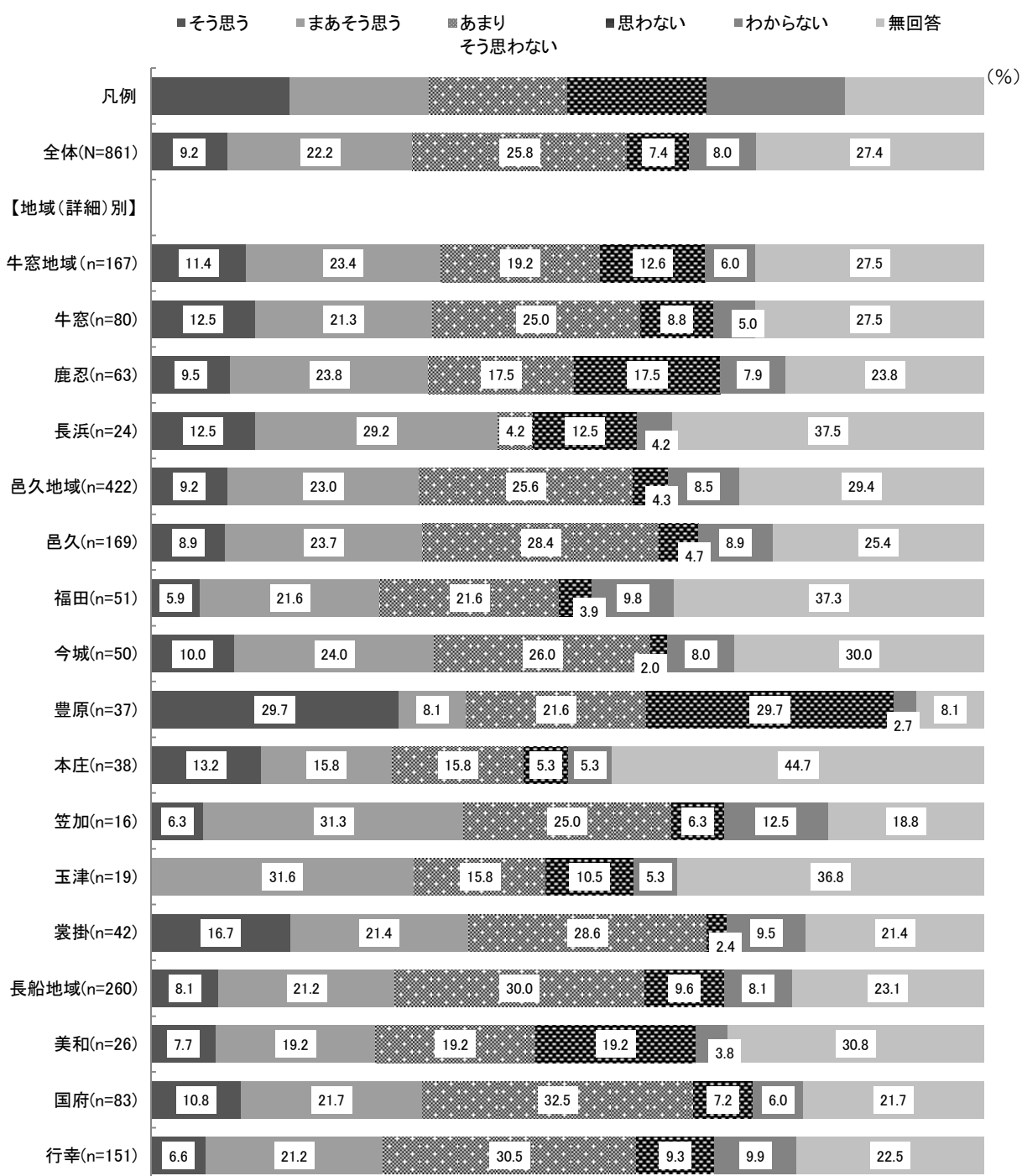
23. コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が25.8%と最も多くなっている。

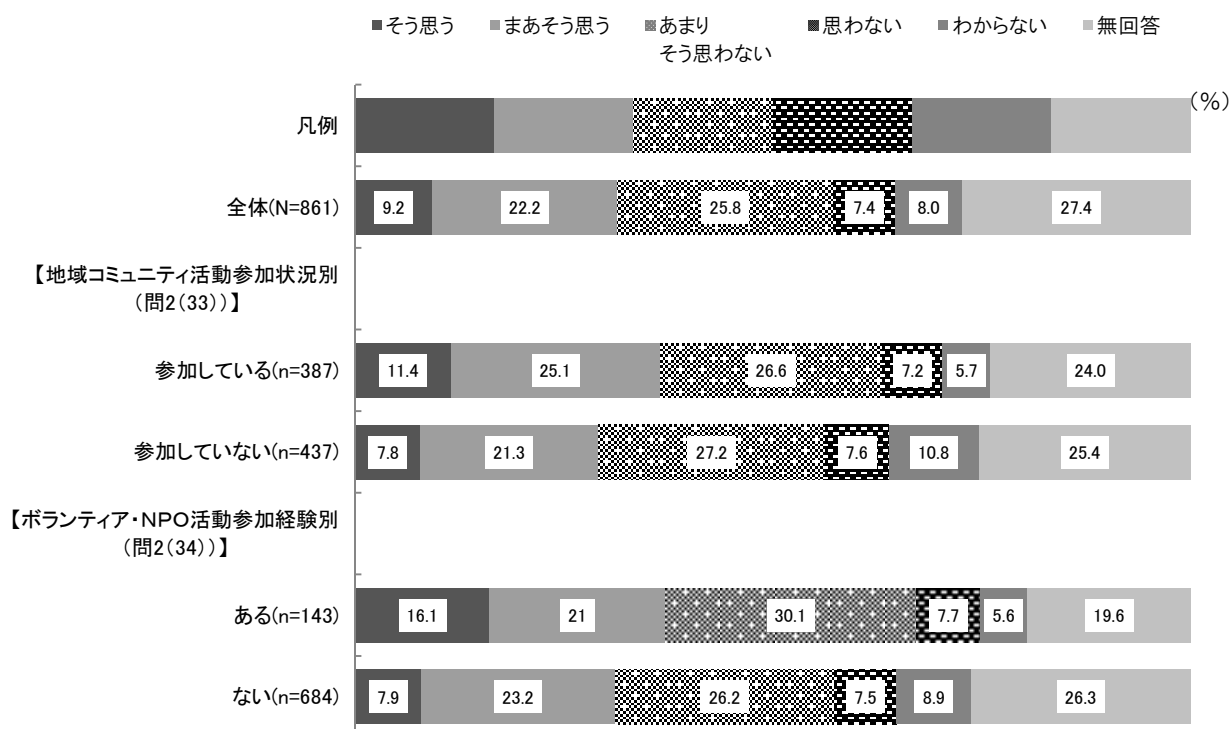
性別で見ると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっており、40歳代、60歳代において「そう思う」が比較的多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。



地域別でみると、豊原では「そう思う」、「思わない」が多くみられ、笠加、玉津などにおいては「まあそう思う」とも比較的多くなっている。

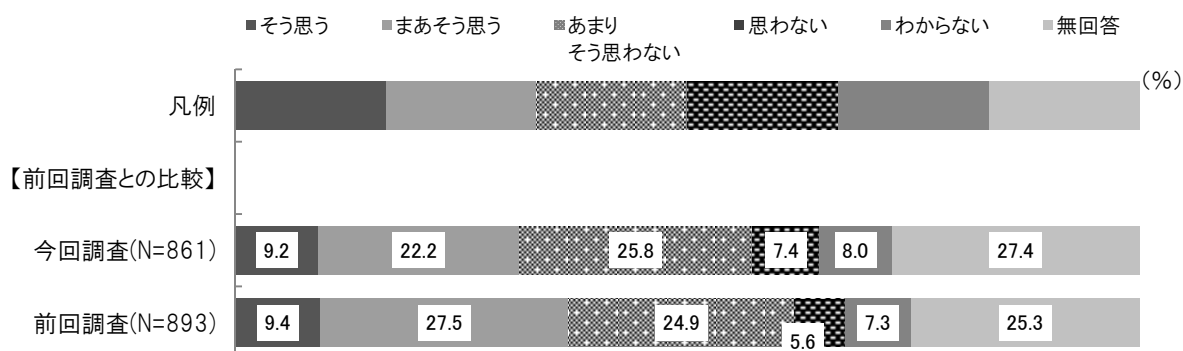


地域コミュニティ活動参加状態別でみると「参加している」のほうが、「そう思う」、「まあそう思う」が多くみられる。また、同様にボランティア・NPO活動参加経験別においても参加経験が「ある」のほうが、「そう思う」、「まあそう思う」が多くなっている。



【前回調査との比較】

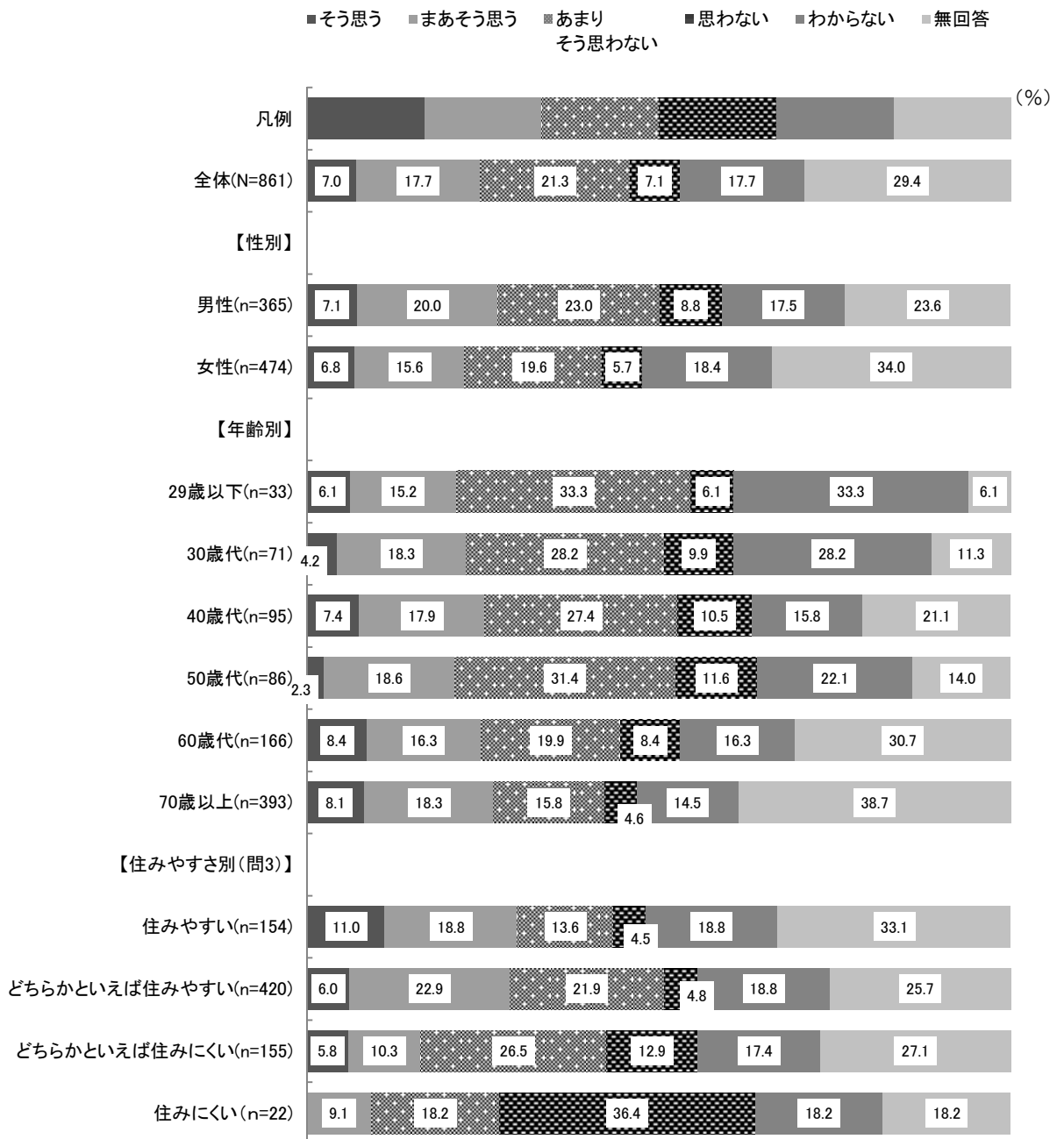
前回調査と比較して、「まあそう思う」が減少している。



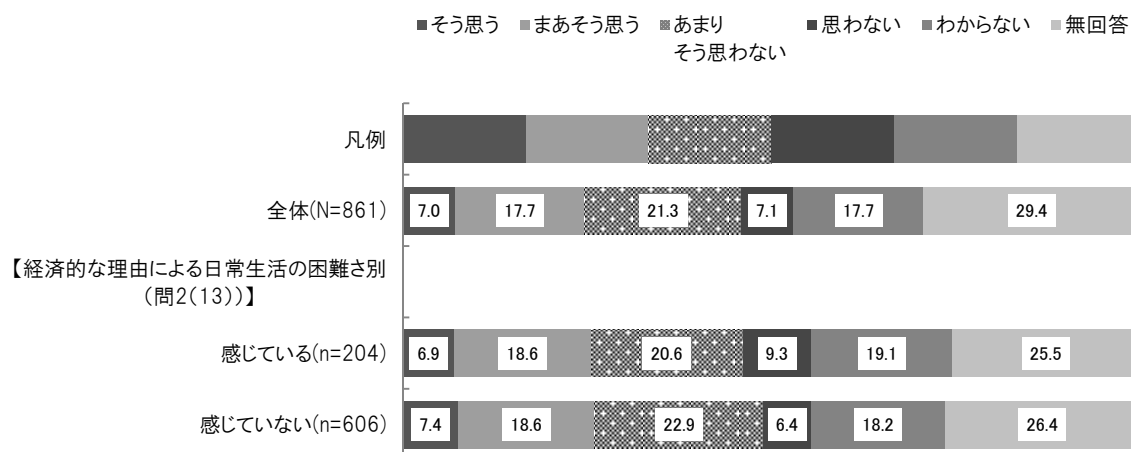
24. 市民の納税に対する意識が高いまち

全体で見ると、「あまりそう思わない」が21.3%と最も多くなっている。

性別で見ると、「まあそう思う」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「あまりそう思わない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。

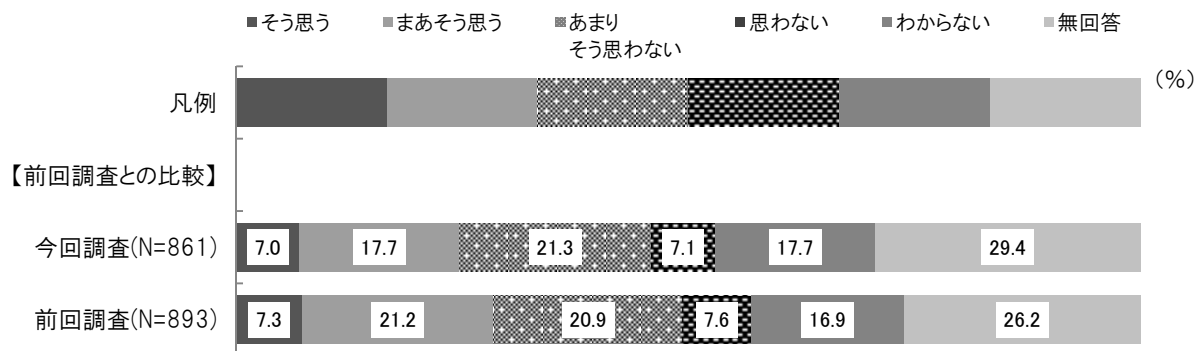


経済的な理由による日常生活の困難さを感じていないと回答された方のほうが「あまり
そう思わない」がやや多くみられる。



【前回調査との比較】

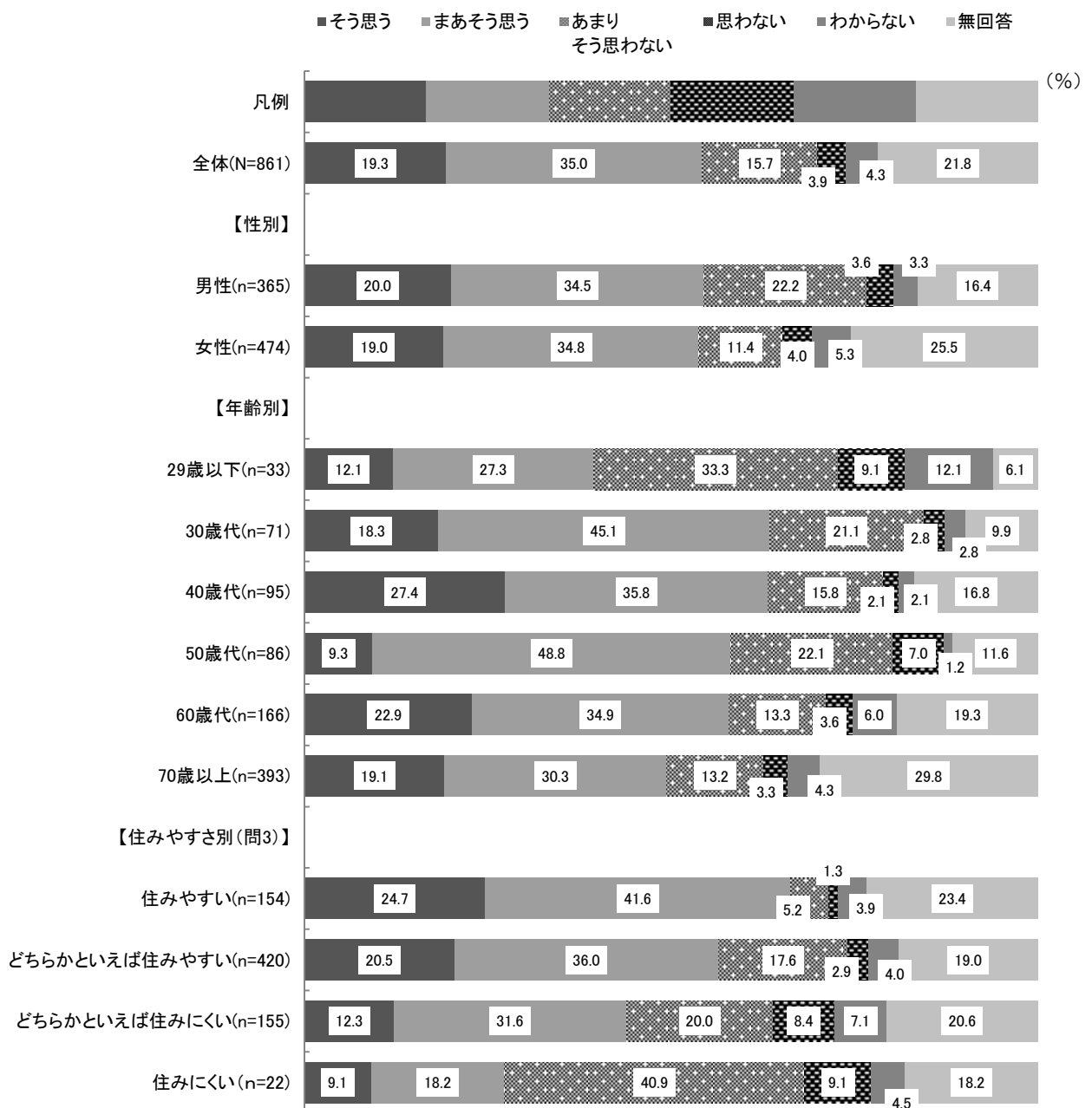
前回調査と比較して、「まあそう思う」が減少している。



25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち

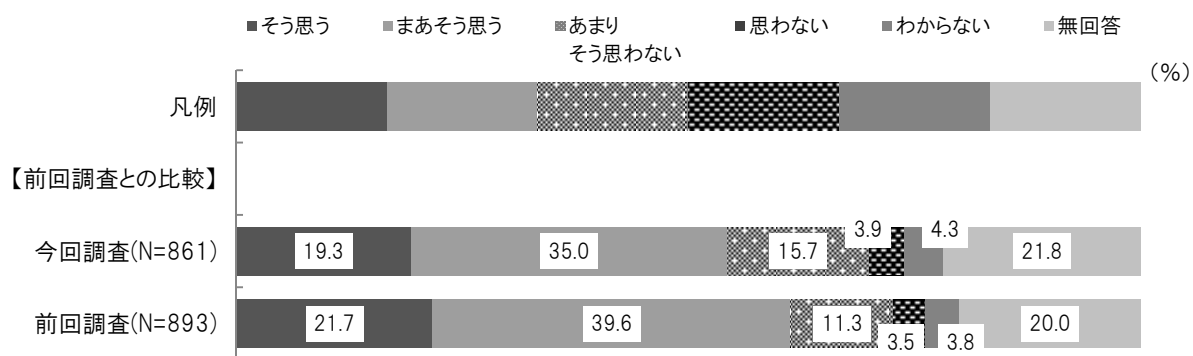
全体で見ると、「まあそう思う」が35.0%と最も多くなっている。

性別で見ると、「あまりそう思わない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、40歳代で「そう思う」が多くみられ、50歳代において「まあそう思う」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「まあそう思う」が減少している。

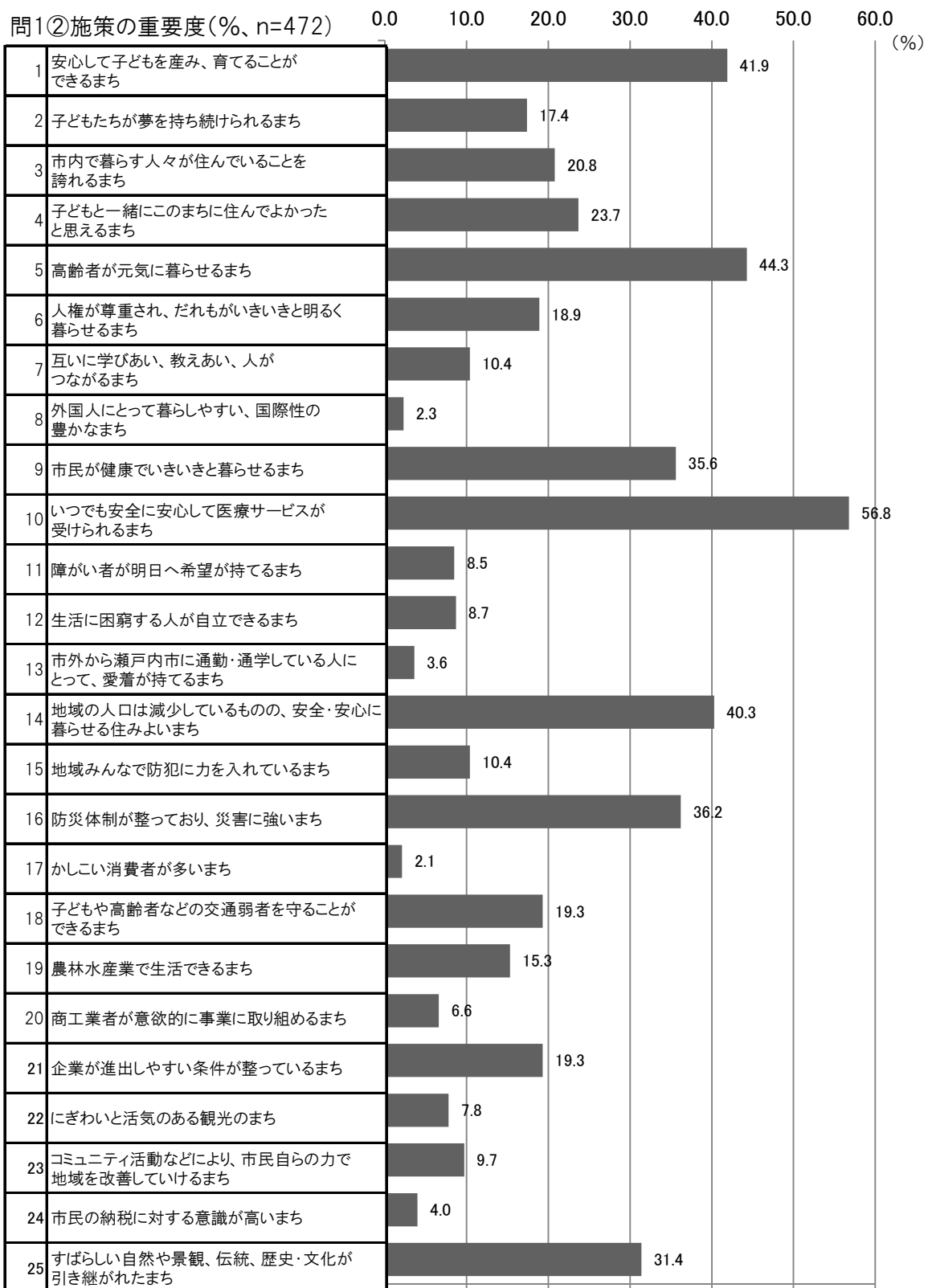


2. 現在の重要度

また、瀬戸内市がめざしている 30 年後の姿のうち、あなたは、何が重要だと思いますか。1～25 のうちで重要だと思うものを 5 つまで選んで、左欄「重要度」の数字に○印をつけてください。

25 の項目について、重要だと思われる施策を尋ねたところ、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」が 56.8%と最も多く、次いで「5. 高齢者が元気で暮らせるまち」(44.3%)、「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」(41.9%)、「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」(40.3%)、「16. 防災体制が整っており、災害に強いまち」(36.2%)、「9. 市民が健康でいきいきと暮らせるまち」(35.6%)、「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」(31.4%) などの順になっている。

一方で、相対的に重要度が低い施策は「17. かしこい消費者が多いまち」(2.1%)、「8. 外国人にとって暮らしやすい、国際性豊かなまち」(2.3%)、「13. 市外から瀬戸内市内に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち」(3.6%)、「24. 市民の納税に対する意識が高いまち」(4.0%) などがあげられる。



注：集計結果の数値は、「無回答」を除く母数（n=472）で算出している。

性別でみると、男女差が比較的大きな項目で、男性の方が多い項目は「3. 市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち」(24.6%)、「21. 企業が進出しやすい条件が整っているまち」(23.2%)、「22. にぎわいと活気のある観光のまち」(10.3%)などがあげられ、女性の方が多い項目は「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」(48.9%)、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」(59.2%)、「18. 子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」(24.0%)などがあげられる。

年齢別でみると、「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」、「21. 企業が進出しやすい条件が整っているまち」などは、年齢が若い層が多くみられる。一方で、「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」などは、年齢が上がるほど多くみられる。また、「4. 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」、「20. 商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」、「22. にぎわいと活気のあるまち」などは、40歳代、50歳代の中間層が多くみられる。

地域別でみると、牛窓地域では「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」、「19. 農林水産業で生活できるまち」、「25. すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち」などが他の地域に比べ多くなっている。また、邑久地域では、「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」、「11. 障がい者が明日へ希望が持てるまち」などが他の地域に比べ多くなっている。そして、長船地域では、「7. 互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」、「23. コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち」などが他の地域に比べ多くなっている。

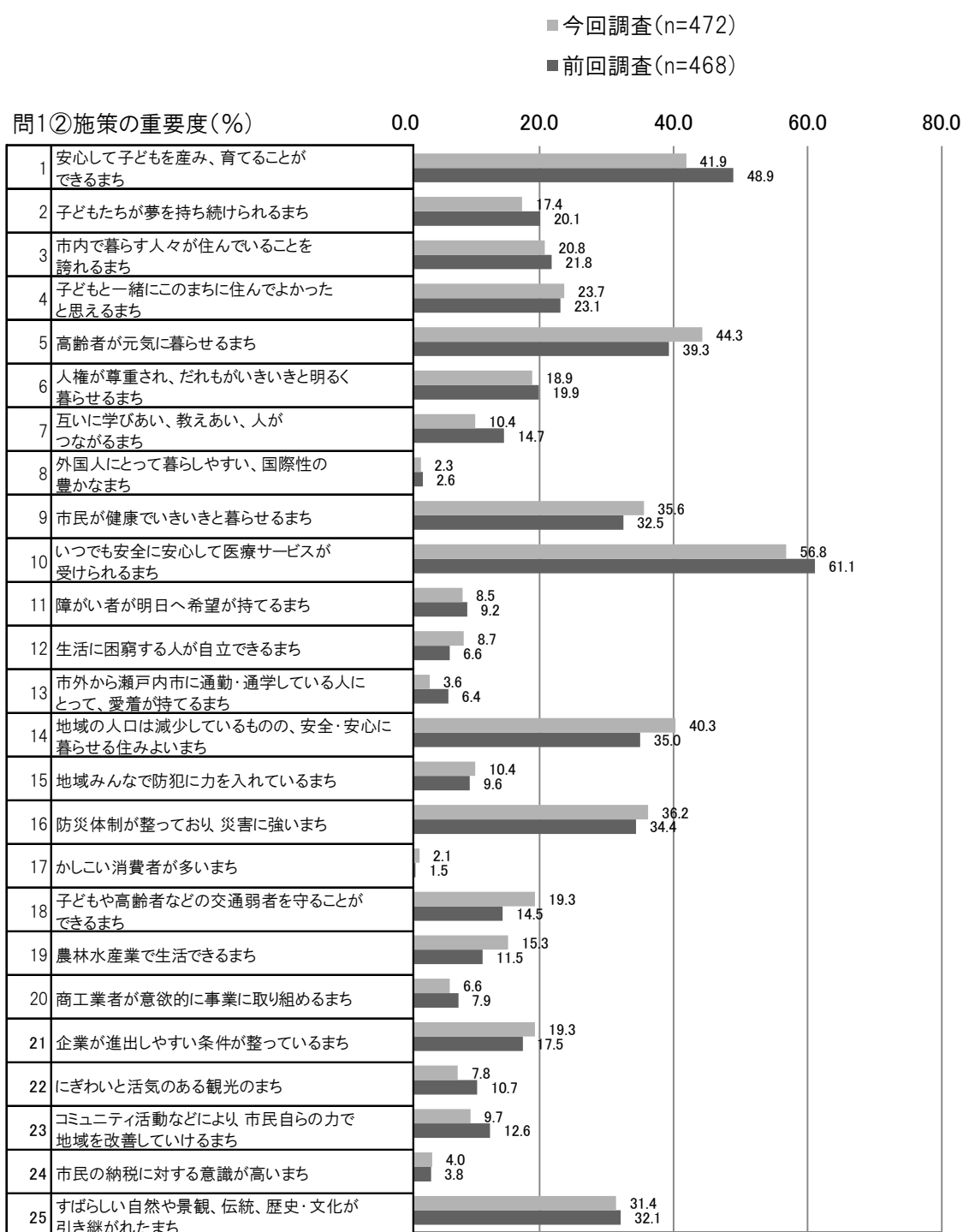
No		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
単位 (%)		育てることができるまち 安心して子どもを産み、 育てることのできるまち	まち 子どもたちが夢を持ち続けられる	住んでいることを誇れるまち 市内で暮らす人々が	子どもと一緒にこのまちに住んで よかつたと思えるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	明るく暮らせるまち	人権が尊重され、だれもがいきいきと つながるまち	互いに学びあい、教えあい、人が 国際性の豊かなまち	外国人にとつて暮らしやすい、 暮らせるまち	市民が健康でいきいきと	いつでも安全に安心して 医療サービスが受けられるまち
全体 (N=472)		41.9	17.4	20.8	23.7	44.3	18.9	10.4	2.3	35.6	56.8	
性別	男性(n=203)	42.4	18.7	24.6	23.2	37.9	16.3	10.3	1.5	33.5	53.2	
	女性(n=262)	41.6	16.8	17.9	24.4	48.9	20.6	10.7	3.1	37.4	59.2	
年齢別	29歳以下 (n=12)	58.3	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	33.3	41.7	
	30歳代(n=38)	68.4	23.7	18.4	21.1	36.8	23.7	7.9	2.6	31.6	55.3	
	40歳代(n=55)	58.2	9.1	23.6	38.2	29.1	16.4	12.7	0.0	25.5	45.5	
	50歳代(n=45)	48.9	22.2	15.6	31.1	42.2	13.3	2.2	4.4	31.1	46.7	
	60歳代(n=102)	47.1	20.6	18.6	22.5	47.1	19.6	7.8	2.0	39.2	59.8	
	70歳以上 (n=212)	27.4	16.0	23.6	20.3	50.5	19.8	13.7	2.4	39.2	60.8	
地域別	牛窓地域 (n=74)	35.1	18.9	16.2	21.6	40.5	20.3	9.5	1.4	31.1	62.2	
	牛窓 (n=30)	20.0	26.7	10.0	26.7	40.0	16.7	10.0	3.3	20.0	60.0	
	鹿忍 (n=33)	45.5	12.1	18.2	15.2	39.4	21.2	6.1	0.0	45.5	57.6	
	長浜 (n=11)	45.5	18.2	27.3	27.3	45.5	27.3	18.2	0.0	18.2	81.8	
	邑久地域 (n=248)	44.4	15.7	20.2	26.2	42.7	20.2	9.3	2.4	34.7	52.4	
	邑久 (n=94)	46.8	16.0	26.6	29.8	41.5	24.5	8.5	2.1	31.9	55.3	
	福田 (n=31)	38.7	32.3	12.9	25.8	45.2	6.5	9.7	0.0	48.4	41.9	
	今城 (n=32)	59.4	9.4	21.9	18.8	43.8	12.5	9.4	3.1	31.3	46.9	
	豊原 (n=24)	33.3	20.8	12.5	25.0	37.5	16.7	16.7	4.2	33.3	66.7	
	本庄 (n=26)	26.9	0.0	30.8	26.9	42.3	34.6	11.5	7.7	46.2	38.5	
	笠加 (n=13)	46.2	7.7	7.7	30.8	61.5	15.4	7.7	0.0	23.1	38.5	
	玉津 (n=14)	50.0	28.6	7.1	21.4	35.7	21.4	0.0	0.0	28.6	57.1	
	裳掛 (n=14)	50.0	7.1	7.1	21.4	42.9	21.4	7.1	0.0	28.6	78.6	
	長船地域 (n=145)	40.0	20.0	24.8	21.4	46.9	15.9	13.1	2.8	40.0	60.7	
	美和 (n=17)	47.1	17.6	29.4	17.6	47.1	11.8	17.6	0.0	47.1	82.4	
	国府 (n=43)	41.9	23.3	25.6	23.3	53.5	18.6	14.0	0.0	41.9	55.8	
行幸 (n=85)	37.6	18.8	23.5	21.2	43.5	15.3	11.8	4.7	37.6	58.8		

No		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
単位 (%)		障がい者が明日へ希望が持てるまち	生活に困窮する人が自立できるまち	いる人にとって、愛着が持てるまち	市外から瀬戸内市に通勤・通学して全・安心に暮らせる住みよいまち	地域の人口は減少しているものの、安	入れていくまち	地域みんなで防犯に力を	災害に強いまち	防災体制が整っており、	かしい消費者が多いまち	守ることができるまち	子どもや高齢者などの交通弱者を	農林水産業で生活できるまち	取り組めるまち	商工業者が意欲的に事業に
全体 (N=472)		8.5	8.7	3.6	40.3	10.4	36.2	2.1	19.3	15.3	6.6					
性別	男性(n=203)	6.4	10.3	6.4	40.4	10.8	35.0	2.0	12.8	16.7	9.4					
	女性(n=262)	9.2	7.6	1.5	40.5	10.3	37.4	2.3	24.0	14.1	4.6					
年齢別	29歳以下 (n=12)	33.3	8.3	0.0	41.7	25.0	41.7	8.3	16.7	33.3	8.3					
	30歳代(n=38)	7.9	13.2	0.0	23.7	21.1	36.8	2.6	7.9	2.6	10.5					
	40歳代(n=55)	10.9	5.5	5.5	30.9	9.1	41.8	0.0	14.5	14.5	10.9					
	50歳代(n=45)	4.4	4.4	6.7	42.2	13.3	33.3	2.2	11.1	11.1	6.7					
	60歳代(n=102)	7.8	8.8	6.9	44.1	8.8	41.2	2.0	13.7	13.7	5.9					
	70歳以上 (n=212)	7.5	9.9	1.9	43.4	8.0	31.6	2.4	27.8	17.9	4.7					
地域別	牛窓地域 (n=74)	2.7	5.4	6.8	52.7	2.7	36.5	0.0	21.6	21.6	5.4					
	牛窓 (n=30)	0.0	3.3	10.0	60.0	0.0	36.7	0.0	26.7	20.0	6.7					
	鹿忍 (n=33)	6.1	9.1	6.1	45.5	3.0	45.5	0.0	24.2	21.2	3.0					
	長浜 (n=11)	0.0	0.0	0.0	54.5	9.1	9.1	0.0	0.0	27.3	9.1					
	邑久地域 (n=248)	10.5	8.5	2.4	38.7	12.1	37.9	2.8	19.0	16.5	6.5					
	邑久 (n=94)	9.6	8.5	2.1	34.0	16.0	36.2	3.2	17.0	18.1	8.5					
	福田 (n=31)	9.7	12.9	3.2	38.7	6.5	45.2	3.2	22.6	12.9	0.0					
	今城 (n=32)	6.3	6.3	3.1	37.5	15.6	43.8	0.0	18.8	15.6	9.4					
	豊原 (n=24)	8.3	12.5	0.0	45.8	16.7	45.8	0.0	29.2	4.2	4.2					
	本庄 (n=26)	23.1	7.7	0.0	34.6	11.5	34.6	3.8	26.9	26.9	0.0					
	笠加 (n=13)	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	23.1	15.4	15.4	23.1	15.4					
	玉津 (n=14)	0.0	0.0	7.1	64.3	0.0	35.7	0.0	7.1	7.1	7.1					
	裳掛 (n=14)	14.3	7.1	0.0	64.3	0.0	28.6	0.0	7.1	21.4	7.1					
	長船地域 (n=145)	7.6	11.0	4.1	36.6	11.7	32.4	2.1	18.6	9.7	6.9					
	美和 (n=17)	11.8	5.9	0.0	47.1	5.9	29.4	5.9	17.6	5.9	5.9					
	国府 (n=43)	4.7	9.3	2.3	41.9	4.7	32.6	0.0	14.0	14.0	7.0					
行幸 (n=85)	8.2	12.9	5.9	31.8	16.5	32.9	2.4	21.2	8.2	7.1						

No		21	22	23	24	25
単位 (%)		整っているまち 企業が進出しやすい条件が	にぎわいと活気のある観光のまち	らの力で地域を改善していけるまち コミュニティ活動などにより、市民自	市民の納税に対する意識が高いまち	文化が引き継がれたまち すばらしい自然や景観、伝統、歴史・
全体 (N=472)		19.3	7.8	9.7	4.0	31.4
性別	男性(n=203)	23.2	10.3	8.4	3.9	34.0
	女性(n=262)	16.4	5.7	10.7	4.2	29.4
年齢別	29歳以下 (n=12)	0.0	8.3	8.3	8.3	41.7
	30歳代(n=38)	28.9	7.9	0.0	7.9	28.9
	40歳代(n=55)	20.0	14.5	12.7	1.8	23.6
	50歳代(n=45)	24.4	11.1	4.4	4.4	33.3
	60歳代(n=102)	18.6	4.9	12.7	2.9	32.4
	70歳以上 (n=212)	18.4	6.6	10.4	4.2	32.1
地域別	牛窓地域 (n=74)	21.6	16.2	5.4	4.1	41.9
	牛窓 (n=30)	26.7	10.0	6.7	3.3	60.0
	鹿忍 (n=33)	15.2	27.3	3.0	6.1	30.3
	長浜 (n=24)	27.3	0.0	9.1	0.0	27.3
	邑久地域 (n=248)	18.1	7.7	9.7	2.8	28.2
	邑久 (n=94)	17.0	11.7	7.4	1.1	33.0
	福田 (n=31)	9.7	3.2	3.2	6.5	32.3
	今城 (n=32)	18.8	6.3	6.3	6.3	37.5
	豊原 (n=24)	20.8	8.3	20.8	4.2	16.7
	本庄 (n=26)	23.1	3.8	3.8	0.0	15.4
	笠加 (n=13)	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7
	玉津 (n=14)	28.6	0.0	21.4	0.0	35.7
	裳掛 (n=14)	14.3	7.1	28.6	7.1	21.4
	長船地域 (n=145)	20.7	4.1	12.4	6.2	31.7
	美和 (n=17)	17.6	5.9	29.4	0.0	17.6
	国府 (n=43)	16.3	2.3	7.0	4.7	34.9
行幸 (n=85)	23.5	4.7	11.8	8.2	32.9	

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、重要度が大きく変化した項目としては、「5. 高齢者が元気で暮らせるまち」、「14. 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」などは増加しており、一方で、「1. 安心して子どもを産み、育てることができるまち」、「10. いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」などは減少している。



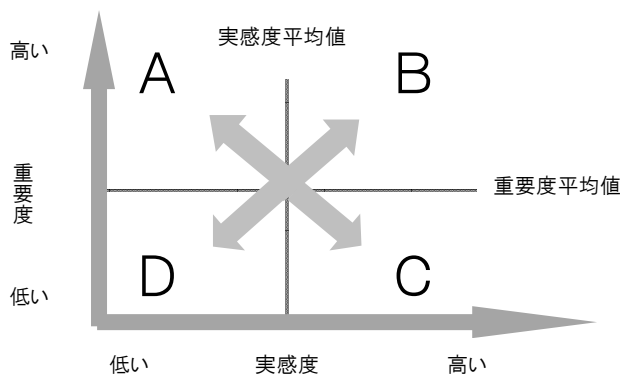
3. 実感度と重要度の相関図による分析

※略標記対応表／以下の図表等においては、各施策名を以下の略標記対応表に従って記載している。

No	設問項目	略標記
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢をもてるまち
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望をもてるまち
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人も愛着が持てるまち
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち

【実感度と重要度の相関図による分析】

実感度の加重平均値と重要度（無回答を除く件数を母数とした回答割合）それぞれの値をもとに、縦軸に重要度、横軸に実感度を設定し、25の施策を散布図上に示したものが相関図である。



縦軸に重要度、横軸に実感度をとった相関図では、実感度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。実感度と重要度の各々の平均値を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたいが、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、実感度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、実感度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、実感度を高める必要のある領域。

B. 重要度、実感度ともに高い（現状維持領域）

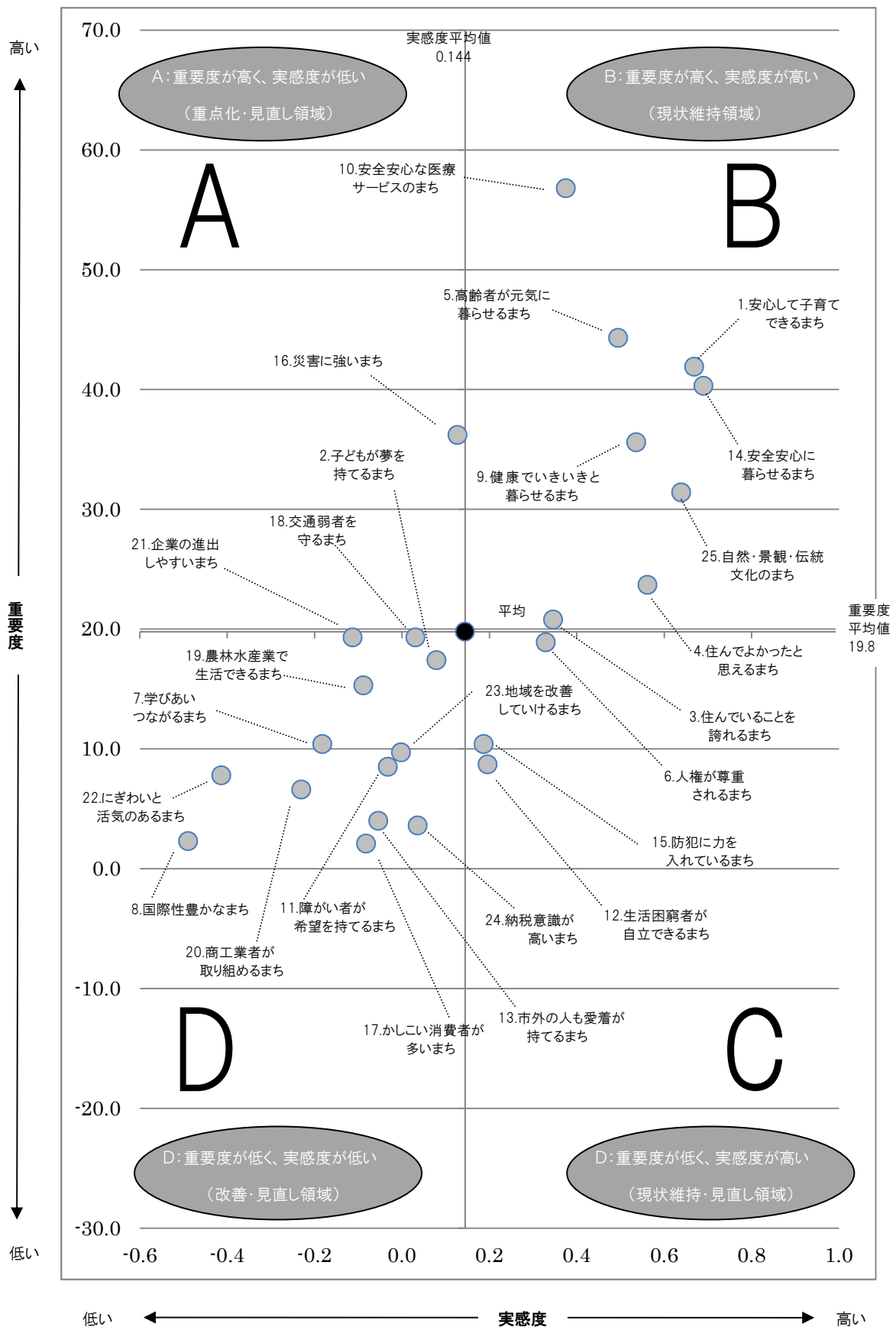
今後のまちづくりにおける重要度も実感度も高く、現時点での実感度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、実感度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの実感度が高く、実感度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、実感度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も実感度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。



【相関図の元データ】

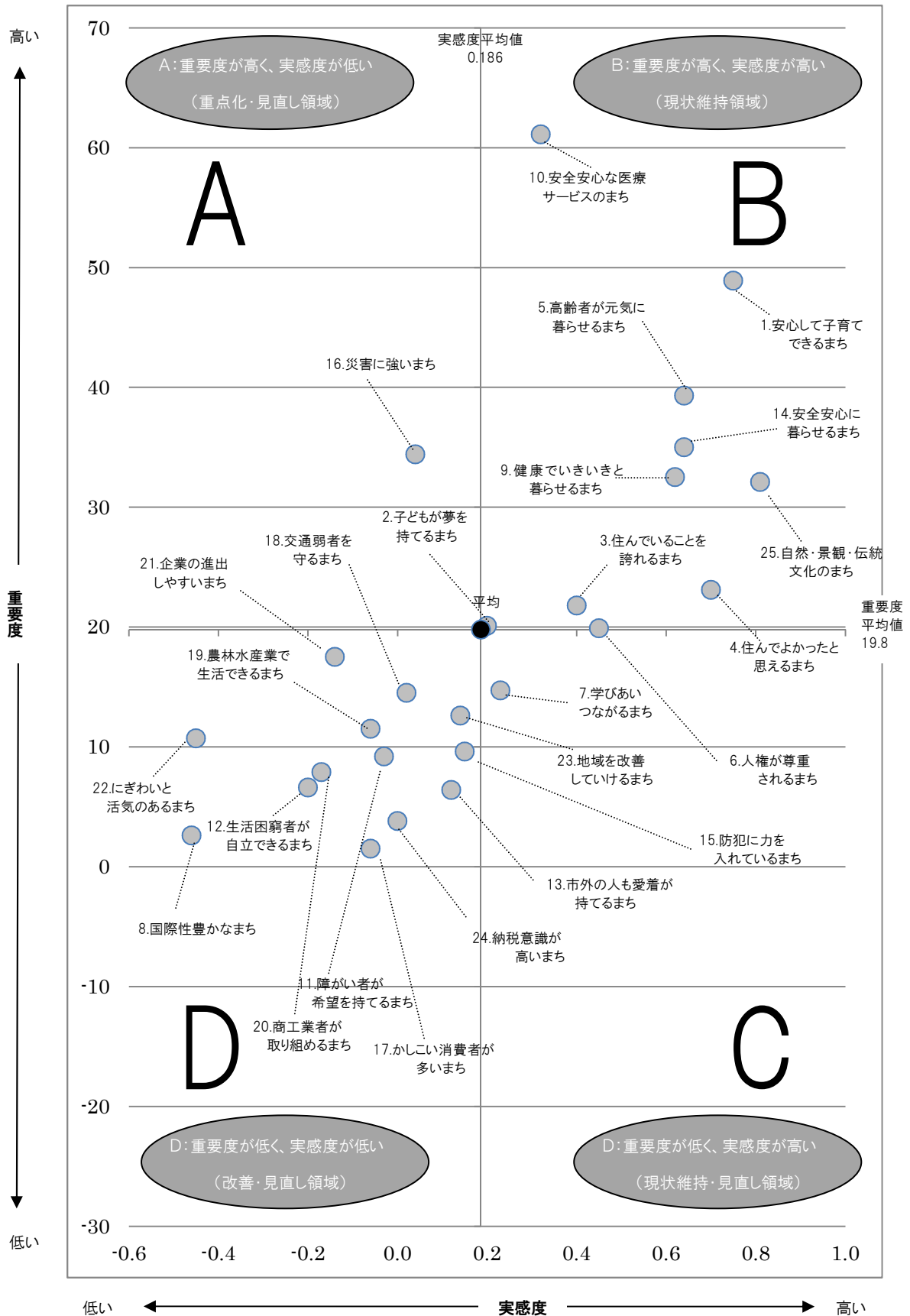
No	設問項目	略標記	実感度	重要度
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち	0.669	41.9
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢をもてるまち	0.079	17.4
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち	0.346	20.8
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち	0.562	23.7
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	0.495	44.3
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち	0.329	18.9
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち	-0.182	10.4
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち	-0.489	2.3
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち	0.536	35.6
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち	0.375	56.8
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望をもてるまち	-0.032	8.5
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち	0.196	8.7
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人も愛着が持てるまち	0.036	3.6
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち	0.690	40.3
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち	0.187	10.4
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち	0.127	36.2
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち	-0.082	2.1
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち	0.031	19.3
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち	-0.088	15.3
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち	-0.230	6.6
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち	-0.113	19.3
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち	-0.413	7.8
23	コミュニティ活動などにより、市民自らの力で地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち	-0.002	9.7
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち	-0.054	4.0
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち	0.639	31.4
平均→			0.144	19.8

【前回調査との比較】

前回の相関図と比べて大きく変化した項目としては、「2.子どもが夢をもてるまち」が(B)から(D)へ、「6.人権が尊重されるまち」が(B)から(C)へ、「7.学びあいつながるまち」が(C)から(D)へ、「12.生活困窮者が自立できるまち」が(D)から(C)へ、「15.防犯に力を入れているまち」が(D)から(C)へそれぞれ移行している。

No	略標記	前回調査結果		散布図 象限	今回調査結果		散布図 象限
		実感度	重要度		実感度	重要度	
1	安心して子育てできるまち	0.750	48.9	B	0.669	41.9	B
2	子どもが夢をもてるまち	0.200	20.1	B	0.079	17.4	D
3	住んでいることを誇れるまち	0.400	21.8	B	0.346	20.8	B
4	住んでよかったと思えるまち	0.700	23.1	B	0.562	23.7	B
5	高齢者が元気に暮らせるまち	0.640	39.3	B	0.495	44.3	B
6	人権が尊重されるまち	0.450	19.9	B	0.329	18.9	C
7	学びあいつながるまち	0.230	14.7	C	-0.182	10.4	D
8	国際性豊かなまち	-0.460	2.6	D	-0.489	2.3	D
9	健康でいきいきと暮らせるまち	0.620	32.5	B	0.536	35.6	B
10	安全安心な医療サービスのまち	0.320	61.1	B	0.375	56.8	B
11	障がい者が希望をもてるまち	-0.030	9.2	D	-0.032	8.5	D
12	生活困窮者が自立できるまち	-0.200	6.6	D	0.196	8.7	C
13	市外の人にも愛着が持てるまち	0.120	6.4	D	0.036	3.6	D
14	安全安心に暮らせるまち	0.640	35.0	B	0.690	40.3	B
15	防犯に力を入れているまち	0.150	9.6	D	0.187	10.4	C
16	災害に強いまち	0.040	34.4	A	0.127	36.2	A
17	かしこい消費者が多いまち	-0.060	1.5	D	-0.082	2.1	D
18	交通弱者を守るまち	0.020	14.5	D	0.031	19.3	D
19	農林水産業で生活できるまち	-0.060	11.5	D	-0.088	15.3	D
20	商工業者が取り組めるまち	-0.170	7.9	D	-0.230	6.6	D
21	企業が進出しやすいまち	-0.140	17.5	D	-0.113	19.3	D
22	にぎわいと活気のあるまち	-0.450	10.7	D	-0.413	7.8	D
23	地域を改善していけるまち	0.140	12.6	D	-0.002	9.7	D
24	納税意識が高いまち	0.000	3.8	D	-0.054	4.0	D
25	自然・景観・伝統・文化のまち	0.810	32.1	B	0.639	31.4	B
平均		0.186	19.8		0.144	19.8	

【参考／前回調査における相関図】

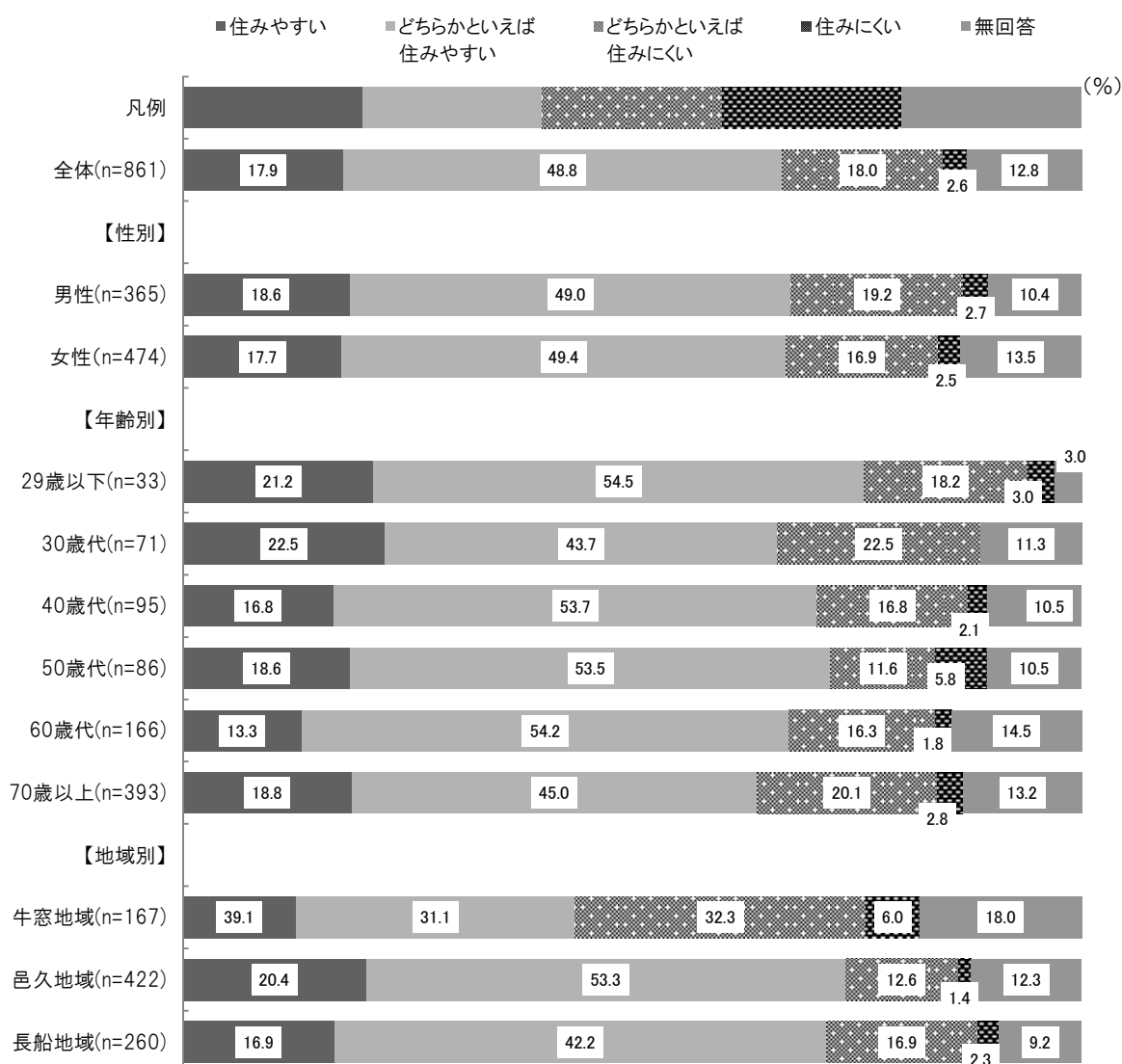


【2】瀬戸内市の住みやすさについて

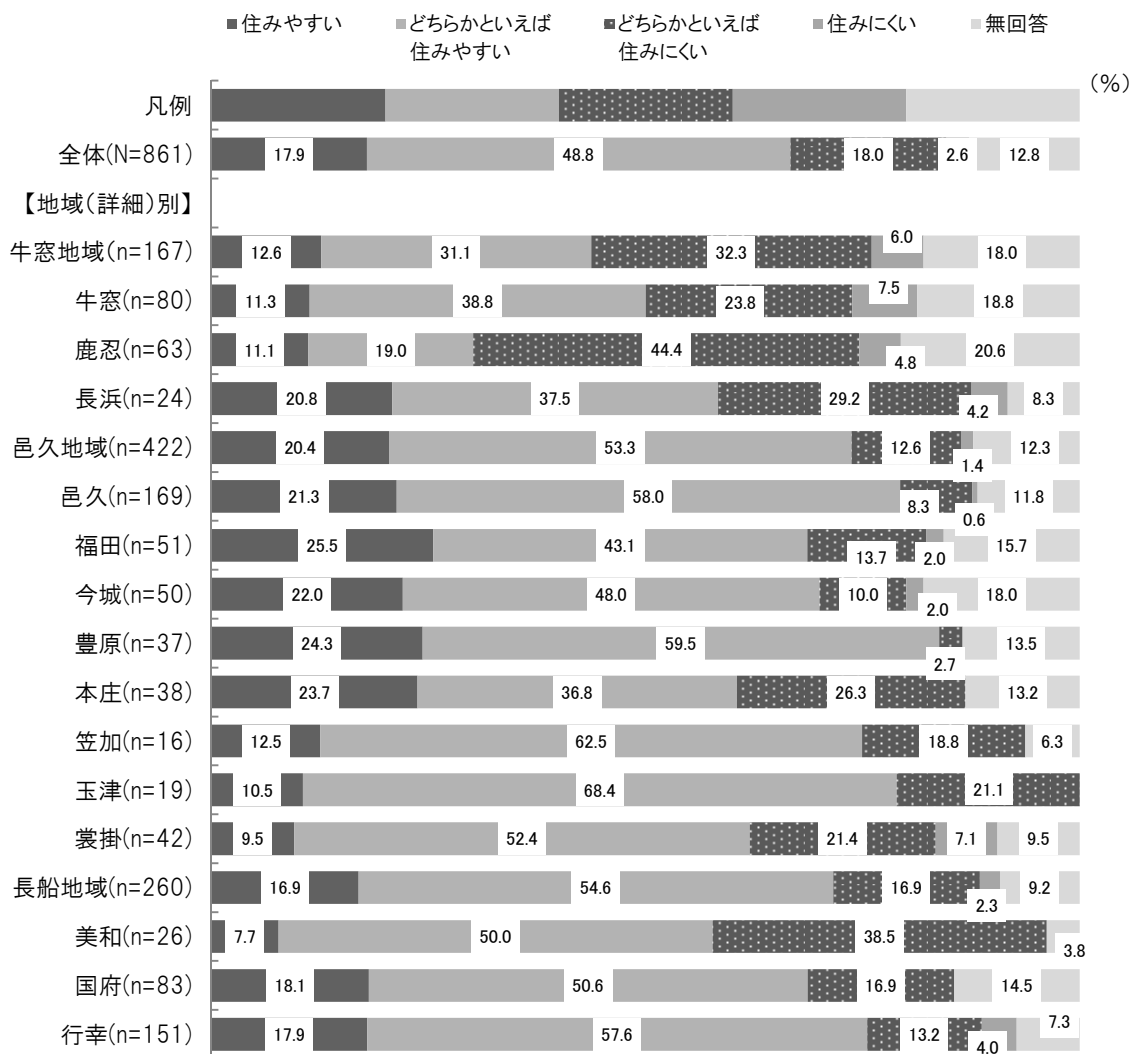
1. 住みやすさ評価

問3 あなたは、瀬戸内市は住みやすいまちだと思いますか。(1つに○印)

瀬戸内市の住みやすさについては、「住みやすい」が17.9%、「どちらかといえば住みやすい」が48.8%となっており、全体の66.7%が「住みやすい」という評価となっている。なお、「どちらかといえば住みにくい」(18.0%)、「住みにくい」(2.6%)となっている。性別でみると、大きな男女差は無い。年齢別でみると、30歳代及び70歳以上で、やや低い評価となっている。また、地域別でみると、牛窓地域が他の地域に比べて低い評価となっている。

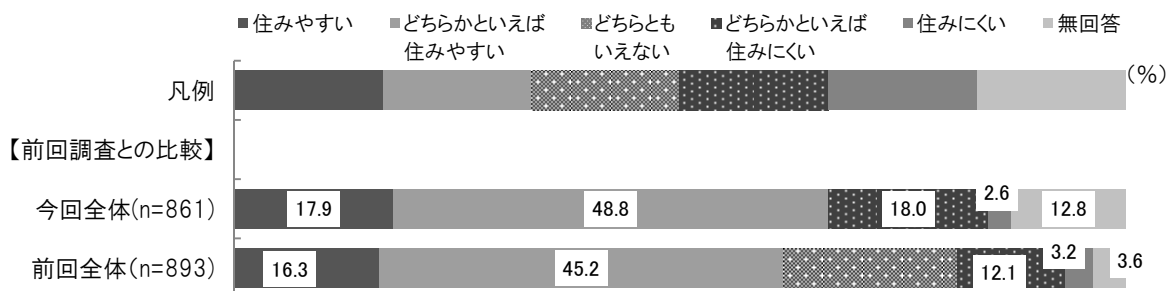


地域別を詳細にみると、「住みやすい」への回答が多いのは、邑久、福田、今城、豊原、本庄、長浜などであり、一方、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」への回答が多いのは牛窓、鹿忍、美和などとなっている。



【前回調査との比較】

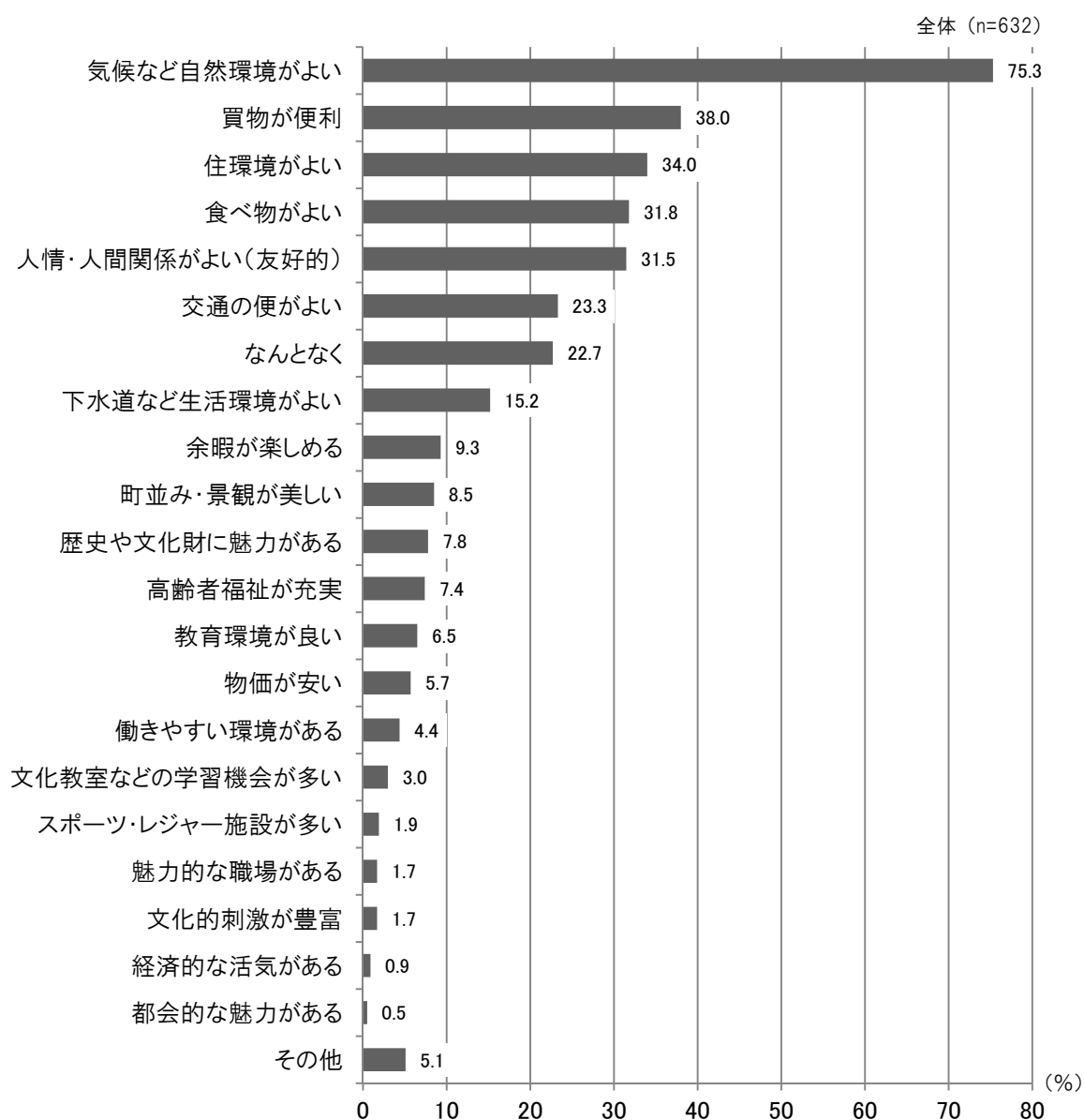
前回調査と比べて「どちらかといえば住みやすい」「どちらかといえば住みにくい」が増加している。なお、今回調査では「どちらともいえない」の選択肢はない。



2. 住みやすいと思う理由

問3付問1 問3で「1 住みやすい」及び「2 どちらかといえば住みやすい」を選んだ方のみお答え下さい。あなたが、住みやすいと思う理由は何ですか
(4つまで番号に○印)

住みやすいと思う理由については、「気候など自然環境がよい」が75.3%と最も多く突出している。次いで「買物が便利」38.0%、「住環境がよい」34.0%、「食べ物がよい」31.8%、「人情・人間関係がよい(友好的)」31.5%、「交通の便がよい」(23.3%)などの順となっている。



性別でみると、男女差が比較的大きい項目としては「食べ物がよい」、「人情・人間関係が良い（友好的）」などで女性が多くみられる。

年齢別でみると、「人情・人間関係がよい（友好的）」、「下水道など生活環境がよい」などは、60歳代、70歳以上で多くなっている。また、「住環境がよい」は40歳代が多く、「買物が便利」は29歳以下が多くなっている。

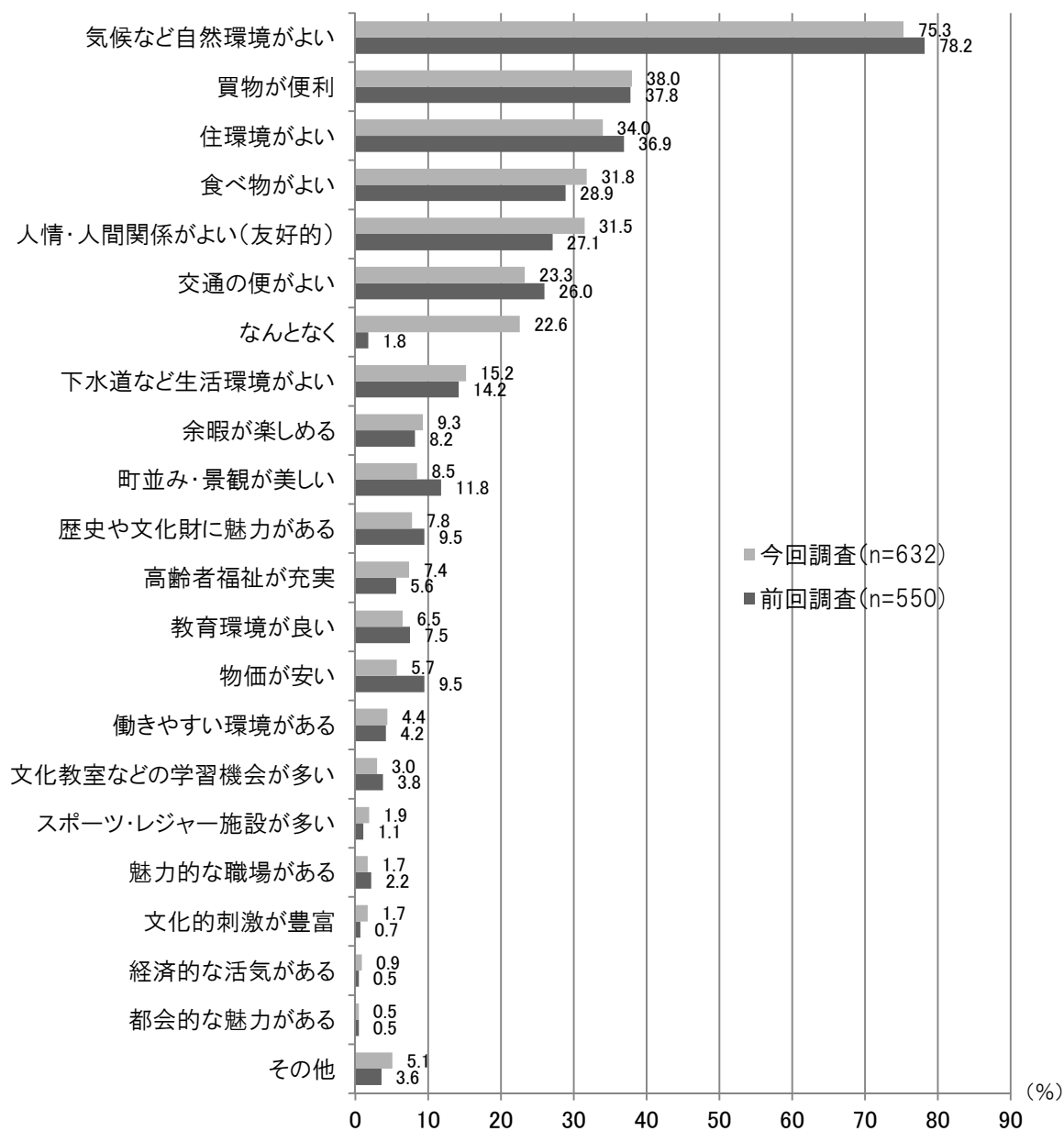
地域別でみると、邑久、福田、豊原などの邑久地域では「買物が便利」の回答が多くみられ、鹿忍、長浜などの牛窓地域では「食べ物がよい」の回答が多くなっている。また、美和、行幸などの長船地域では「下水道など生活環境がよい」の回答が多くみられる。

単位 (%)		境がよい	気候など自然環境がよい	買物が便利	住環境がよい	食べ物がよい	がよい(友好的)	人情・人間関係	交通の便がよい	なんとなく	環境がよい	下水道など生活	余暇が楽しめる	美しい	町並み・景観が	魅力がある	歴史や文化財に
全体 (n=632)		75.3	38.0	34.0	31.8	31.5	23.3	22.6	15.2	9.3	8.5	7.8					
性別	男性(n=274)	74.8	39.4	34.7	25.5	28.1	24.1	23.0	15.0	10.9	7.3	5.8					
	女性(n=347)	76.1	37.2	34.3	36.9	34.9	22.5	22.2	15.3	8.1	9.2	9.5					
年齢別	29歳以下 (n=25)	60.0	48.0	24.0	12.0	24.0	24.0	28.0	0.0	0.0	12.0	8.0					
	30歳代(n=51)	64.7	39.2	31.4	21.6	23.5	21.6	23.5	9.8	3.9	7.8	5.9					
	40歳代(n=73)	74.0	31.5	45.2	23.3	19.2	27.4	20.5	4.1	4.1	11.0	9.6					
	50歳代(n=66)	71.2	40.9	30.3	19.7	18.2	15.2	21.2	16.7	9.1	9.1	6.1					
	60歳代(n=132)	78.8	43.2	40.9	31.8	37.1	26.5	25.0	15.2	9.1	6.8	6.8					
	70歳以上 (n=273)	71.4	32.6	27.5	38.1	34.4	19.8	20.1	18.3	11.4	7.7	7.7					
地域別	牛窓地域 (n=95)	86.3	6.3	30.5	53.7	43.2	4.2	20.0	12.6	21.1	17.9	21.1					
	牛窓 (n=52)	84.6	3.8	25.0	44.2	40.4	5.8	23.1	17.3	23.1	25.0	21.2					
	鹿忍 (n=27)	88.9	3.7	37.0	63.0	51.9	3.7	22.2	7.4	14.8	7.4	29.6					
	長浜 (n=16)	87.5	18.8	37.5	68.8	37.5	0.0	6.3	6.3	25.0	12.5	6.3					
	邑久地域 (n=334)	73.1	50.9	34.7	30.2	30.8	29.0	23.4	11.1	6.9	6.9	3.3					
	邑久 (n=141)	60.3	64.5	36.9	21.3	24.8	36.9	23.4	10.6	4.3	6.4	3.5					
	福田 (n=40)	80.0	65.0	32.5	30.0	32.5	37.5	10.0	15.0	7.5	5.0	0.0					
	今城 (n=39)	79.5	30.8	30.8	41.0	28.2	25.6	25.6	7.7	10.3	10.3	5.1					
	豊原 (n=34)	70.6	61.8	41.2	23.5	23.5	38.2	20.6	17.6	2.9	0.0	2.9					
	本庄 (n=25)	88.0	32.0	32.0	48.0	44.0	8.0	24.0	4.0	8.0	8.0	4.0					
	笠加 (n=13)	92.3	38.5	23.1	46.2	23.1	15.4	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0					
	玉津 (n=15)	93.3	33.3	20.0	33.3	53.3	13.3	26.7	33.3	20.0	13.3	6.7					
	裳掛 (n=27)	88.9	7.4	40.7	44.4	51.9	3.7	40.7	0.0	11.1	14.8	3.7					
	長船地域 (n=198)	74.7	31.8	34.8	24.2	27.3	21.7	22.7	23.2	8.1	7.1	9.1					
	美和 (n=15)	100.0	20.0	26.7	40.0	40.0	0.0	46.7	53.3	6.7	0.0	20.0					
	国府 (n=62)	75.8	14.5	41.9	25.8	30.6	9.7	22.6	9.7	9.7	8.1	8.1					
行幸 (n=121)	71.1	42.1	32.2	21.5	24.0	30.6	19.8	26.4	7.4	7.4	8.3						

単位 (%)		実 高齢者福祉が充 実	教育環境が良い	物価が安い	働きやすい環境 がある	学習機会が多い	文化教室などの 施設が多い	スポーツ・レジャ ー施設が多い	魅力的な職場が ある	富 文化的刺激が豊 富	ある 経済的な活気が ある	都会的な魅力が ある	その他
全体 (n=632)		7.4	6.5	5.7	4.4	3.0	1.9	1.7	1.7	0.9	0.5	5.1	
性別	男性(n=274)	5.5	7.7	5.5	1.5	1.8	1.8	1.5	0.7	0.7	4.4	0.7	
	女性(n=347)	8.9	5.8	3.2	4.0	2.0	1.7	2.0	1.2	0.3	5.5	0.3	
年齢別	29歳以下 (n=25)	0.0	4.0	16.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	
	30歳代(n=51)	0.0	19.6	5.9	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	0.0	
	40歳代(n=73)	1.4	13.7	5.5	0.0	4.1	6.8	1.4	0.0	0.0	9.6	0.0	
	50歳代(n=66)	0.0	3.0	10.6	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	
	60歳代(n=132)	3.8	3.8	0.8	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	0.8	0.8	0.8	
	70歳以上 (n=273)	14.3	4.4	2.9	4.4	1.1	0.7	1.1	1.1	0.7	2.9	0.7	
地域別	牛窓地域 (n=95)	12.6	7.4	5.3	2.1	3.2	1.1	3.2	2.1	0.0	3.2	0.0	
	牛窓 (n=52)	7.7	3.8	5.8	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	
	鹿忍 (n=27)	18.5	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0	7.4	3.7	0.0	3.7	0.0	
	長浜 (n=16)	18.8	12.5	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	
	邑久地域 (n=334)	5.7	6.0	5.1	1.8	0.9	1.8	0.9	1.2	0.6	5.1	0.6	
	邑久 (n=141)	4.3	4.3	7.8	2.1	1.4	2.1	2.1	1.4	0.0	5.0	0.0	
	福田 (n=40)	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	
	今城 (n=39)	2.6	10.3	5.1	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	
	豊原 (n=34)	5.9	8.8	5.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	
	本庄 (n=25)	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	12.0	8.0	
	笠加 (n=13)	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	
	玉津 (n=15)	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	裳掛 (n=27)	7.4	11.1	7.4	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	
	長船地域 (n=198)	7.1	7.1	3.0	5.1	3.0	2.0	2.0	0.0	0.5	5.6	0.5	
	美和 (n=15)	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	国府 (n=62)	8.1	9.7	1.6	4.8	6.5	1.6	3.2	0.0	0.0	6.5	0.0	
行幸 (n=121)	7.4	6.6	4.1	5.0	1.7	2.5	1.7	0.0	0.8	5.8	0.8		

【前回調査との比較】

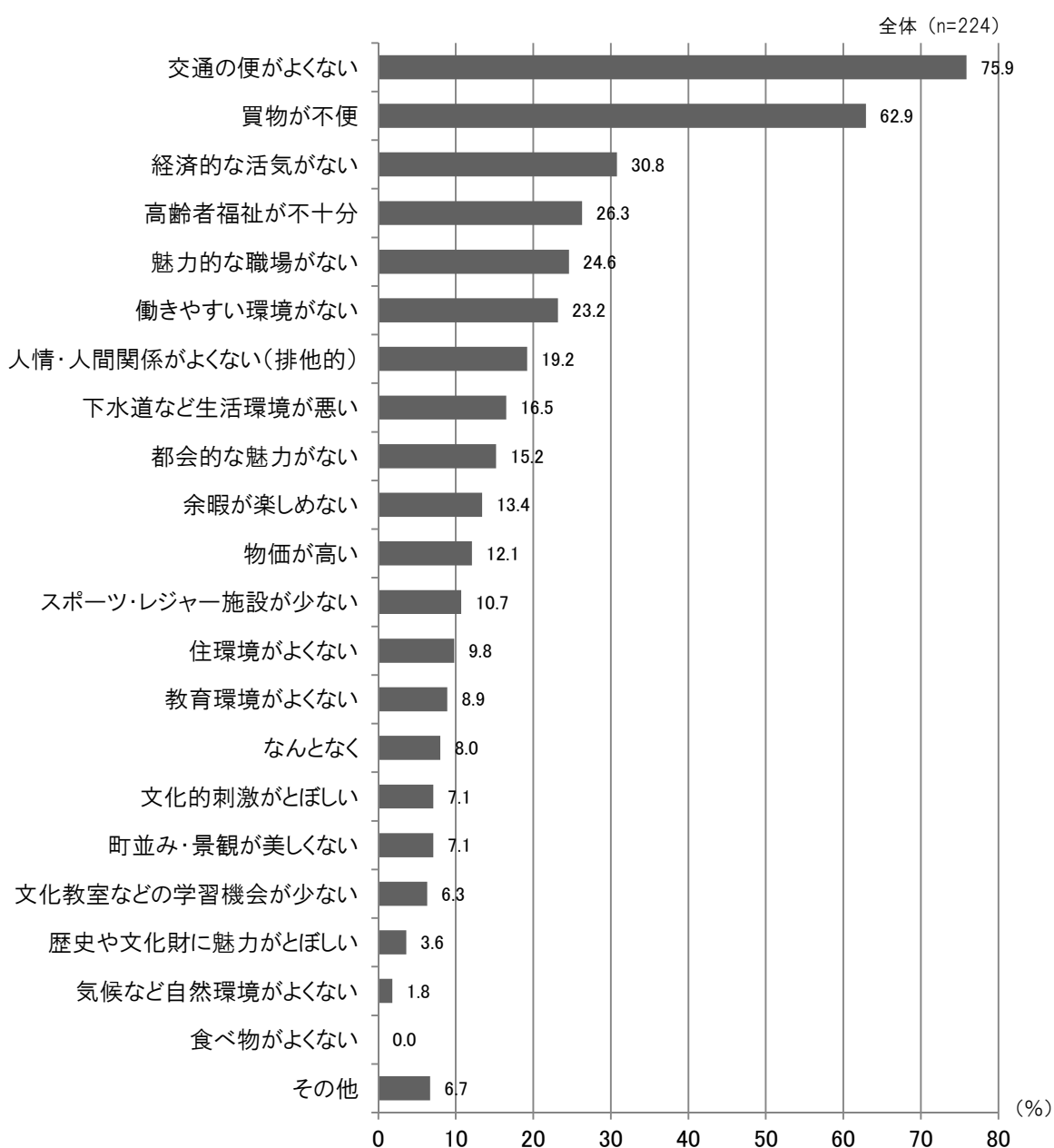
前回調査と比較して、「人情・人間関係がよい」、「なんとなく」などが増加しており、一方、「町並み・景観が美しい」、「物価が安い」などが減少している



3. 住みにくいと思う理由

問3付問2 問3で「3 どちらかといえば住みにくい」及び「4 住みにくい」を選んだ方のみお答え下さい。あなたが、住みにくいと思う理由は何ですか
(4つまで番号に○印)

住みにくいと思う理由については、「交通の便がよくない」が75.9%と最も多く、次いで「買物が不便」(62.5%)、「経済的な活気がない」(30.8%)、「高齢者福祉が不十分」(26.3%)、「魅力的な職場がない」(24.6%)などの順になっている。

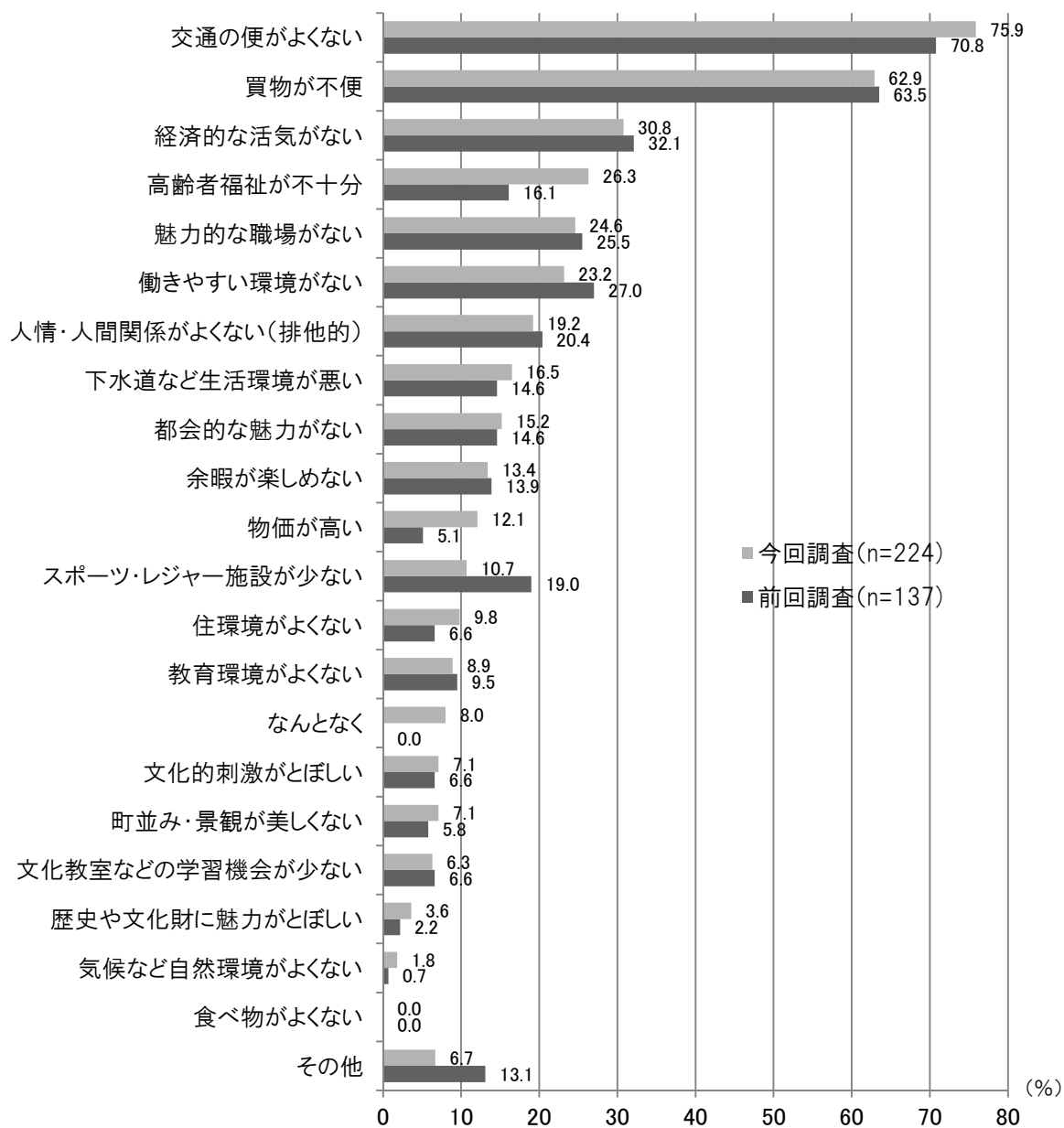


性別でみると、男女差が比較的大きな項目としては「魅力的な職場がない」などは男性が多く、「買物が不便」などは女性が多くなっている。年齢別でみると、29歳以下では「都会的な魅力がない」、30歳代では「魅力的な職場がない」、40歳代では「交通の便がよくない」、50歳代では「働きやすい環境がない」、60歳代では「経済的な活気がない」、70歳以上では「高齢者福祉が不十分」などが多くみられる。地域別でみると、牛窓地域では「買物が不便」、邑久地域では「下水道など生活環境が悪い」、長船地域では「都会的な魅力がない」などが多くみられる。

単位 (%)		交通の便がよくない	買物が不便	経済的な活気がない	十分	高齢者福祉が不十分	魅力的な職場がない	働きやすい環境がない	よくない(排他的)	人情・人間関係が悪い	下水道など生活環境が悪い	都会的な魅力がない	余暇が楽しめる	物価が高い			
全体 (n=224)		75.9	62.9	30.8	26.3	24.6	23.2	19.2	16.5	15.2	13.4	12.1					
性別	男性(n=91)	72.5	58.2	35.2	22.0	30.8	26.4	19.8	19.8	15.4	12.1	13.2					
	女性(n=123)	78.0	66.7	29.3	30.1	18.7	19.5	18.7	14.6	14.6	15.4	10.6					
年齢別	29歳以下 (n=8)	75.0	75.0	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0					
	30歳代(n=19)	68.4	47.4	26.3	5.3	52.6	21.1	15.8	15.8	10.5	26.3	0.0					
	40歳代(n=22)	90.9	40.9	27.3	9.1	22.7	31.8	4.5	27.3	9.1	18.2	4.5					
	50歳代(n=19)	68.4	73.7	31.6	21.1	26.3	42.1	0.0	5.3	15.8	5.3	5.3					
	60歳代(n=34)	79.4	70.6	47.1	14.7	29.4	32.4	23.5	17.6	17.6	11.8	17.6					
	70歳以上 (n=119)	72.3	62.2	26.1	37.0	17.6	15.1	22.7	16.0	14.3	11.8	15.1					
地域別	牛窓地域 (n=80)	75.8	70.5	31.6	17.9	25.3	25.3	9.5	9.5	9.5	12.6	18.9					
	邑久地域 (n=80)	72.5	46.3	25.0	30.0	23.8	20.0	26.3	26.3	11.3	13.8	5.0					
	長船地域 (n=59)	64.4	57.6	30.5	30.5	18.6	18.6	20.3	11.9	22.0	11.9	8.5					
単位 (%)		スポーツ・レジャー施設が少ない	住環境がよくない	教育環境がよくない	なんとなく	ぼしい	文化的刺激がと美しくない	町並み・景観が	習機会が少ない	文化教室などの学習機会が少ない	魅力がとほしい	歴史や文化財に	境がよくない	気候など自然環境がよくない	い	食べ物がよくな	その他
全体 (n=224)		10.7	9.8	8.9	8.0	7.1	7.1	6.3	3.6	1.8	0.0	6.7					
性別	男性(n=91)	15.4	7.7	8.8	6.6	11.0	9.9	2.2	3.3	2.2	0.0	4.4					
	女性(n=123)	8.1	10.6	9.8	9.8	4.9	5.7	8.1	4.1	1.6	0.0	8.9					
年齢別	29歳以下 (n=8)	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0					
	30歳代(n=19)	26.3	10.5	15.8	0.0	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	26.3					
	40歳代(n=22)	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	13.6					
	50歳代(n=19)	10.5	5.3	31.6	0.0	15.8	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5					
	60歳代(n=34)	2.9	8.8	2.9	8.8	8.8	5.9	0.0	2.9	2.9	0.0	5.9					
	70歳以上 (n=119)	6.7	11.8	4.2	12.6	5.9	7.6	7.6	3.4	1.7	0.0	2.5					
地域別	牛窓地域 (n=80)	3.2	10.5	2.1	5.3	5.3	4.2	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1					
	邑久地域 (n=80)	13.8	11.3	8.8	10.0	3.8	2.5	10.0	6.3	3.8	0.0	10.0					
	長船地域 (n=59)	15.3	5.1	18.6	8.5	10.2	13.6	6.8	1.7	1.7	0.0	5.1					

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「交通の便がよくない」、「高齢者福祉が不十分」、「なんとなく」などが増加している。一方、「働きやすい環境がない」、「スポーツ・レジャー施設が少ない」などは減少している。



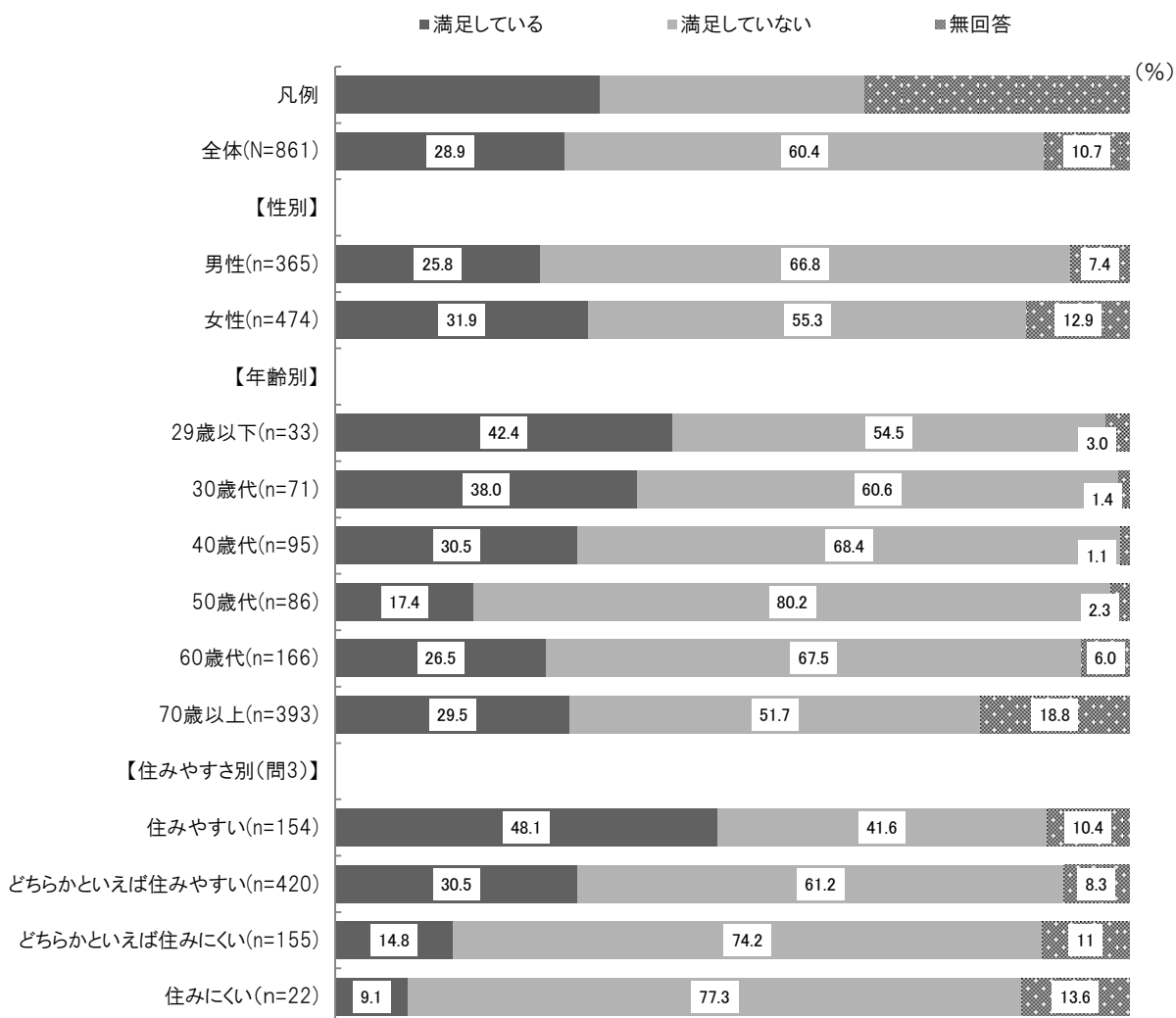
【3】行動や考えについて

問2 あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。下記の(1)～(34)の項目ごとに、回答欄の2つの選択肢((17)については4つ)から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

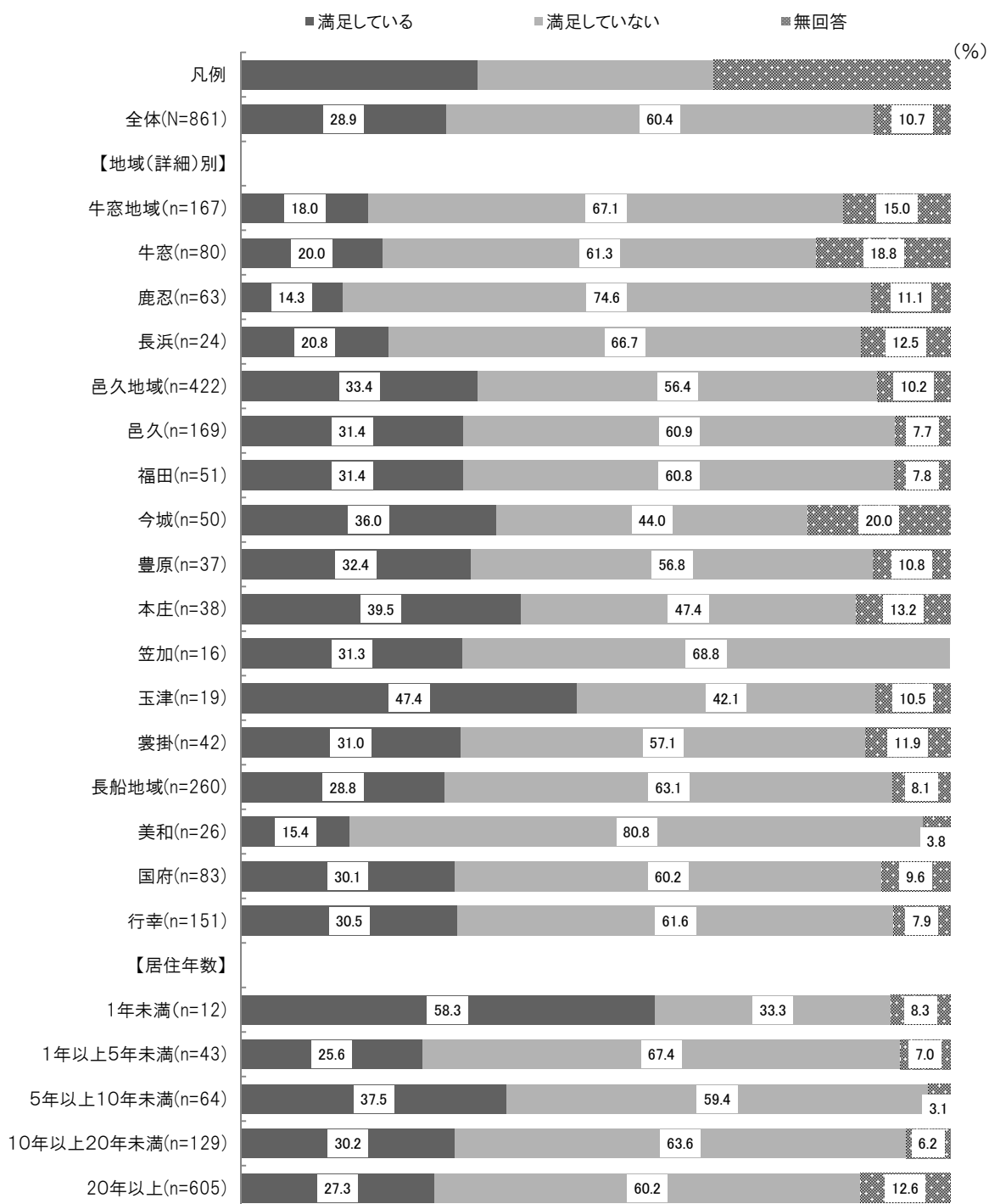
1. 市役所が行うまちづくりの取組への満足感

(1) あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか

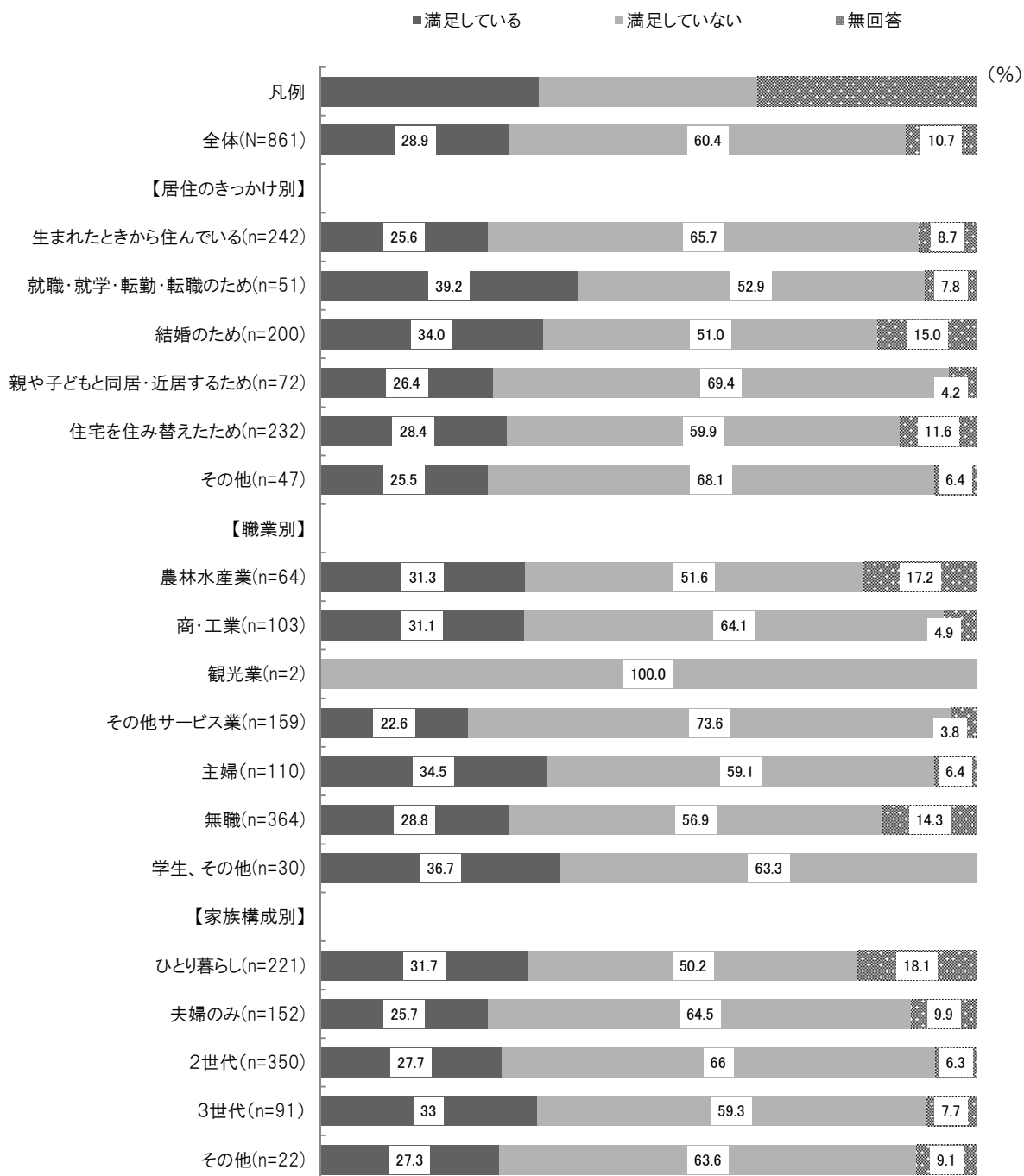
市役所が行うまちづくりの取組への満足感については、全体で見ると、「満足していない」が60.4%と多くなっている。性別で見ると、「満足していない」は男性に多くみられる。年齢別で見ると、50歳代において「満足してない」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなっており、相関関係がみられる。



地域別でみると、「満足している」については玉津、本庄などが多くなっており、「満足していない」については美和、鹿忍などで多くみられる。居住年数別でみると、居住年数が長いほど、「満足している」が少なくなる傾向がみられる。

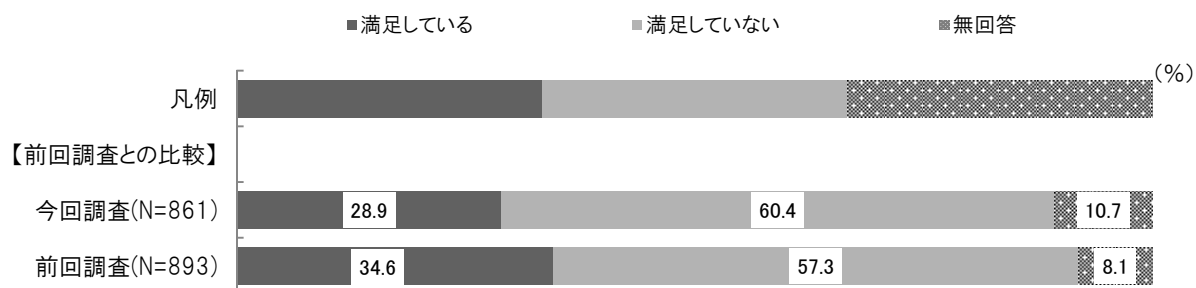


居住のきっかけ別でみると「就職・就学・転勤・転職のため」で「満足している」が最も多くなっている。職業別でみると、「その他サービス業」で「満足していない」が最も多くなっている。家族構成別でみると、「ひとり暮らし」において「満足していない」が少なくなっている。



【前回調査との比較】

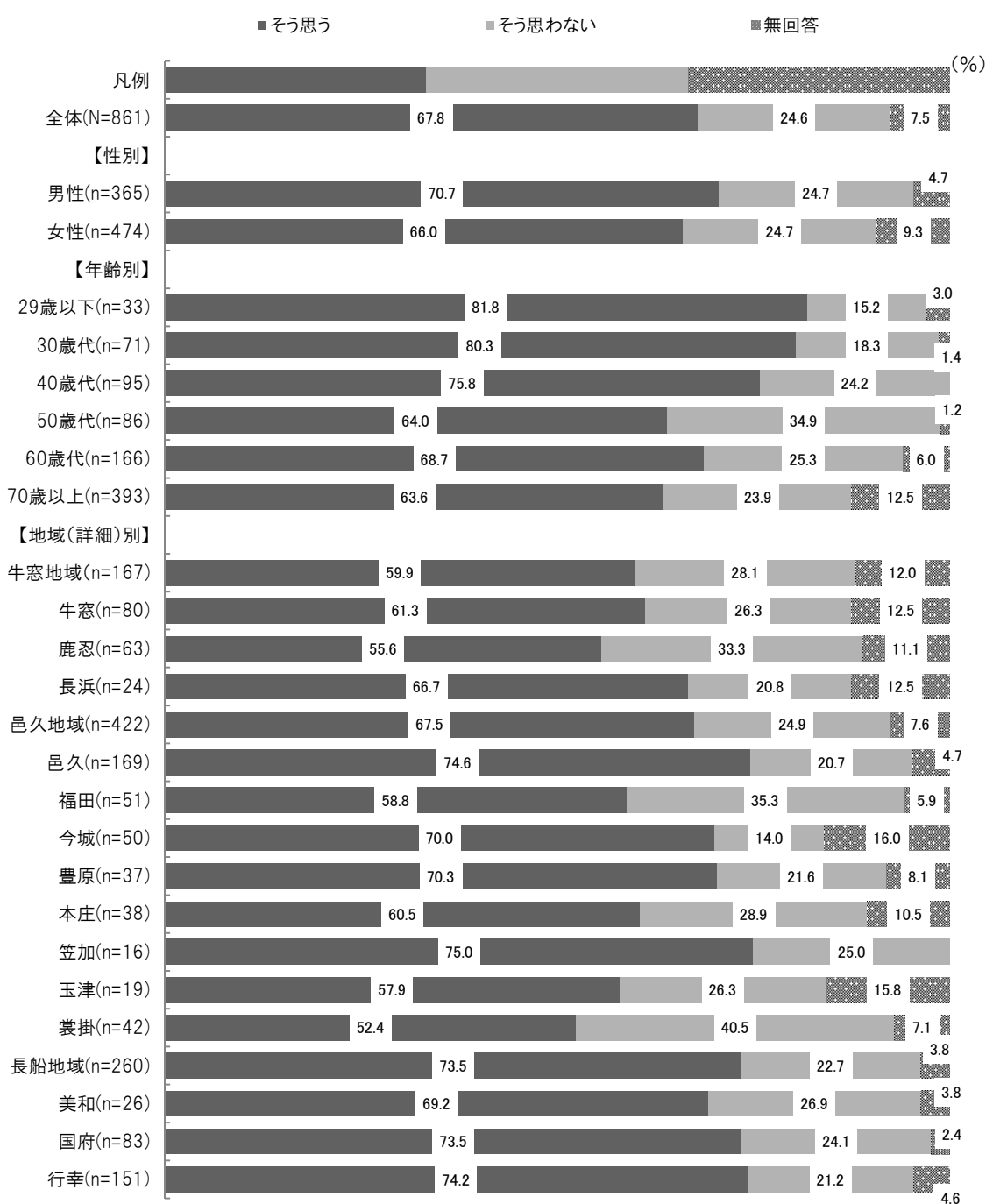
前回調査と比較して、「満足している」が減少している。



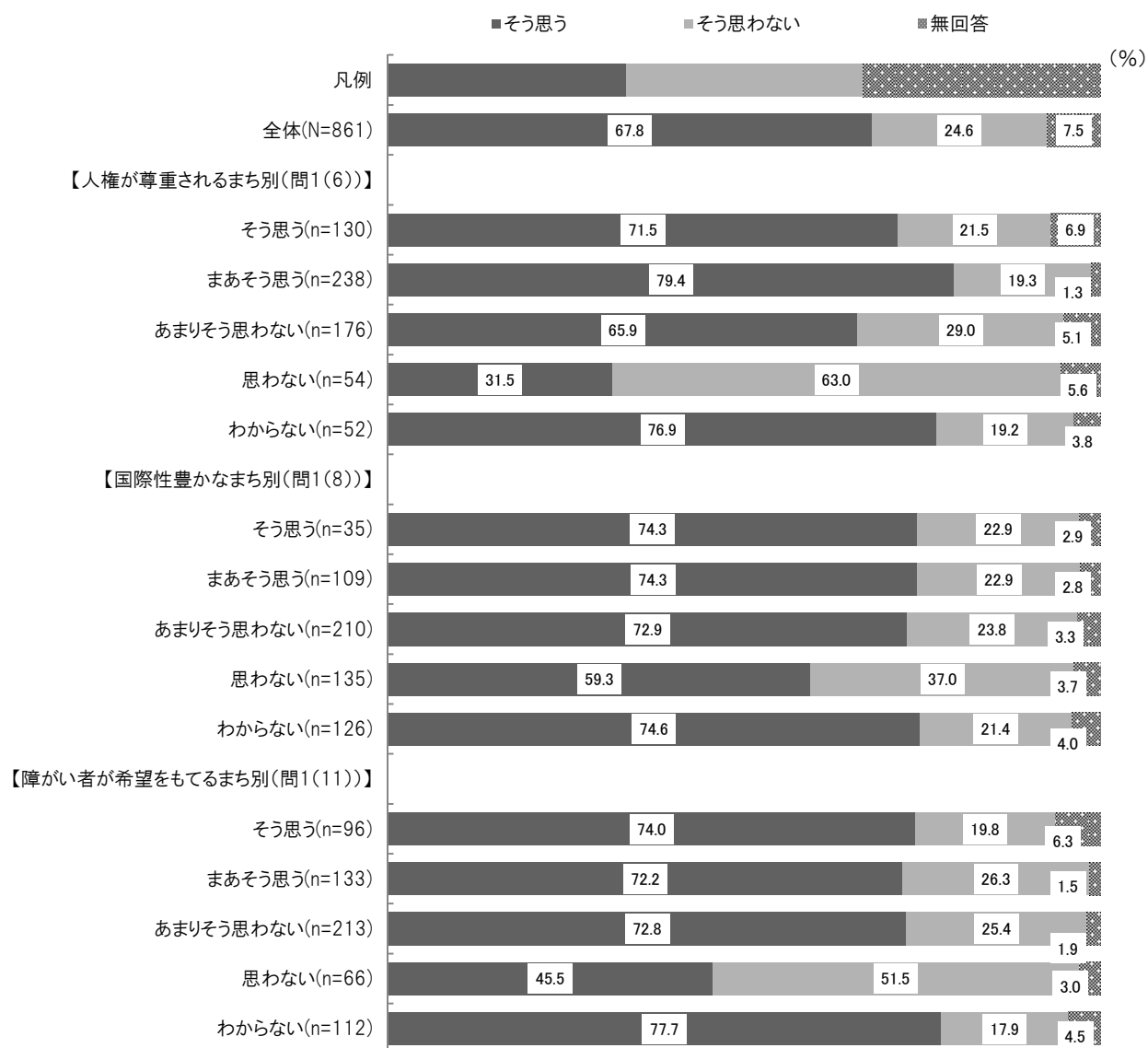
2. 人権が守られていることについて

(2) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか

人権が守られていることについては、全体で見ると、「そう思う」が67.8%と多くなっている。性別で見ると、「そう思う」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、若い世代ほど「そう思う」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、笠加、邑久などで「そう思う」が多くみられる。

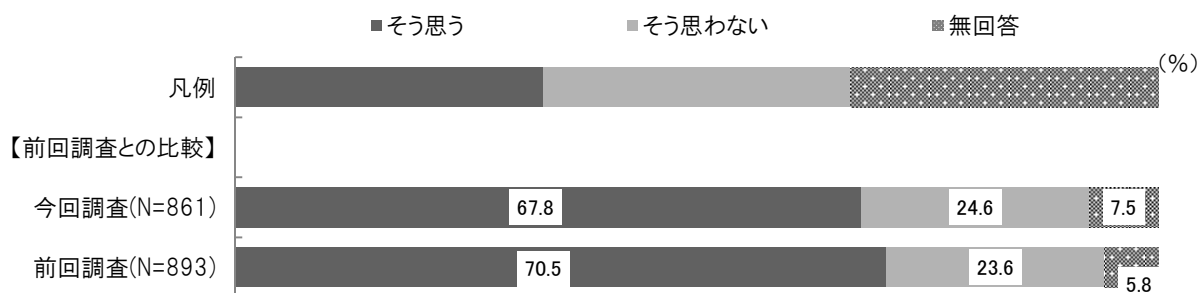


下記の各設問に「思わない」と回答された実感度が低い方ほど、「そう思わない」が多くみられる。



【前回調査との比較】

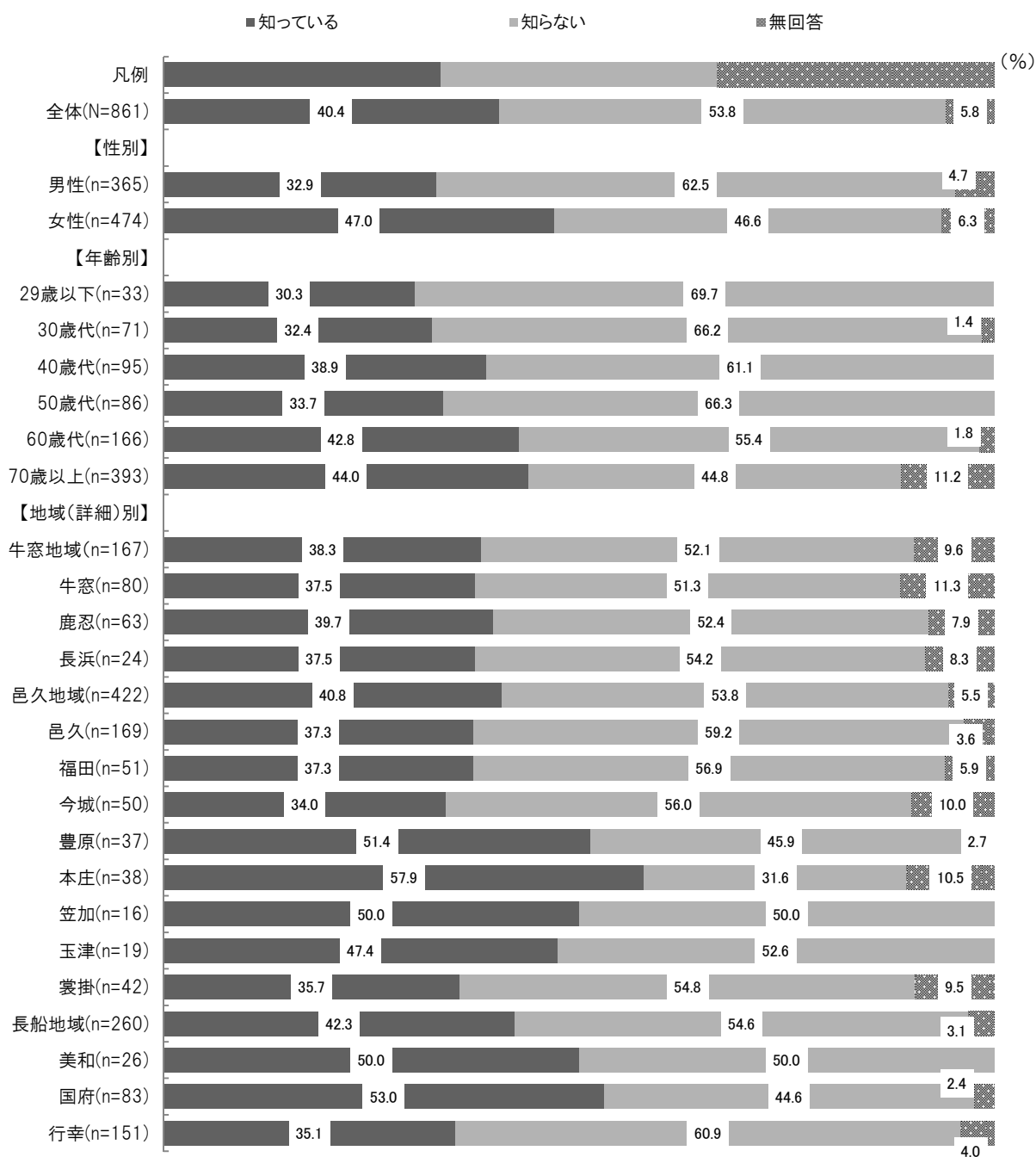
前回調査と比較して、「そう思う」がやや減少している。



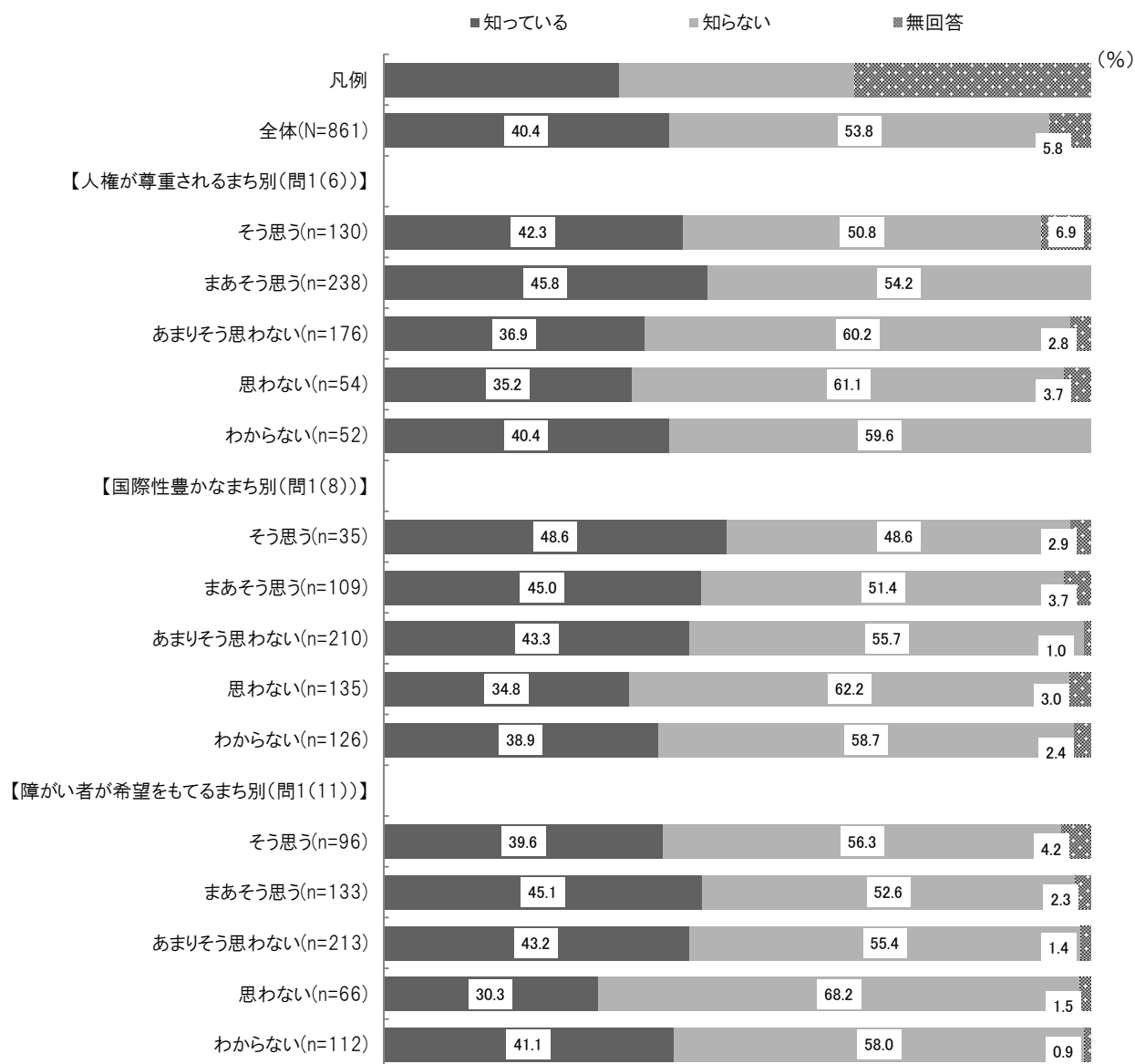
3. 「人権・なやみごと相談」窓口認知状況

(3) あなたは、人権問題について相談できる「人権・なやみごと相談」の窓口を知っていますか

「人権・なやみごと相談」窓口認知状況については、全体で見ると、「知らない」が53.8%と多くなっている。性別で見ると、「知らない」については男性に比較的多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高くなるほど「知っている」が多くなる傾向がみられる。地域別で見ると、本庄、国府、豊原において「知っている」が多くみられる。

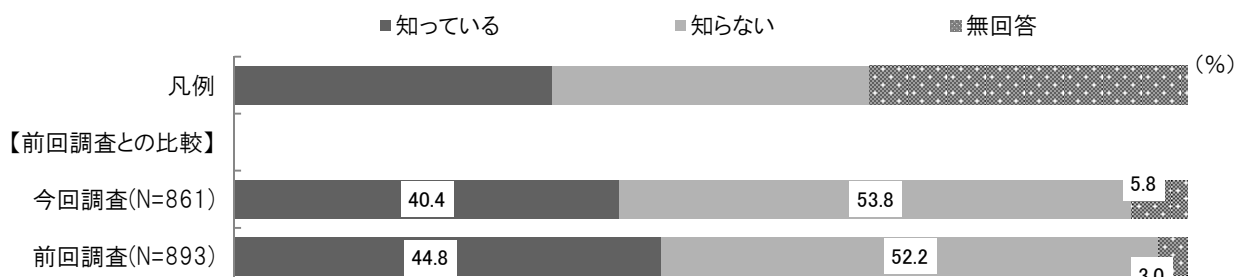


下記の各設問に「思わない」と回答された実感度が低い方ほど、「知らない」が多くみられる。



【前回調査との比較】

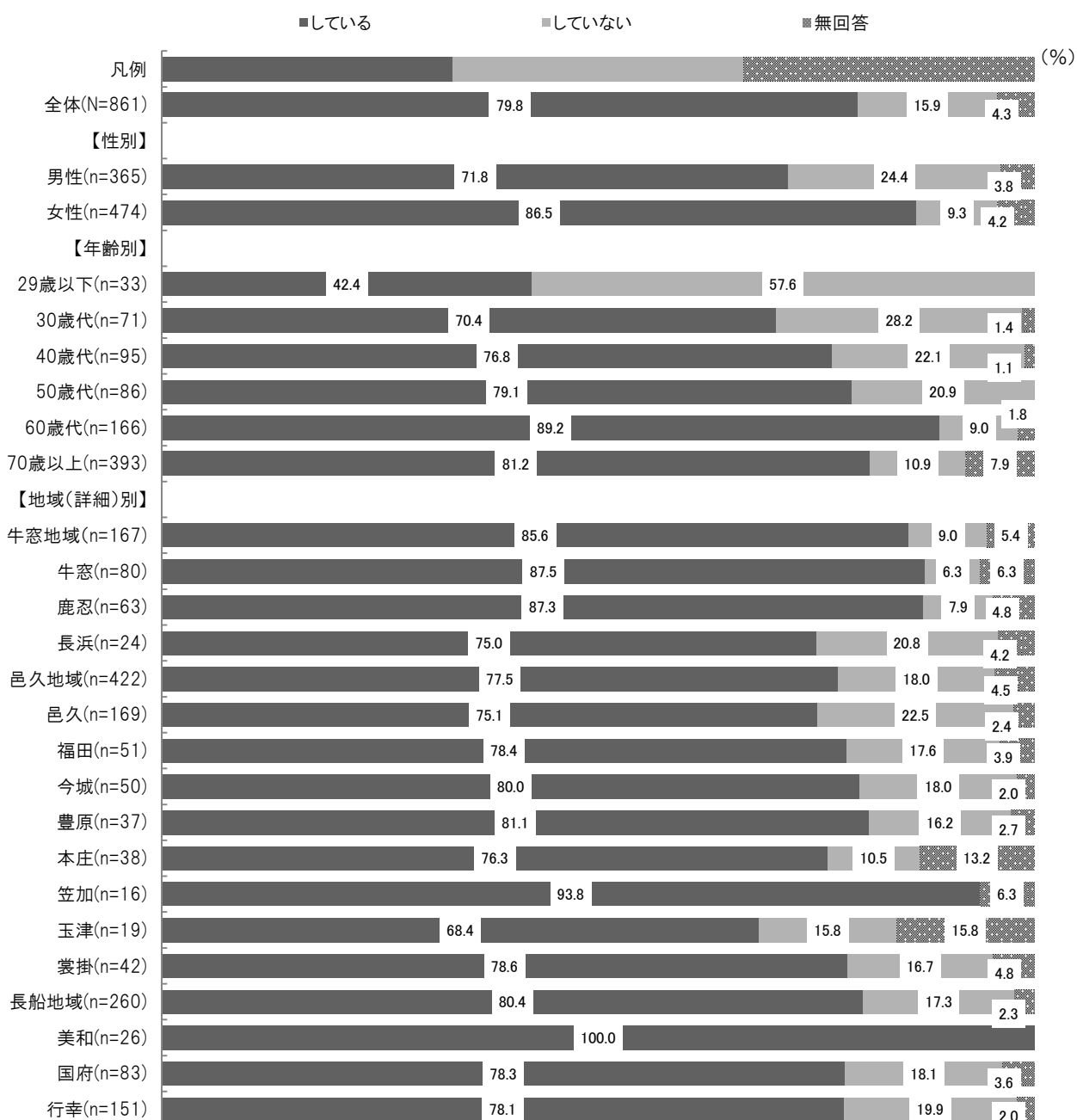
前回調査と比較して、「知っている」が減少している。



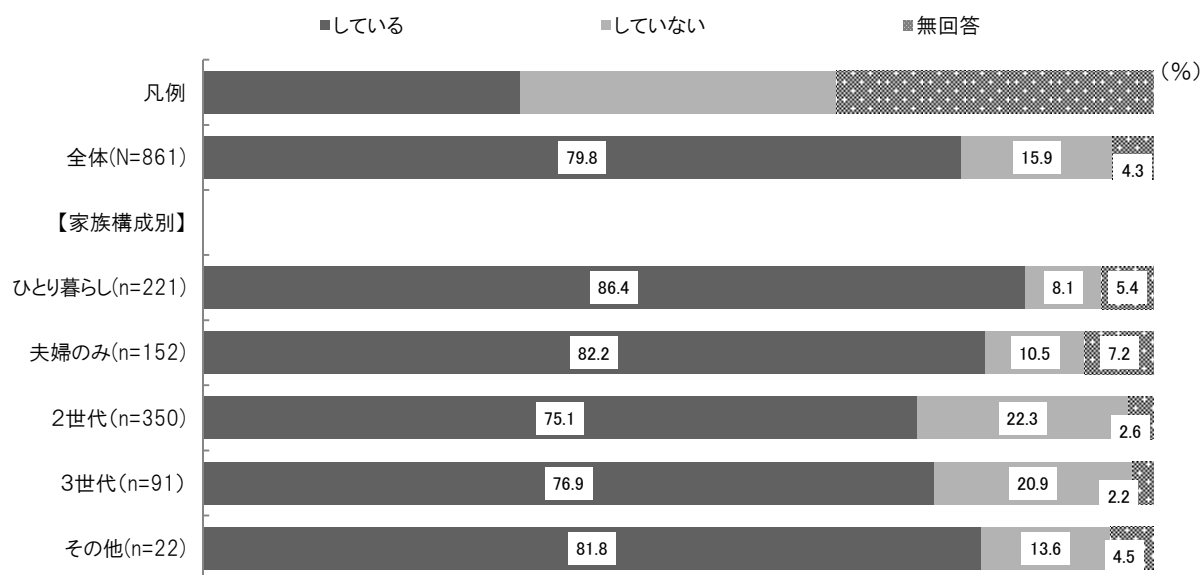
4. 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて

(4) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか

近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについては、全体で見ると、「している」が79.8%と多くなっている。性別で見ると、「している」は女性に多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高いほど「している」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、美和、笠加などで「している」が多くみられる。

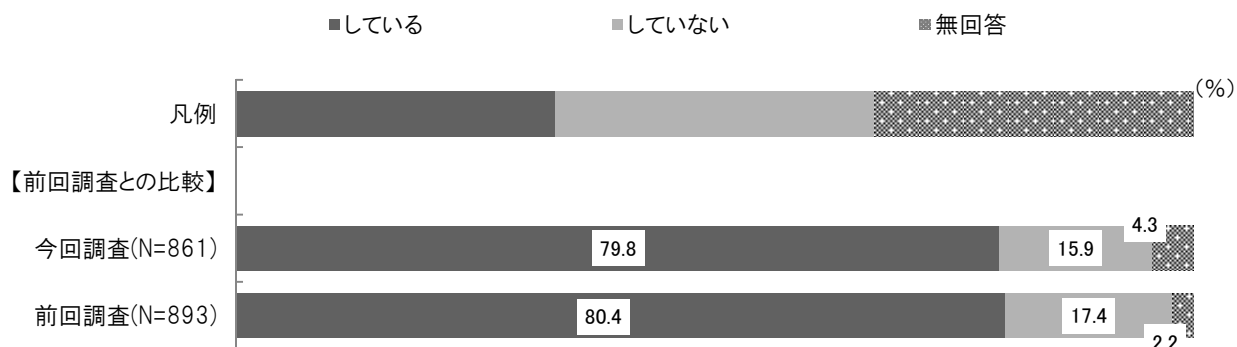


家族構成別でみると、「ひとり暮らし」において「している」が最も多くみられる。



【前回調査との比較】

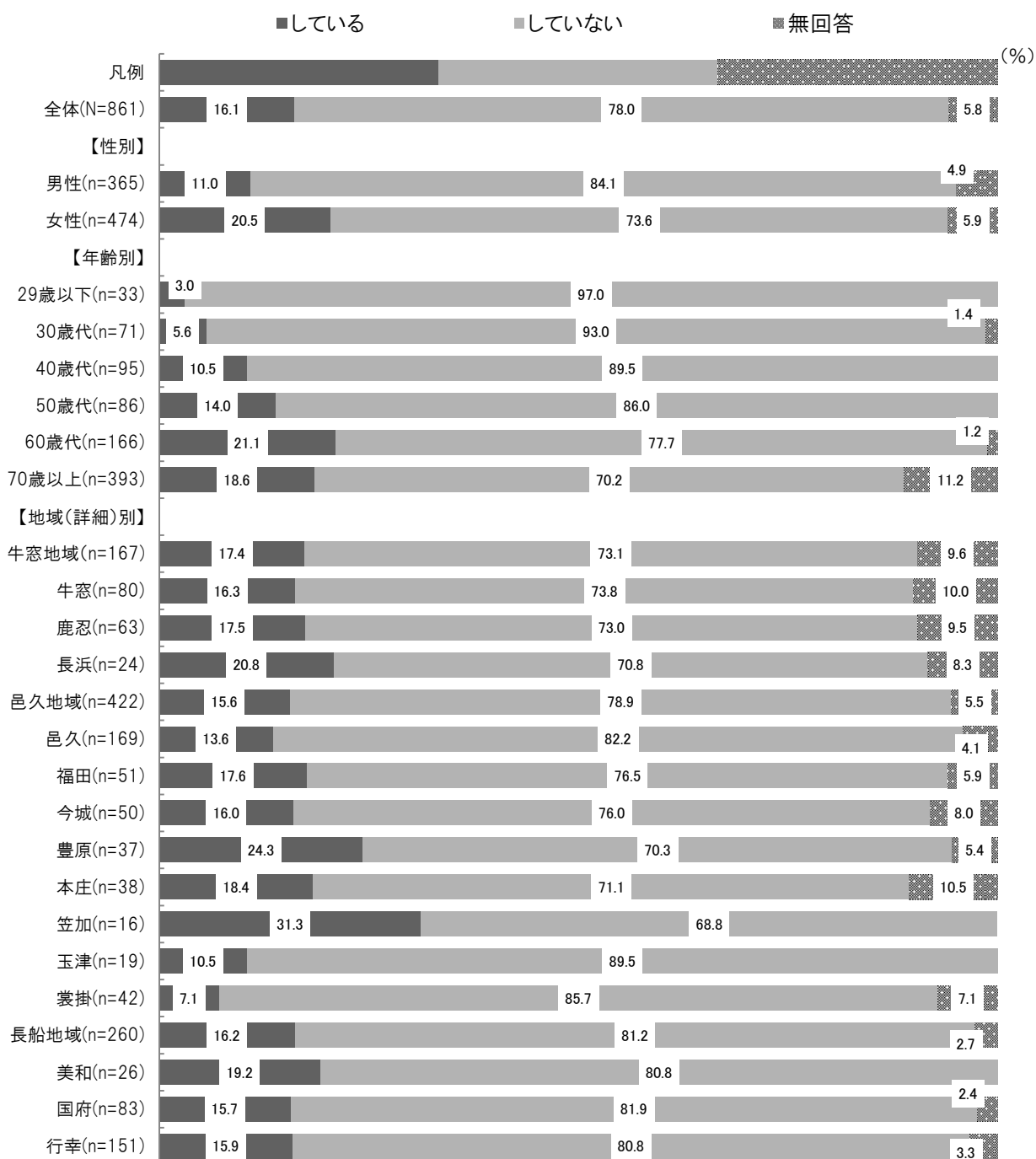
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



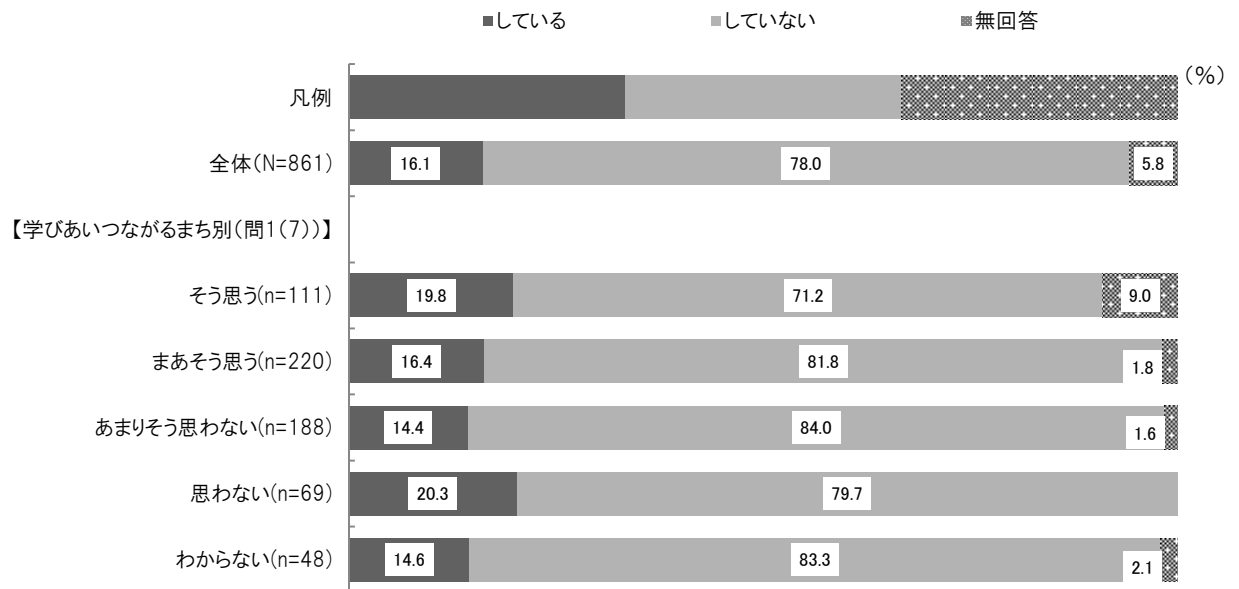
5. 芸術文化活動状況

(5) あなたは、芸術文化活動をしていますか

芸術文化活動状況については、全体で見ると、「していない」が78.0%と多くなっている。性別で見ると、男性の方がやや「していない」が多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高いほど「している」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、笠加、豊原などで「している」が多くみられる。

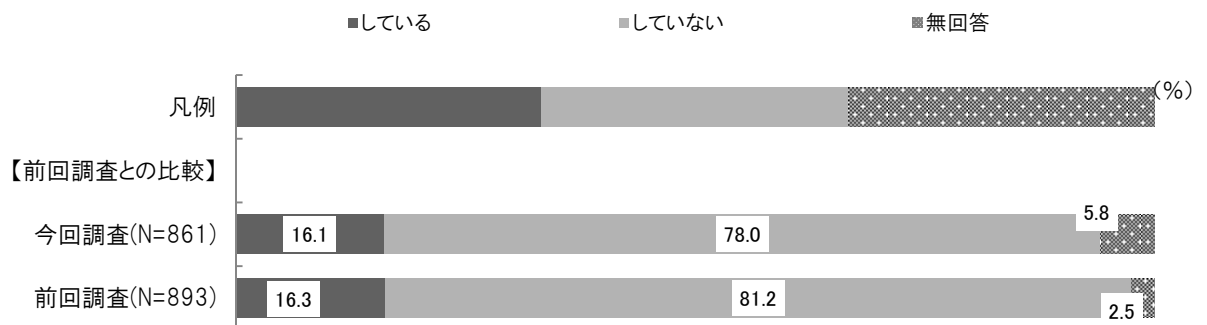


学びあいつながるまちの設問の実感度別では大きな差はみられない。



【前回調査との比較】

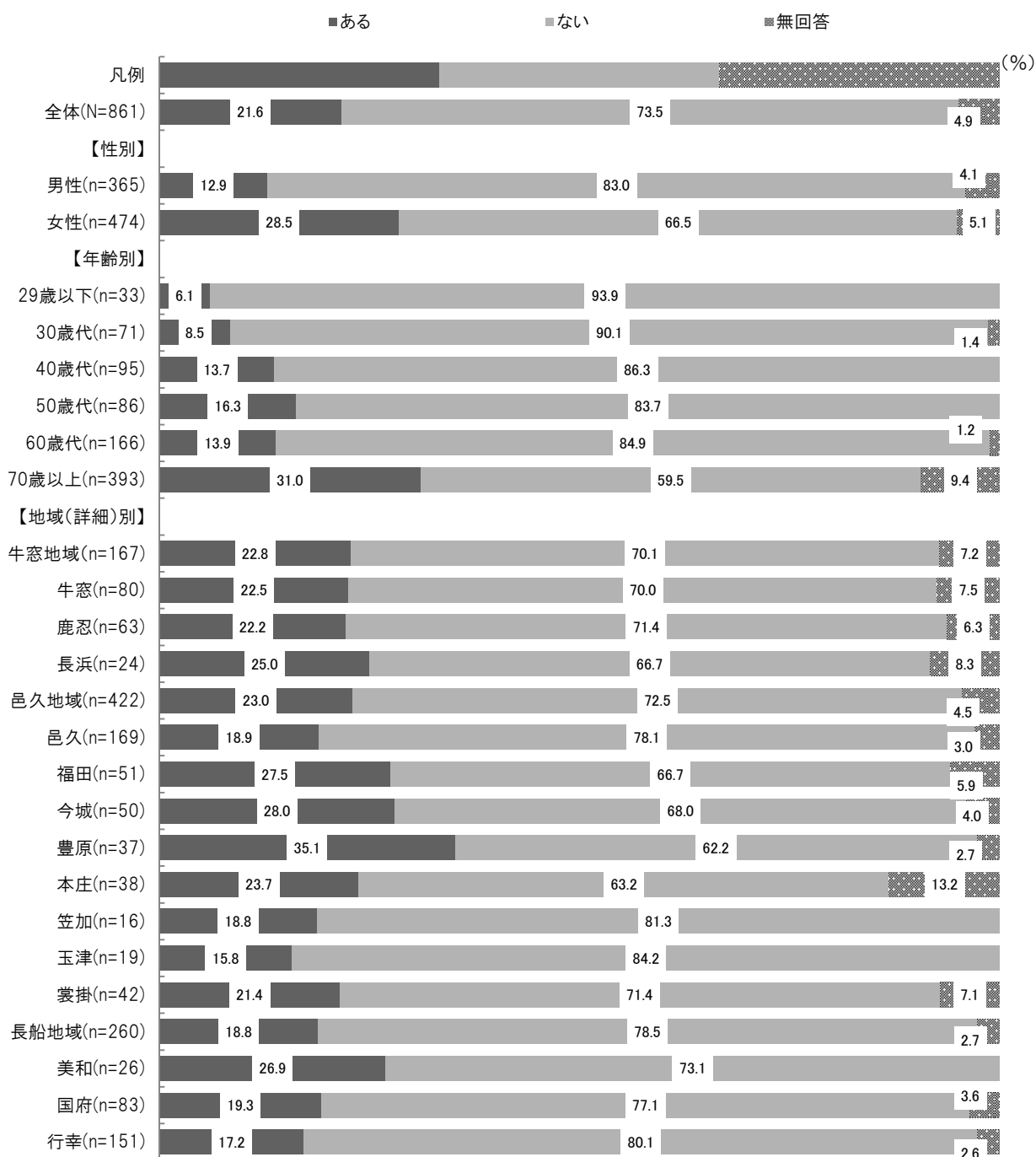
前回調査と比較して、「していない」が減少している。



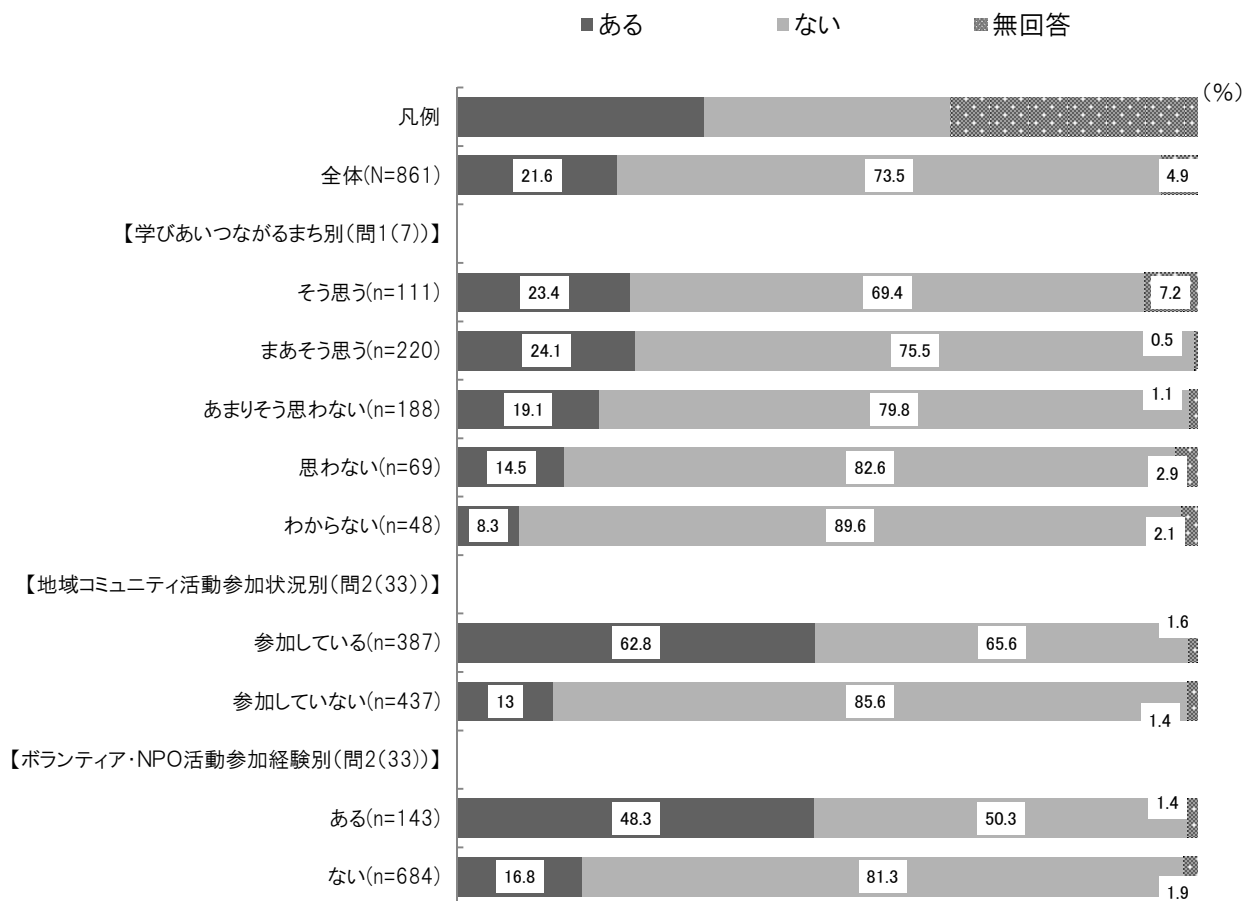
6. 生涯学習講座活動などへの参加状況

(6) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか

生涯学習講座活動などへの参加状況については、全体で見ると、「ない」が73.5%と多くなっている。性別で見ると、男性において「ない」が多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高いほど「ある」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、豊原などで「ある」が多くみられる。

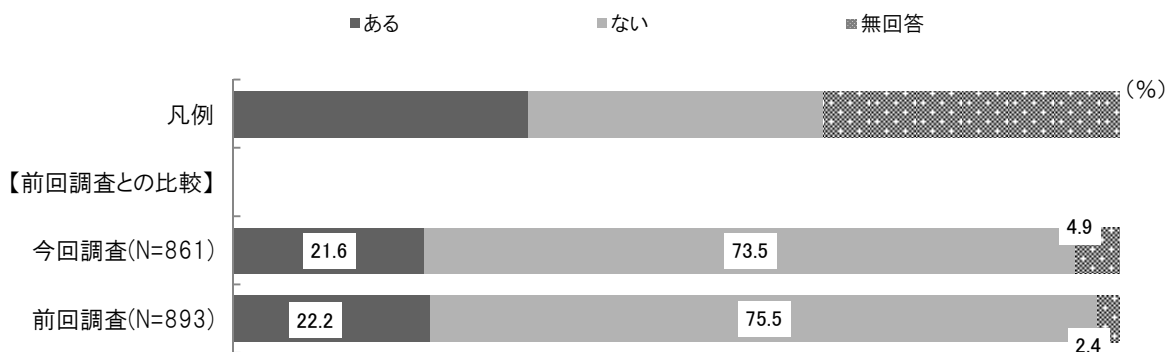


学びあいつながるまちの設問に「思わない」と実感が低い方ほど、「ない」が多くみられる。また、地域コミュニティ活動、ボランティアNPO活動に参加している方ほど「ある」が多くなっている。



【前回調査との比較】

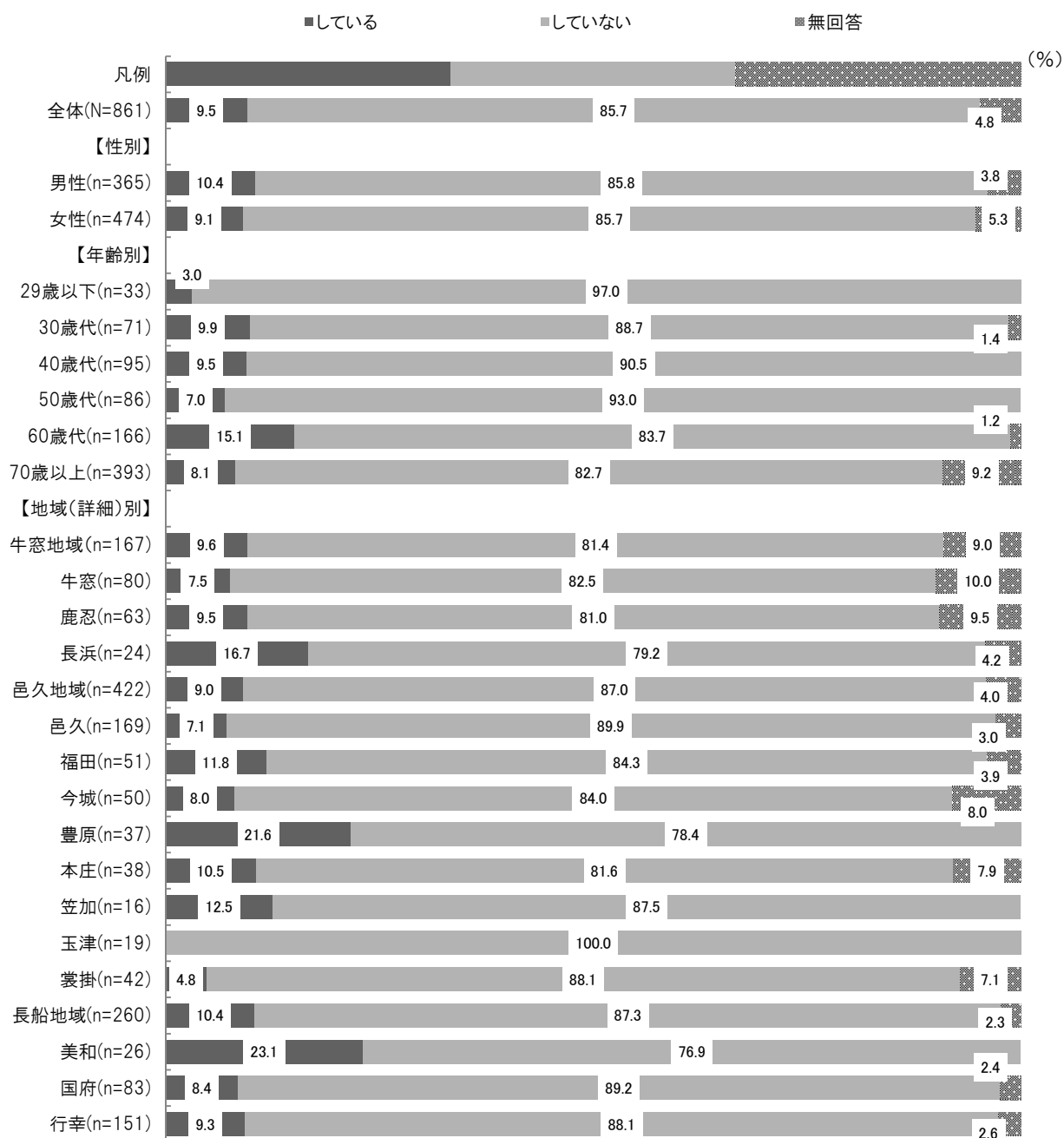
前回調査と比較して、「ない」がやや減少している。



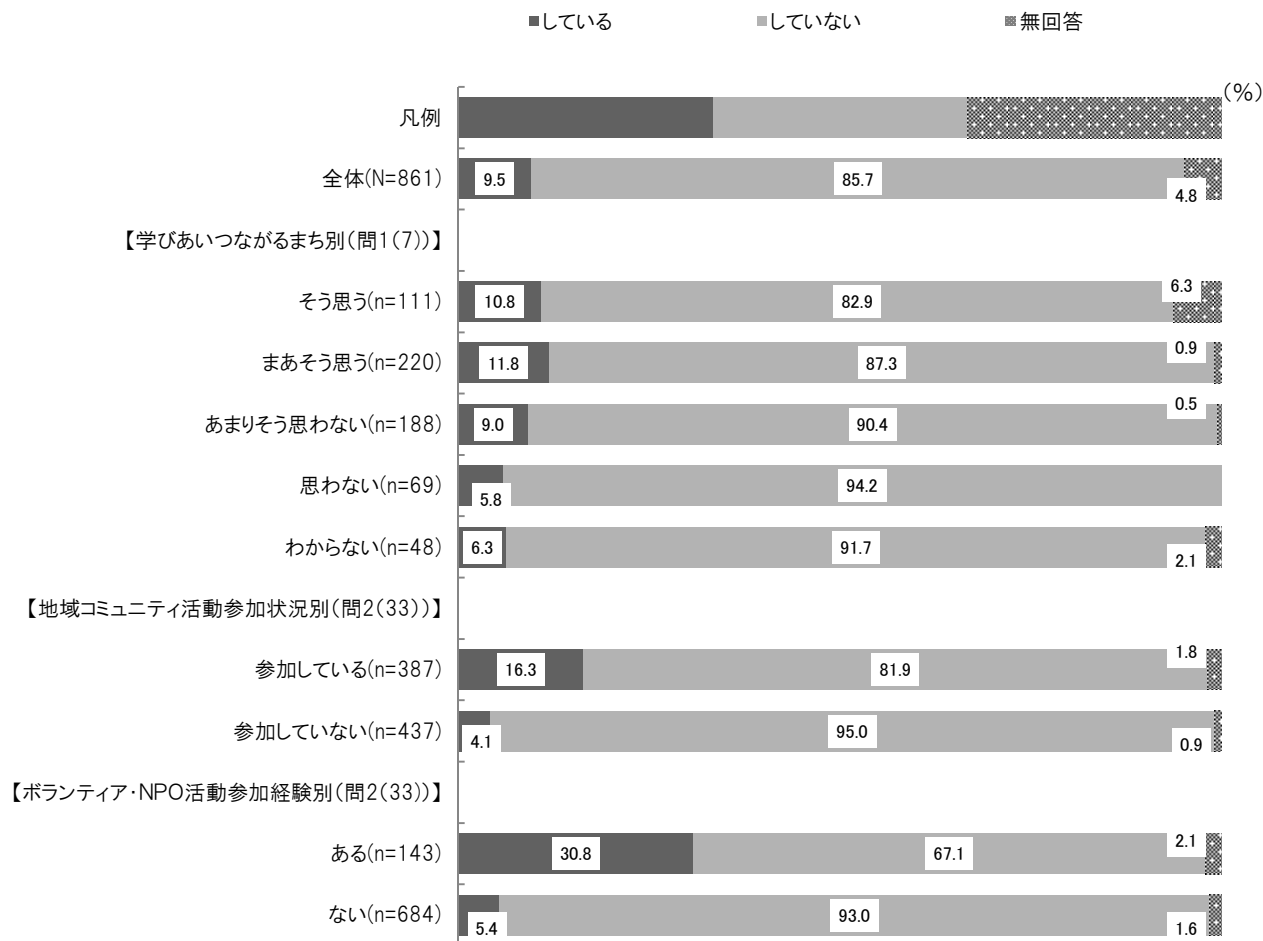
7. 地域に貢献する活動状況

(7) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか

地域に貢献する活動状況については、全体で見ると、「していない」が85.7%と多くなっている。性別で見ると、大きな男女差はみられない。年齢別で見ると、60歳代において「している」が比較的多くみられる。地域別で見ると、美和、豊原などで「している」が比較的多くみられる。

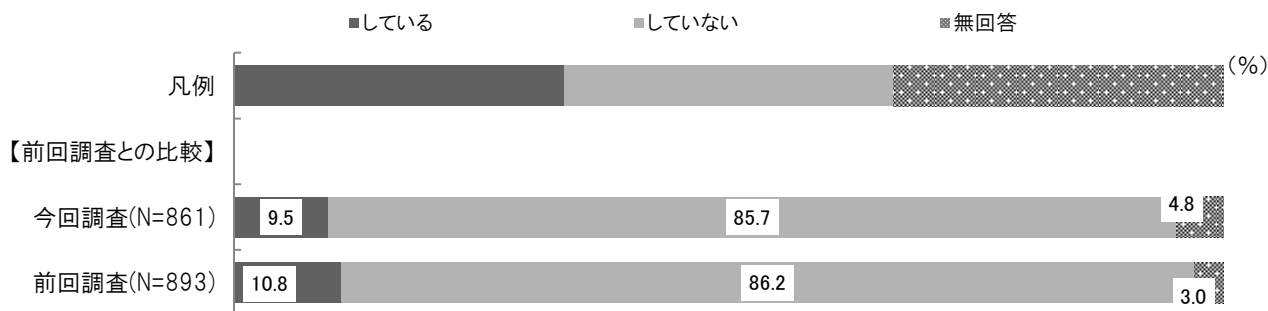


学びあいつながるまちの設問に「そう思う」と答えた実感度が高い方ほど、「している」が多くみられる。また、地域コミュニティ活動、ボランティアNPO活動に参加している方ほど「している」が多くなっている、



【前回調査との比較】

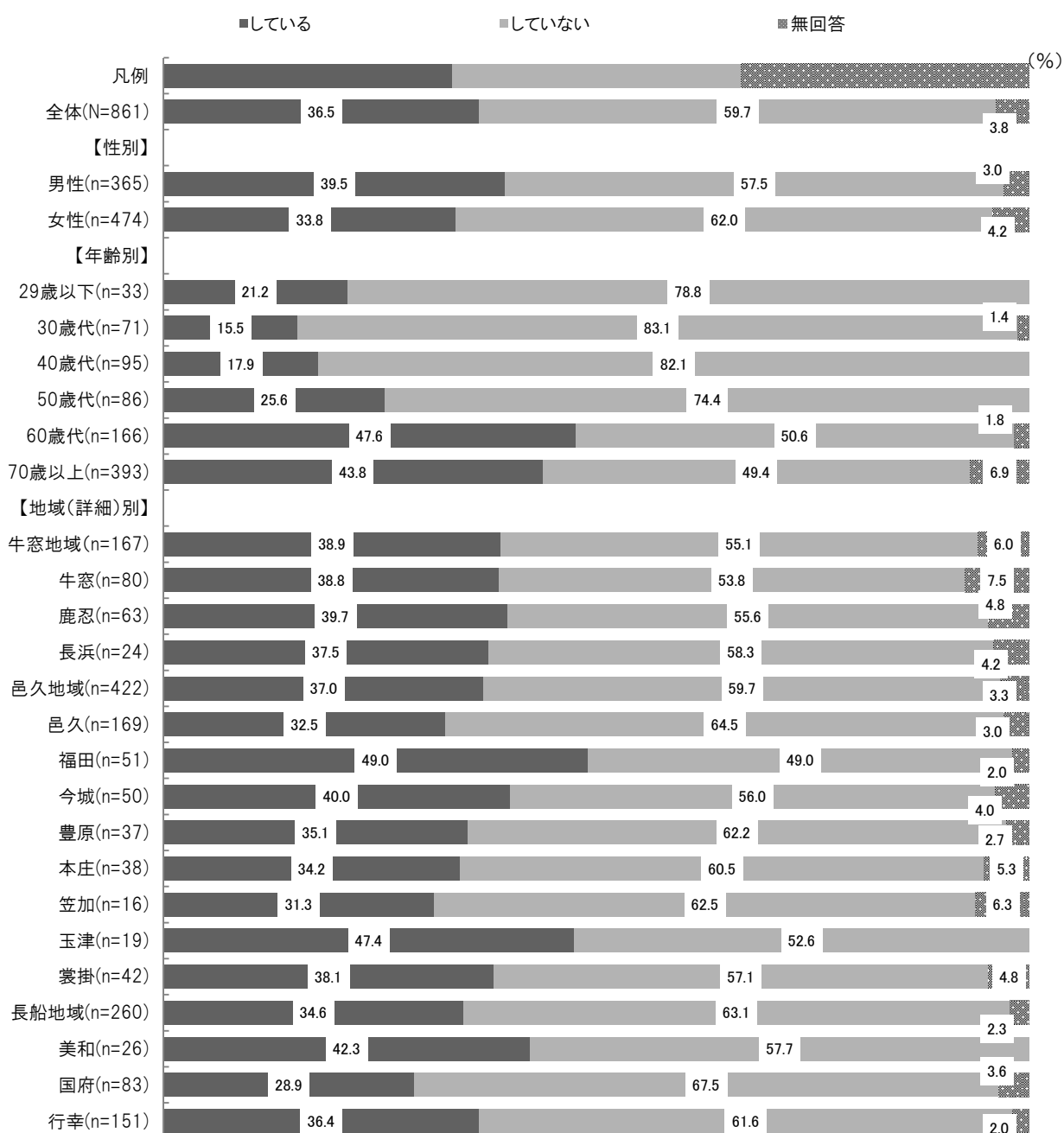
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



8. 運動継続状況

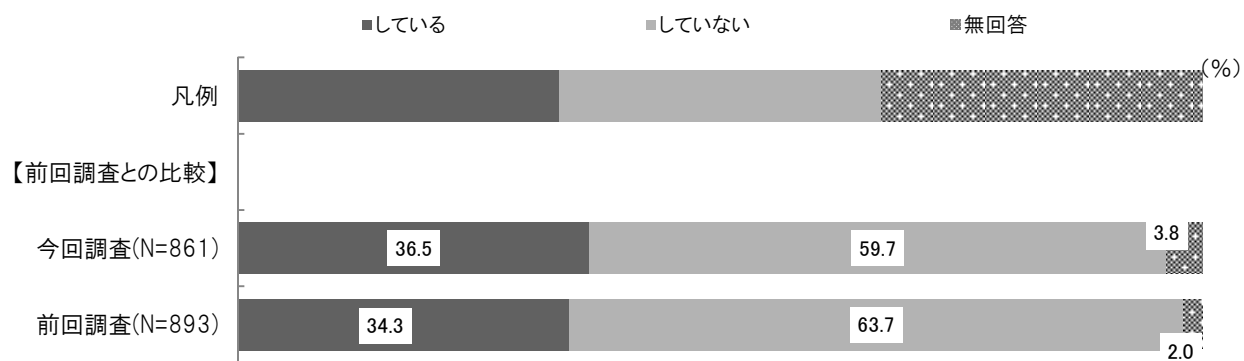
(8) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか

運動継続状況については、全体で見ると、「していない」が59.7%と多くなっている。性別で見ると、女性の方が「していない」が多くなっている。年齢別で見ると、年齢層が高いほど「している」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、福田、玉津などで「している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

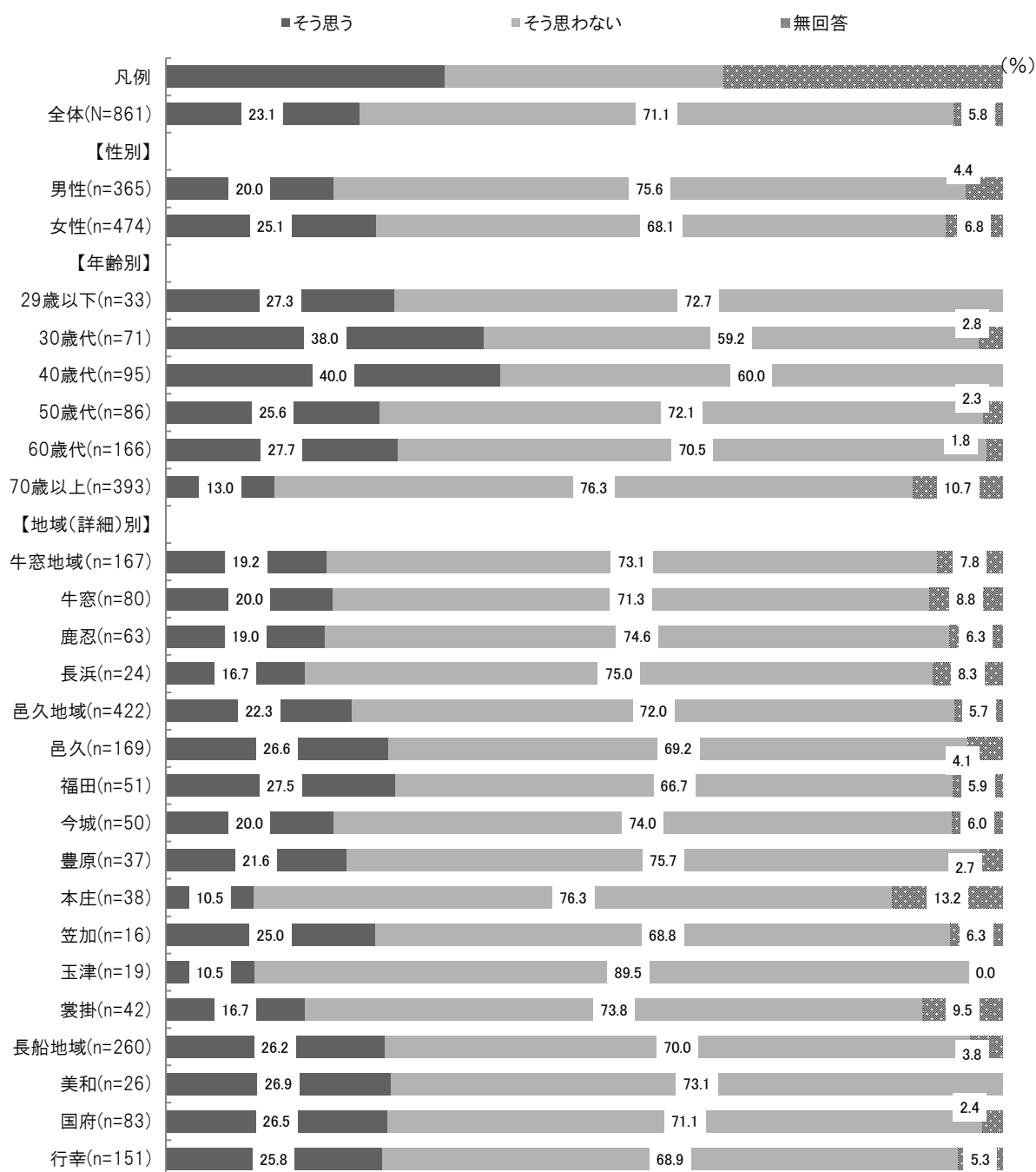
前回調査と比較して、「している」がやや増加している。



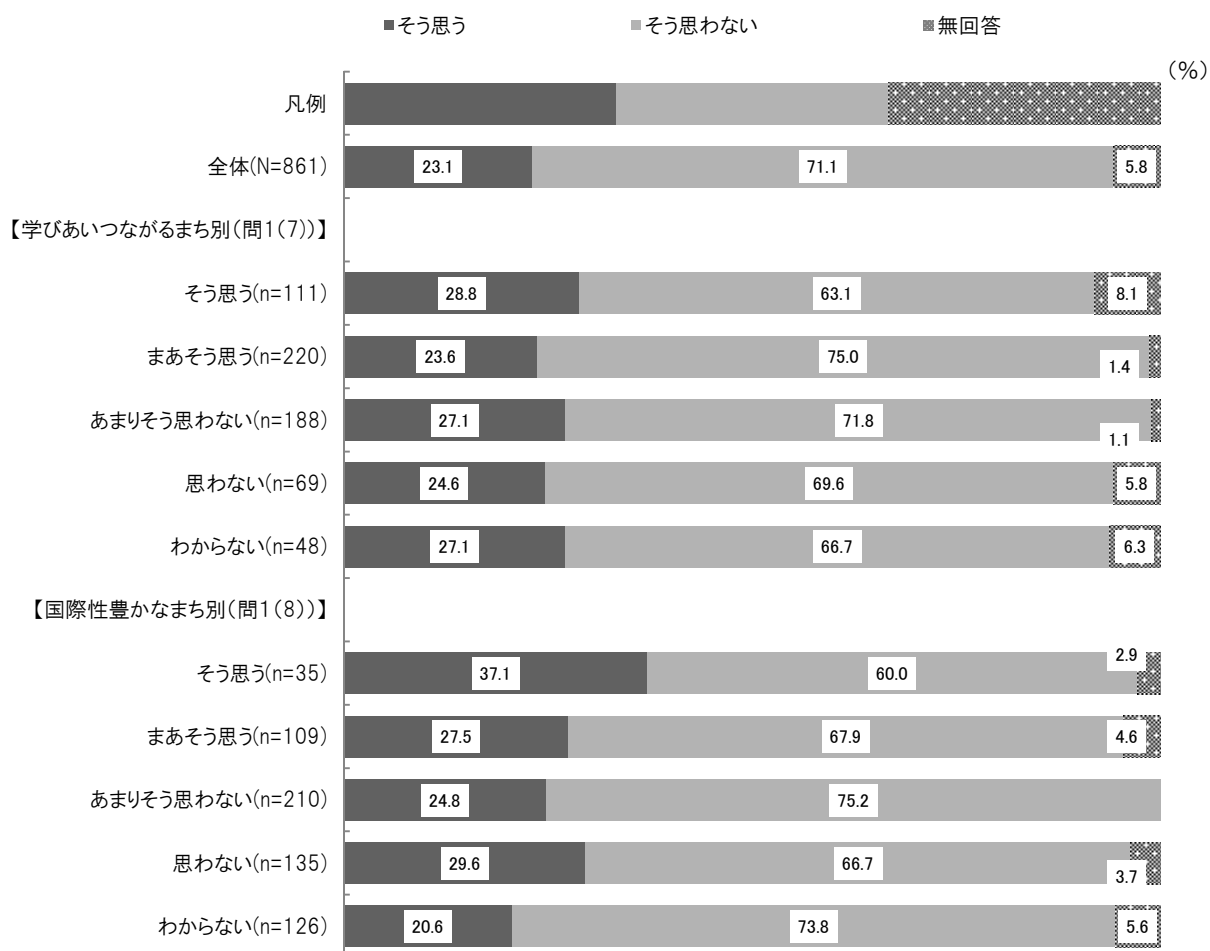
9. 海外文化講座やイベント等への参加希望

(9) あなたは、海外の文化を学ぶ講座やイベント等に参加したいと思いますか

海外文化講座やイベント等への参加希望については、全体で見ると、「そう思わない」が71.1%と多くなっている。性別で見ると、男性の方が「そう思わない」が多くなっている。年齢別で見ると30歳代、40歳代において「そう思う」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、福田、美和などで「そう思う」が多くみられる。

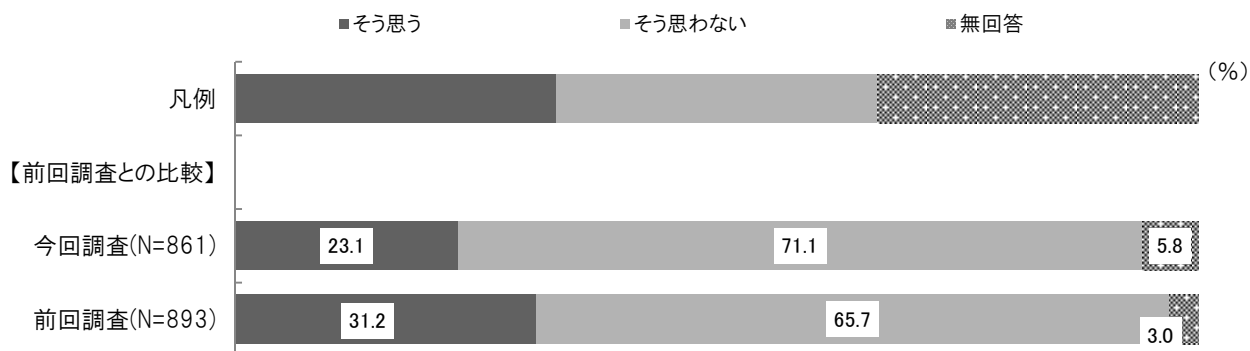


学びあいつながるまちの設問の実感度別では、大きな差はみられない。国際性豊かなまちの設問の実感度別では、実感度が高いほど「そう思う」が多くなっている。



【前回調査との比較】

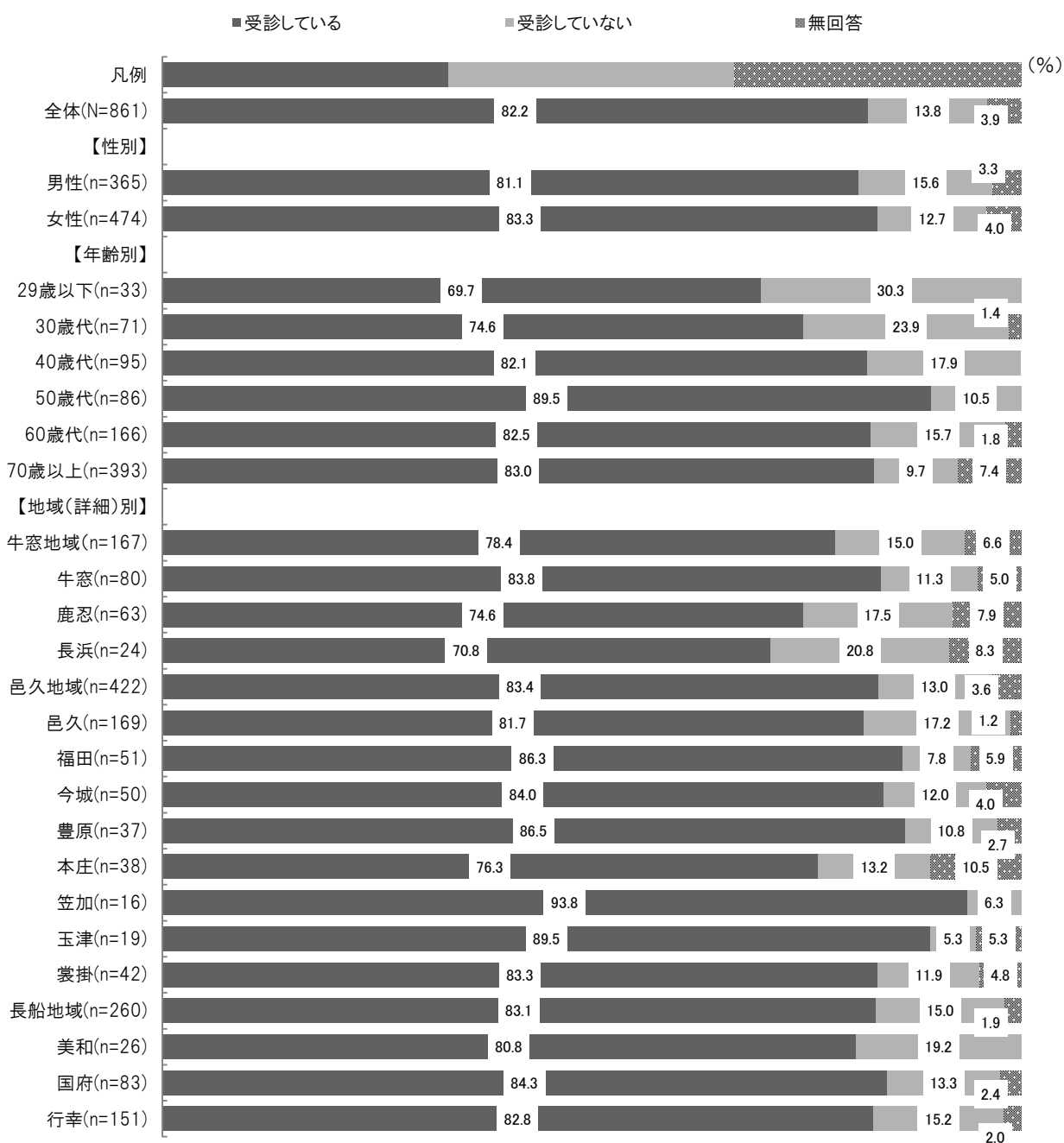
前回 調査と比較して、「そう思う」が減少している。



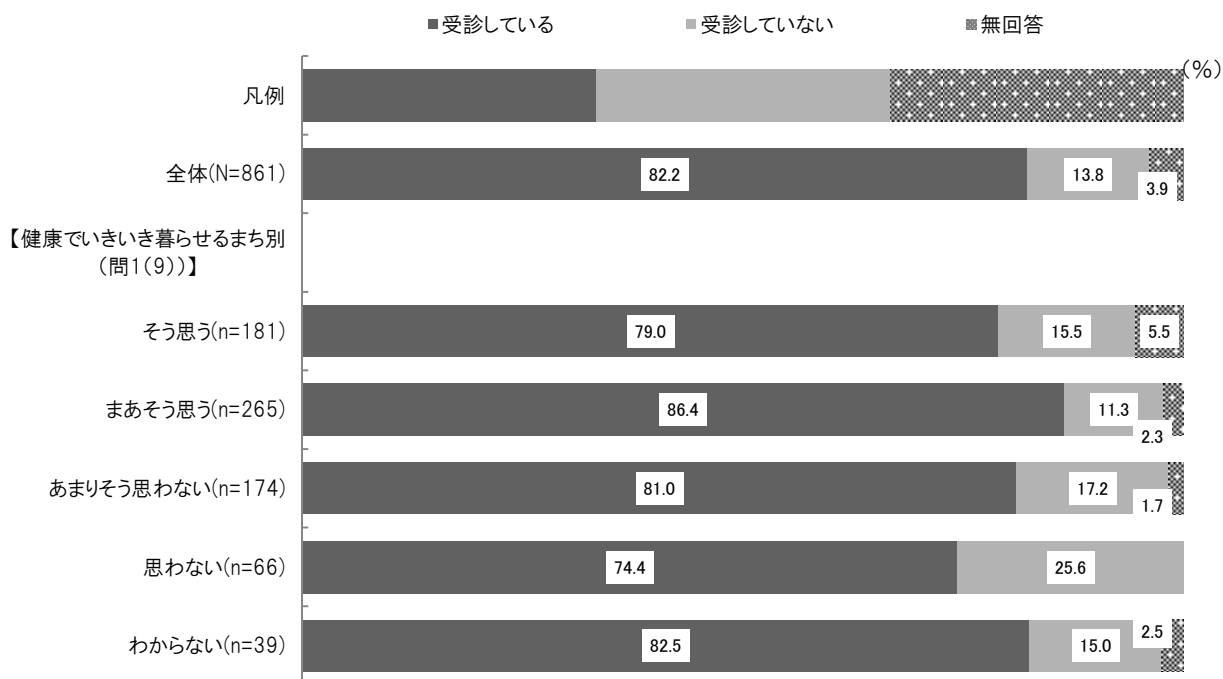
10. 健康診断受診状況

(10) あなたは、年1回程度、健康診断を受診していますか

健康診断受診状況については、全体でみると、「受診している」が82.2%と多くなっている。性別でみると、男性の方が「受診していない」がやや多くなっている。年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「受診している」が多い傾向がみられる。地域別でみると、笠加、玉津などで「受診している」が多くみられる。

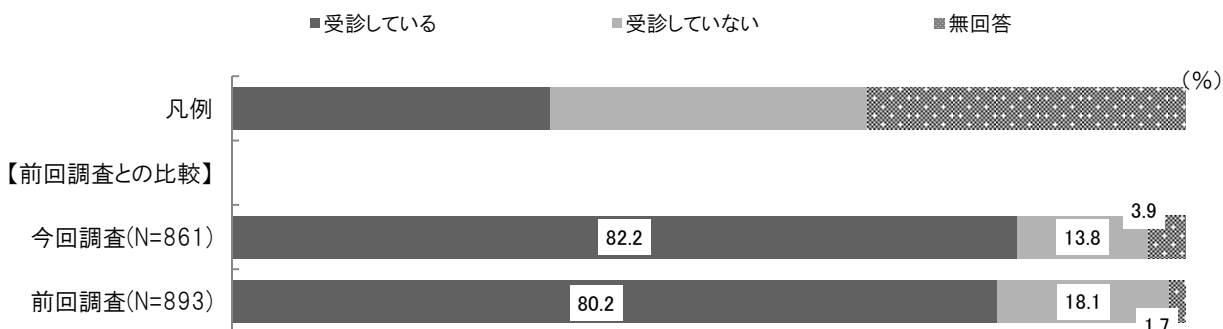


健康でいきいき暮らせるまちの設問に「思わない」と実感度が低い方ほど、「受診していない」がやや多い傾向がある。



【前回調査との比較】

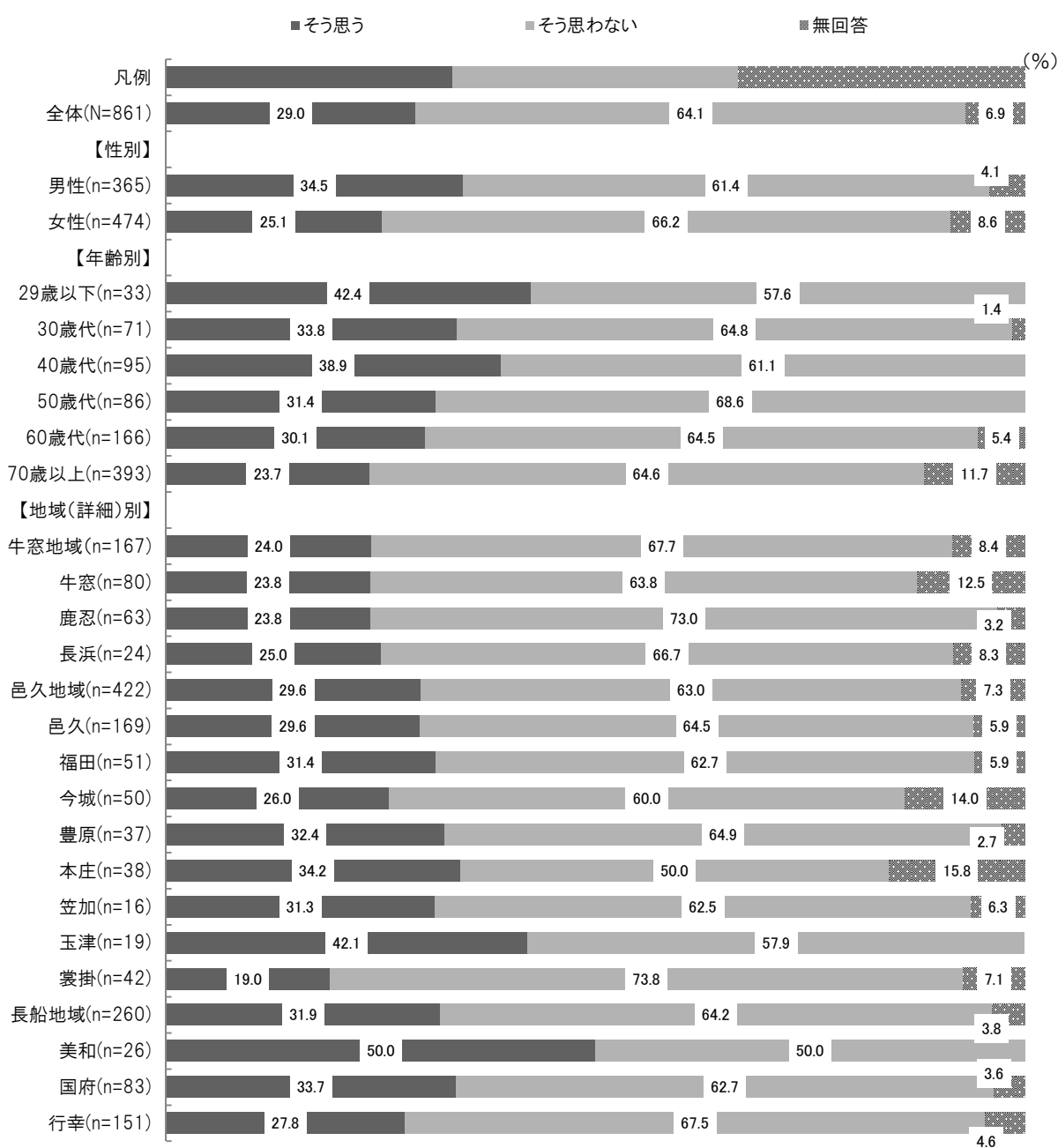
前回調査と比較して、「受診している」がやや増加している。



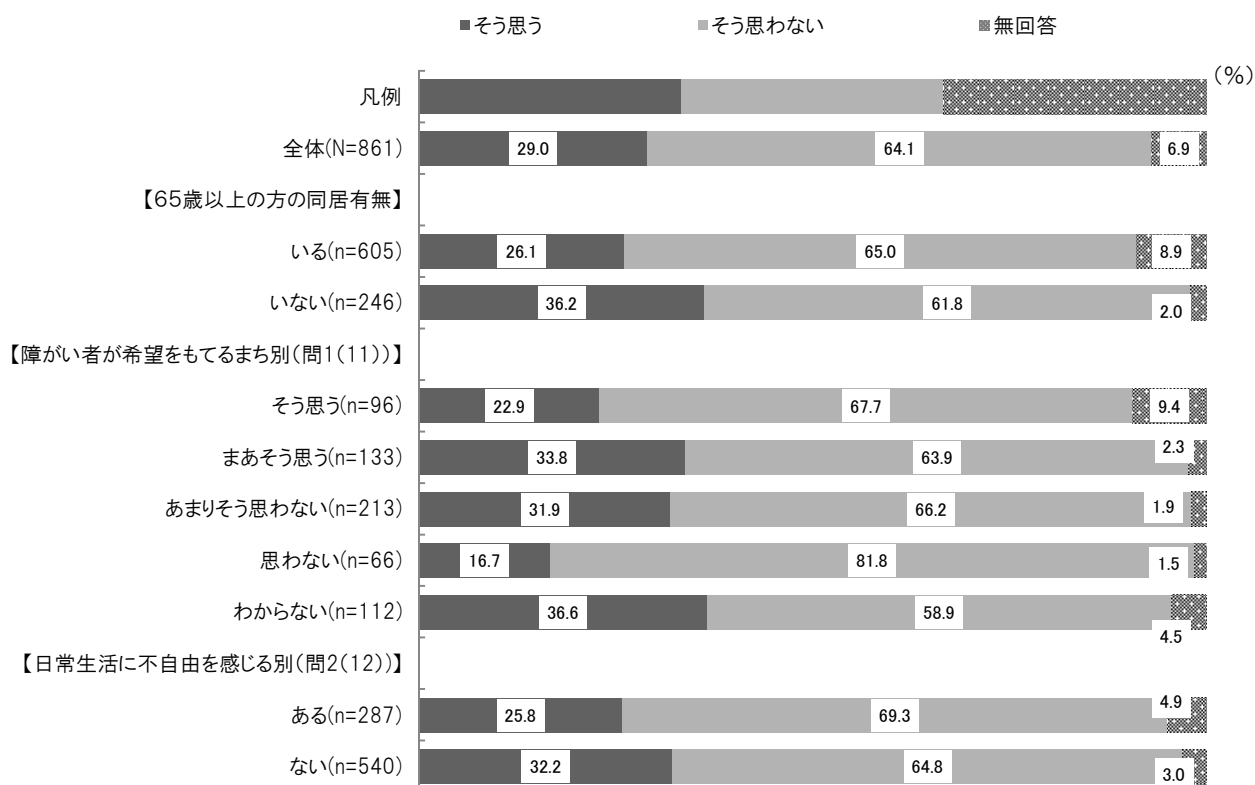
11. 「バリアフリー化」進行状況について

(11) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、床の段差をなくしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作るなど、障がい者や高齢者にとって不便な障害を取り除く、いわゆる「バリアフリー化」が進んでいると思いますか

「バリアフリー化」進行状況については、全体で見ると、「そう思わない」が64.1%と多くなっている。性別で見ると、男性のほうが「そう思う」が多くみられる。年齢別で見ると、若い世代ほど「そう思う」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、美和、玉津などで「そう思う」が多くみられる。

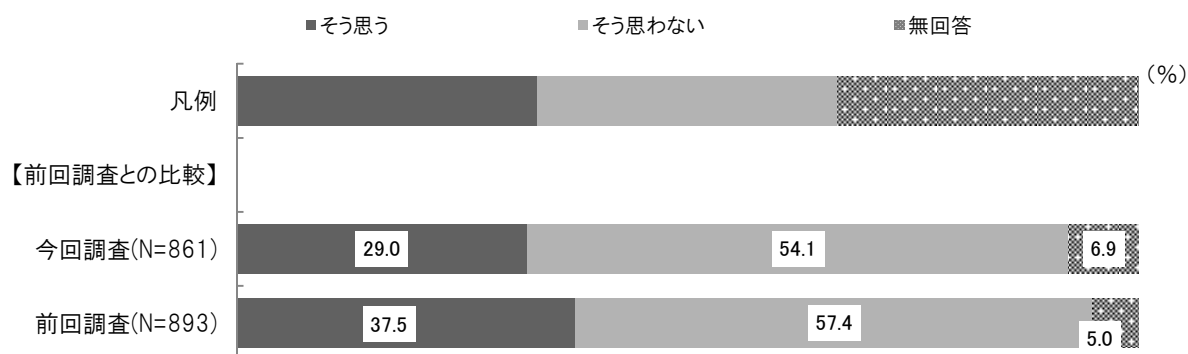


65歳以上の方の同居の有無別でみると「いない」のほうが「そう思う」が多くみられる。障がい者が希望をもちてるまちの設問の実感度が高い方ほど、「そう思う」が多くみられる傾向がある。また、日常生活に不自由を感じる事が無い方のほうが、「そう思う」が多くみられる。



【前回調査との比較】

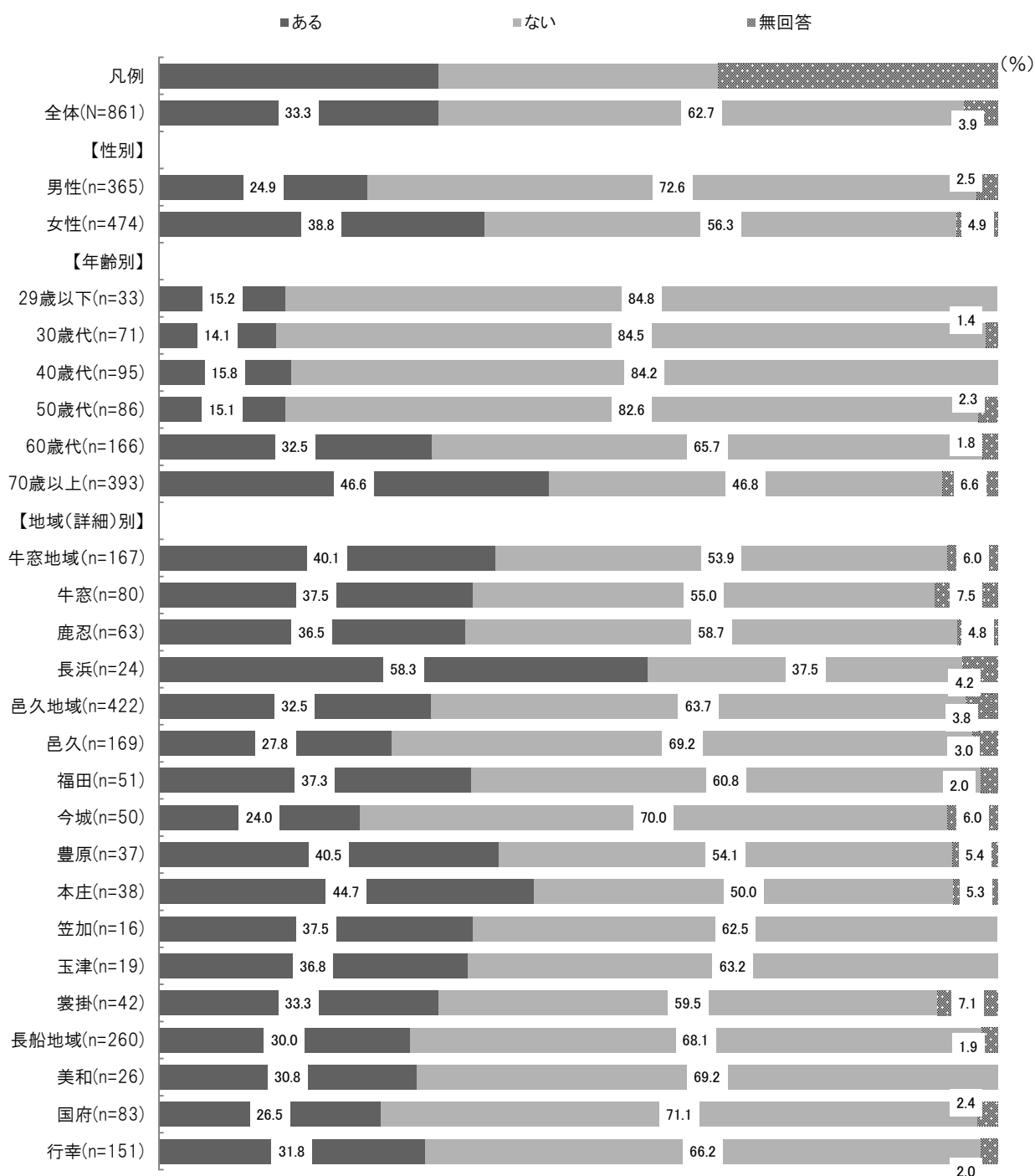
前回調査と比較して、「そう思う」が減少している。



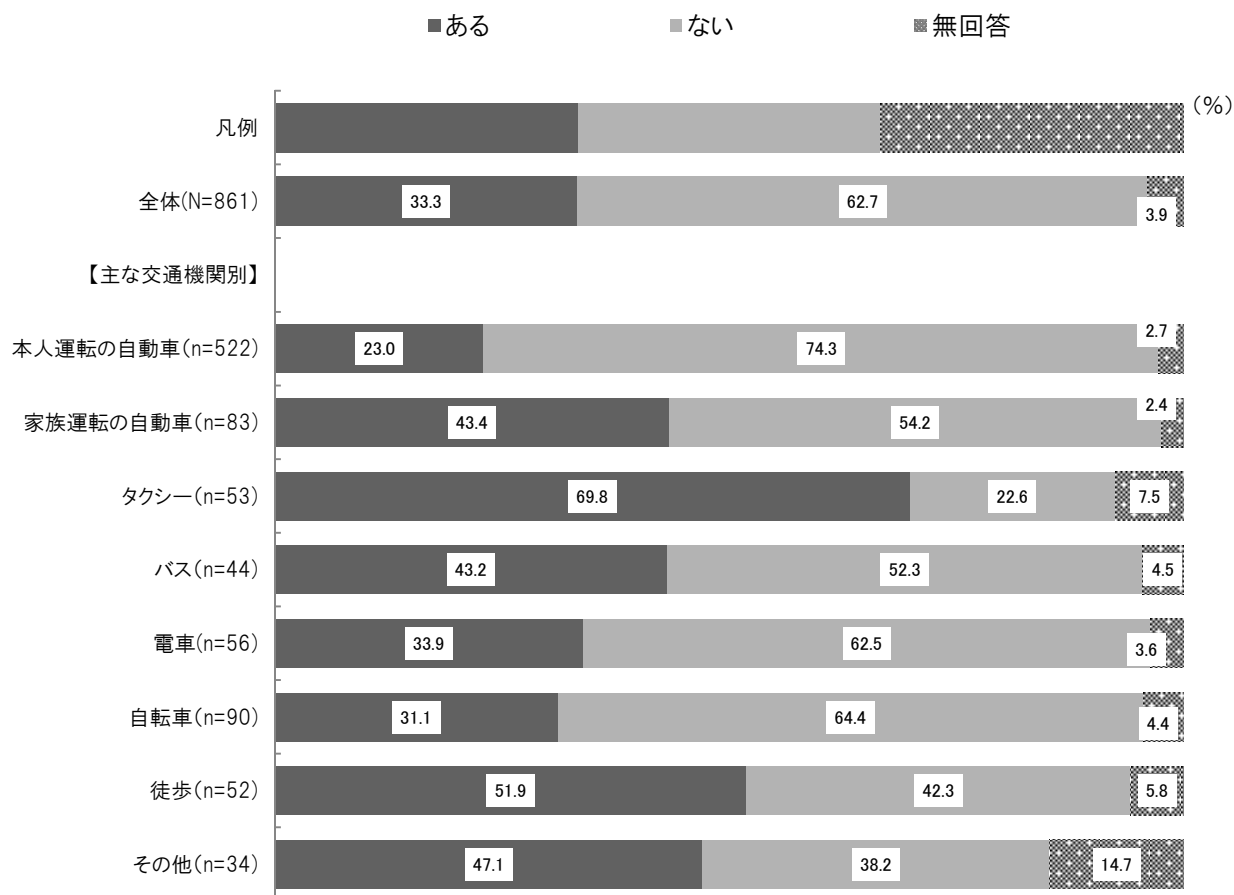
1 2. 日常生活に不自由を感じること

(1 2) あなたは、身体に障がいがあったり、体調がすぐれないなど、日常生活に不自由を感じることはありますか

日常生活に不自由を感じることは、全体で見ると、「ない」が62.7%と多くみられている。性別で見ると、女性のほうが「ある」が多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高いほど「ある」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、長浜、本庄などで「ある」が多くみられる。

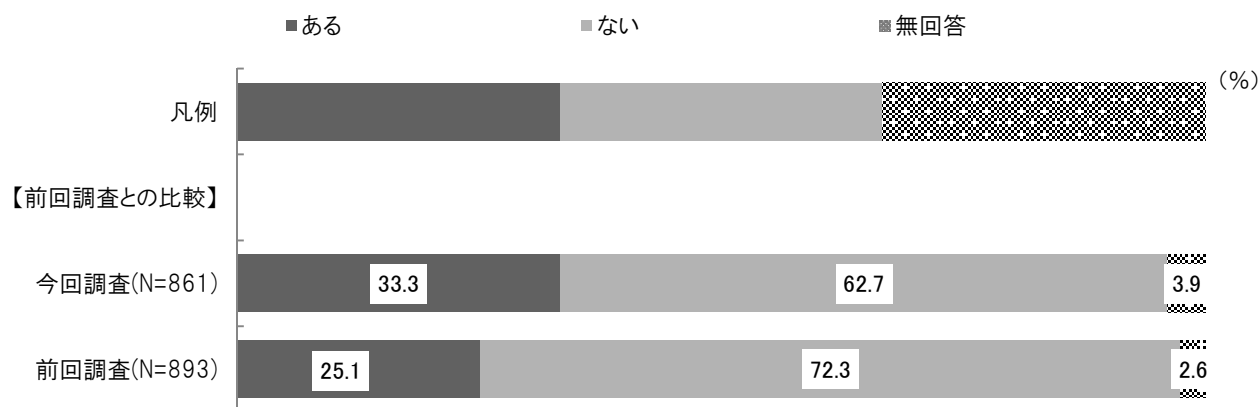


主な交通機関別にみると、「タクシー」を利用される方に「ある」が多くみられる。



【前回調査との比較】

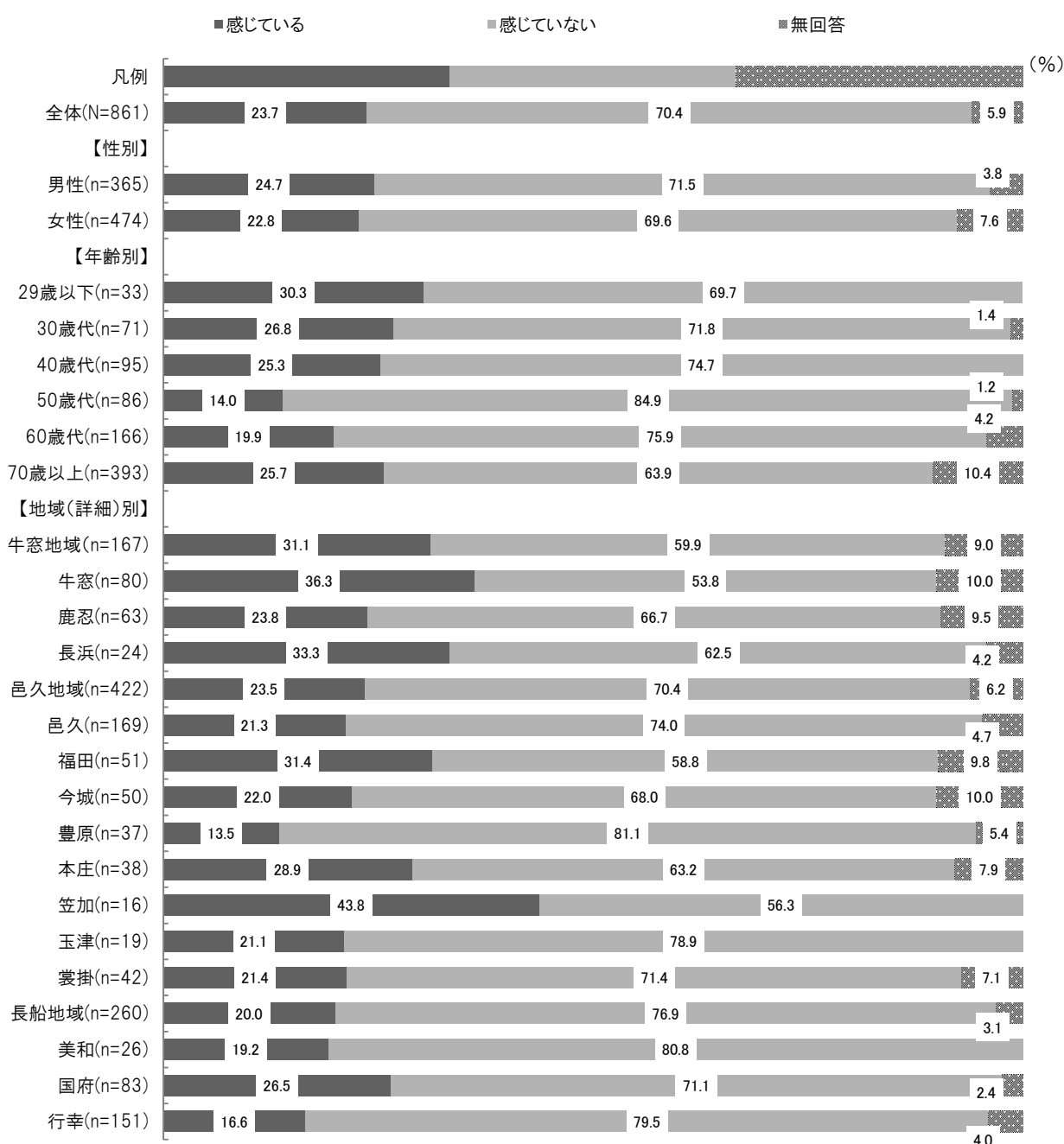
前回調査と比較して、「ある」が増加している。



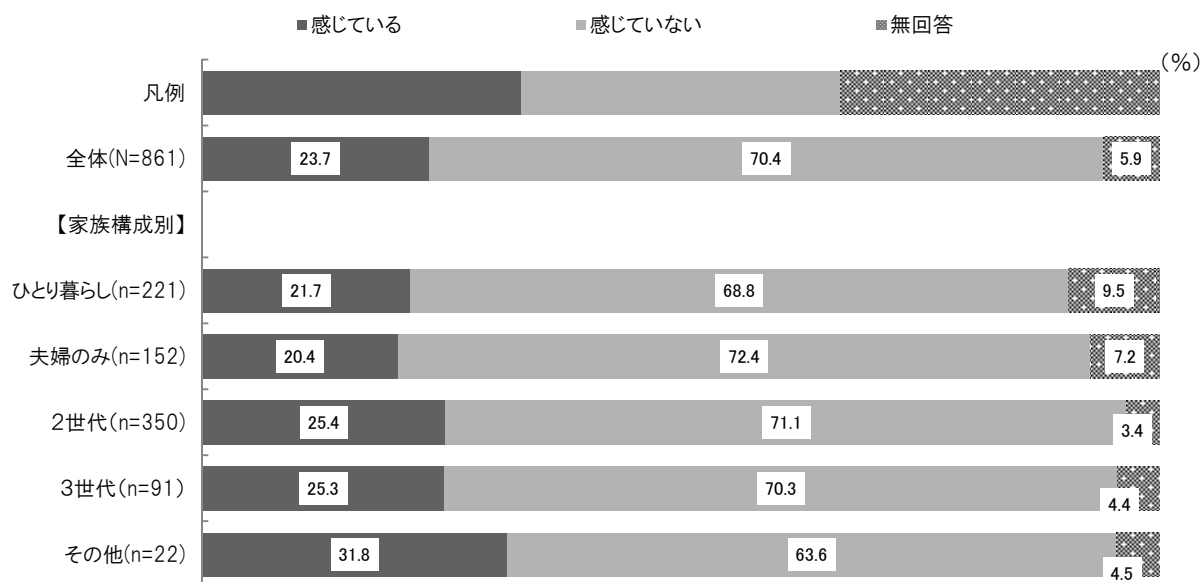
1 3. 経済的な理由による日常生活の困難さについて

(1 3) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか

経済的な理由による日常生活の困難さについては、全体で見ると、「感じていない」が70.4%と多くなっている。性別で見ると、大きな男女差はみられない。年齢別で見ると、若い世代ほど「感じている」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、笠加、牛窓などで「感じている」が多くみられる。

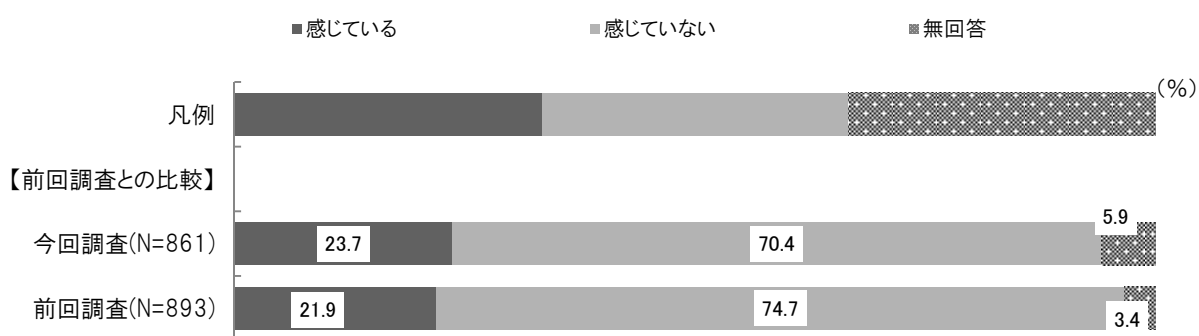


家族構成別でみると、大きな差はみられない。



【前回調査との比較】

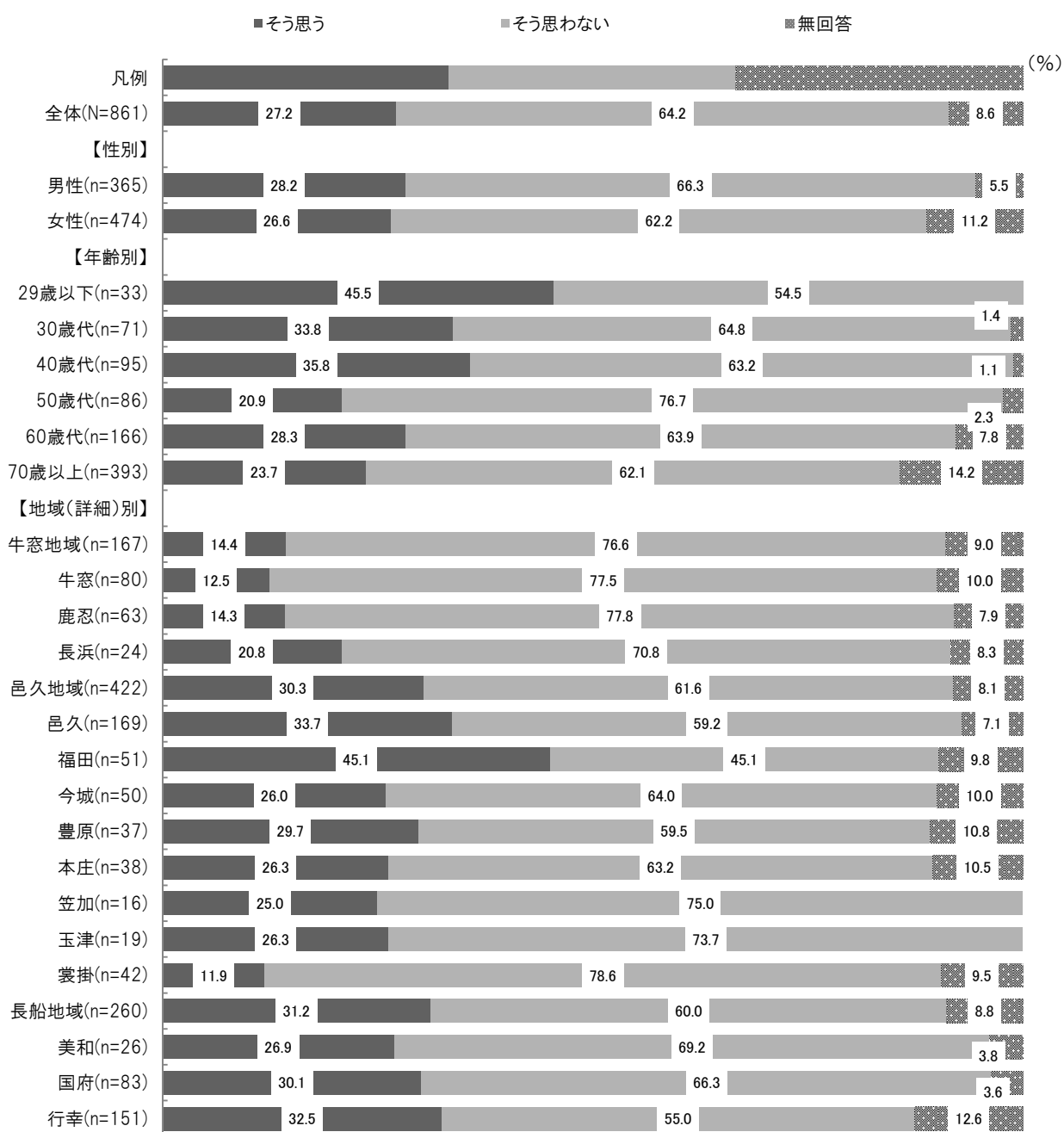
前回調査と比較して、「感じている」がやや増加している。



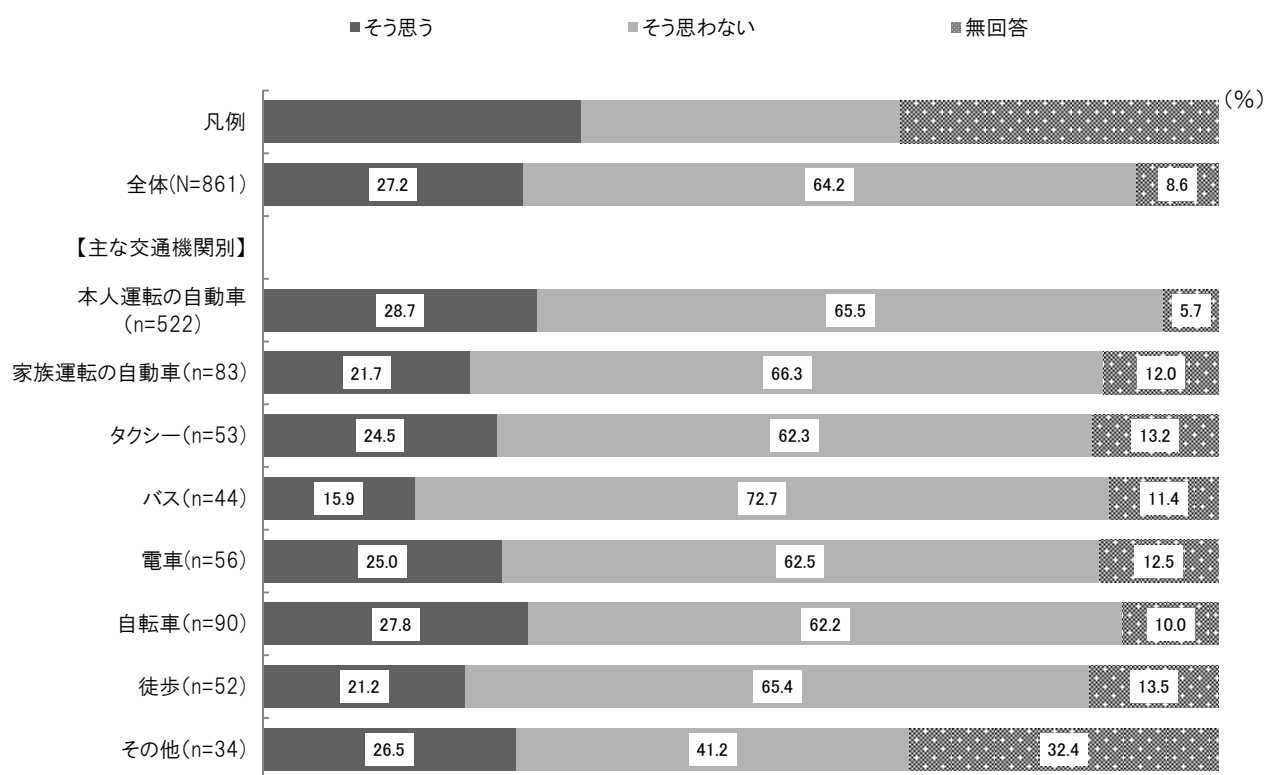
1 4. 計画的な土地利用について

(1 4) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか

計画的な土地利用については、全体で見ると、「そう思わない」が64.2%と多くなっている。性別で見ると、男性において「そう思わない」が比較的多くなっている。年齢別で見ると、若い世代ほど「そう思わない」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、福田、邑久などで「そう思う」が多くみられる。

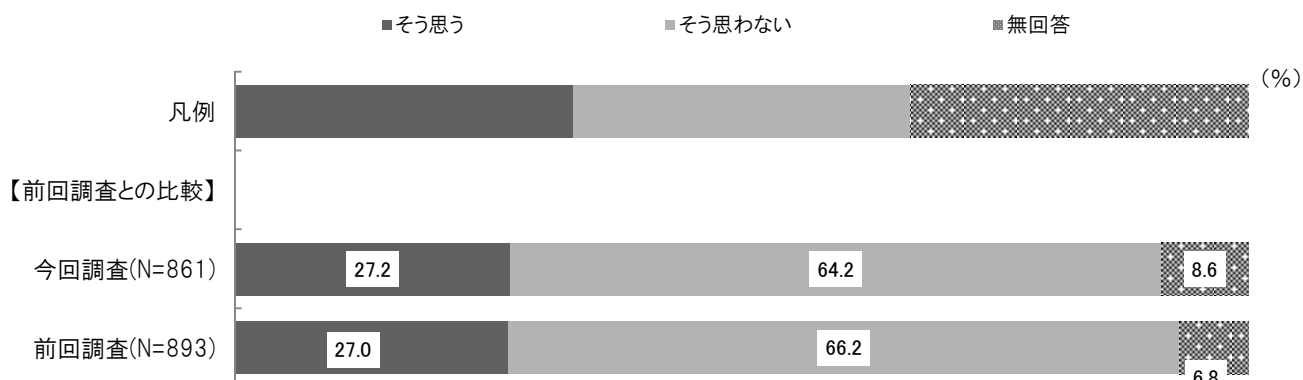


主な交通機関別にみると、「バス」を利用する方に「そう思わない」が多くみられる。



【前回調査との比較】

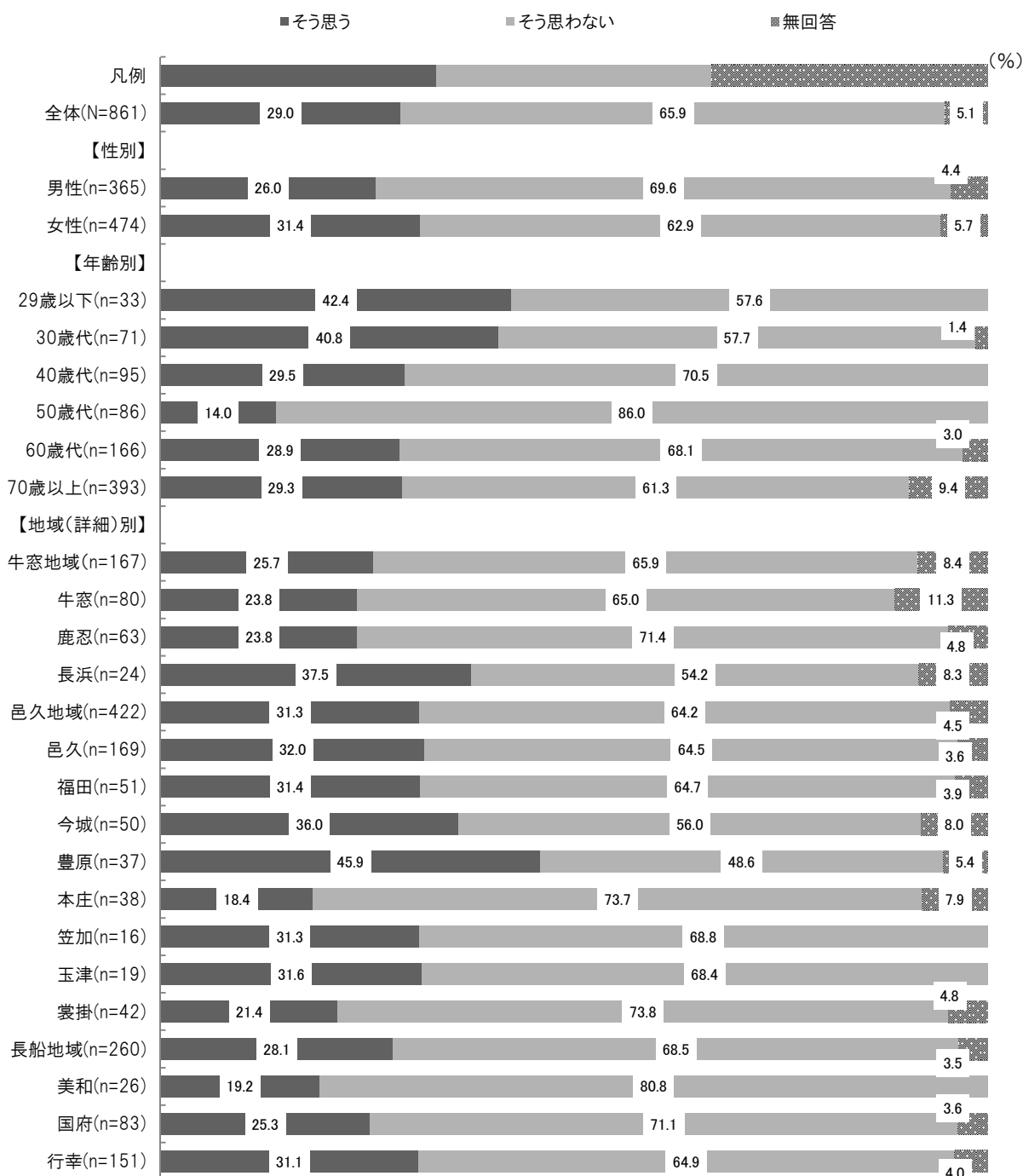
前回調査と比較して、「そう思わない」がやや減少している。



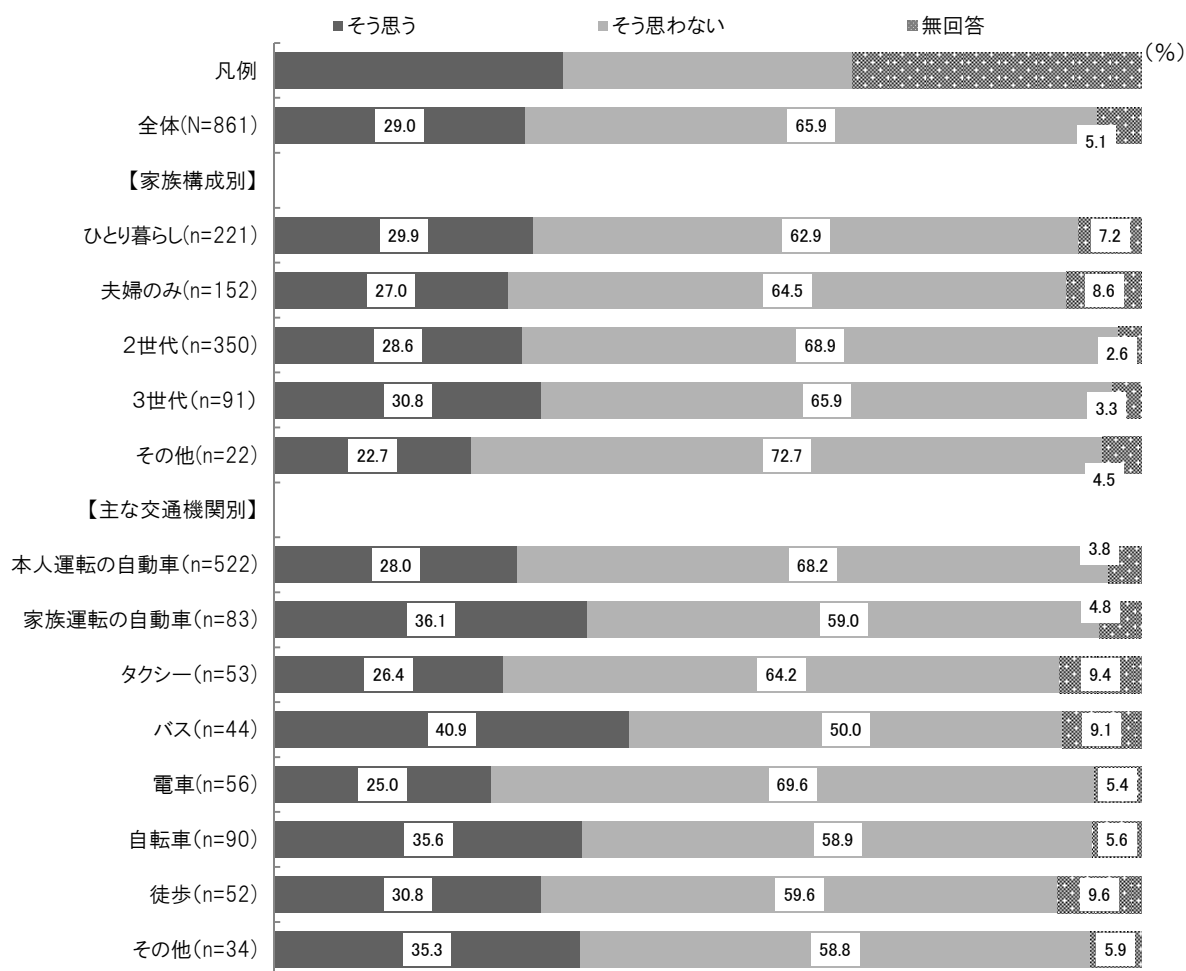
15. 道路の快適性について

(15) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか

道路の快適性については、全体で見ると、「そう思わない」が65.9%と多くなっている。性別で見ると、男性において「そう思わない」が多くみられる。年齢別で見ると、若い世代ほどにおいて「そう思う」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、豊原、長浜などで「そう思う」が多くみられる。

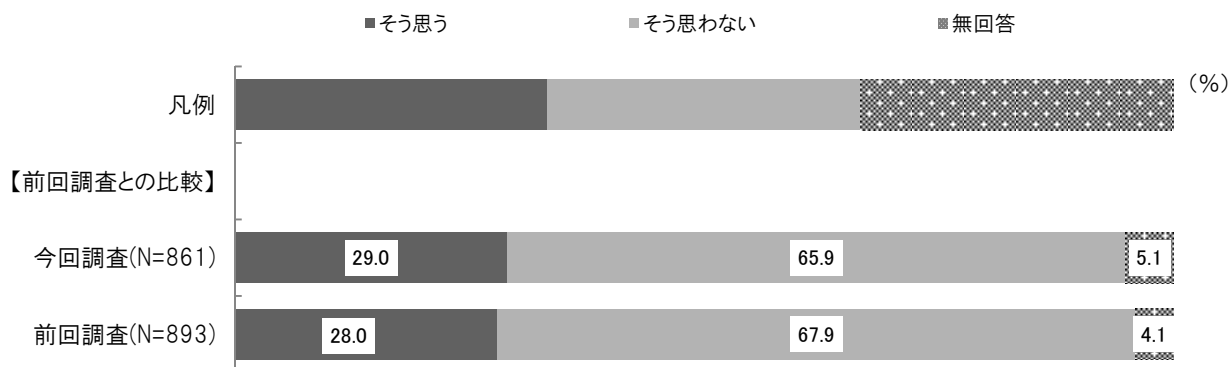


家族構成別でみると、大きな差はみられない。主な交通機関別にみると、「バス」を利用される方に「そう思う」が多くみられる。



【前回調査との比較】

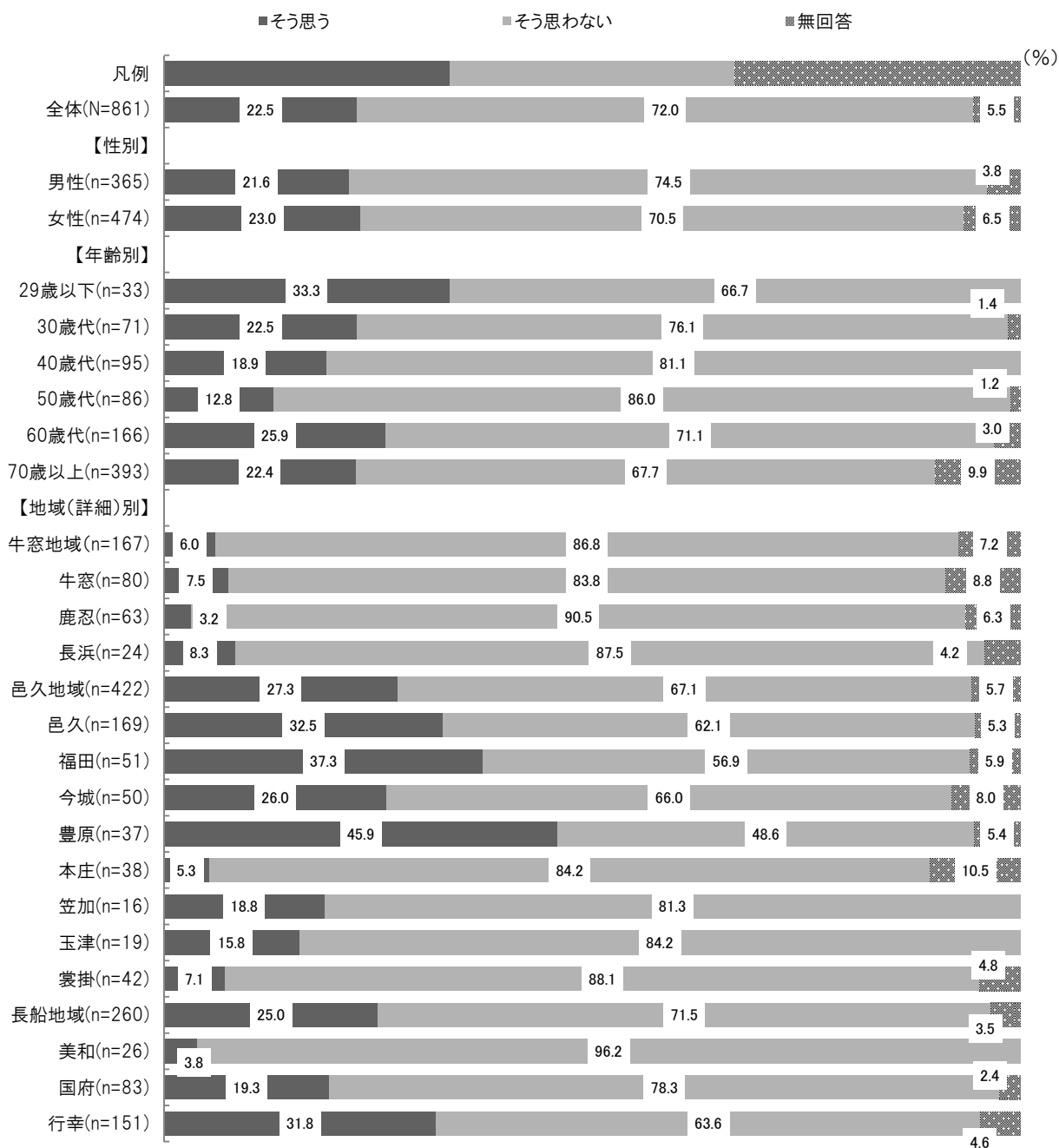
前回調査と比較して、「そう思わない」がやや減少している。



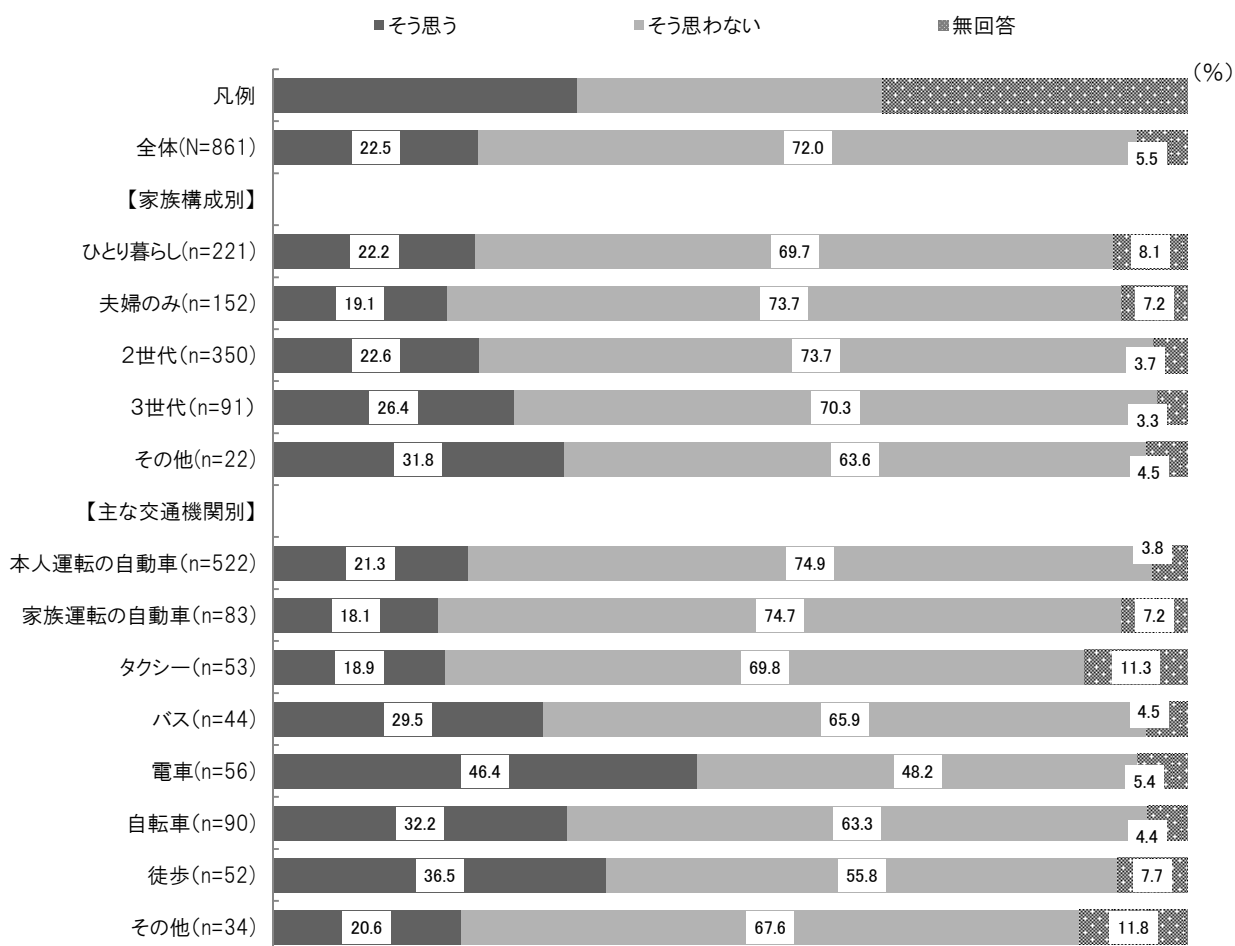
16. 公共交通機関の利用しやすさについて

(16) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか

公共交通機関の利用しやすさについては、全体で見ると、「そう思わない」が72.0%と多くなっている。性別で見ると、大きな男女差はみられない。年齢別で見ると、29歳以下において「そう思う」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、豊原、福田などで「そう思う」が多くみられる。

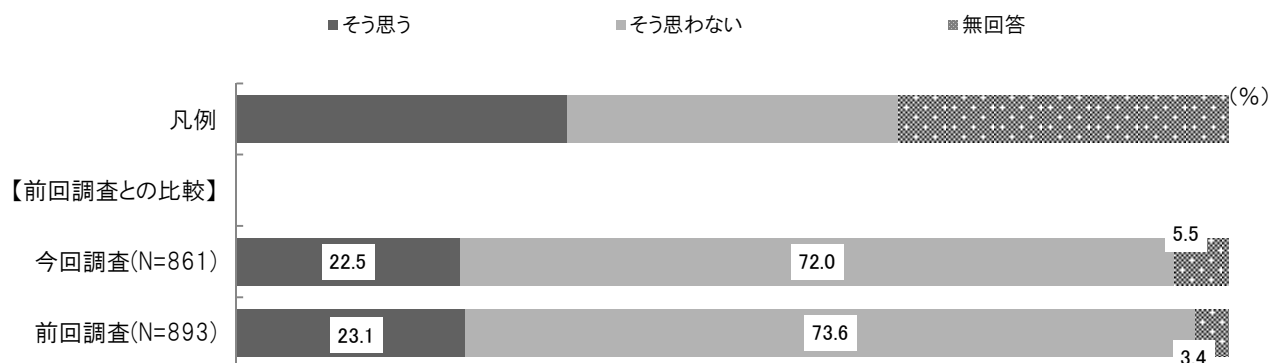


家族構成別でみると、大きな差はみられない。主な交通機関別にみると、「電車」を利用される方に「そう思う」がやや多くみられる。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「そう思わない」がやや減少している。



17. インターネットの活用状況

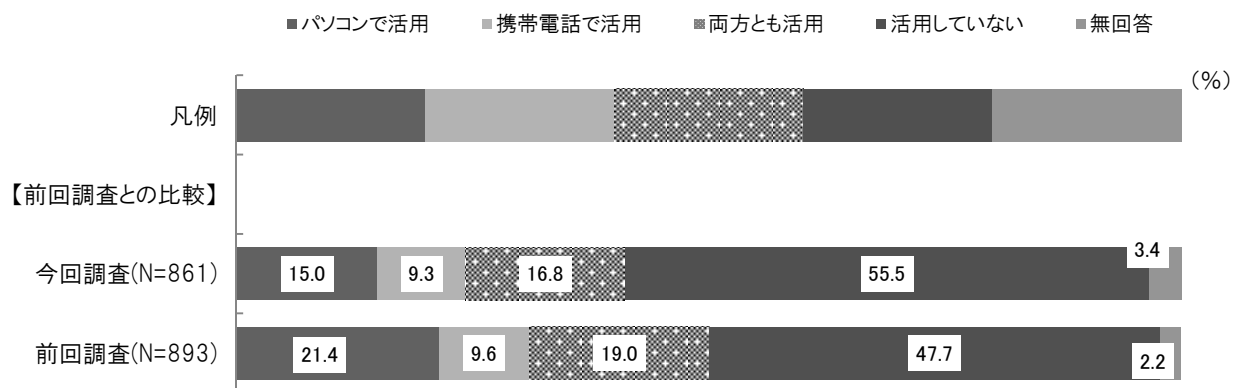
(17) あなたは、日常生活の中でインターネットを活用していますか

インターネットの活用状況については、全体で見ると、「活用していない」が55.5%と最も多くなっている。性別で見ると、女性の方が「活用していない」が多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高くなるほど「活用していない」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、玉津、裳掛などで「活用していない」が多くみられる。



【前回調査との比較】

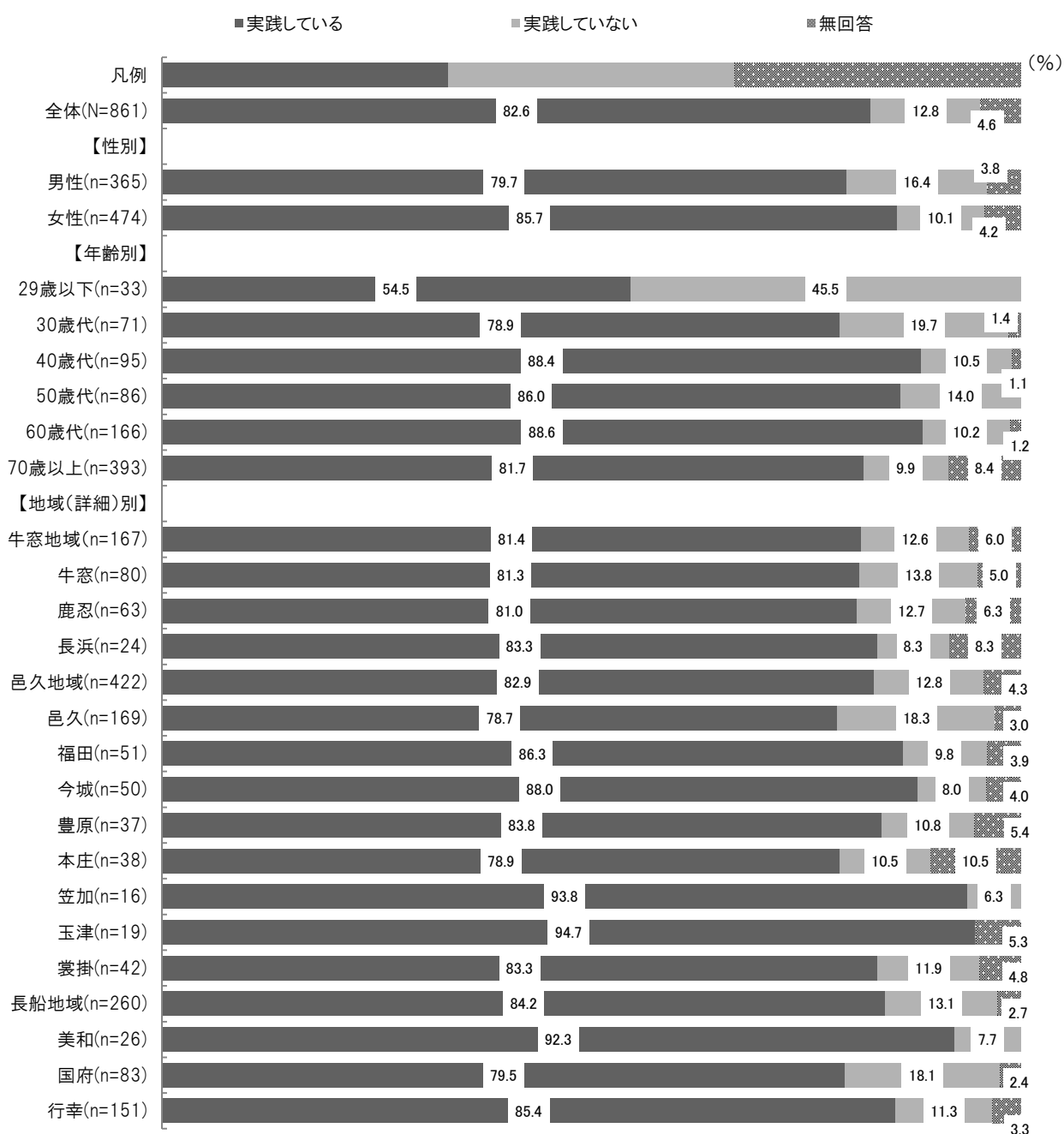
前回調査と比較して、「活用していない」が増加している。



18. ごみのリサイクル実践状況

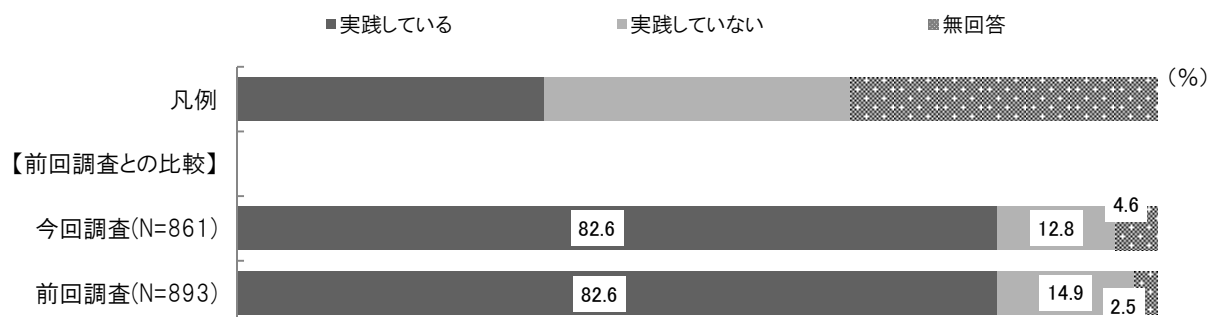
(18) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか

ごみのリサイクル実践状況については、全体で見ると、「実践している」が82.6%と多くなっている。性別で見ると、女性の方が「実践している」がやや多くなっている。年齢別で見ると、高い年齢層の方が「実践している」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、笠加・玉津などで「実践している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

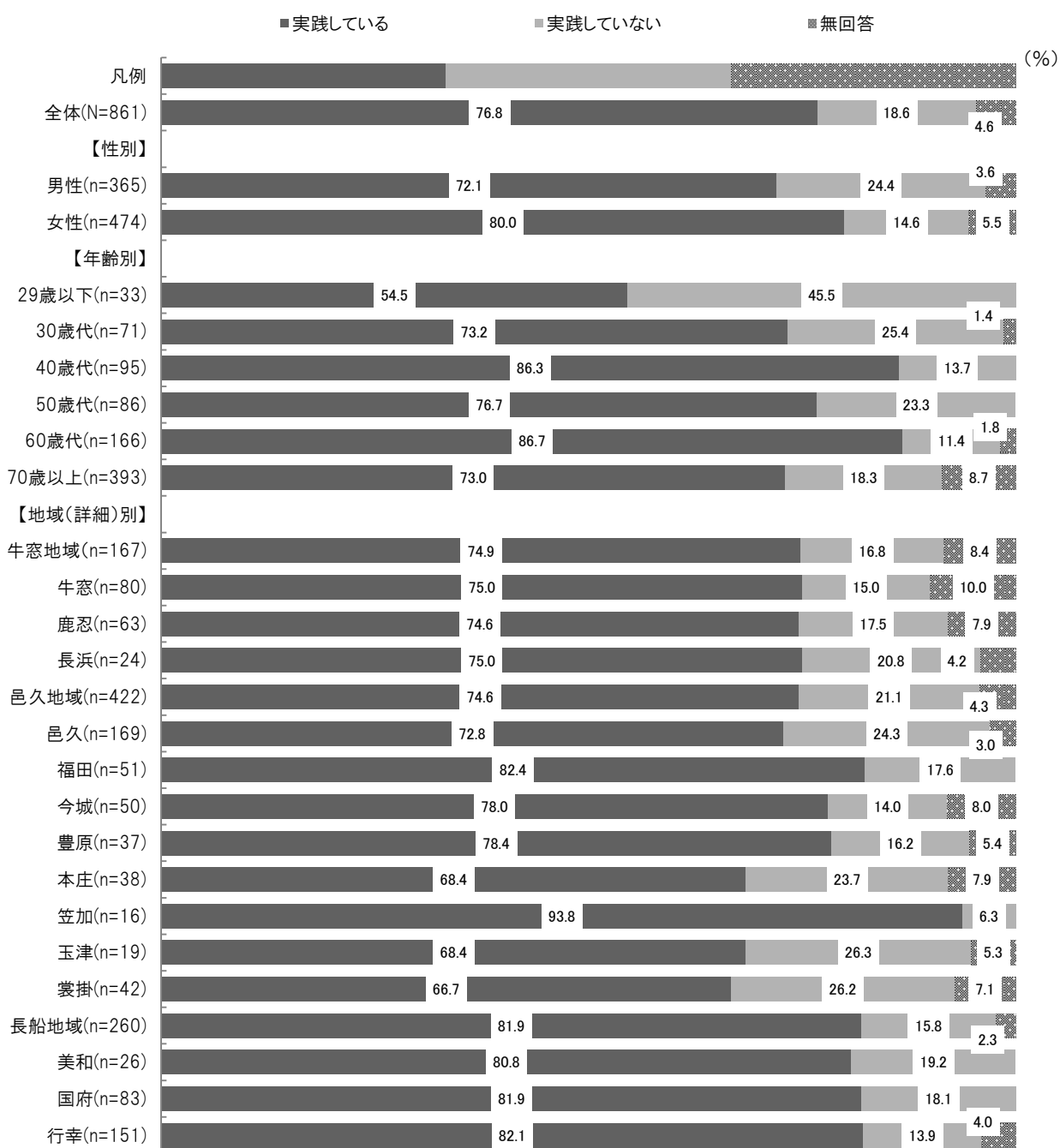
前回調査と比較して、「実践していない」がやや減少している。



19. 省エネの実践状況

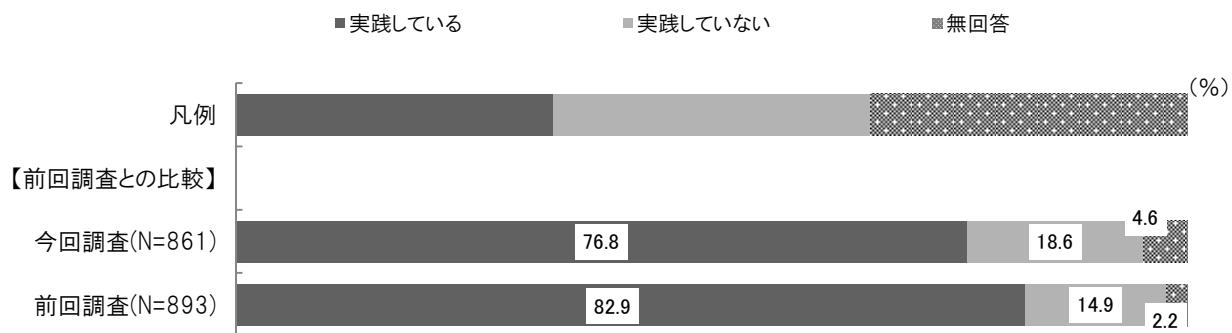
(19) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか

省エネの実践状況については、全体で見ると、「実践している」が76.8%と多くなっている。性別で見ると、女性の方が「実践している」が多くなっている。年齢別で見ると、29歳以下において「実践している」が少なくなっている。地域別で見ると、笠加、長船地域などで「実践している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

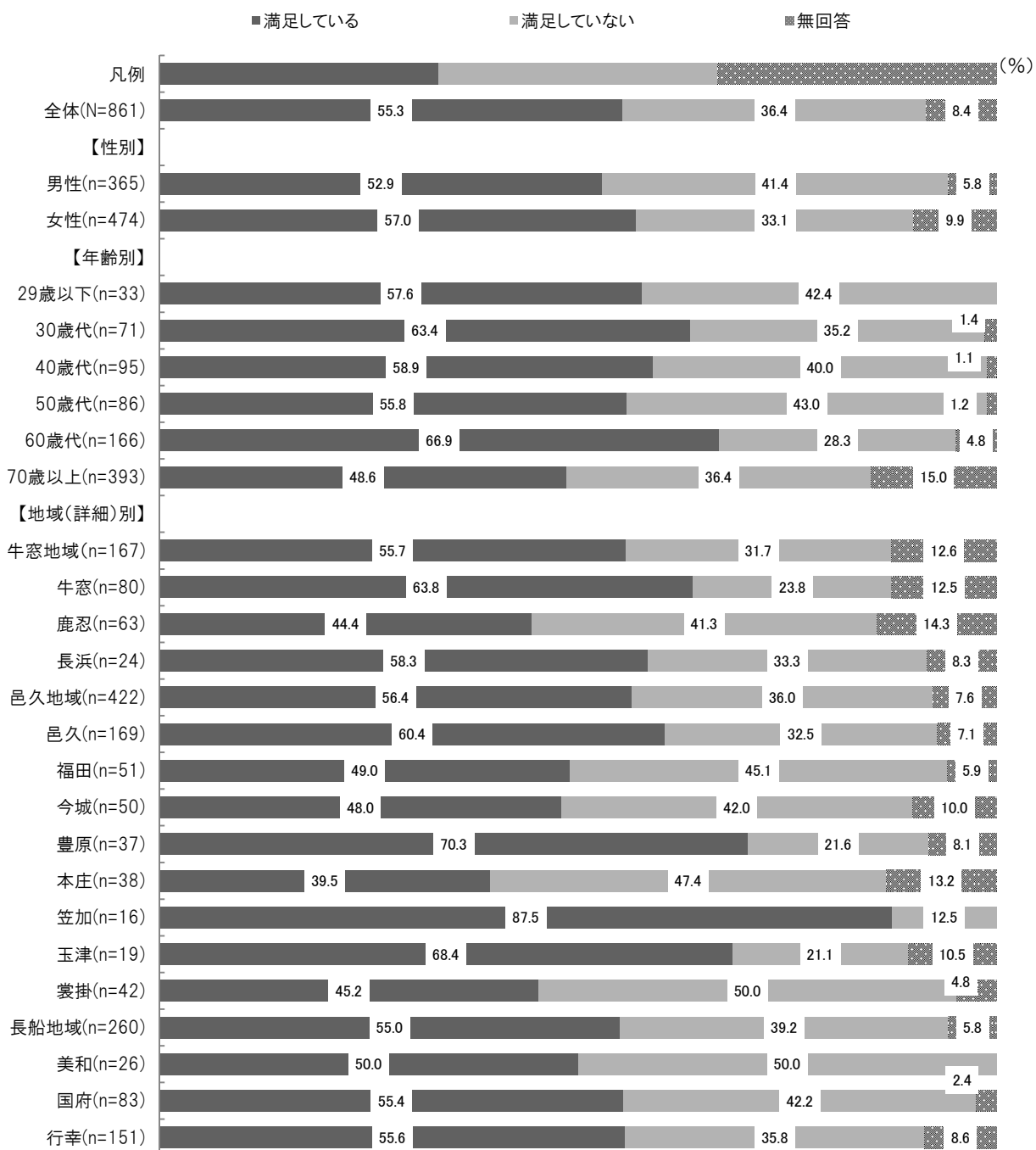
前回調査と比較して、「実践している」が減少している。



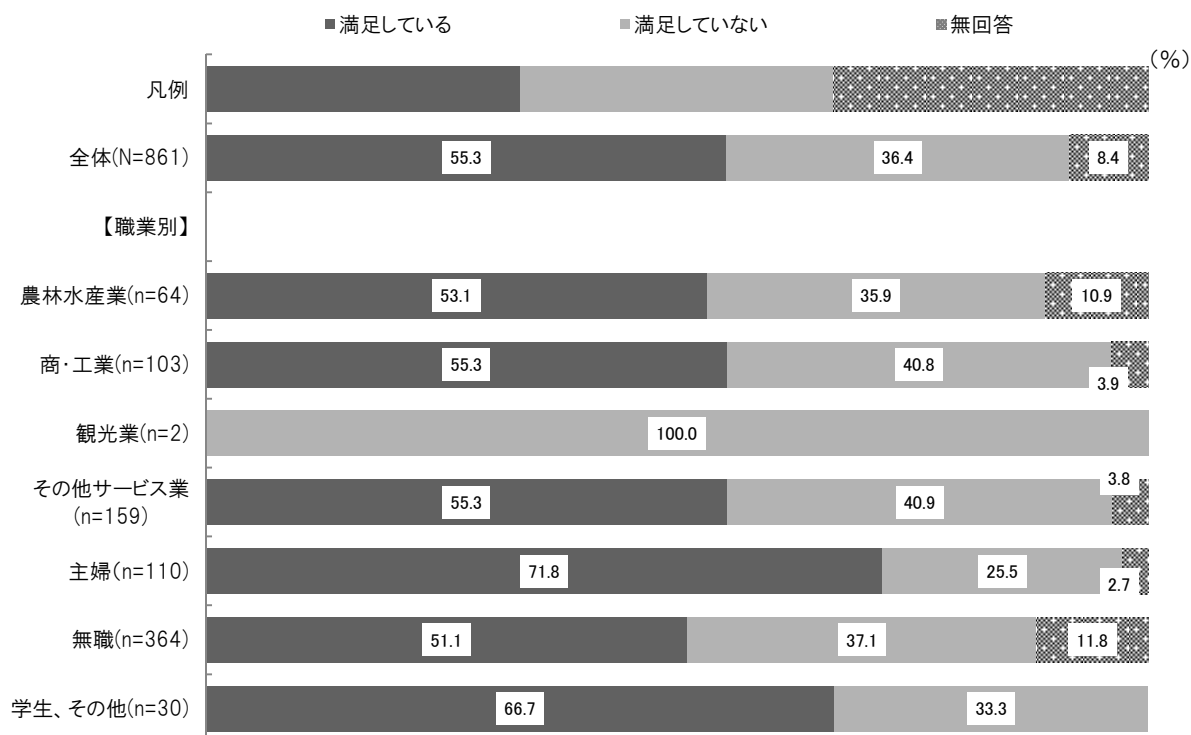
20. 瀬戸内市の景観への満足度

(20) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか

瀬戸内市の景観への満足度については、全体で見ると、「満足している」が55.3%と多くなっている。性別で見ると、女性の方が「満足している」がやや多くなっている。年齢別で見ると、70歳以上において「満足している」が少なくなっている。地域別で見ると、笠加、豊原などで「満足している」が多くみられる。

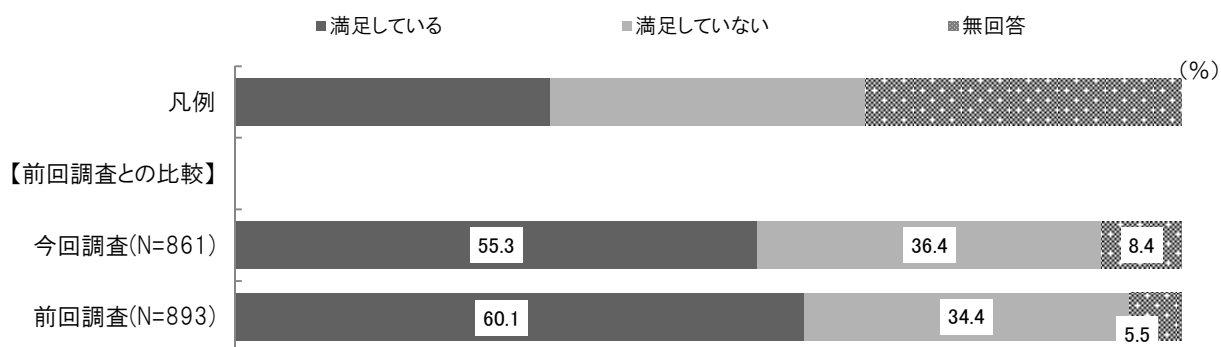


職業別にみると主婦において、「満足している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

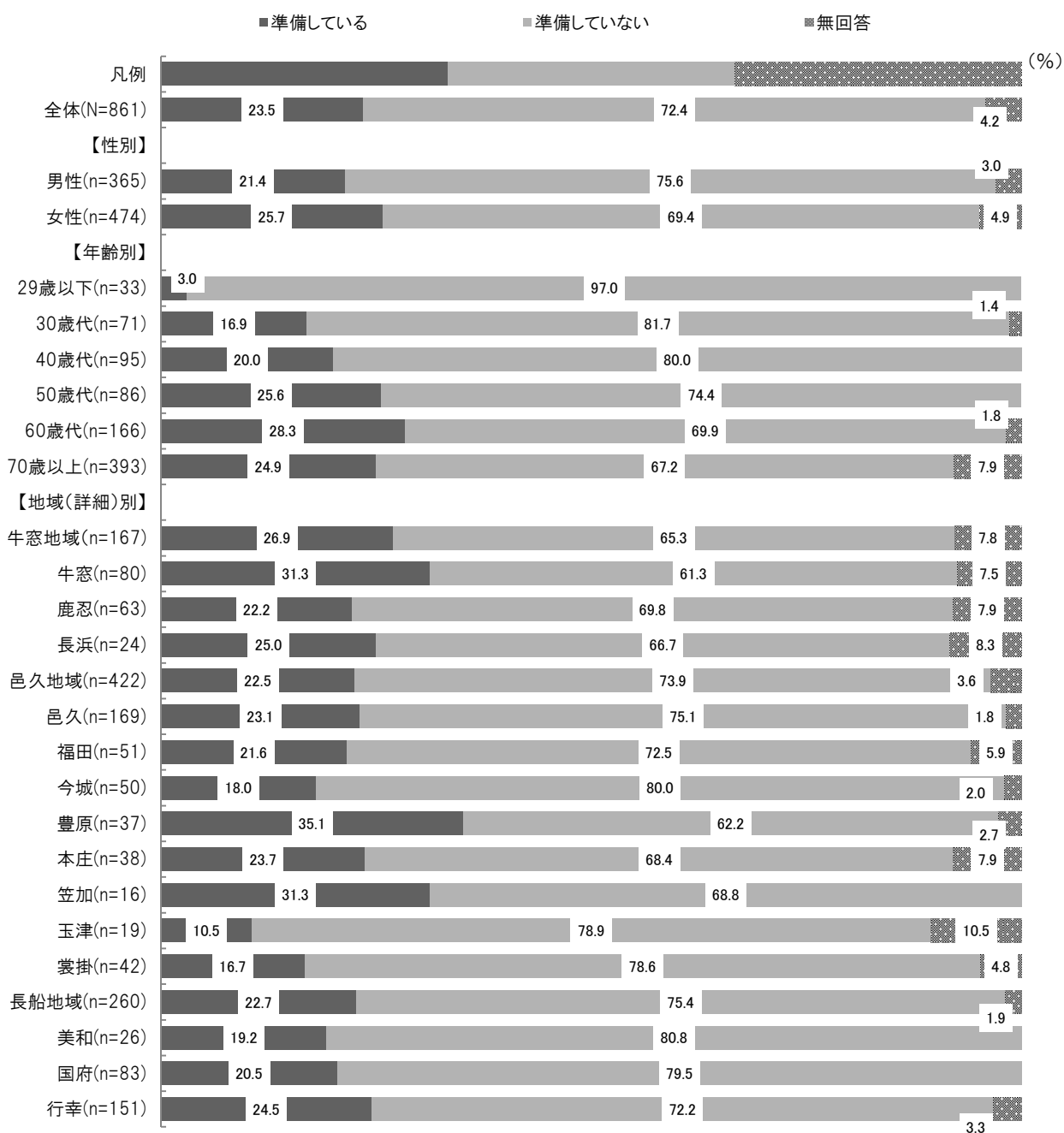
前回調査と比較して、「満足している」が減少している。



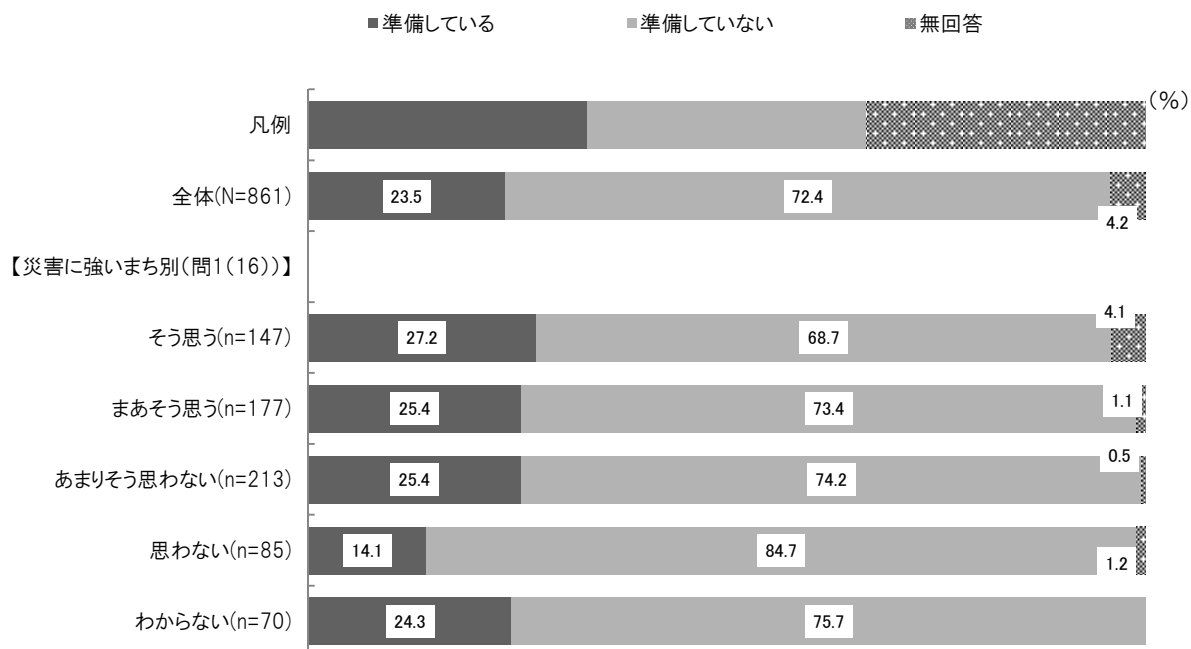
2 1. 災害時の非常持出品準備状況

(2 1) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか

災害時の非常持出品準備状況については、全体で見ると、「準備していない」が72.4%と多くなっている。性別で見ると、大きな男女差はみられない。年齢別で見ると、若い世代ほど「準備していない」が多い傾向がみられる。地域別で見ると、豊原、牛窓、笠加などで「準備している」が多くみられる。

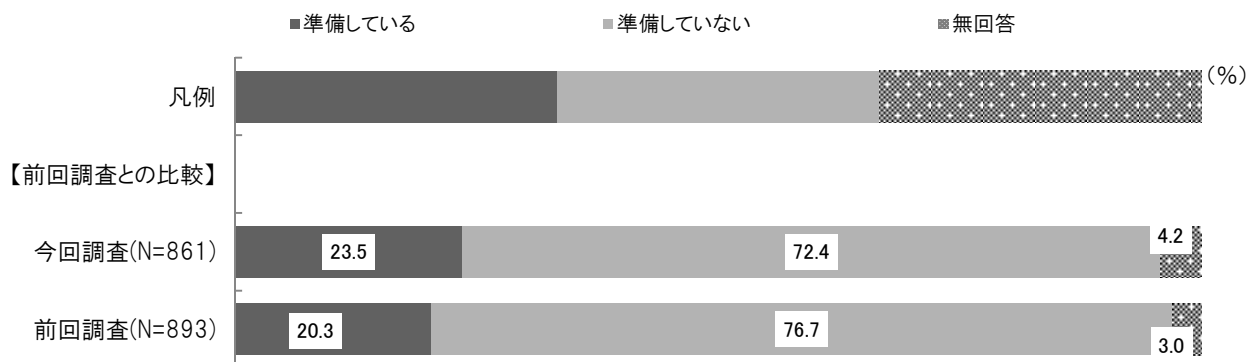


災害に強いまちの設問に「そう思う」と実感度が高い方ほど、「準備している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

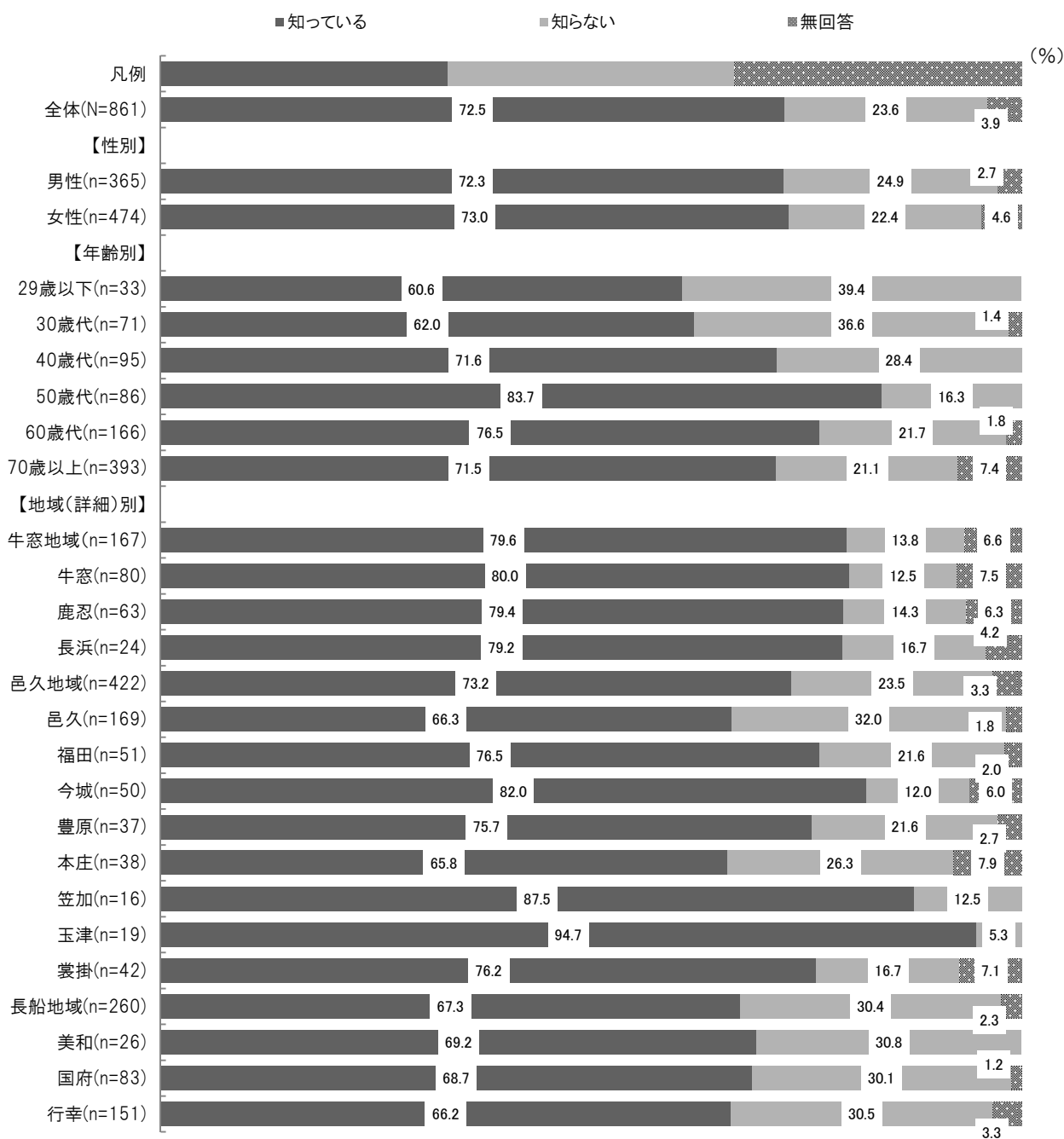
前回調査と比較して、「準備している」が増加している。



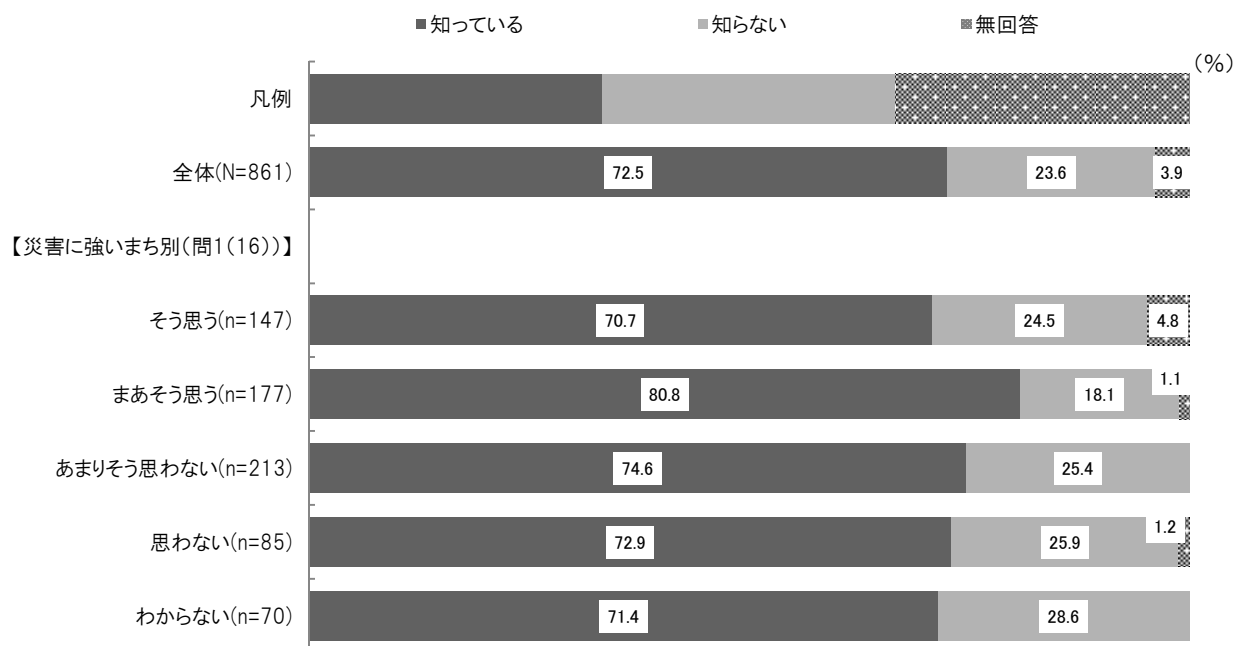
2.2. 災害時の避難場所認知状況

(2.2) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか

災害時の避難場所認知状況については、全体で見ると、「知っている」が72.5%と多くなっている。性別で見ると、男性において「知らない」がやや多くなっている。年齢別で見ると、50歳代において「知っている」が多くみられる。地域別で見ると、玉津、笠加などで「そう思う」が多くみられる。

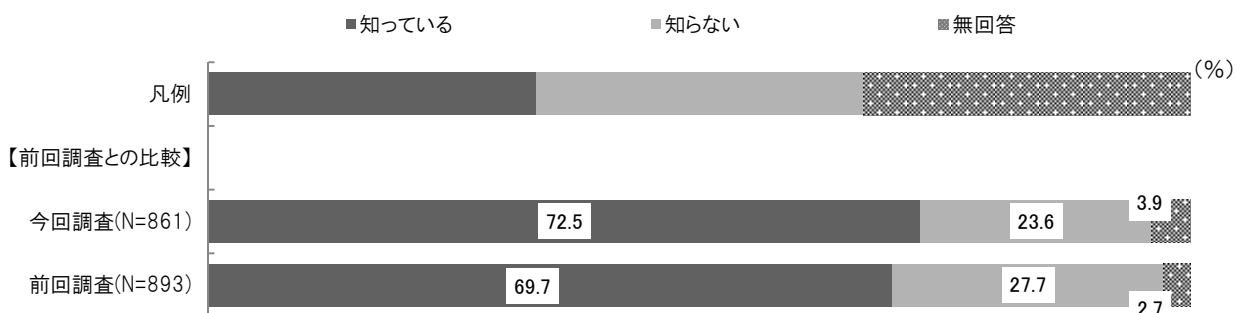


災害に強いまちの設問に「まあそう思う」と実感度が高い方ほど、「知っている」が多くみられる。



【前回調査との比較】

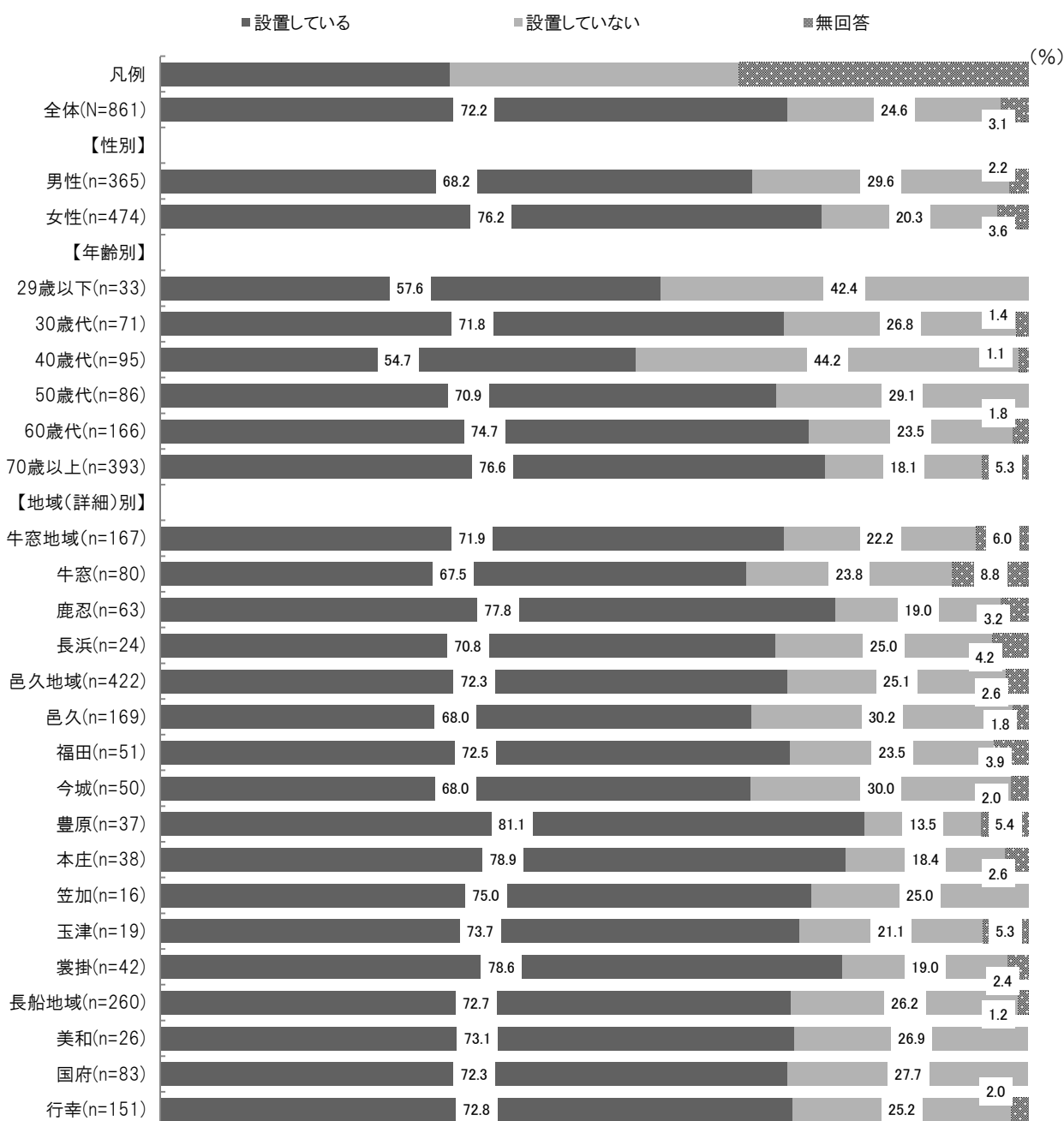
前回調査と比較して、「知っている」がやや増加している。



23. 住宅用火災警報器設置状況

(23) あなたは、ご自宅に住宅用火災警報器を設置していますか

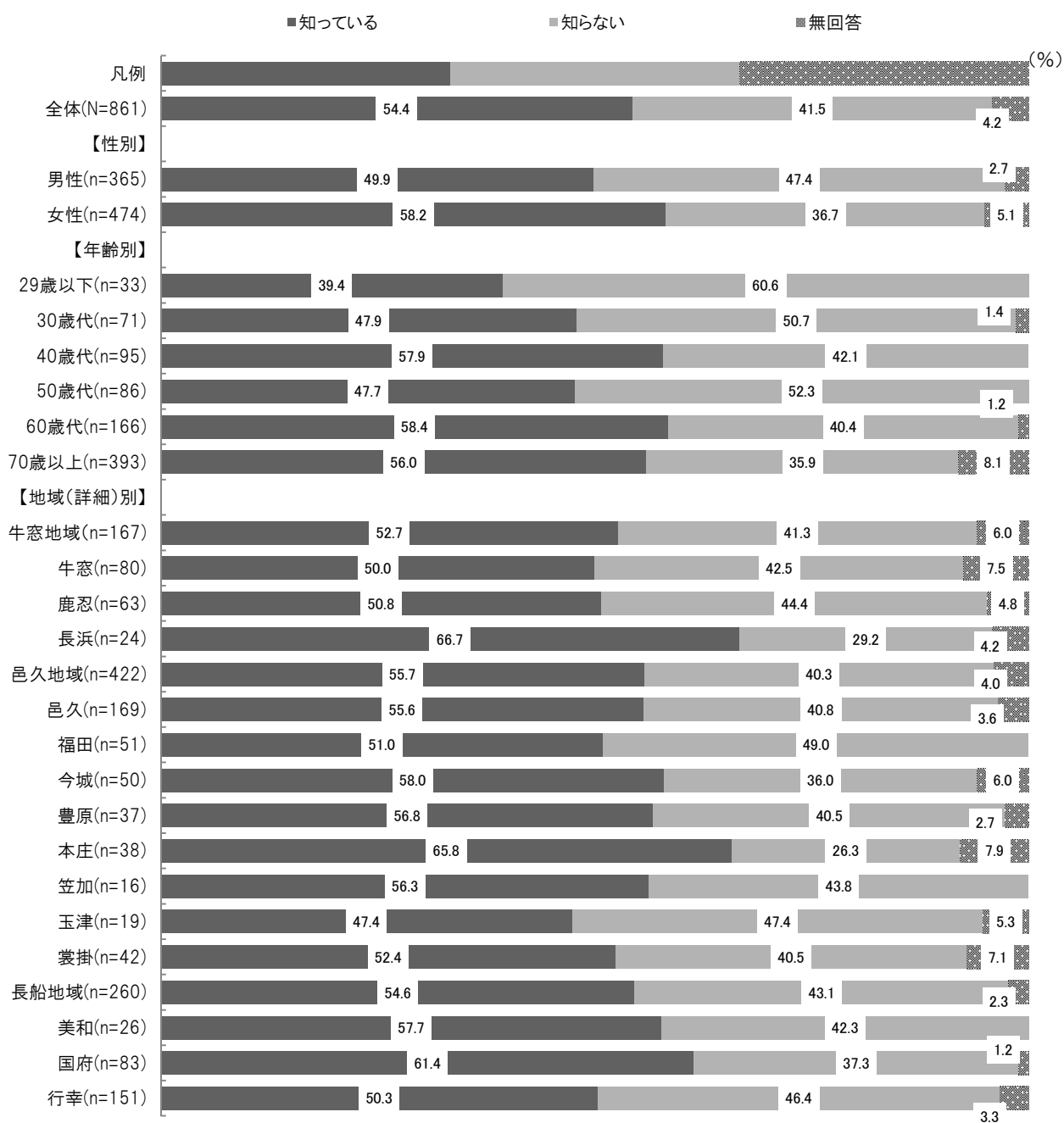
住宅用火災警報器設置状況については、全体で見ると、「設置している」が72.2%と多くなっている。性別で見ると、女性の方が「設置している」が多くなっている。年齢別で見ると、29歳以下、40歳代において「設置している」が少なくなっている。地域別で見ると、豊原、本庄などで「設置している」が多くみられる。



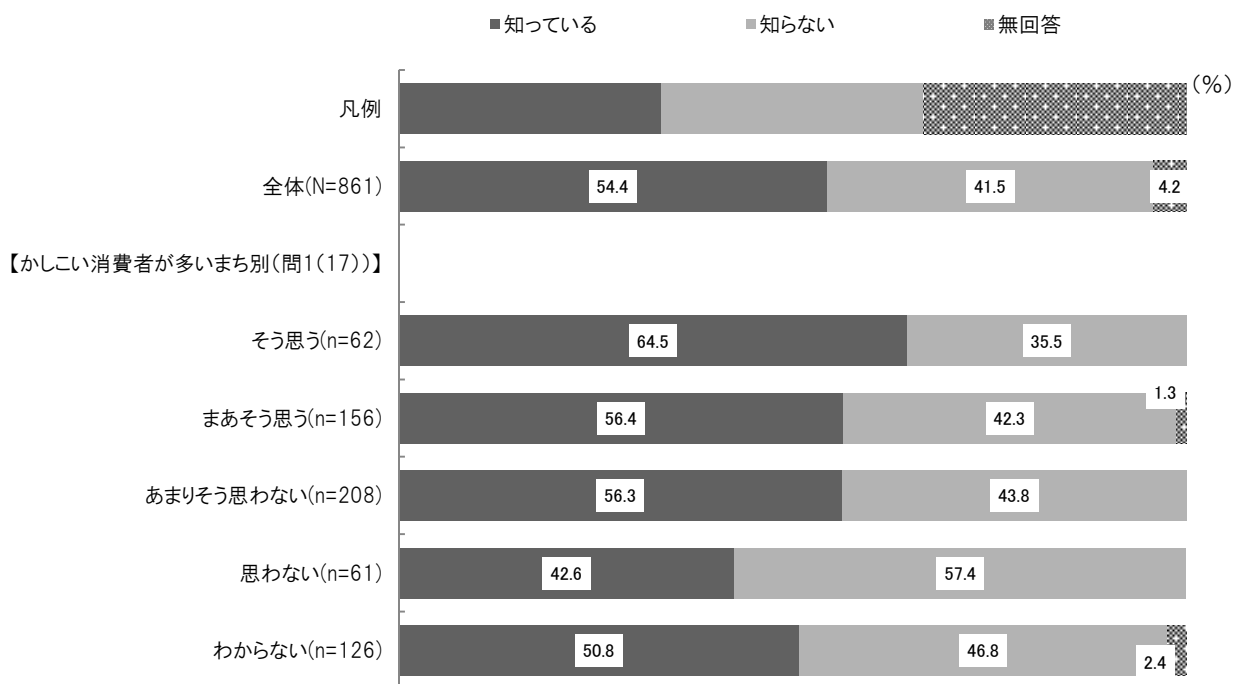
2.4. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況

(24) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか

「消費生活」に関する相談窓口認知状況については、全体でみると、「知っている」が54.4%と多くなっている。性別でみると、女性の方が「知っている」が多くなっている。年齢別でみると、60歳代において「知っている」が多くみられる。地域別でみると、長浜・本庄などで「知っている」が多くみられる。

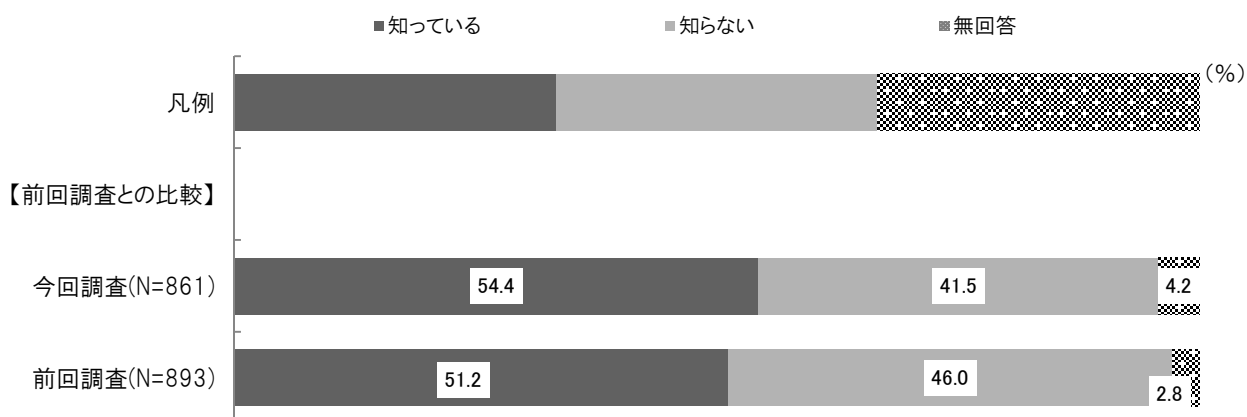


かしこい消費者が多いまちの設問に「そう思う」と実感度が高い方ほど、「知っている」が多くみられる。



【前回調査との比較】

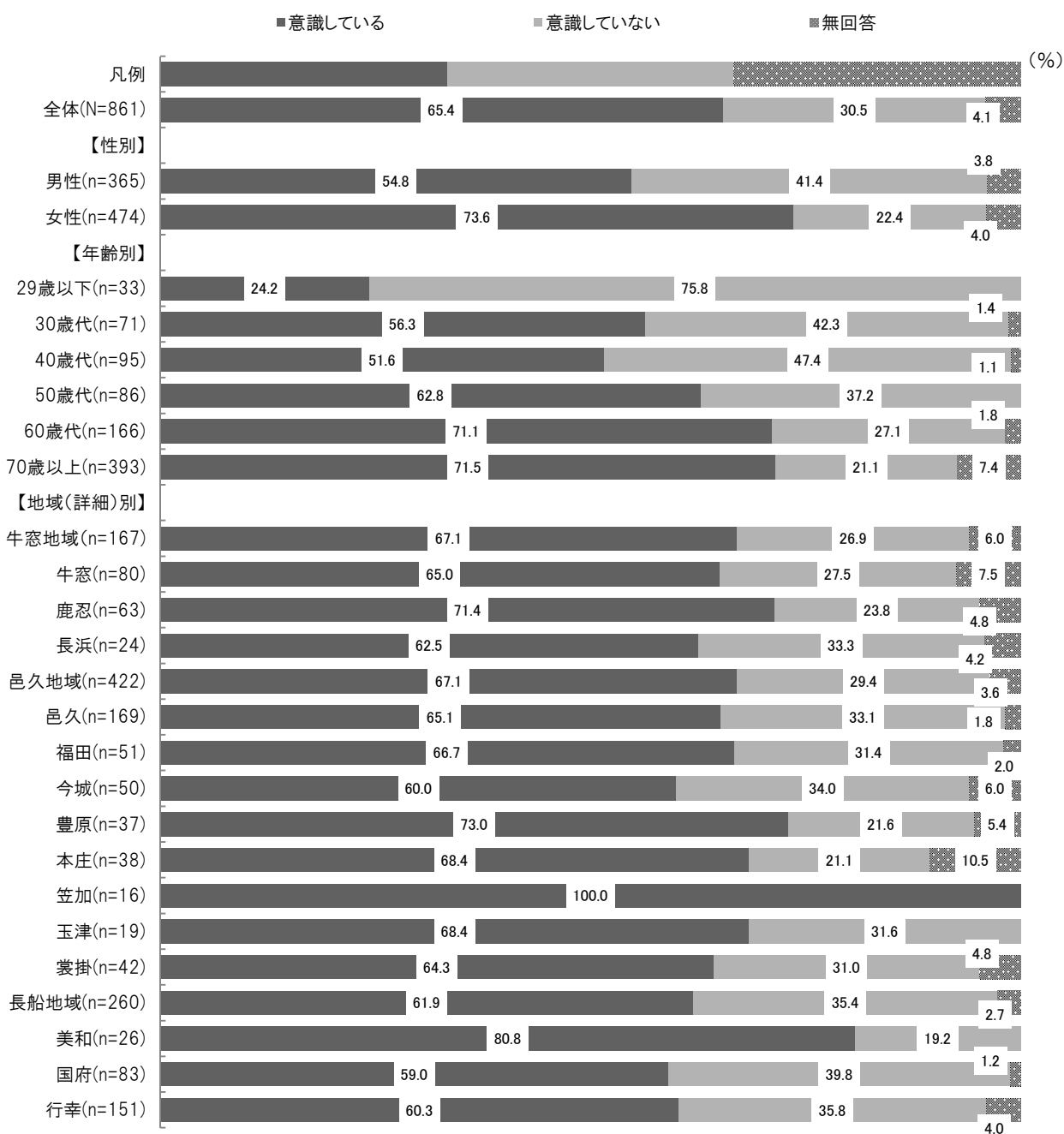
前回調査と比較して、「知っている」が増加している。



25. 農産物購入時の地元産意識

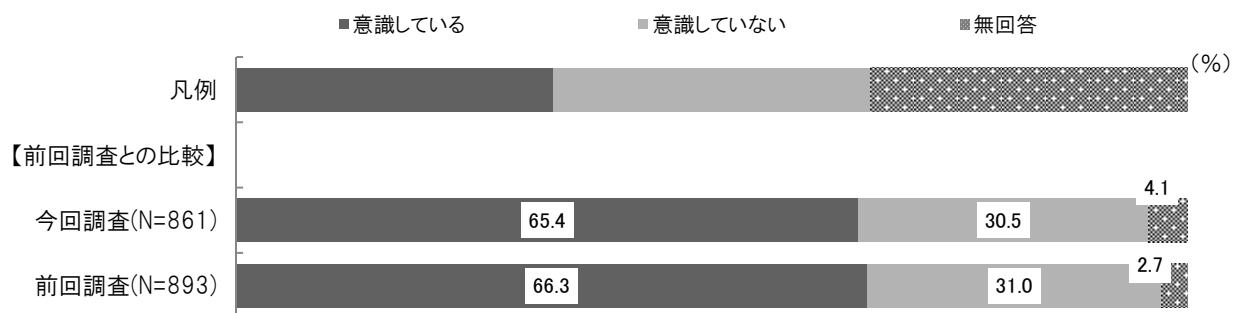
(25) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

農産物購入時の地元産意識については、全体で見ると、「意識している」が65.4%と多くなっている。性別で見ると、女性において「意識している」が多くなっている。年齢別で見ると、年齢層が高いほど「意識している」が多くみられる傾向がある。地域別で見ると、笠加、美和などで「意識している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

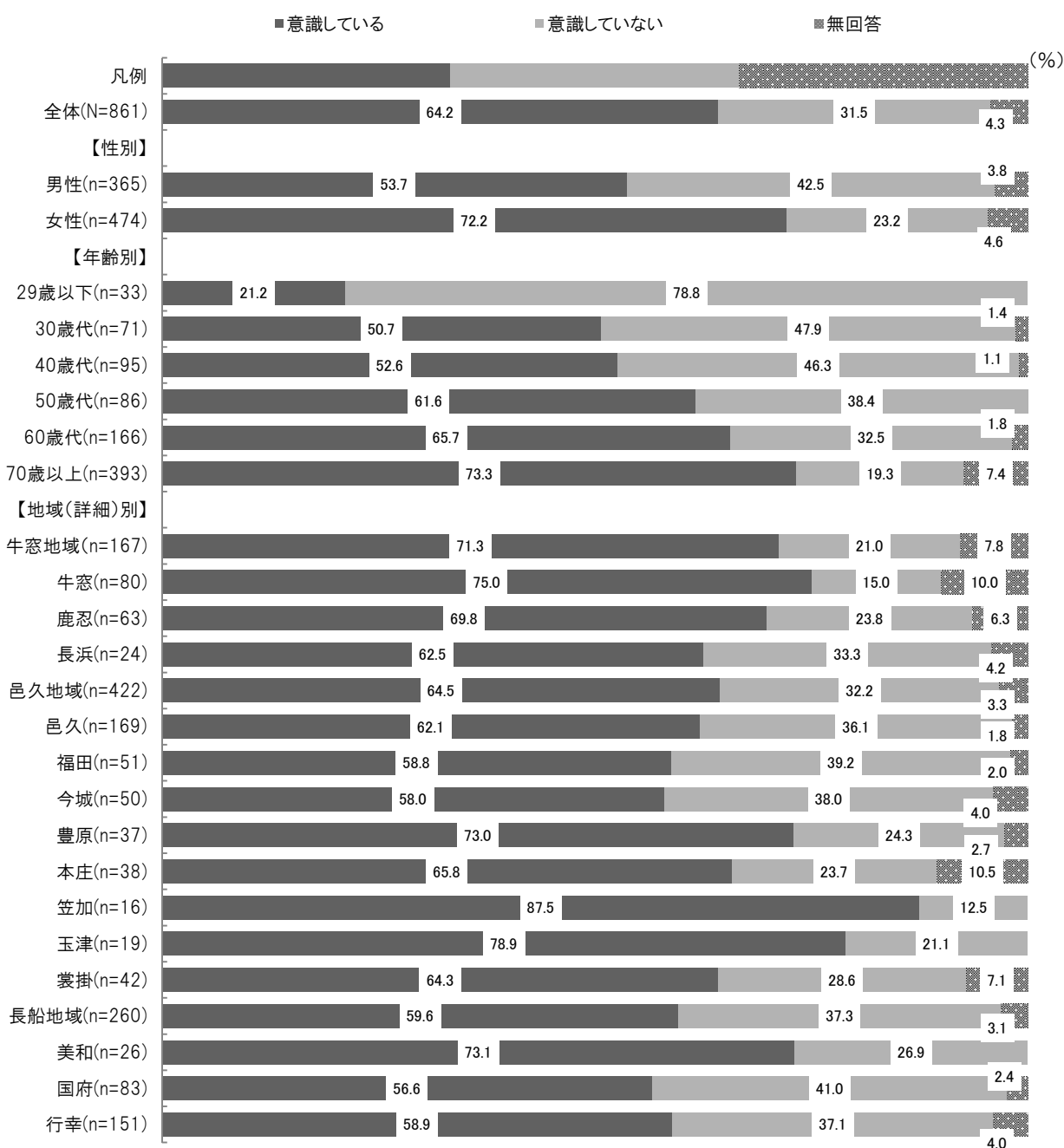
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



26. 水産物購入時の地元産意識

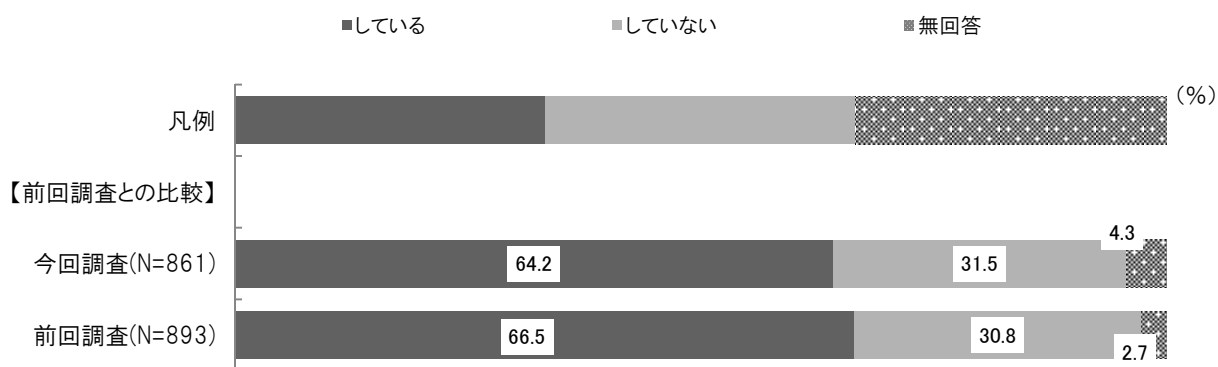
(26) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

水産物購入時の地元産意識については、全体で見ると、「意識している」が64.2%と多くなっている。性別で見ると、女性において「意識している」が多くなっている。年齢別で見ると、年齢層が高くなるほど「意識している」が多くみられる。地域別で見ると、笠加、玉津などで「意識している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

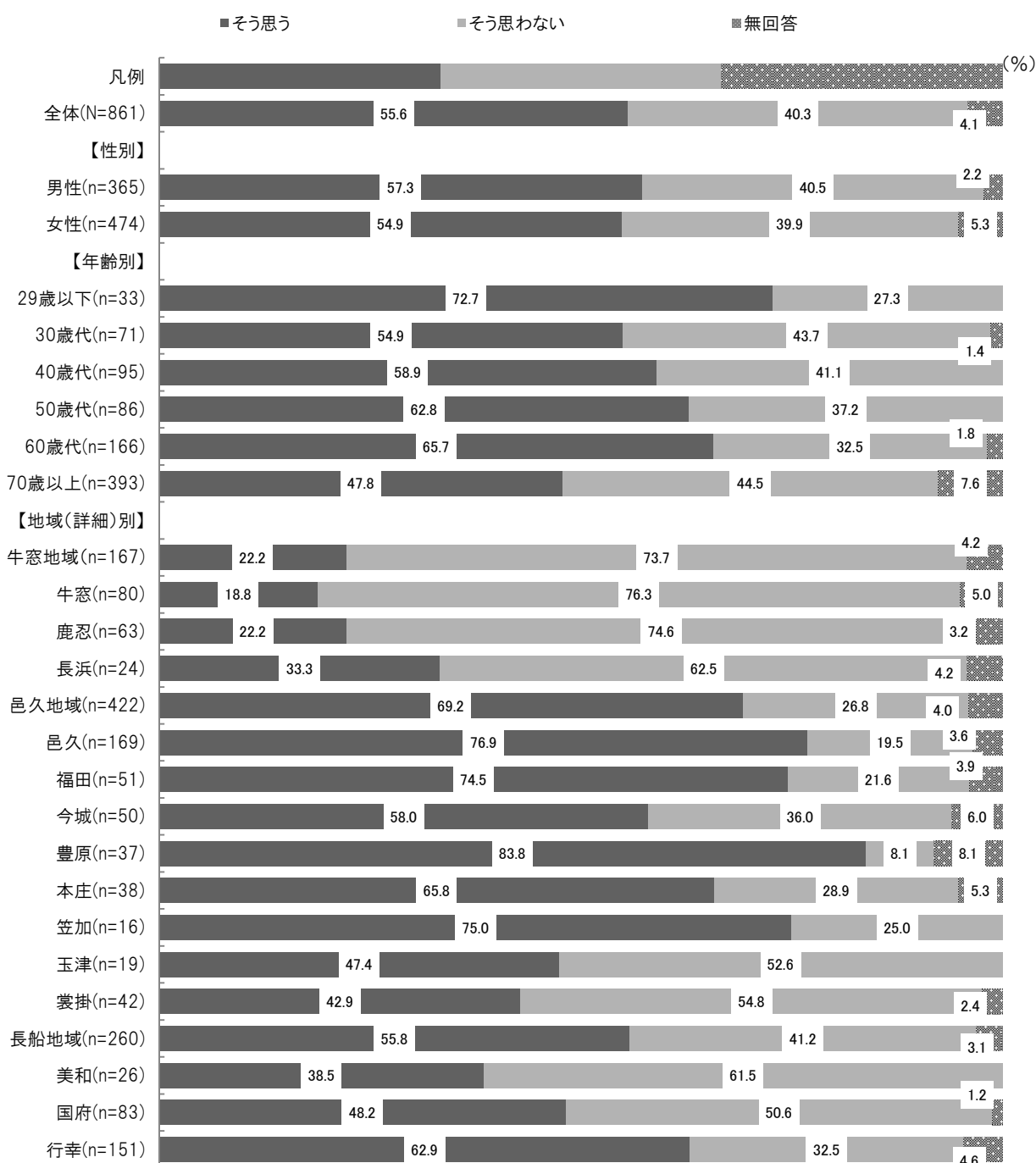
前回調査と比較して、「している」がやや減少している。



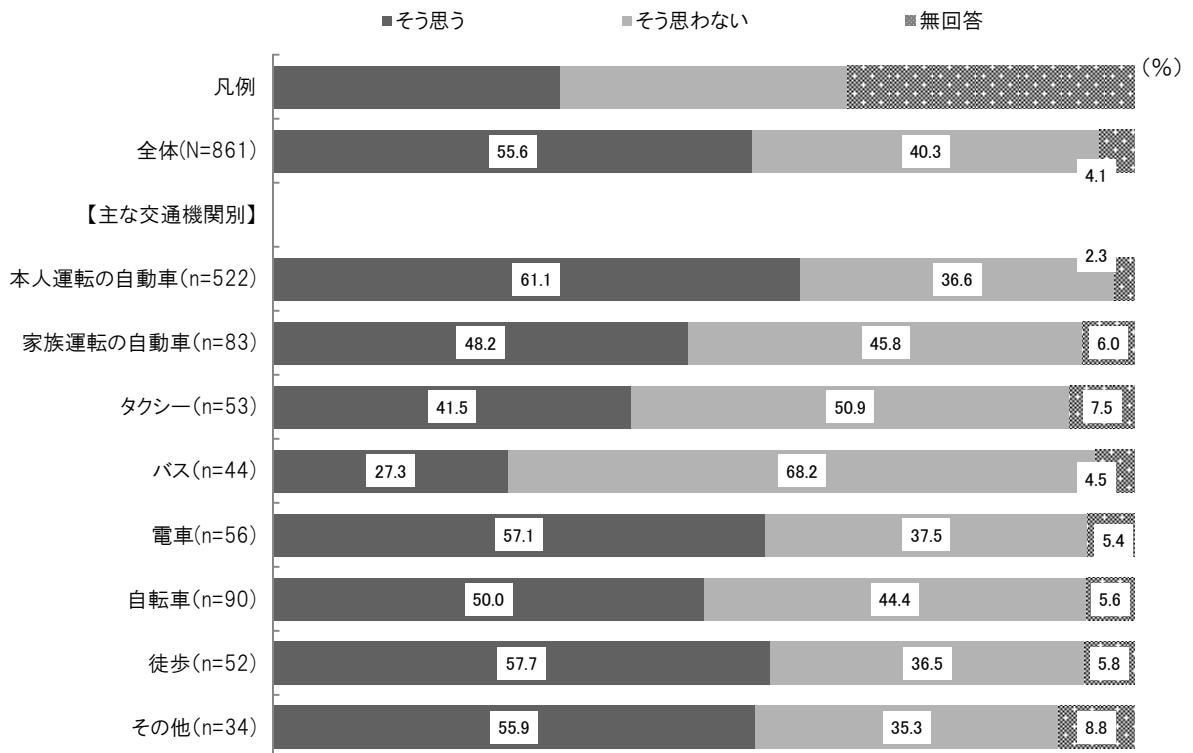
2.7. 日常生活品の買い物のしやすさについて

(27) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか

日常生活品の買い物のしやすさについては、全体でみると、「そう思う」が55.6%と多くなっている。性別でみると、男性において「そう思う」がやや多くみられる。年齢別でみると、29歳以下において「そう思う」が多くみられる。地域別でみると、豊原、邑久などで「そう思う」が多くみられる。

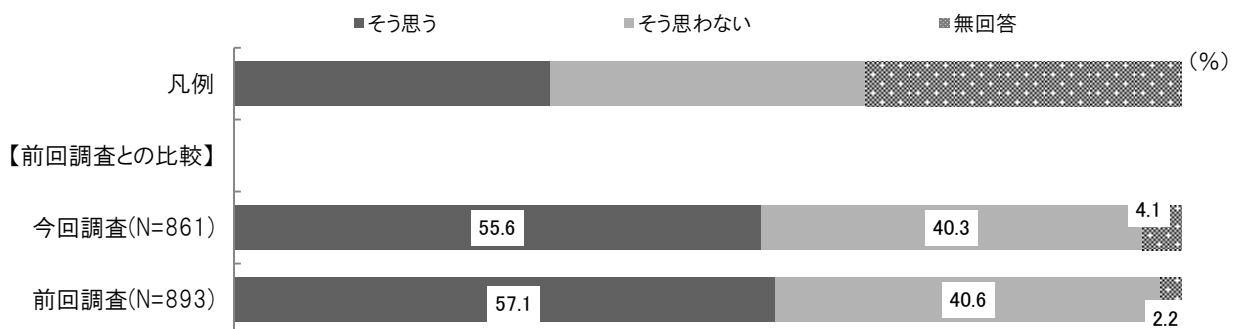


主な交通機関別でみると、「そう思う」については「本人運転の自動車」において最も多く、「バス」において最も少なくなっている。



【前回調査との比較】

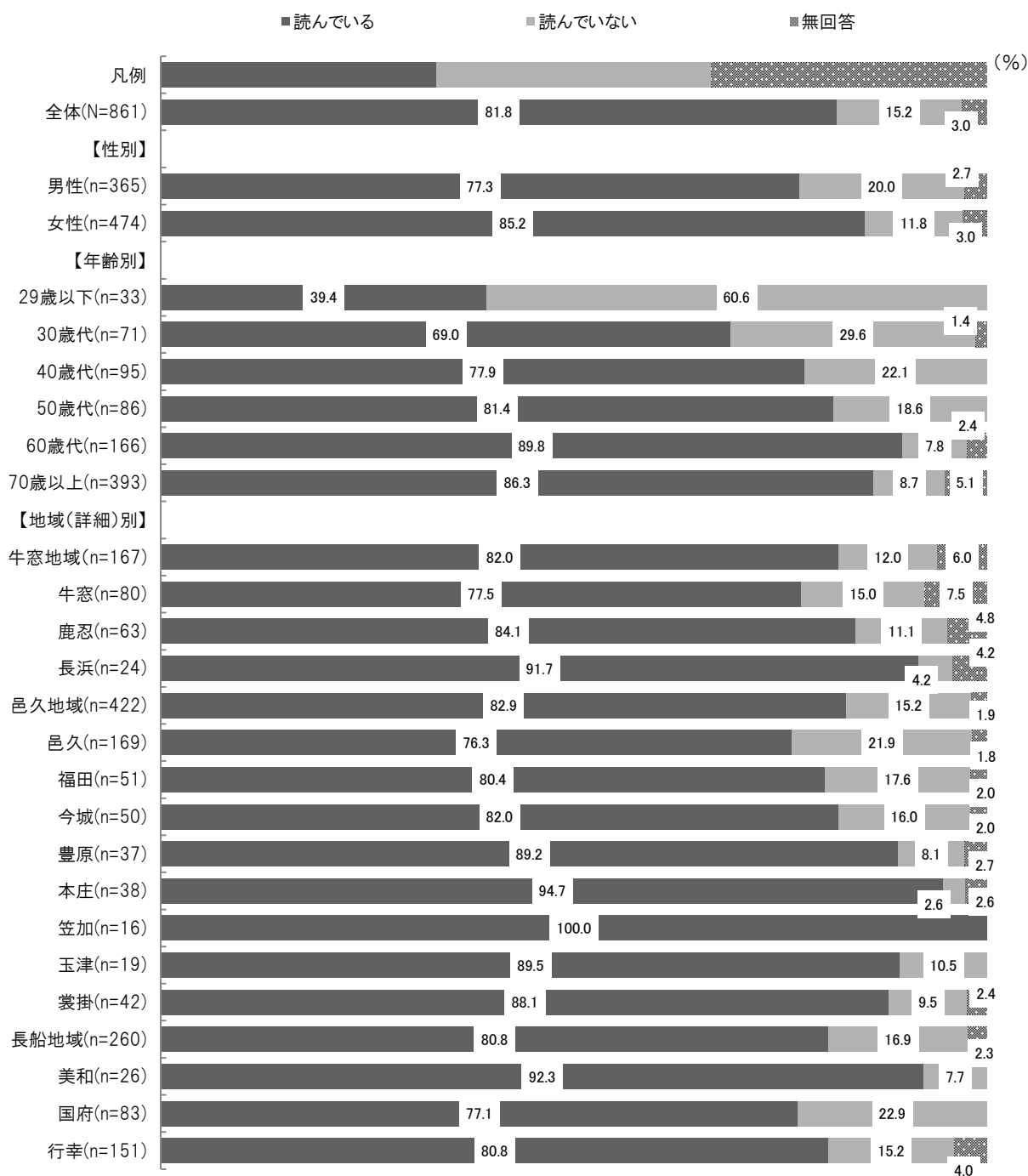
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



28. 「広報せとうち」購読状況

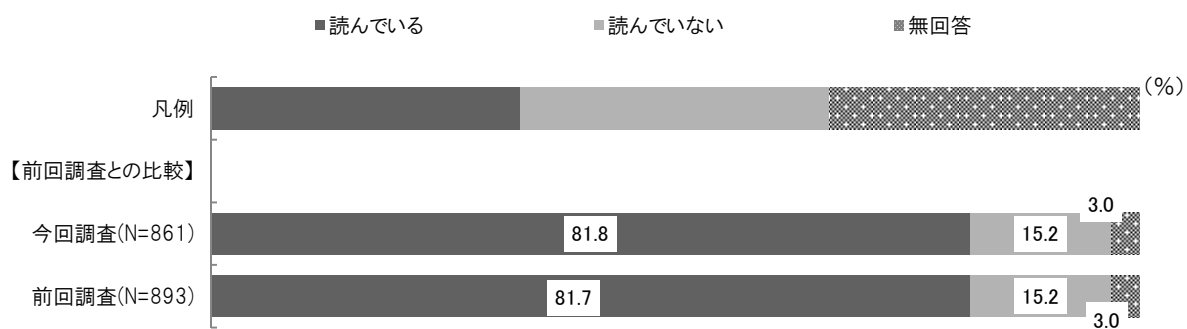
(28) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか

「広報せとうち」購読状況については、全体で見ると、「読んでいる」が81.8%と多くなっている。性別で見ると、女性において「読んでいる」が多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高くなるほど「読んでいる」が多くみられる傾向がある。地域別で見ると、笠加、本庄などで「読んでいる」が多くみられる。



【前回調査との比較】

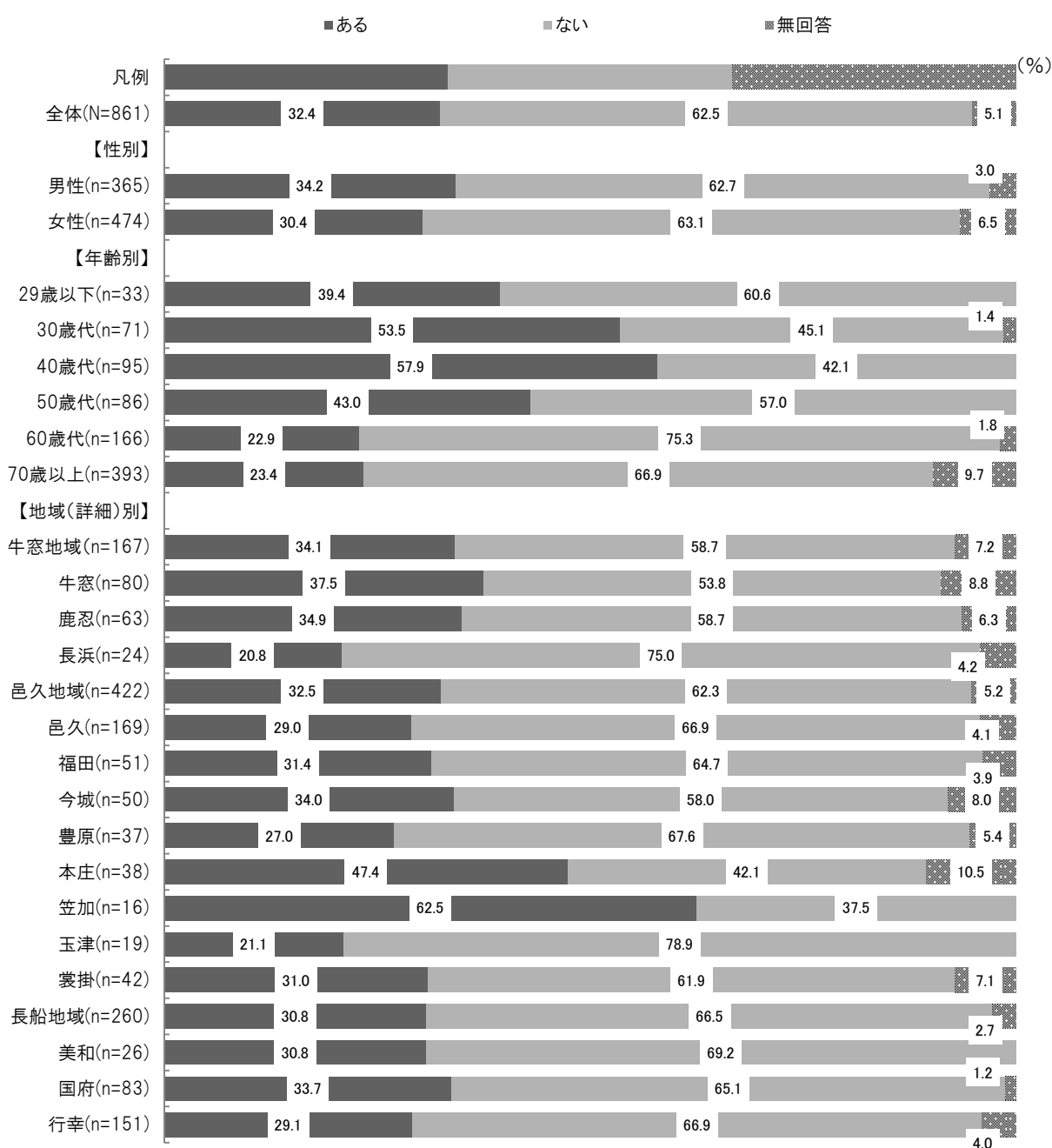
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



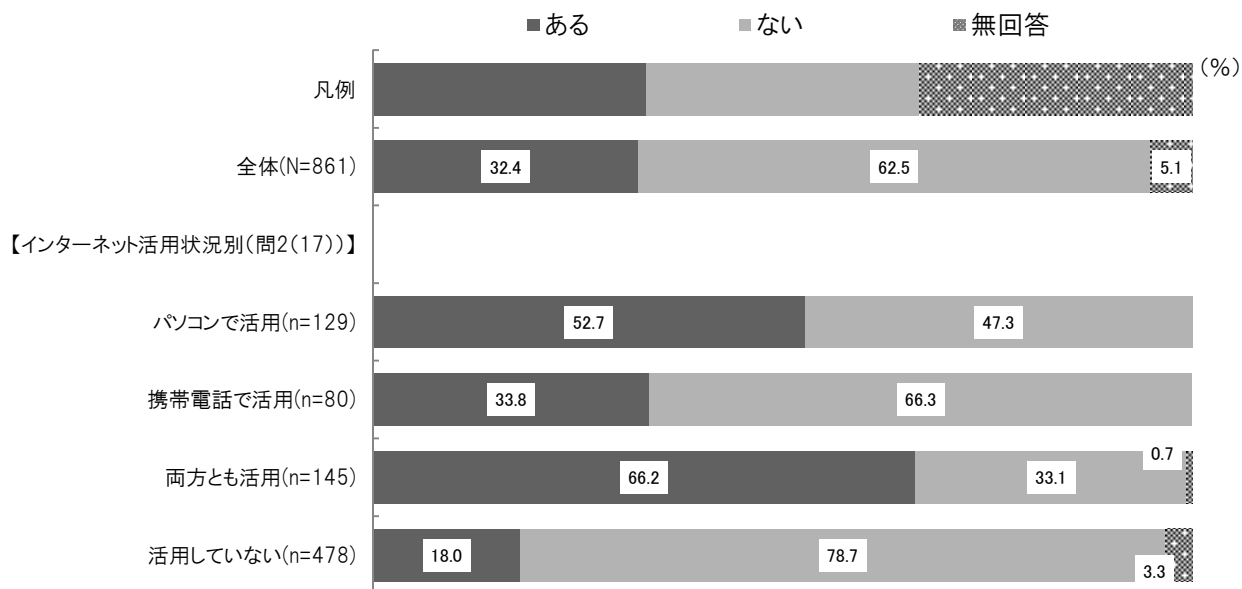
29. 瀬戸内市のホームページ閲覧状況

(29) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか

瀬戸内市のホームページ閲覧状況については、全体で見ると、「ない」が62.5%と多くなっている。性別で見ると、男性において「ある」がやや多くみられる。年齢別で見ると、30歳代、40歳代において「ある」が多くみられる。地域別で見ると、笠加、本庄などで「ある」が多くみられる。

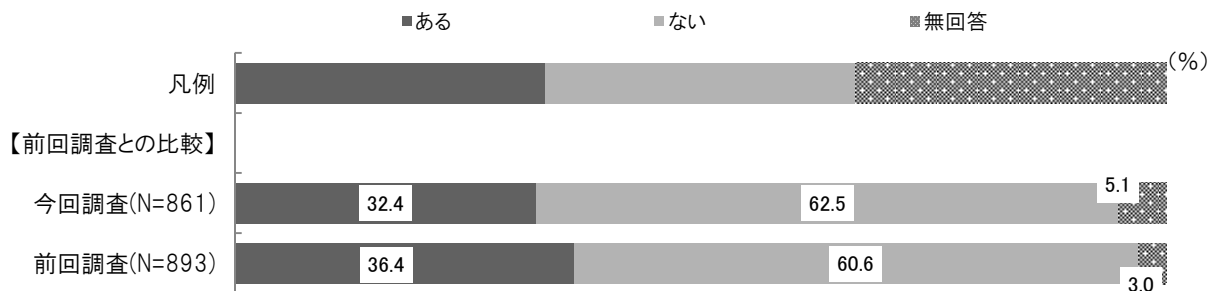


インターネット活用状況別で見ると「両方とも活用」、「パソコンで活用」において「ある」が多くみられる。



【前回調査との比較】

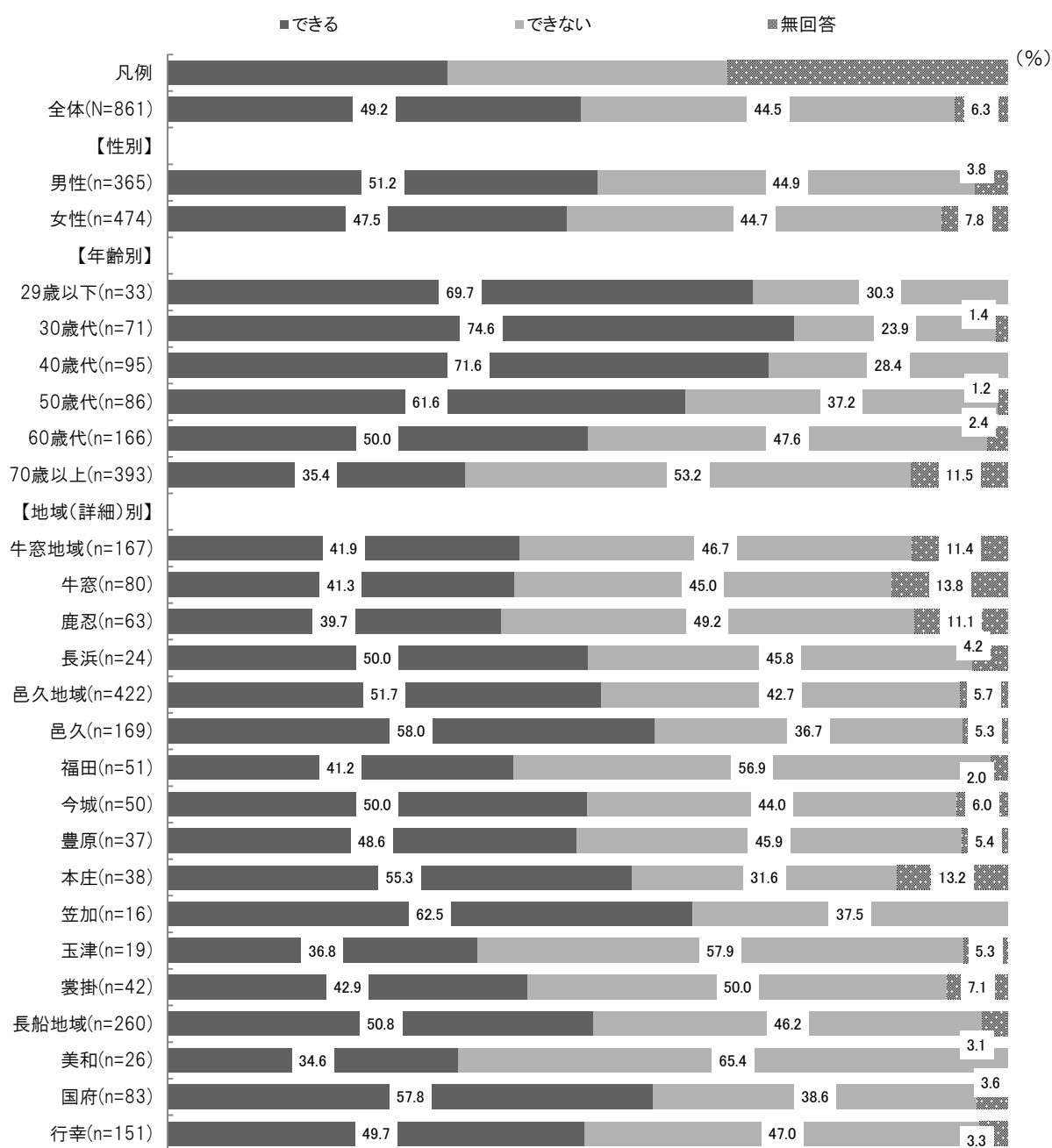
前回調査と比較して、「ある」が減少している。



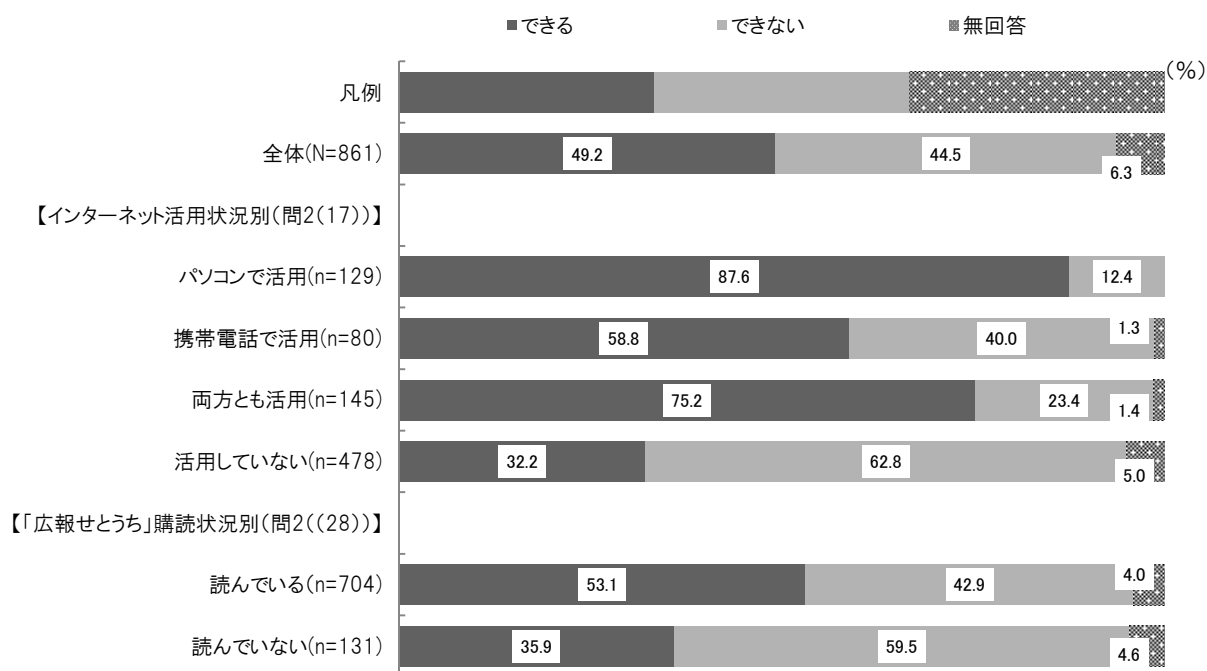
30. 広報紙やホームページによる市の情報入手

(30) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか

広報紙やホームページについては、全体で見ると、「できる」が49.2%と多くなっている。性別で見ると、男性において「できる」がやや多くみられる。年齢別で見ると、若い世代ほど「できる」が多くみられる傾向がある。地域別で見ると、笠加、邑久などで「できる」が多くみられる。

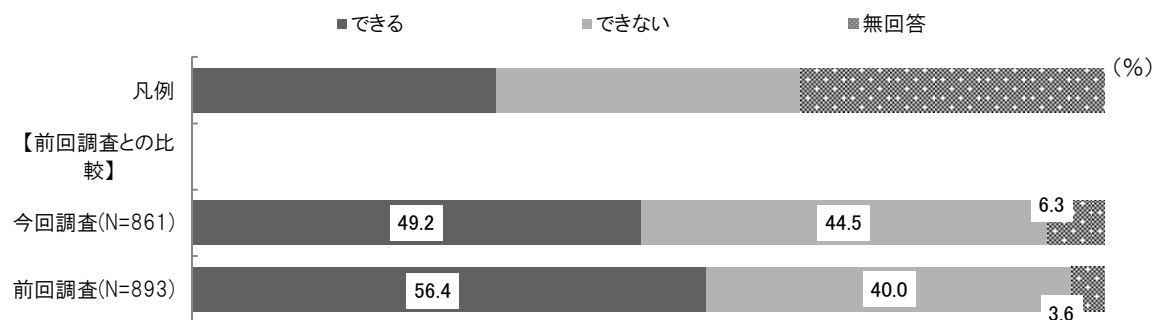


インターネット活用状況別でみると、「両方とも活用」、「パソコンで活用」において「できる」が多くみられる。「広報せとうち」購読状況別でみると、「読んでいる」において「できる」が多くみられる。



【前回調査との比較】

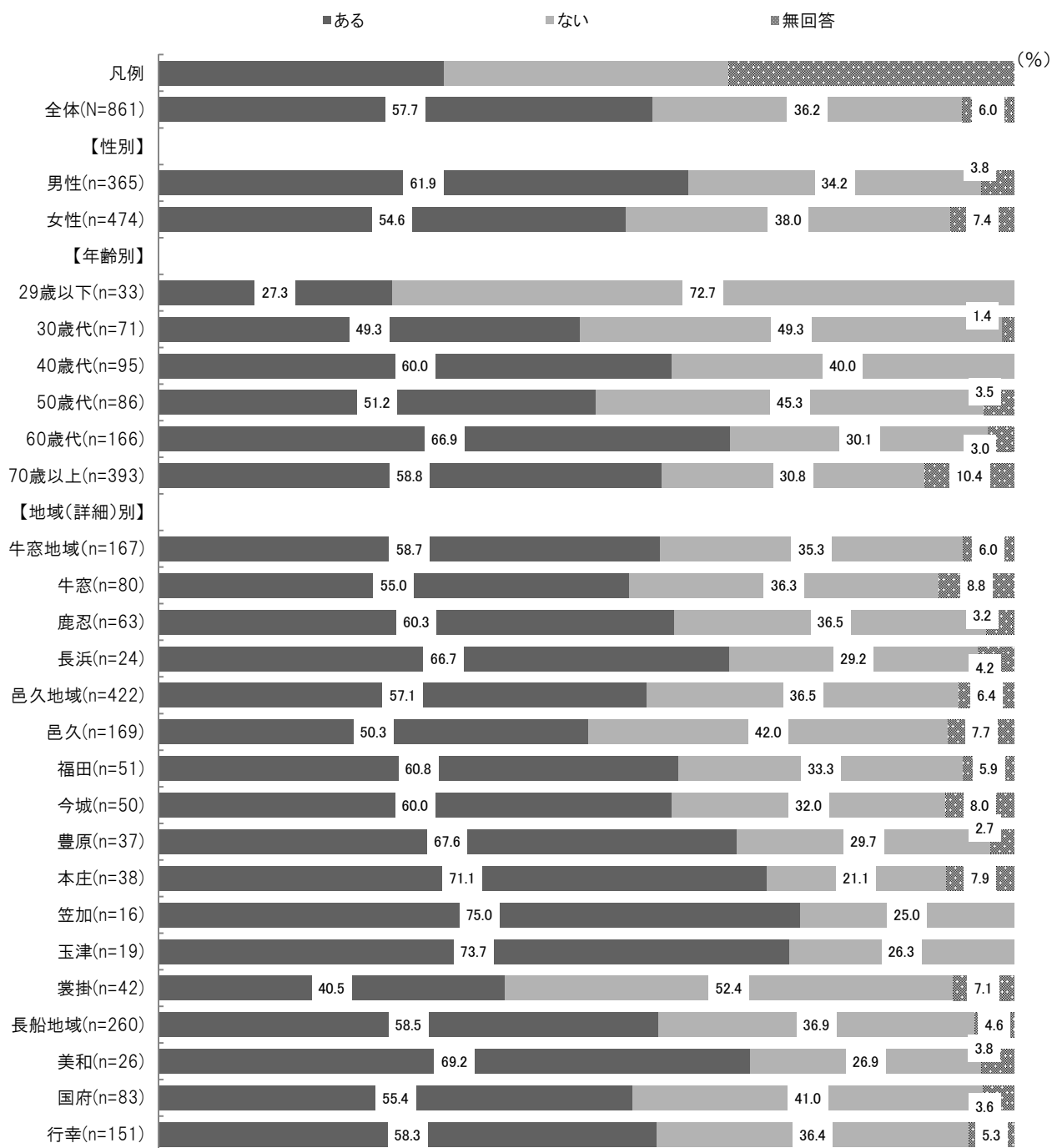
前回調査と比較して、「できる」が減少している。



3 1. 市政への関心

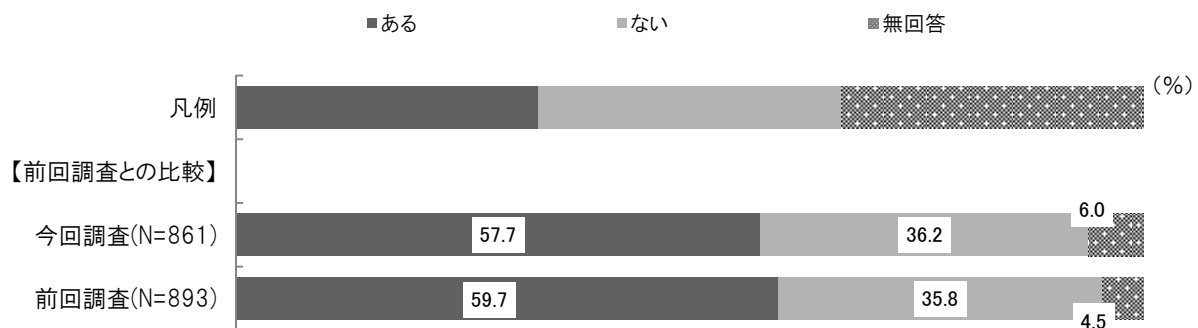
(3 1) あなたは、市政に関心がありますか

市政への関心については、全体で見ると、「ある」が57.7%と多くなっている。性別で見ると、男性において「ある」が多くなっている。年齢別で見ると、29歳以下において「ある」が少なくなっている。地域別で見ると、笠加、玉津などで「ある」が多くみられる。



【前回調査との比較】

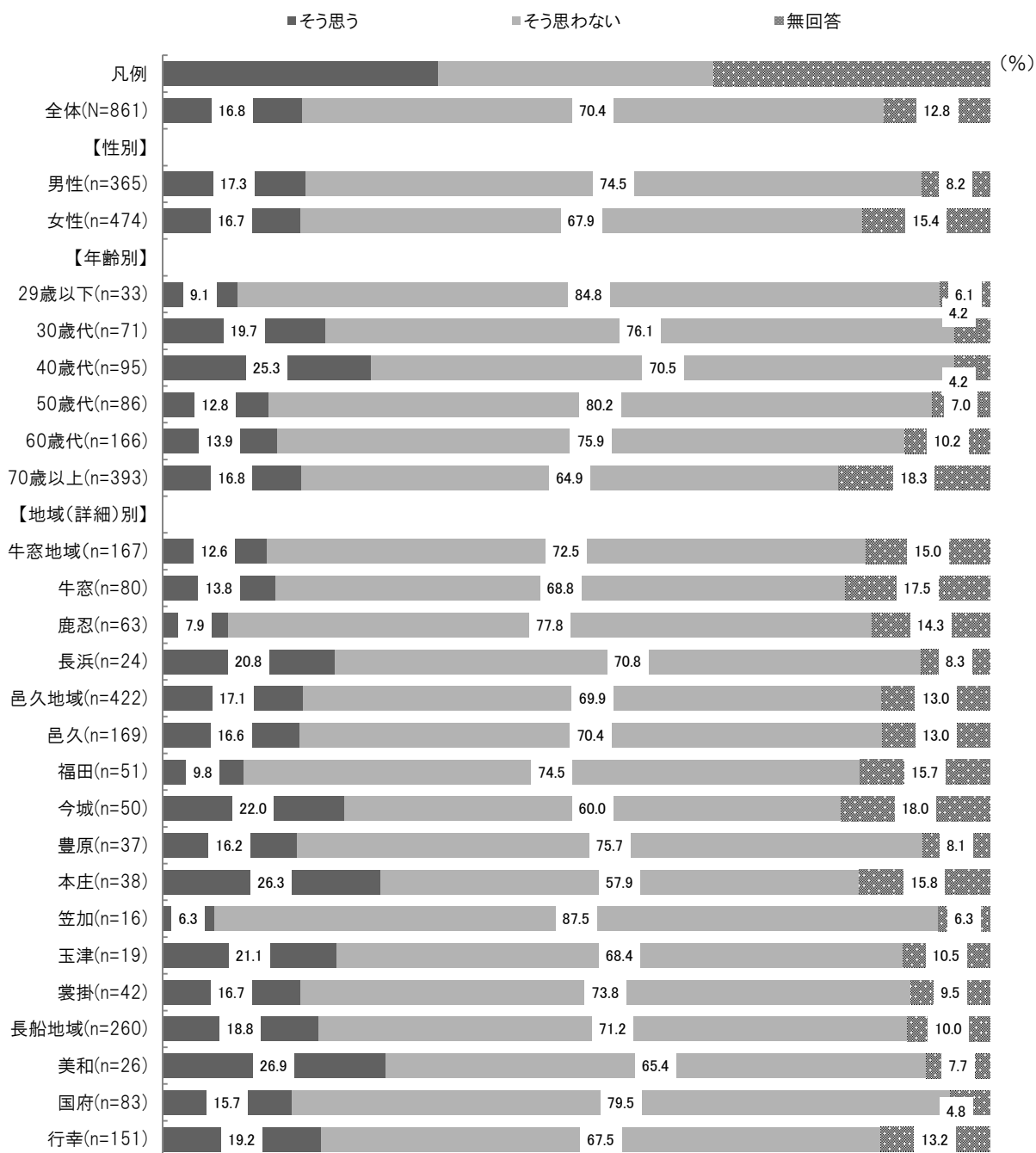
前回調査と比較して、「ある」がやや減少している。



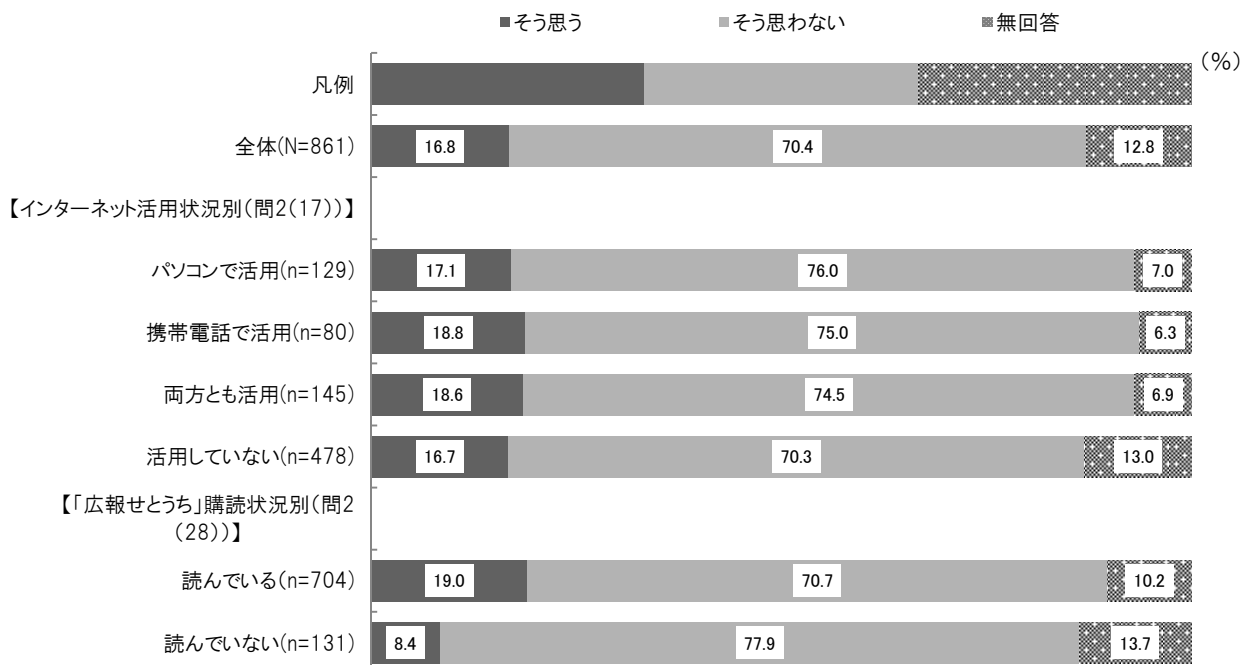
3.2. 市の財政改善状況について

(3.2) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか

市の財政改善状況については、全体で見ると、「そう思わない」が70.4%と多くなっている。性別で見ると、男性において「そう思わない」が多くみられる。年齢別で見ると、40歳代において「そう思う」が多くみられる。地域別で見ると、美和、本庄などで「そう思う」が多くみられる。

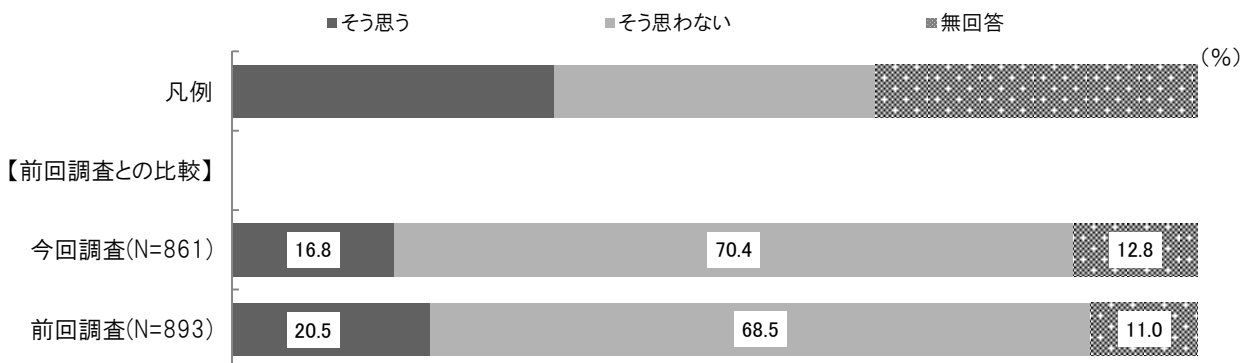


インターネット活用状況別でみると、大きな差はみられない。「広報せとうち」購読状況別でみると、「読んでいる」において、「そう思う」が比較的多くみられる。



【前回調査との比較】

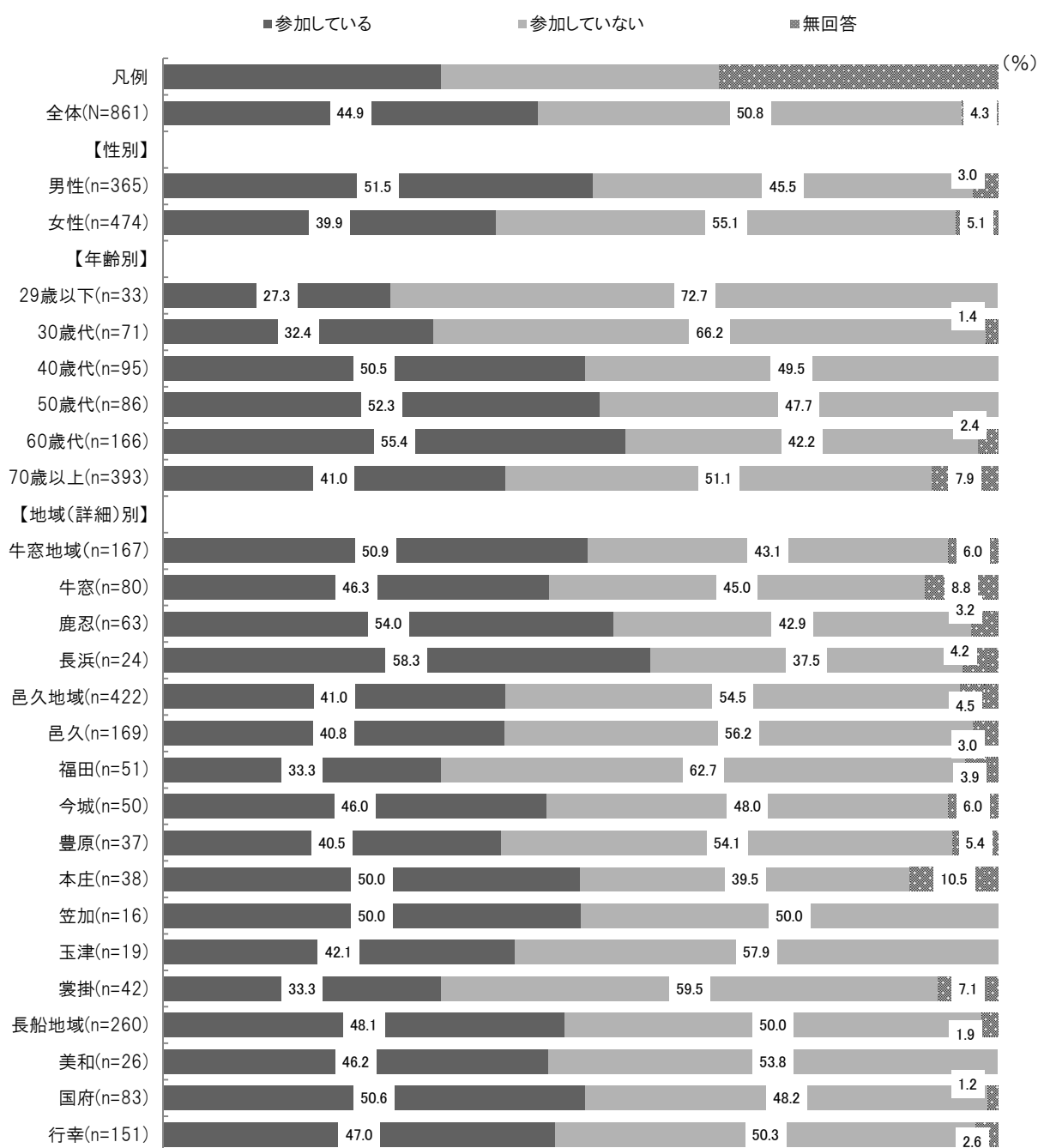
前回調査と比較して、「そう思う」が減少している。



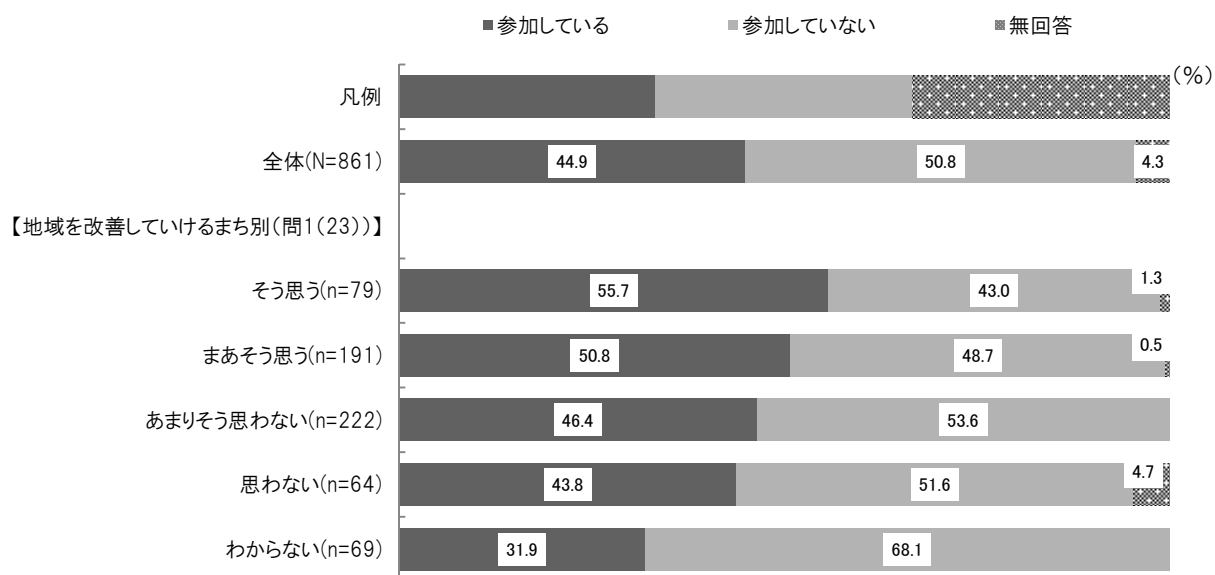
3.3. 地域コミュニティ活動参加状況

(3.3) あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか

地域コミュニティ活動参加状況については、全体で見ると、「参加していない」が50.8%と多くなっている。性別で見ると、男性において「参加している」が多くなっている。年齢別で見ると、40歳代から60歳代において「参加している」が多くみられる。地域別で見ると、長浜、鹿忍などで「参加している」が多くみられる。

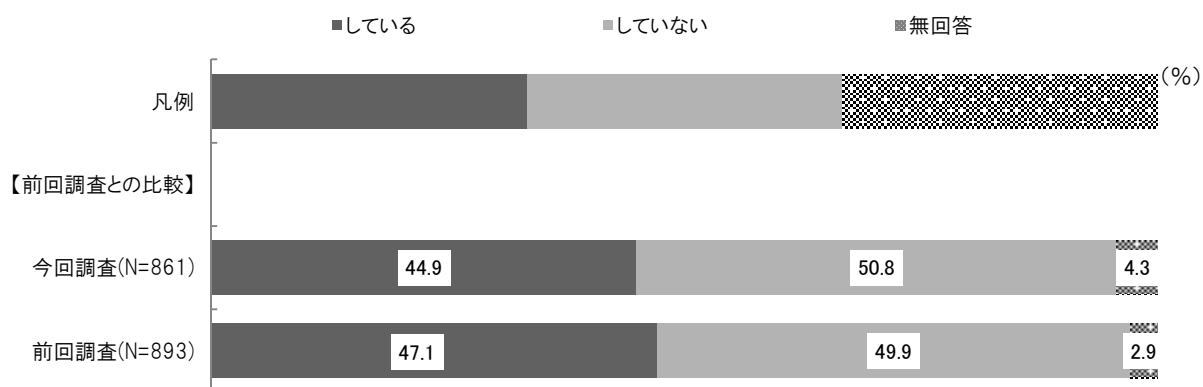


地域を改善していけるまちの設問に「そう思う」等の実感度が高い方ほど、「参加している」が多くみられる。



【前回調査との比較】

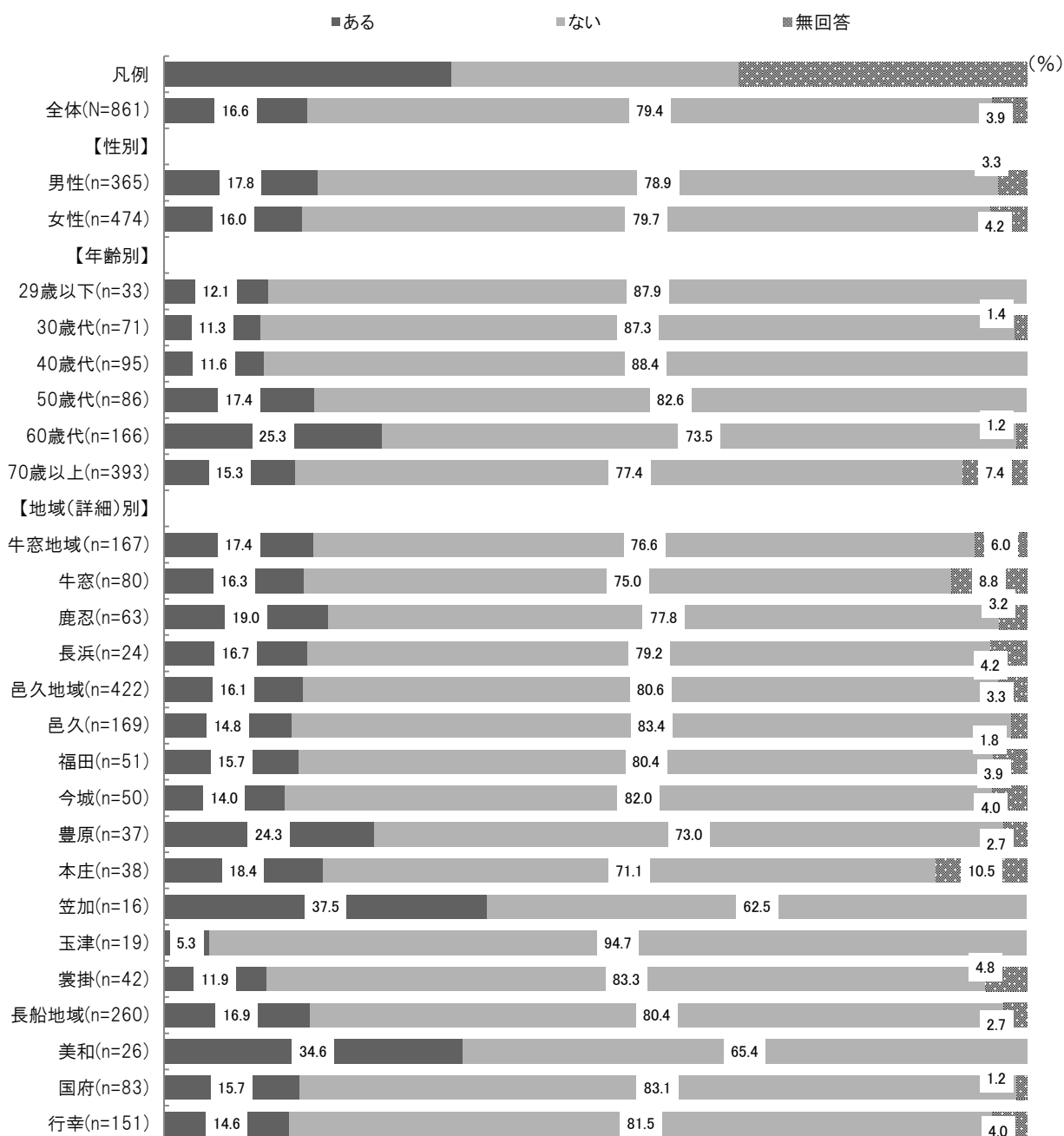
前回調査と比較して、「している」がやや減少している。



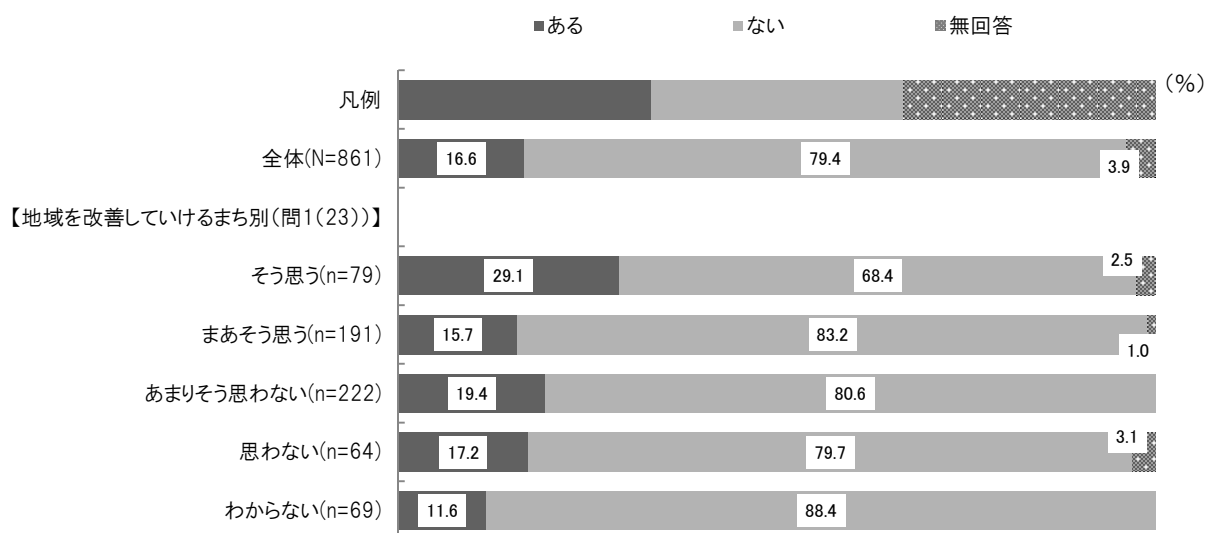
3.4. ボランティア・NPO活動参加経験

(3.4) あなたは、過去1年間にボランティア、NPO活動に参加したことがありますか

ボランティア・NPO活動参加経験については、全体で見ると、「ない」が79.4%と多くなっている。性別で見ると、男性において「ある」がやや多くみられる。年齢別で見ると、50歳代以上において「ある」が多くみられる。地域別で見ると、笠加、美和などで「ある」が多くみられる。

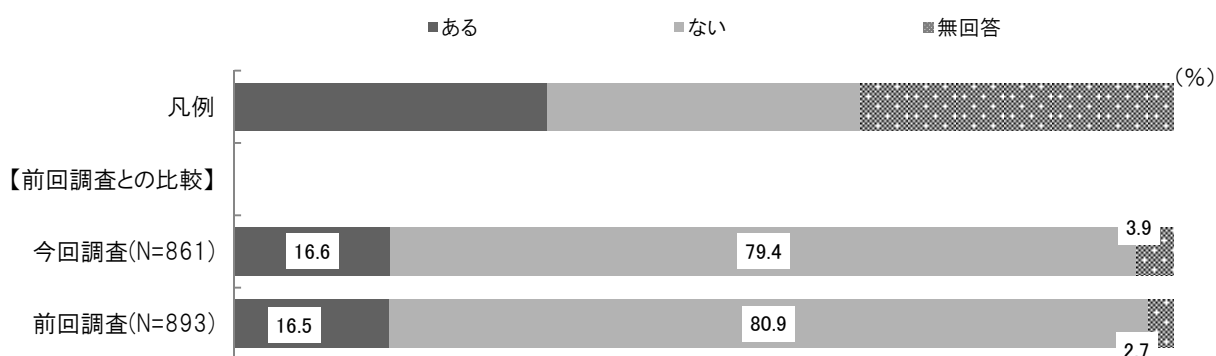


地域を改善していけるまちの設問に「そう思う」等の実感度が高い方ほど、「ある」が多くなる傾向がみられる。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

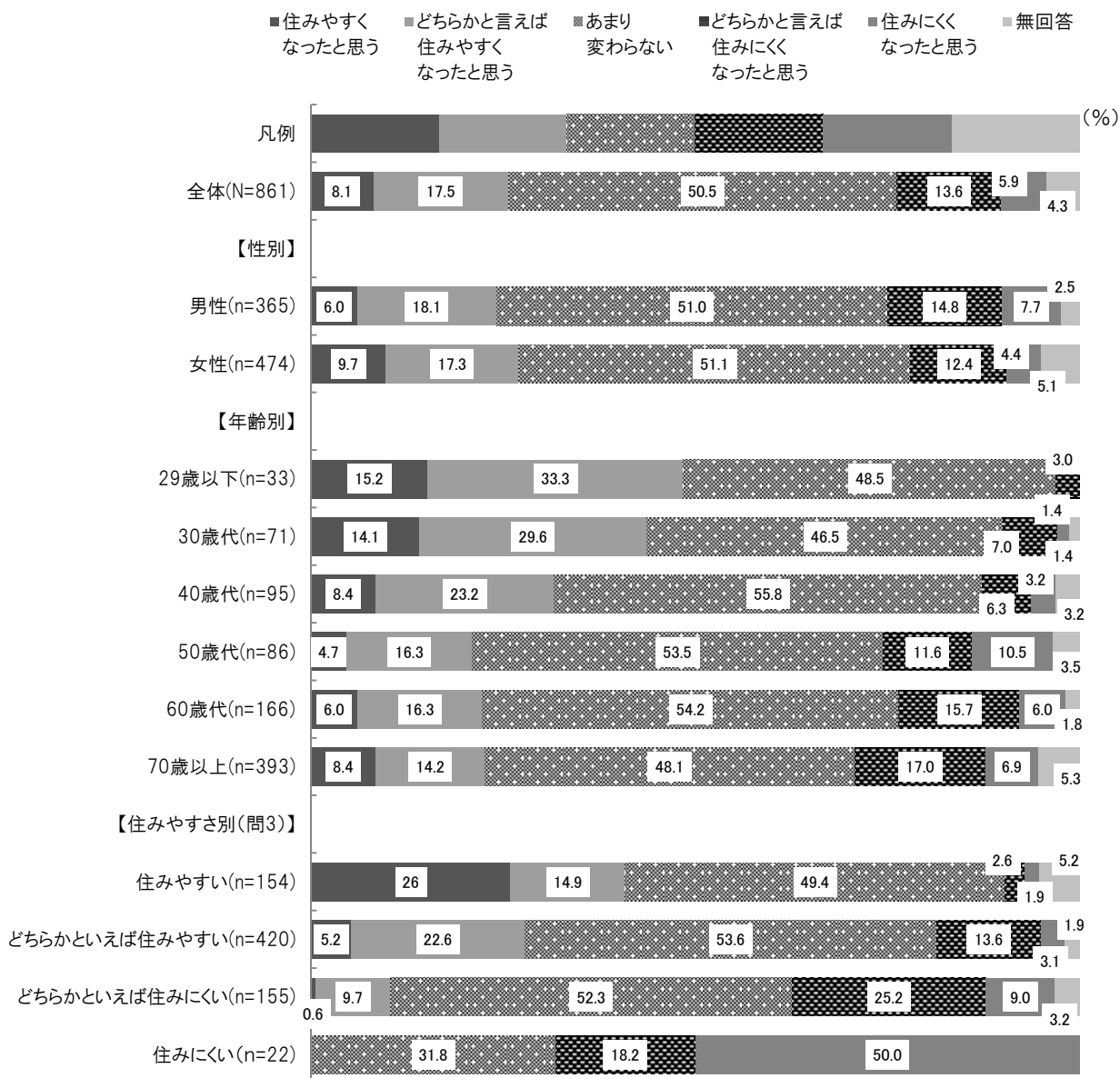


【4】10周年を迎える瀬戸内市に対する思い

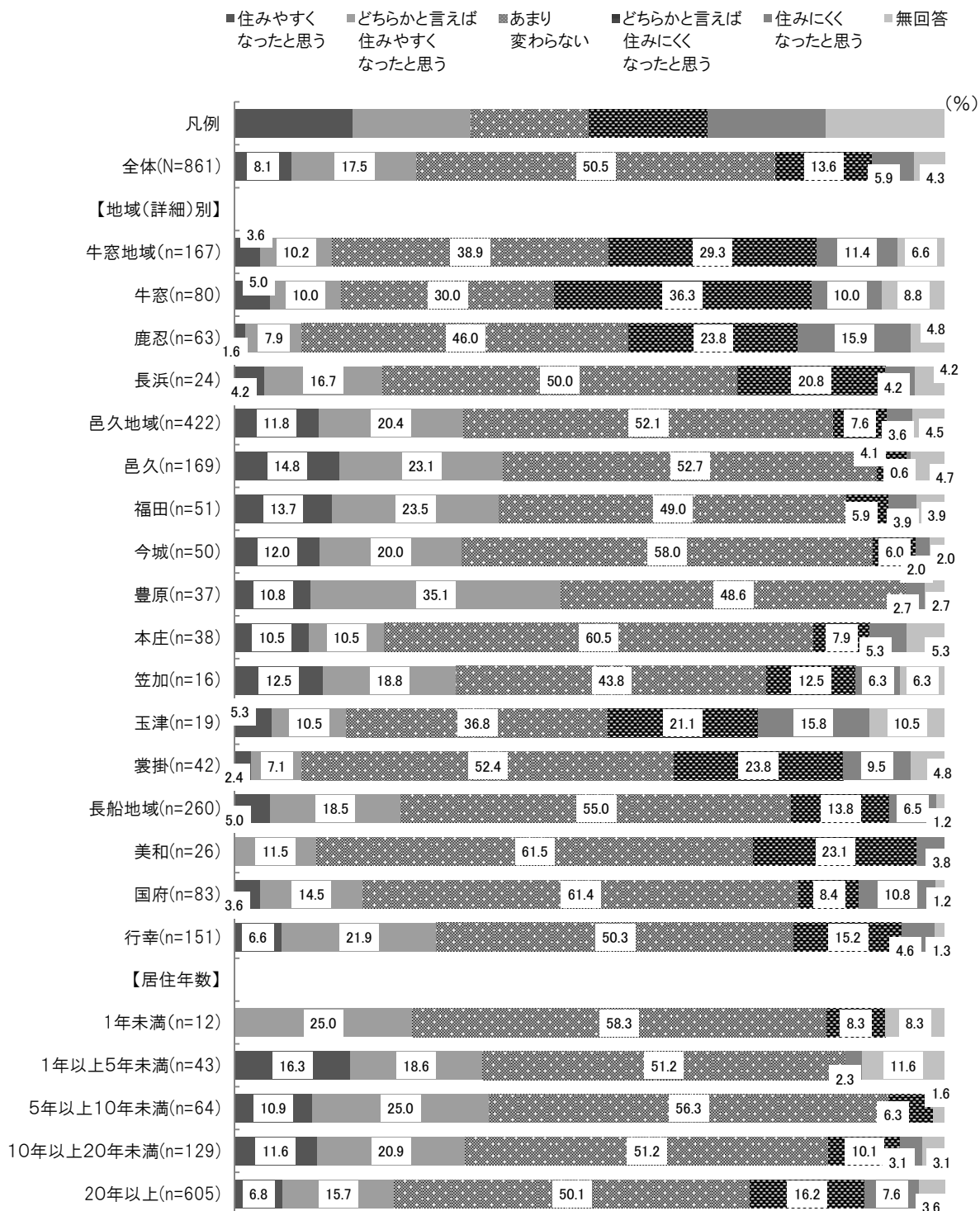
1. 10年前との住みやすさの比較

問4 瀬戸内市は今年、合併から10年を迎えますが、10年前と比べて住みやすくなったと思いますか。居住年数が10年未満の方は居住当初と比べて住みやすくなったと思いますか。(1つに○印)

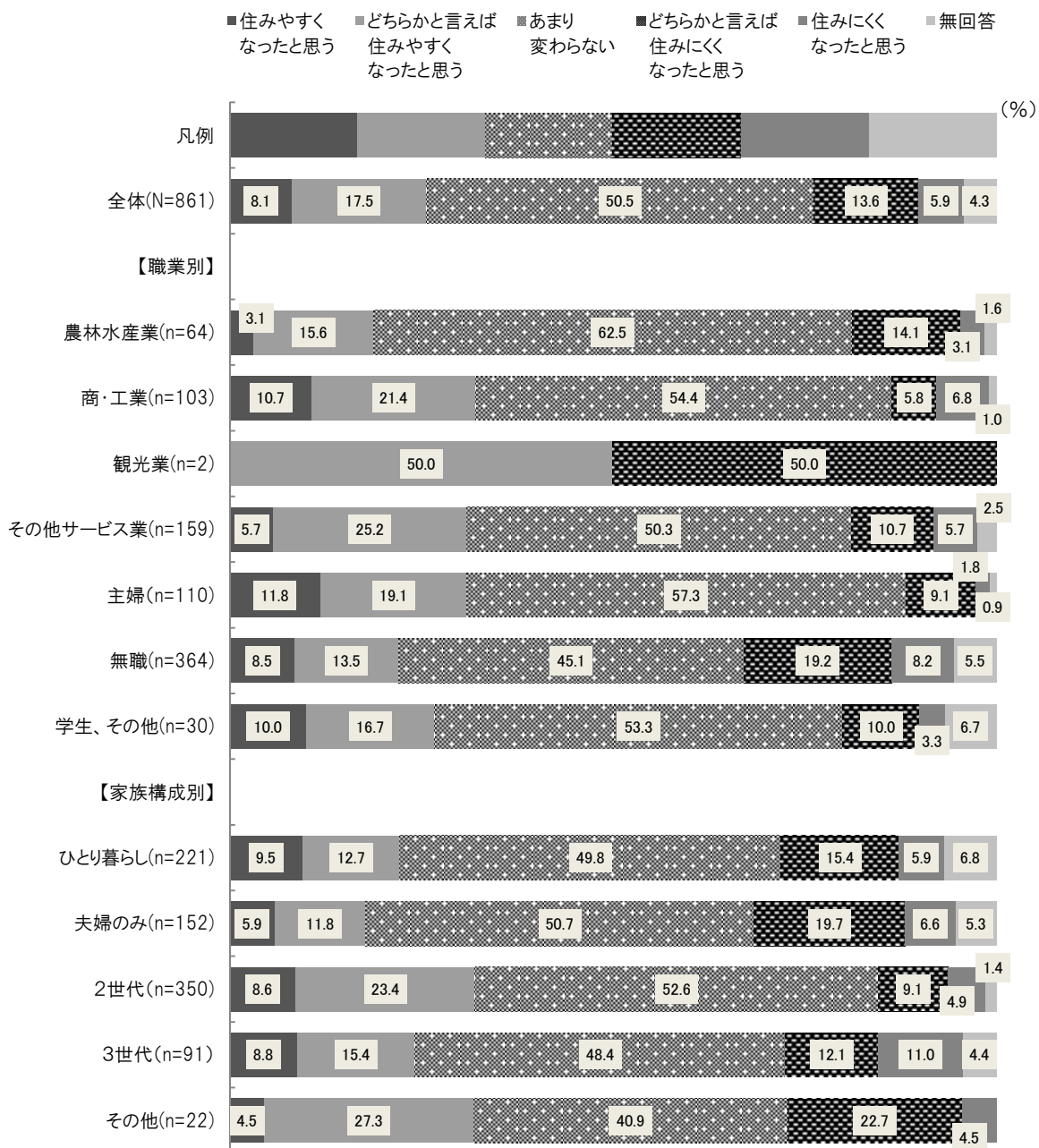
10年前との住みやすさの比較については、全体で見ると、「あまり変わらない」が50.5%と最も多くなっている。性別で見ると、女性において「住みやすくなったと思う」がやや多くみられる。年齢別で見ると、30歳代以下において「住みやすくなったと思う」が多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「住みやすくなったと思う」が多くなる傾向があり、相関関係がみられる。



地域別で見ると、邑久地域において「住みやすくなったと思う」が多くみられ、牛窓地域では「住みにくくなったと思う」が多くみられる。居住年数別で見ると、居住年数が長くなるほど「住みにくくなったと思う」が多くみられる。



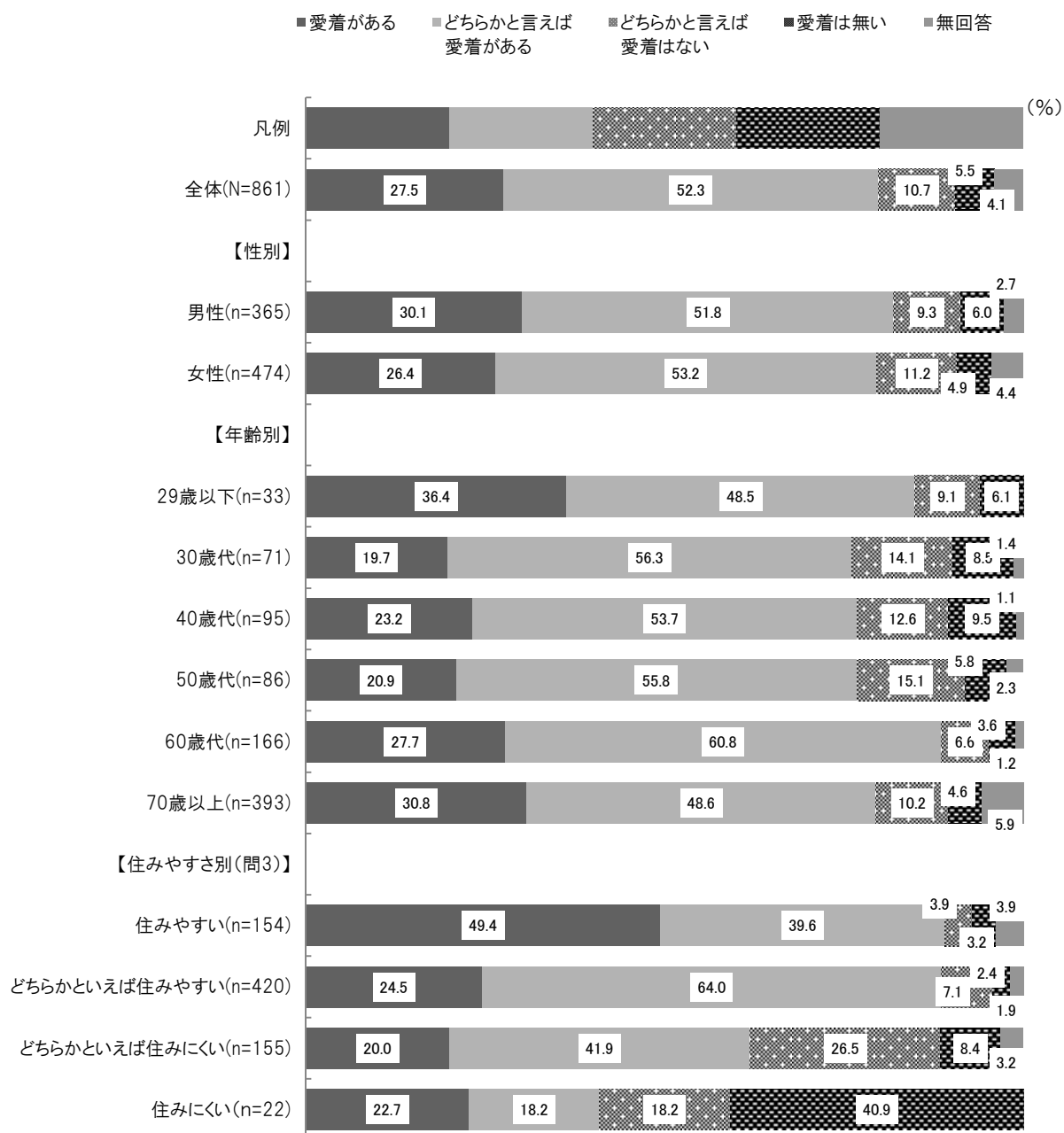
職業別でみると、「住みやすくなったと思う」については「商・工業」、「主婦」、「学生、その他」などで多くみられ、「住みにくくなったと思う」は「無職」などで多くみられる。家族構成別でみると、「住みやすくなったと思う」については「ひとり暮らし」で多くみられ、「住みにくくなったと思う」は「夫婦のみ」、「その他」などで多くみられる。



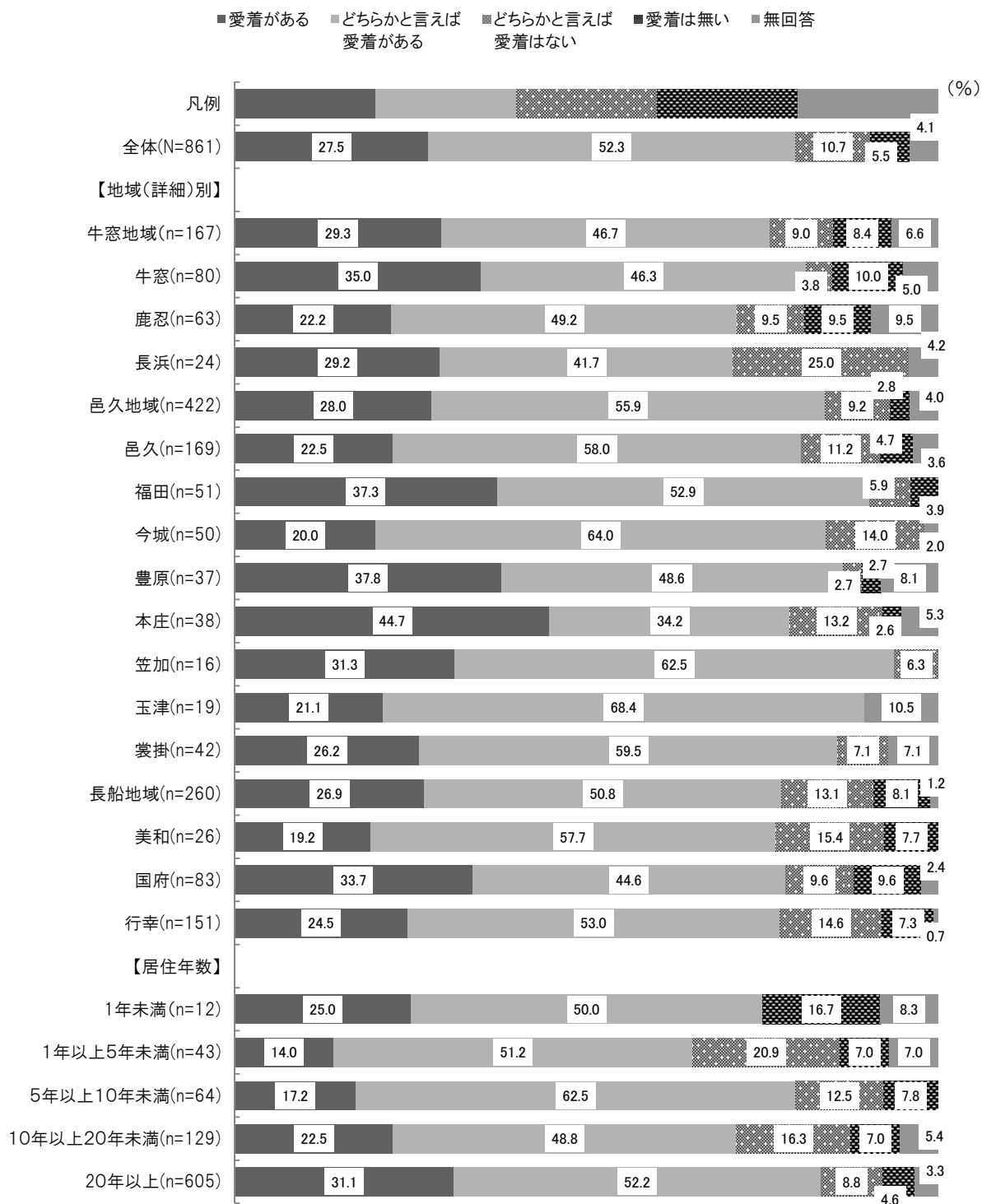
2. 瀬戸内市に対する愛着

問5 瀬戸内市に対する愛着についてお伺いします。(1つに○印)

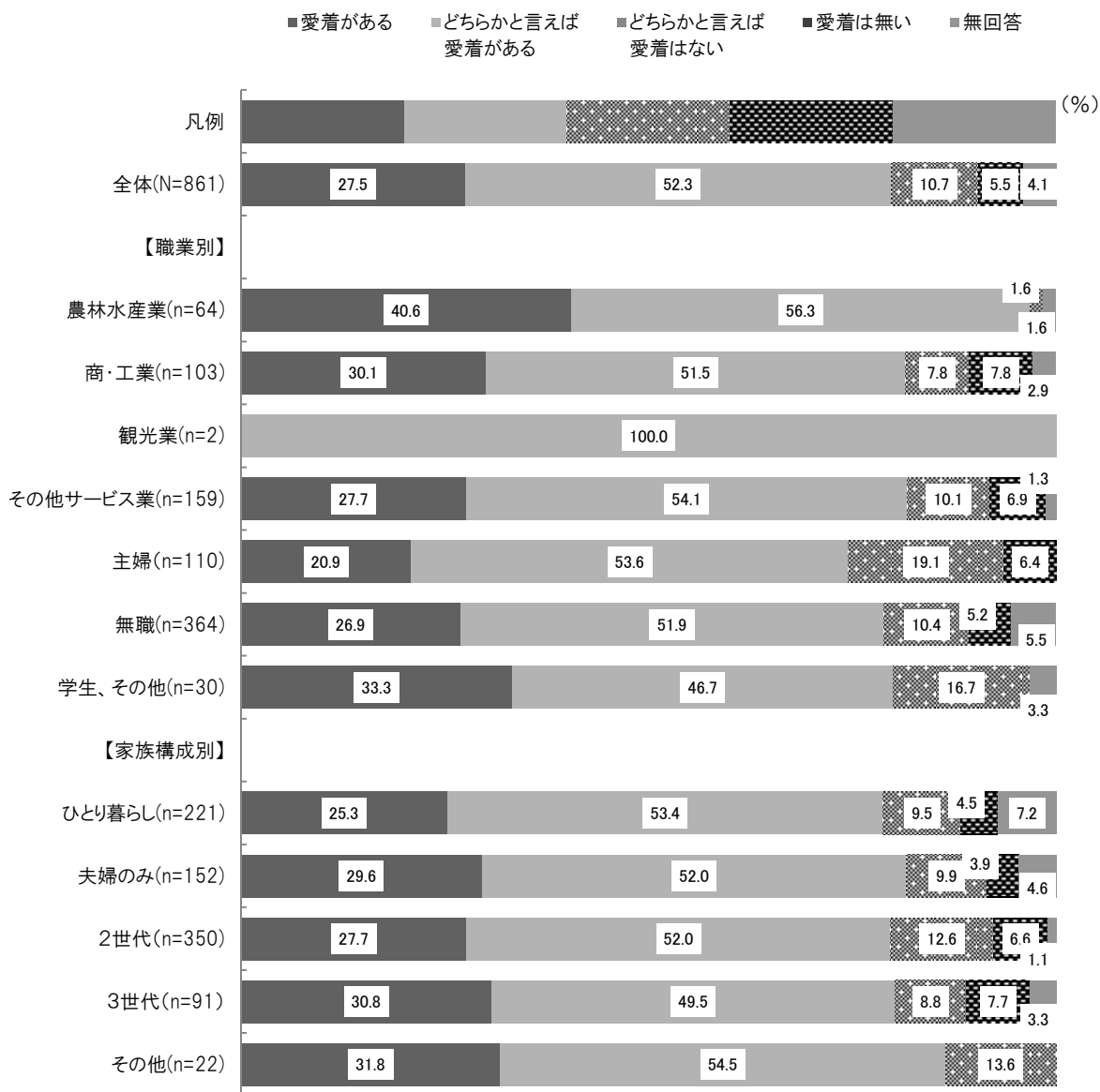
瀬戸内市に対する愛着について全体で見ると、「どちらかと言えば愛着がある」が52.3%と最も多くなっている。性別で見ると、大きな男女差はみられない。年齢別で見ると、29歳以下において「愛着がある」が最も多くなっている。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「そう思う」が多くなる傾向があり、相関関係がみられる。



地域別でみると、「愛着がある」については本庄、豊原、福田などが多くなっている。居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「愛着がある」が多くなる傾向がある。



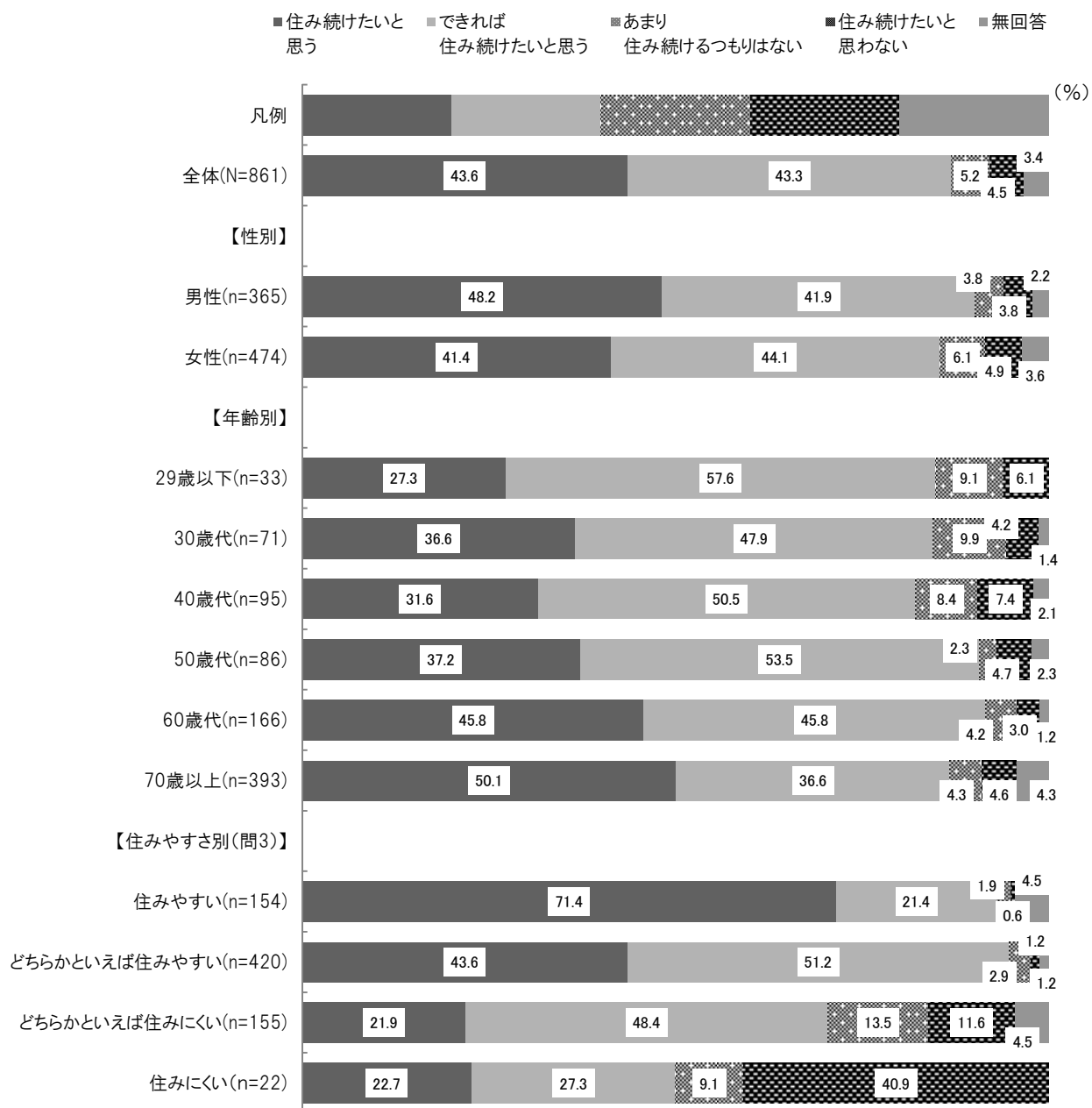
職業別でみると、「農林水産業」において「愛着がある」が最も多くなっている。家族構成別でみると「ひとり暮らし」において「愛着がある」がやや少なくなっている。



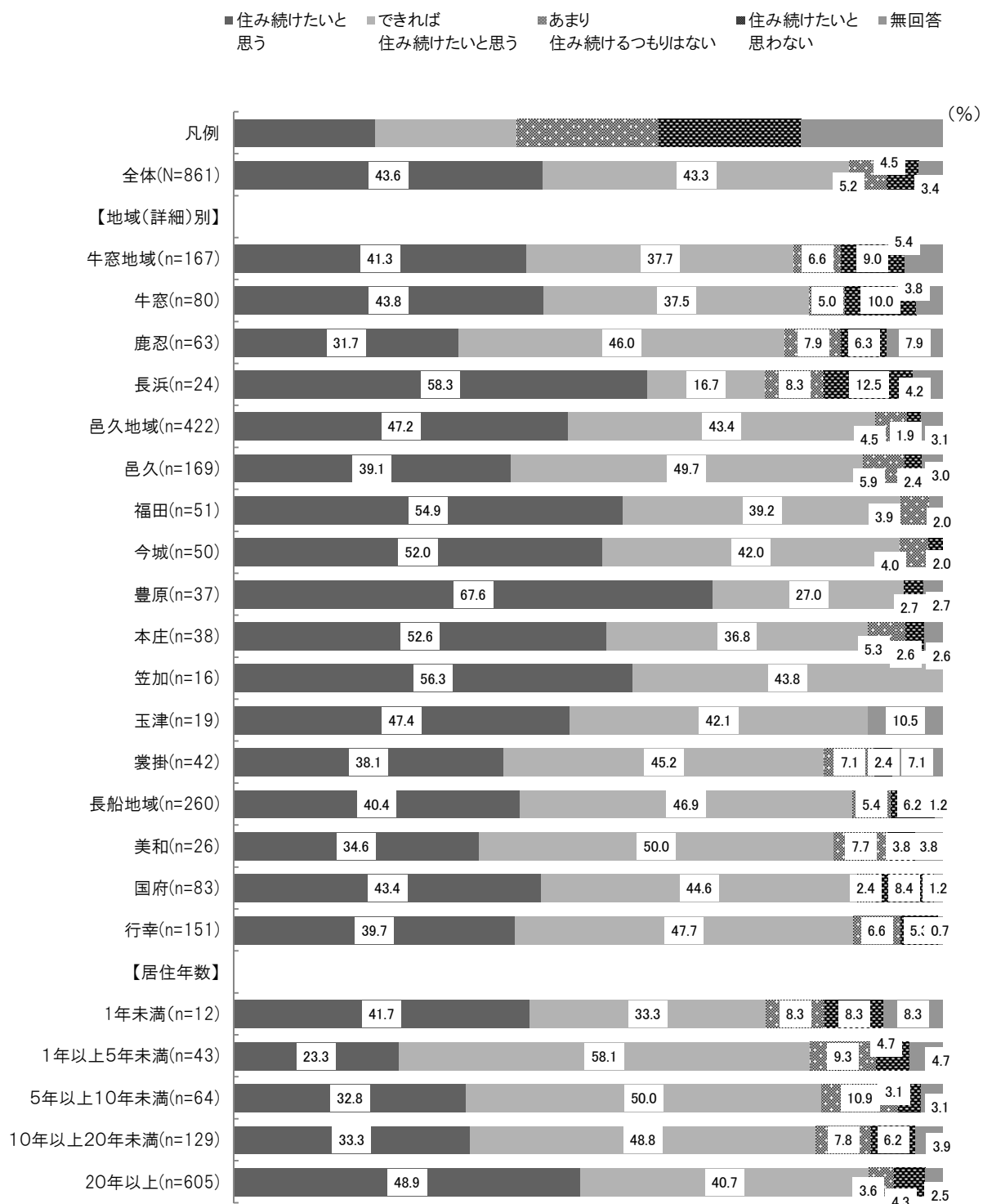
3. 瀬戸内市に住みたいか

問6 あなたは、今後も瀬戸内市に住みたいと思いますか。(1つに○印)

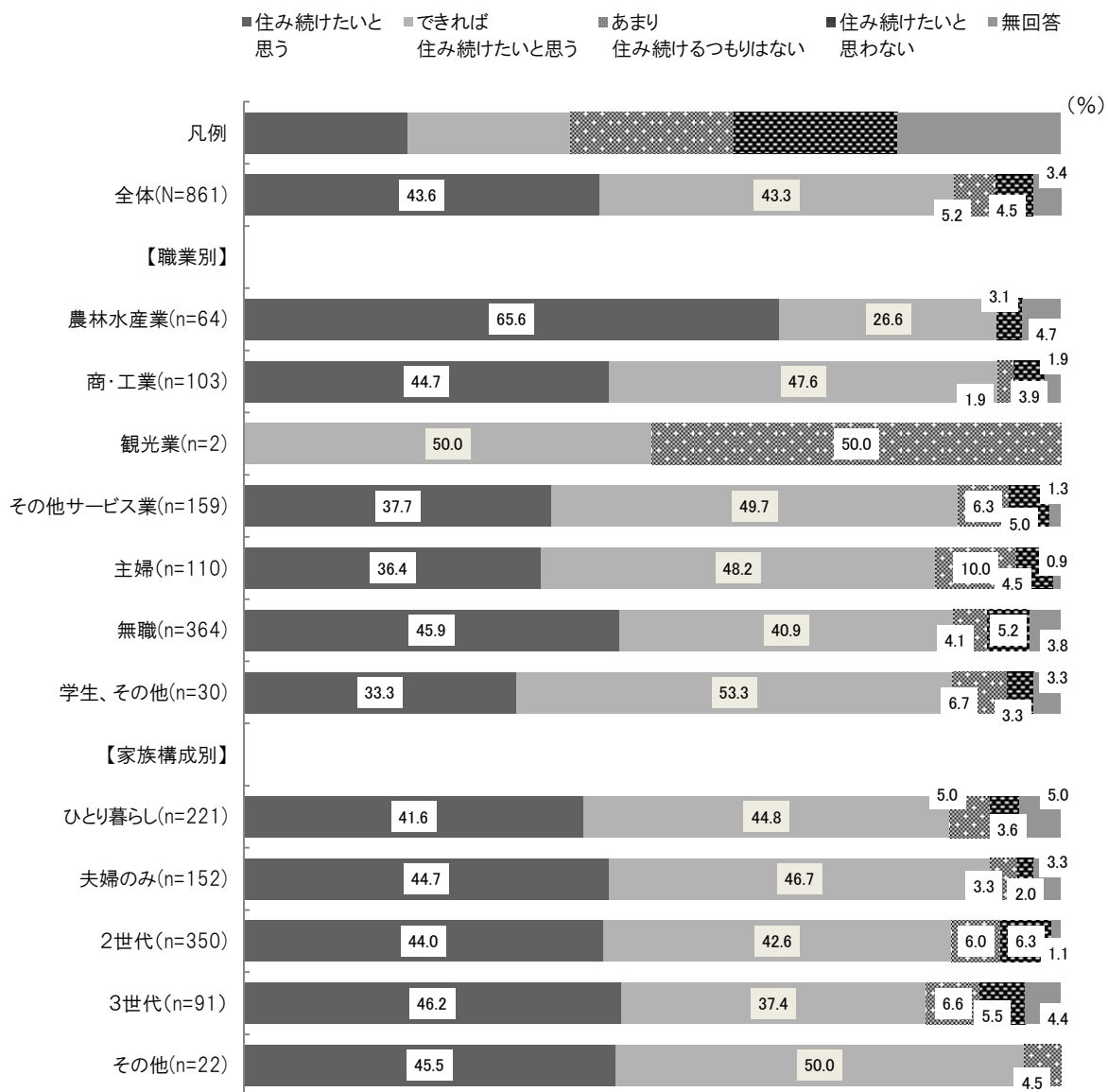
瀬戸内市に住みたいかについては、全体で見ると、「住みたいと思う」が43.6%と最も多くなっている。性別で見ると、男性において「住みたいと思う」が多くみられる。年齢別で見ると、年齢層が高くなるほど「住みたいと思う」が多くみられる。住みやすさ別で見ると、住みやすいと評価している層ほど、「住みたいと思う」が多くなる傾向があり、相関関係がみられる



地域別でみると、豊原、長浜において「住みたいと思う」が多くみられ、牛窓地域において「住みたいと思わない」が多くみられる。居住年数別でみると、居住年数が「20年以上」において「住みたいと思う」が多くみられる。



職業別でみると、「農林水産業」において「住みたいと思う」が最も多くみられる。
 家族構成別でみると、大きな差はみられない。



【5】自由意見

現在もしくは将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

自由記述欄では、1人の方が複数の意見を記入している場合は分割するなどして、総計400件を超える意見がみられた。以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものである。

最も多かった意見は、「No21 自由に行き来できるまち」についてで37件、次いで「No39 市民ニーズに答える市役所があるまち」(31件)、「No9 質の高い医療が受けられるまち」(28件)、「No19 便利で快適な道路を通ったまち」(27件)、「No13 いくつになっても安心して暮らせるまち」(20件)、「No2 子どもが楽しく学び成長が実感できるまち」(18件)、「No34 商業の経営の安定化に取り組めるまち」(18件)「No37 にぎわいと活気のある観光のまち」(18件)などの順となっており、交通網の整備、医療、高齢者福祉、教育、観光、経済の活性化などが上位にあがっている。

一方、「No6 国際社会にはばたく人を育むまち」、「No22 便利な情報ネットワークがあるまち」、「No31 消費者を守り育てるまち」などに関する回答はみられなかった。

【フリーアンサー集約結果】

施策大綱	分類No	施策	今後の主な取組(略表記)	回答件数
未来に輝く人づくりと文化の創造	1	みんなの思いやりがあふれるまち	人権教育・人権啓発	4
	2	子どもが楽しく学び成長が実感できるまち	学校教育	18
	3	子どもの成長をみんなで見守るまち	家庭教育	7
	4	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	生涯教育	3
	5	スポーツを通じ健やかに暮らせるまち	スポーツ活動の場と機会	6
	6	国際社会にはばたく人を育むまち	国際理解のための学習機会	0
	7	歴史や文化を大切にすまち	文化財の保護と保存	5
健やかでいきいきとした暮らしの実現	8	健やかに暮らせるまち	健康づくり活動への理解と意識啓発	2
	9	質の高い医療が受けられるまち	医療体制の充実	28
	10	安心して笑顔で子育てできるまち	子育て家庭への情報提供・相談体制	18
	11	働きながらでも安心して暮らせるまち	保育サービス	4
	12	高齢者が元気なまち	高齢者の社会参加	15
	13	いくつになっても安心して暮らせるまち	ニーズに合った介護・福祉サービス	20
	14	障がい者がいきいきと暮らせるまち	障がい者の自立支援	6
	15	生活に困難を覚える人が自立できるまち	生活困窮者の自立支援	2
	16	地域ぐるみで支えあうまち	地域福祉	11
安全・安心で快適な暮らしの実現	17	活力を生み調和のとれた土地活用を進めるまち	土地利用の促進	16
	18	住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち	定住促進	15
	19	便利で快適な道路が通ったまち	道路整備	27
	20	河川・海岸・港湾が整備された安心なまち	河川の改修	6
	21	自由に行き来できるまち	公共交通機関の利用促進	37
	22	便利な情報ネットワークがあるまち	行政手続きにおけるオンライン化の促進	0
	23	安全で良質な水が飲めるまち	上水道の整備	4
	24	きれいな水を未来へ渡すまち	下水道の整備	11
	25	環境に配慮したまち	ゴミの減量	6
	26	人と地球にやさしいまち	新エネルギーの導入	7
	27	光輝く自然・まちなみが残るまち	自然景観の保存	8
	28	防災意識の高いまち	防災・災害の防止	11
	29	交通事故がないまち	交通安全教育・啓発	5
	30	地域みんなで防犯に力をいれているまち	市民の防犯意識	4
	31	消費者を守り育てるまち	消費者教育の実施	0
活力ある産業と魅力ある観光都市の創出	32	農林業にやりがいを見出すまち	農業後継者の確保と集落営農組織の育成	3
	33	水産業に活力が生まれるまち	獲る漁業から育てる漁業への転換	4
	34	商業の経営の安定化に取り組むまち	買物環境の創出	18
	35	工業が進出しやすく経営が安定するまち	企業間の相互連携	3
	36	雇用・労働環境が整ったまち	雇用機会の創出	12
	37	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のある観光	18
(※) 市民と協働	38	透明で開かれた市役所があるまち	市民公聴会の実施	7
	39	市民ニーズに答える市役所があるまち	財政のスリム化	31
	40	みんなが知恵を出しあい助けあうまち	NPO等市民活動の支援	1
	41	その他	その他	25
			合計	428

(※)市民と市役所が協働で進める自主自立した都市の実現